

心理学メジャー科目

メジャー（専修）について

2014年度よりカリキュラム編成の変更にともない、メジャー（専修）名が新しくなります。
2013年度以前に入学した学生は、従前のメジャー（専修）名を記しました。
各自入学年度に該当するメジャー（専修）名を確認してください。

例) 授業科目名「カウンセリング心理学」

- ・2014年度入学生：心理学、ビジネスキャリア
- ・2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解

※メジャー（専修）欄が空白の場合は、メジャーに該当しません。

また、2014年度入学生は、一部メジャー（専修）が重複する科目があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	心理学概論	担当教員	松並 知子
レベルナンバー	100	単位数	2	資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格 社会福祉主事 任用資格
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —				

学習目標	この講義では、心理学に初めて接する学生を対象に、心理学における基礎的な知識と考え方を紹介する。心理学の主な領域について、つまり、感覚や記憶・思考について解明する認知心理学、刺激と反応からの心的過程を類推する行動心理学、人間の発達過程とそのメカニズムを研究する発達心理学、精神病理やパーソナリティについて研究する臨床心理学、脳の仕組みと働きについて研究する生理心理学、そして、個人や集団の心理と行動について研究する社会心理学などについて、学習を進めていく。また、これらの各分野の内容と主だった発見や理論を紹介しながら、心理学とは一体どのような学問であるのかを包括的に考え、解明していくことが目的である。学習意欲の高い受講生の参加を求める。	
学習の進め方	本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習内容と学習目標を確認してから学習を進めてください。また、基本的にはテキストに即してデジタル教材を進めていきますが、テキストでは言及していない理論やトピックスもデジタル教材で紹介している場合がありますので、注意して学習を進めてください。毎回ごとに確認テストがありますので確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 はじめに	確認テスト
	心理学概論のオリエンテーションで始まり、心理学の歴史と、さまざまな領域について学ぶ	
	第2回 認知心理学(1) —感覚・知覚・運動—	確認テスト
	感覚と知覚、視覚、聴覚、運動の知覚について学ぶ	
	第3回 認知心理学(2) —知能・記憶・言語—	確認テスト
	知能、記憶、言語について学ぶ	
	第4回 認知心理学(3) —思考—	確認テスト
	概念と推理、問題解決について学ぶ	
	第5回 行動心理学(1) —学習—	確認テスト
	学習について学ぶ	
	第6回 行動心理学(2)	確認テスト
	要求、行動について学ぶ	
	第7回 まとめテスト	まとめテスト
	要求、行動について学ぶ	
	第8回 発達心理学	確認テスト
発達の原理、生物学的発達、社会的発達について学ぶ		
第9回 臨床心理学(1) —パーソナリティ—	確認テスト	
パーソナリティ、適応と不適応について学ぶ		
第10回 臨床心理学(2) —精神病理—	確認テスト	
精神障害、心理療法、その他の問題について学ぶ		
第11回 生理心理学	確認テスト	
脳と神経系、覚醒と睡眠、動機と情動の神経機構について学ぶ		
第12回 社会心理学(1) —個人—	確認テスト	
自己、社会的相互作用、コミュニケーション、対人関係について学ぶ		
第13回 社会心理学(2) —集団—	確認テスト	
集団の構造化、集団意思決定、集合現象について学ぶ		
第14回 実験 —身近に感じる心理学—	ディスカッション	
実験を実際に体験し、さまざまな心理学的現象を理解する		
第15回 まとめ	まとめのテスト	
最近の心理学の分野、科目の全体的まとめについて学ぶ		
成績評価方法	平常点(50%)は、第1回～第13回に実施する各回の確認テストとまとめのテストの結果によって決まる。単位修得試験は、(50%)の配分とする。	
教科書	著書 『心理学』 著者 詫摩武俊(編) 出版社 新曜社 出版年度 2010年6月20日 改訂版 ISBN 9784788503618	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	行動の科学	担当教員	櫻本 和也
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名 認定心理士
	実施方法	レポート(第9回の授業内で課題の提示を行う)			
	試験会場	—			

学習目標	心理学の興りから、現代心理学に至るまでの多彩な領域への理解を深め、人間と心理学との関係性を説明できるようになる。				
学習の進め方	1. 本授業では、オンデマンド教材を主教材とする。 2. オンデマンド教材と教科書を用いることで、学習効果が促進される。 3. 各回の学習の最後にある課題に取り組む。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 行動の科学とは	「行動の科学」とは、「心理学」とは何か、という疑問に対して心理学の歩みを通して理解を深める。			確認テスト
	第2回 行動の生物学的基礎	エソロジー(比較行動学)の領域から、ヒューマン・エソロジーの知見を中心に、行動の生物学的理解を深める。			確認テスト
	第3回 感覚と知覚	心理学における知覚領域の諸理論をとりあげ、感覚と知覚についての理解を深める。			確認テスト
	第4回 学習と認知	「レスポナント条件付け」と「オペラント条件付け」を中心に、刺激と反応との関連で、学習についての理解を深める。			確認テスト
	第5回 記憶と情報処理	記銘、貯蔵、検索などの過程を含む「記憶」について、情報処理モデルに基づいて理解を深める。			確認テスト
	第6回 欲求と動機づけ	人間や動物に表れる行動について、私達の心の中に存在している欲求や、動機付けの観点から理解を深める。			確認テスト
	第7回 胎児期から児童期の発達	生まれて間もない赤ん坊が、新しい環境に対して自立した機能を営むに至る適応の過程について理解を深める。			確認テスト
	第8回 青年期から以降の発達	“疾風怒濤”の時代とされる青年期を中心に、青年期以降の人生を射程に入れて発達の理解を深める。			確認テスト、 ディスカッション
	第9回 パーソナリティとは	パーソナリティ理論を体系的に理解することで、ありのままの人間についての理解を深める。			確認テスト
	第10回 パーソナリティの形成と測定	パーソナリティ形成における論争を踏まえ、質問紙法や投影法などの測定方法についての理解を深める。			確認テスト
	第11回 臨床心理と適応への援助	価値観が多様化・流動化する現代社会において、きわめて現代的意義を持つ臨床心理学への理解を深める。			確認テスト、 ディスカッション
	第12回 社会行動 一対人行動一	多くの人と出会う私達は、どういった要因でその人を判断しているのか、対人認知の観点から理解を深める。			確認テスト
	第13回 社会行動 一集団過程一	集団の中で営まれる事の多い人の生活において、他者が個人の行動に与える影響についての理解を深める。			確認テスト
	第14回 社会行動 一社会的現象一	態度、群衆行動、流言などの社会的な現象について、それぞれの特性やメカニズムから理解を深める。			確認テスト
	第15回 まとめ	本授業のまとめを通して、これまでの学びを振り返る。			
成績評価方法	第1回から第14回にわたっての確認テスト、ならびにディスカッションへ臨む姿勢を踏まえた平常点(40%)、単位修得試験(60%)、それぞれの結果で総合的に評価をする。				
教科書	著書 『人間理解の科学—心理学への招待—』 著者 鈴木清 編 出版社 ナカニシヤ出版 出版年度 2011年3月10日 2版 ISBN 9784888487153				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等にご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	学習心理学概論	担当教員	枚田 香
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	外部からの刺激や内的活動により人間の行動の変容が起こるメカニズムについての知識を身につける。 主に条件づけ、記憶、技能学習、社会的学習、問題解決、推論などに関する理論を理解する。	
学習の進め方	本授業では、指定する教科書の章立てに沿って学習をすすめます。また、デジタルコンテンツで学習を支援します。デジタルコンテンツには、テキストの内容の補足説明やデータを使った実習も盛り込んであります。学習は章ごとに区切られており、各章の最後に課題があります。課題を終わらせてから次の章へ進みましょう。	
	概 要	課 題
学習内容	序章 行動と認知の学習	レポート
	ガイダンスおよびテキストを使って学習するにあたっての予備知識の確認	
	第1章 古典的条件づけの基礎	レポート
	無条件刺激、条件刺激、無条件反応、条件反応などの用語と条件反射が発生するメカニズムを学習	
	第2章 オペラント条件付けの基礎	レポート
	オペラント条件付けのメカニズム、報酬、罰などを使った強化について学習 オペラント条件付けによる行動の消去、強化スケジュールについて学習	
	第3章 技能学習	レポート
	技能の上達、学習曲線、練習の条件、転移について学習	
	第4章 社会的学習	レポート
	モデルの観察による模倣学習、観察学習、代理強化について学習	
第5章 問題解決と推理	レポート	
日常生活における問題解決のプロセスと各種理論を学習 演繹法、帰納法、類推などを駆使した推論や新しい概念を考える創造性について学習		
第6章 概念過程と言語獲得	レポート	
概念とその形成、表象、言語の獲得について学習		
第7章 記憶と忘却	レポート	
記憶の定義、記憶の種類、手順など、記憶に関する各種理論を学習する 記憶の忘却のメカニズムと原因について学習する		
第8章 有意義材料の記憶と表象	レポート	
意味を持つ文章などの記憶や心にイメージするメカニズムについて学習		
成績評価方法	各章の課題を含む授業への積極的な参加（40%）、単位修得試験（60%）により総合評価とする。	
教科書	著書 『グラフィック 学習心理学 行動と認知』 著者 山内光哉／春木豊編著 出版社 サイエンス社 出版年度 2010年1月25日 1版 ISBN 9784781909776	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	心理学研究法	担当教員	西本 実苗
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	目に見えない「心」に対し、実証的にアプローチするために使われる、各種の心理学研究法について説明できることを目標とします。さらに、「心」について何らかの仮説を立て、その仮説を検証するための方法について説明することも目標とします。	
学習の進め方	本授業では、デジタル教材を主に活用して授業を進めます。デジタル教材中で教科書のページを参照する指示がある場合は、必ず教科書も参照してください。回ごとに課題として確認テストがありますので、確認テストを終わらせてから次の回に進みましょう。	
	概 要	課 題
学習内容	第1回 「心」に対する実証的なアプローチ 心という「目には見えないもの」に対し、心理学ではどのようなアプローチを行ってきたか概観する。	確認テスト
	第2回 科学と実証 実証的科学としての心理学研究について概観する。	確認テスト
	第3回 観察法 観察法の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第4回 面接法 面接法の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第5回 実験法 実験法の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第6回 質問紙法 質問紙法の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第7回 セマンティック・ディファレンシャル法 (SD 法) セマンティック・ディファレンシャル法 (SD 法) の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第8回 心理検査法 1 心理検査法の特徴と代表的な心理検査について学習する。	確認テスト
	第9回 心理検査法 2 心理検査の質を判断するための統計的な手がかりおよび、心理検査を行う際の留意点について学習する。	確認テスト
	第10回 精神物理学的測定法 精神物理学的測定法の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第11回 横断的研究法と縦断的研究法 横断的研究法と縦断的研究法の特徴と方法について学習する。	確認テスト
	第12回 統計的仮説検定 統計的仮説検定の考え方および、心理学研究においてよく使われる各種検定について学習する。	確認テスト
	第13回 実験計画法 心理学研究における実験計画法について学習する。	確認テスト
	第14回 心理学研究と多変量解析 心理学の研究においてよく使われる、因子分析等の多変量解析について学習する。	確認テスト
成績評価方法	各回の確認テストの結果の合計 (50%)、単位修得試験結果 (50%) とした総合評価とする。	
教科書	著書 「心理学研究法—データ収集・分析から論文作成まで」 著者 大山正、宮埜壽夫、岩脇三良 出版社 サイエンス社 出版年度 2009年5月25日 1版 ISBN 9784781911083	
参考書(任意購入)	『心理学研究法—心を見つめる科学のまなざし』、高野陽太郎、岡隆、有斐閣、2,205円(税込)、2004年	
必須ソフト・ツール		
備考	「心理学統計法」の学習内容について理解していることが望ましい。	

※各科目の最新のシラバスについては、e-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	心理学統計法	担当教員	西本 実苗
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標 心理学では実験やアンケート調査などによりデータを収集し、理論や仮説にもとづいてそれらのデータを分析するという実証的なアプローチをとることが特徴的です。心理学の学習と研究を進める上で必要な心理統計についての知識を習得し、データ分析の手法を身につけます。

学習の進め方 (第1回～第15回)
本授業では、デジタル教材を主に活用して授業を進めます。デジタル教材中で教科書のページを参照する指示がある場合は、必ず教科書も参照してください。デジタル教材中では表計算ソフト (Excel) などを用いた PC 上での実習を指示することもあります。デジタル教材を参照しながらそれらの実習を進めてください。
回ごとに課題 (確認テスト等) がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 心理学と統計法 心理学に統計法が必要とされる背景と、心理学では統計法がどのように使われているかについて理解する。	確認テスト
	第2回 記述統計1 平均、度数分布表、分散と標準偏差について学習する。	確認テスト
	第3回 記述統計2 様々な代表値と散布度、各種グラフを用いたデータ表現について学習する。	確認テスト
	第4回 測定の水準 4つの尺度 (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度) とそれぞれに適用できる記述統計について学習する。	確認テスト
	第5回 統計的推測 標本から母集団を推測する区間推定と信頼区間について学習する。	確認テスト、 プレゼンテーション
	第6回 2変数間の相関1 散布図と相関係数について学習する。	確認テスト
	第7回 2変数間の相関2 クロス表について学習する。	確認テスト
	第8回 統計的検定1 仮説検定の考え方について学習する。	確認テスト
	第9回 統計的検定2 カイ二乗検定について学習する。	確認テスト、 プレゼンテーション
	第10回 統計的検定3 t検定 (対応なし) について学習する。	確認テスト
	第11回 統計的検定4 t検定 (対応あり) について学習する。	確認テスト
	第12回 統計的検定5 分散分析 (1要因) について学習する。	確認テスト
	第13回 変数とは 独立変数 (説明変数) と従属変数 (目的変数) の考え方について学習する。	確認テスト
	第14回 統計的検定6 分散分析 (2要因) について学習する。	確認テスト
	第15回 まとめ 本授業のまとめを行う。	確認テスト

成績評価方法 全15回の確認テストの結果の合計を40%、プレゼンテーション課題 (2つ) の評価結果の合計を10%、単位修得試験結果を50%とした総合評価とする。

教科書 著書 『統計学がわかる』
著者 向後千春、富永敦子
出版社 技術評論社
出版年度 2011年2月15日 1版
ISBN 9784774131900

参考書 (任意購入) 『本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』、吉田寿夫、北大路書房、2,625円 (税込)、1998年

必須ソフト・ツール Microsoft Office Excel

備 考 Office ソフト (特に Excel などの表計算ソフト) の基本操作に習熟していることが望ましい。
このコンテンツは Microsoft Office Excel2007をベースに設計されています。

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	心理学実験・実習	担当教員	布井 雅人 菊野 雄一郎 李 琦 櫻本 和也(東京)
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆	資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格
単位修得試験	受験資格	課題となるレポートの提出状況が主となるが、内容によって判断する場合もある。 3/4以上の出席			
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス) 東京会場(東京サテライト)			

学習目標 心理学を学ぶ上で“実験”は欠くことのできないものである。本授業では、ある時は実験者として、またある時は被験者として、実際に心理学の実験に参加して実習を行う。様々な実験を通して得られたデータを各自が分析し、心理学における実験を通して研究の基礎を習得したい。

学習の進め方 講義形式にて実験の目的・内容や方法、結果の考察など順を追って理解を深めていく。実験の内容から個人ではなく集団で取り組むことも多くなるため、主体的な姿勢が求められることになる。また、一つの実験を終える度に課題としてレポートの提出を求める。一つひとつ区切りをつけて着実に進めていきましょう。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション 心理学実験・実習の概要説明をはじめ、授業履修にあたっての注意事項に触れる。	
	第2回 実験レポートの作成について 論文やレポートを構成する項目(目的、方法、結果、考察)について学ぶ。	
	第3回 ミュラー・リヤー錯視 ミュラー・リヤーの錯視図形を例にとり、刺激条件と知覚判断との間における法則性について学ぶ。	
	第4回 ミュラー・リヤー錯視 第3回で行った実験のデータを整理し、錯視量に与える角度の影響について考察することを目的とする。	
	第5回 ミュラー・リヤー錯視 第3回で行った実験のデータを整理し、錯視量に与える角度の影響について考察し、レポートとしてまとめる。	レポート
	第6回 エゴグラム -TEG- 心理学において代表的な心理検査の一つであるエゴグラムを用いて、自分自身を客観的に把握する。	
	第7回 エゴグラム -TEG- 第6回で収集したデータを整理し、客観的指標を基に、自分自身について考察し理解を深める。	レポート
	第8回 Y-G 性格検査 心理学において代表的な心理検査の一つとされる、Y-G 性格検査を用い、自分自身を客観的に把握する。	
	第9回 Y-G 性格検査 第8回で収集したデータを整理し、客観的指標を基に、自分自身について考察し理解を深める。	レポート
	第10回 レポートについての講評 成果と課題を中心に、ここまでの取り組みを振り返る。	
	第11回 語の記銘 無意味語の記銘を課題とした記憶実験を通して、記銘、保持、再生などの過程を含む記憶について学ぶ。	
	第12回 語の記銘 第11回で行った実験データを整理し、記憶過程について考察することを目的とする。	
	第13回 語の記銘 第11回で行った実験データを整理し、記憶過程について考察し、レポートとしてまとめる。	レポート
	第14回 まとめ ここまで繰り返し行ってきた実験を振り返り、今一度その成果と課題について振り返る。	
	第15回 予備日 実験スケジュール、授業全体の進捗状況によって、適宜対応を行うための時間。	
	第16回 鏡像描写 古くから試みられている「学習の成立過程」の分析について、鏡像描写の装置を用いた実験を通して学ぶ。	
	第17回 鏡像描写 第16回で行った実験のデータを整理し、知覚—運動学習および学習の転移について考察することを目的とする。	
	第18回 鏡像描写 第16回で行った実験のデータを整理し、知覚—運動学習および学習の転移について考察し、レポートをまとめる。	レポート
	第19回 投影法の基礎 あいまいな刺激材料を基にして、個人間の反応がどのように変化するかについて学ぶ。	
	第20回 投影法の基礎 第19回で行った実験のデータを整理し、反応の個人差や、投影法について考察することを目的とする。	

	概 要	課 題
学習内容	第21回 投影法の基礎 第19回で行った実験のデータを整理し、反応の個人差や、投影法について考察し、レポートとしてまとめる。	レポート
	第22回 情報伝達 流音が口から口へと伝えられていく過程について、連鎖的再生法を用いて情報変容の法則性について学ぶ。	
	第23回 情報伝達 第22回で行った実験のデータを整理し、平準化、強調化、同化の心理過程について考察することを目的とする。	
	第24回 情報伝達 第22回で行った実験のデータを整理し、平準化、強調化、同化の心理過程について考察し、レポートをまとめる。	レポート
	第25回 レポートについての講評 成果と課題を中心に、ここまでの取り組みを振り返る。	
	第26回 ストループ効果 ストループの実験を通して、ストループ干渉がどのように生じているかについて学ぶ。	
	第27回 ストループ効果 第26回で行った実験のデータを整理し、ストループ効果について考察し理解を深める。	
	第28回 ストループ効果 第26回で行った実験のデータを整理し、ストループ効果について考察し、レポートとしてまとめる。	レポート
	第29回 レポートについての講評 ―まとめ― 成果と課題を中心に、今一度、取り組みを振り返る。	
	第30回 レポートについての講評 ―まとめ― 成果と課題を中心に、今一度、取り組みを振り返る。	
	成績評価方法 レポート課題の提出状況と内容（70%）を主にして、出席時の態度（授業への意欲的な参加・姿勢）（30%）を踏まえたうえで、総合的に評価する。	
	教科書 著書 『教材心理学（第4版）―心の世界を実験する―』 著者 木下富雄 他編 出版社 ナカニシヤ出版 出版年度 2011年3月20日 4版 ISBN 9784888480123	
	参考書 (任意購入) 適宜、参考資料を配布する。	
必須ソフト・ツール		
備考 自ら授業へ積極的に取り組む姿勢が重要となる。また、課題としてレポートの提出が求められるため、作成時間の確保や、根気よく取り組む姿勢が強く求められるところでもあります。 受講者上限人数 実習40名 受講者数上限を超過した場合は、認定心理士資格取得希望者を優先し、受講調整を行う。 先修条件 「心理学統計法」「心理学研究法」の学習内容を理解していることが望ましい。Word、Excel等の基本的な操作ができること。		

※各科目の最新のシラバスについては、eI-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	臨床心理学実習		担当教員	酒井 健 辻野 達也 堀江 桂吾 (東京) 中村 千珠 (岡山)	
レベルナンバ	300	単位数	2				
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格	
単位修得試験	受験資格	3/4以上の出席					
	実施方法	レポート					
試験会場	本学(さくら夙川キャンパス) 東京会場(東京サテライト) 岡山会場						

学習目標 臨床心理学の基本的な理論や技法について学びながら、さまざまなワークやエクササイズを通じて、自己理解および他者理解を深めることを目標とする。

学習の進め方 講義部分では、実習のときの基本となる理論や考え方の習得をめざす。実習部分では、ワークやエクササイズを通じて、体験的に学習を深める。

		概 要	課 題
学習内容	第1回 心理アセスメント 描画法1	全30回の授業のなかで、前半15回は主に心理アセスメントを中心に授業と実習を行う。 第1回は、描画法による心理査定 of 考え方と、具体的な方法について学ぶ。	
	第2回 心理アセスメント 描画法2	描画法による心理査定 of 考え方と、具体的な方法について学ぶ。	
	第3回 心理アセスメント 投影法1	パーソナリティ検査として広く使われている投影法の一つであるロールシャッハテストについて、その考え方を解説する。	
	第4回 心理アセスメント 投影法2	パーソナリティ検査として広く使われている投影法の一つであるロールシャッハテストについて、その考え方を解説する。	
	第5回 心理アセスメント 投影法3	パーソナリティ検査として広く使われている投影法の一つであるロールシャッハテストについて、その考え方を解説する。 同じ投影法である TAT も紹介する。	小レポート作成
	第6回 心理アセスメント その他のパーソナリティ検査1	PF スタディや20答法、SCT など、ここまで紹介してこなかった検査について解説しいくつかを体験的に施行する。	
	第7回 心理アセスメント その他のパーソナリティ検査2	PF スタディや20答法、SCT など、ここまで紹介してこなかった検査について解説しいくつかを体験的に施行する。	
	第8回 心理アセスメント 知能検査1	ことに病院臨床では必須の知能検査について、その代表である WAIS を取り上げ、知能とは何かについて検討する。	
	第9回 心理アセスメント 知能検査2	ことに病院臨床では必須の知能検査について、その代表である WAIS を取り上げ、知能とは何かについて検討する。	
	第10回 心理アセスメント 知能検査3	ことに病院臨床では必須の知能検査について、その代表である WAIS を取り上げ、知能とは何かについて検討する。	小レポート作成
	第11回 心理アセスメント 発達理解1	発達検査について講義と実習を行う。	
	第12回 心理アセスメント 発達理解2	発達検査について講義と実習を行う。	
	第13回 心理アセスメント 発達理解3	発達検査について講義と実習を行う。	
	第14回 心理アセスメント 神経心理学検査	神経心理学的検査について講義と実習を行う。	
	第15回 まとめ	質疑を中心に、14回の受容についてのまとめを行う。	まとめレポートの作成
	第16回 カウンセリング①	傾聴	
	第17回 カウンセリング②	共感的理解	レポート
	第18回 カウンセリング③	ロールプレイ	
	第19回 カウンセリング④	ストレス・マネジメント	
	第20回 カウンセリング⑤	アサーション・トレーニング	レポート

	概 要	課 題	
学習内容	第21回 ユング心理学① タイプ論		
	第22回 ユング心理学② 元型論	レポート	
	第23回 ユング心理学③ 個性化の過程		
	第24回 ユング心理学④ 共時性と布置		
	第25回 ユング心理学⑤ 夢分析	レポート	
	第26回 心理アセスメント① エゴグラム		
	第27回 心理アセスメント② 描画法 (バウム・テスト、風景構成法)	レポート	
	第28回 心理療法① アートセラピー		
	第29回 心理療法② 箱庭療法		
	第30回 単位修得試験と解説		
	成績評価方法	第1回～第15回 二つの小レポート (30%)、授業への取組 (授業中やディスカッションでの発言、実習への取り組み方を含む 30%)、まとめレポート (40%) 第16回～第30回 各回のレポート (50%)、単位修得試験 (50%) なお、前半15回と後半15回の評価をそれぞれ50%とし、合計したもので最終的な評価とする。	
	教科書	著書 『よくわかる臨床心理学』 著者 下山晴彦 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2011年10月30日 ISBN 9784623054350	
	参考書 (任意購入)	随時参考資料を配布する。	
必須ソフト・ ツール			
備考	受講者上限人数 実習40名 受講者数上限を超過した場合は、認定心理士資格取得希望者を優先し、受講調整を行う。 先修条件は、特にこの科目、という条件はありませんが、心理学関連の科目をなるべく履修していることが望ましく、また必要であれば各自で補ってください。		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	生涯発達心理学	担当教員	松並 知子
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間をライフサイクルの観点から広く捉える視野を養う ・人間発達の本質を深く考えようとする姿勢を身につける ・自らの心の成長とアイデンティティの確立を模索・確認する 	
学習の進め方	<p>本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回のテキストの該当箇所を熟読してから学習を進めてください。デジタル教材の中で教科書のページや図表を参照する指示がある場合は、必ず確認をして下さい。また、デジタル教材では取り扱わない情報も掲載されていますのでよく読んで学習に臨んで下さい。また、各回ごとに課題として確認テストがありますので、確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。</p>	
	概 要	課 題
学習内容	第1回 はじめに オリエンテーションと生涯発達心理学の概要を理解する	確認テスト
	第2回 人はどこまで発達するのか 一生涯発達の考え方ー 人生は誕生から死までの継続した流れの中で発達していくものであることを理解する	確認テスト
	第3回 赤ちゃんの誕生 赤ちゃんの持つかわり能力とその発達を理解する	確認テスト
	第4回 愛着関係の発達 一かわりのなかで育つ心ー かわりの中で育つ愛着が対人関係に与える影響を考える	確認テスト
	第5回 自己と情動の発達 自己意識の発達と情動の芽生え、さらには情動調整の発達について学ぶ	確認テスト
	第6回 知的発達 一その意味と保育者のかかわりー 幼児期にめざましい発達を遂げる知的能力について、いくつかの理論を紹介しながら、その発達のメカニズムを理解する	確認テスト
	第7回 遊びと仲間作りを支える心の発達 就学後の仲間関係や仲間遊びの展開をも視野に入れて、子どもたちの保育にあたる者としての心構えを育てる	確認テスト
	第8回 社会性の発達 一思いやる心ー 幼児期において社会性の問題がどのようにとらえられているのか把握し、共感性、他者理解、道徳心の芽生えなど、幼児期を中心とした理論や研究を理解できるようにする	確認テスト
	第9回 異文化と子どもの発達 多文化化する現代社会において子どもの育ちについて文化間の違いを学び、国際結婚家庭の子育て観について理解すること	確認テスト
	第10回 大人への芽生え 一思春期の心の発達と問題ー 身体的変化と共に心理的变化が出現する思春期の特徴を概観し、この時期に見られる心理的危機とその発生のメカニズムを理解する	確認テスト
	第11回 大人になること 一自我同一性の獲得ー エリクソンの理論に基づいて、高校生後半から成人期30歳くらいまでの範囲で、自我同一性に関する理論を学ぶ	確認テスト
	第12回 キャリア発達とその支援 人生におけるキャリア発達を、職業選択だけでなく、生涯発達の視点から自らの能力や対人関係なども含め、考えていけるようになること	確認テスト
	第13回 親となること 初めて子どもをもつ親の心の動きをいつかの視点から見て、本当の意味で親になることについて学ぶ	確認テスト
	第14回 老いを迎えること 高齢期の肯定的な側面にも着目し、生きがいを持って人生を生きていく事、人生の意味をその人なりに見出すことの大切さを理解できるようにする	確認テスト
	第15回 まとめ これまでの内容をふまえて、科目のまとめを行う	確認テスト
成績評価方法	平常点(40%)は、第1回～第14回に実施する各回の確認テストの結果によって決まる。 単位修得試験は(60%)の配分とする。	
教科書	著書 『新時代の保育双書 発達心理学 子どもの発達と子育て支援』 著者 青木紀久代編 出版社 みらい 出版年度 2011年4月20日 ISBN 9784860151058	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	教育心理学	担当教員	枚田 香
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標 基本的知識として、教育心理学研究の歴史、発達、パーソナリティ、学習、動機づけ理論について解説する。教育現場でのスキルに焦点を当て、学習指導、教育工学とコンピュータを使った教育、学校での集団心理学、カウンセリングまでの応用知識を習得する。

学習の進め方 本授業では、指定する教科書の章立てに沿って学習をすすめます。また、デジタルコンテンツで学習を支援します。デジタルコンテンツには、テキストの内容の補足説明やデータを使った実習も盛り込んであります。学習は章ごとに区切られており、各章の最後に課題があります。課題を終わらせてから次の章へ進みましょう。

	概 要	課 題
学習内容	序章 教育心理学とは ガイダンスおよびテキストを使って学習するにあたっての予備知識の確認	レポート
	第1章 発達 身体の発達と心の発達、発達段階と発達課題、児童期、青年期の心理	レポート
	第2章 学習と動機づけ 古典的条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤学習、記憶のプロセス、記憶の二重貯蔵モデル、動機づけ	レポート
	第3章 学習指導と教育工学 学習指導の理論、教育工学とコンピュータ教育、インターネットと子ども	レポート
	第4章 学級の心理学 集団の定義、集団規範と同調行動、集団凝集性、リーダーシップ、学級崩壊、いじめ	レポート
	第5章 教育評価 教育評価の種類、テスト作成	レポート
	第6章 脳の発達と心 脳の細胞、脳と神経回路、発達障害と脳、自閉症の脳機能障害	レポート
	第7章 パーソナリティの理解 パーソナリティとは、類型論、特性論、精神分析的理論、心理検査、知能検査	レポート
	第8章 学校におけるカウンセリング スクールカウンセリング、不登校、カウンセリング技法、ソーシャルスキルトレーニング	レポート
	第9章 幼児期、児童期、青年期の心理的問題 愛着、集団生活、不適応、学習障害、自我同一性	レポート
	第10章 心理教育的援助サービス 特別支援教育、発達障害について、アセスメント、教育現場での支援事例	レポート
第11章 スクールカウンセラーの活用 スクールカウンセラーの資格、スクールカウンセラーの活用法	レポート	
成績評価方法	各章の課題を含む授業への積極的な参加（40%）、単位修得試験（60%）により総合評価とする。	
教科書	著書 「「使える」教育心理学」 著者 安齊順子/荷方邦夫（編著） 服部環（監修） 出版社 北樹出版 出版年度 2011年2月20日 1版 ISBN 9784779301773	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	青年心理学	担当教員	芳田 茂樹
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	この授業では、青年期の諸理論を通して、身体的・生理的発達や自己意識の形成を中心に青年期の心身の発達が人間形成において重要な時期であることを認識し理解することを目的に行う。	
学習の進め方	本授業では、指定したテキストを活用して学習を進めます。学習をスタートするときは、必ず各章の学習のポイントやねらいを十分把握して学習を進めて下さい。	
	概 要	課 題
学習内容	第1章 青年期と青年心理学 青年期は発達段階では、どのような時期に位置づけられ、どのような課題に直面しているのかを考えてみよう。	小テスト
	第2章 青年期の思考と感情 青年期特有の感情や思考の方向性を通して、価値観や生きがいについて考えてみよう。	小テスト
	第3章 身体とジェンダー 思春期以降の身体・生理的発達特徴や性役割観について考えてみよう。	小テスト
	第4章 自己とアイデンティティ 自己意識やアイデンティティとは青年にとってどのような概念で位置づけられているのか。またそれはどのようにして形成されていくのかを考えてみよう。	小レポート
	第5章 家族と友人 青年期の親子関係や友人関係は、どのように発達し、どのように構築されていくのかを考えてみよう。	小テスト
	第6章 学校と学習 青年期の多くの時間を過ごす「学校」での生活や就学することの意味を通して、青年期の生活意識について考えてみよう。	小テスト
	第7章 進路と職業 青年期のキャリア形成と職業観について考えてみよう。	小テスト
	第8章 社会と政治 青年期における社会的期待と役割、また社会参加について考えてみよう。	小テスト
	第9章 障害と臨床 思春期・青年期の問題解決にはどのようにしてサポートしていきべきかについて考えてみよう。	小テスト
	第10章 大人になること 大人になることとはどのようなことか？さまざまな社会的イニシエーションを通して考えてみよう。	小レポート
成績評価法	小レポート(25%)、小テスト(25%)及び単位修得試験(50%)により総合評価する。	
教科書	著書 「よくわかる「青年心理学」」 著者 白井利明 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2010年10月5日 1版 ISBN 9784623044733	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	臨床心理学	担当教員	酒井 健
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格
学習目標	臨床心理学に含まれる内容について、その基本となる事柄をおおよそ包括的に理解することを目標とする。そのために一つ一つの項目について深く学ぶよりは、全体像をつかむことを目指す。				
学習の進め方	本授業は、臨床心理学の入門的な図書（『臨床心理学を基礎から学ぶ』、北大路書房）を教科書として活用し、学習を進めます。教科書の各章を理解するためのポイントや補足説明をデジタル教材として掲載しますので活用してください。なお章毎に小テストを行い、知識や理解の度合いを確認しますので、章の学習ができたと思ったら小テストを必ず受けてください。				
	概 要			課 題	
学習内容	第1章 臨床心理学を理解する この章では、臨床心理学の成り立ちの歴史や臨床心理学にはどのような内容が含まれるのか、そして臨床心理学を学ぶための基礎的な理論について学ぶことになる。			小テスト	
	第2章 心の発達と心の病理を知る 心理的援助を行うためには、人の心の発達のな変化について多面的に理解しておくことが必要となる。そのときに、心の発達の標準的な変化の仕方だけではなく、発達のどの段階にどのような形で心の病理が生まれやすいのかについても学ぶことが必要である。			小テスト	
	第3章 心の状態を測る 心理的援助を行うためには、援助を必要としている人がどのような状態にあるのか、を正確に把握する必要がある。そのためにどのような考え方や方法があるのかについて学ぶ。			小テスト	
	第4章 心の病の回復を援助する 臨床心理学の実践部分である心の病や悩みに対する種々の援助技法について、その考え方や技法について学ぶ。			小テスト	
	第5章 臨床心理士になるためには 心の援助の専門家としてどのような事柄が必要なのかを、学習課題や倫理という観点から学ぶ。			小テスト (これまでのまとめ)	
成績評価方法	小テスト1回を5%（小テストは5回あるので25%）、単位修得試験の結果を（75%）としてその合計によって評価する。				
教科書	著書 『臨床心理学を基本から学ぶ』 著者 丸島裕子・日比野英子 編著 出版社 北大路書房 出版年度 2009年3月20日 1版 ISBN 9784762824012				
参考書 (任意購入)	『臨床心理学の世界』、菅佐和子他著、有斐閣、1,890円（税込）、2000年 『カラー版徹底図解 臨床心理学』、青木紀久代 編著、新星出版社、1,575円（税込）、2009年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	犯罪心理学	担当教員	枚田 香
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標 世間を騒がせた犯罪に関するニュースを心理学的視点で分析し、犯罪者の心理、社会的要因、被害者の心理を中心に考察する。犯罪の未然防止、犯罪者の矯正などをはじめとする、犯人像のプロファイルのみにとどまらない犯罪心理学の幅広い取り組みについても知識を深める。

学習の進め方 本授業では、指定する教科書の章立てに沿って学習をすすめます。また、オンデマンド教材で学習を支援します。オンデマンド教材には、教科書の内容の補足説明やデータを使った実習も盛り込んであります。学習は章ごとに区切られており、各章の最後にレポート課題があります。課題を終わらせてから次の章へ進みましょう。

	概 要	課 題
学習内容	第1章 犯罪に挑む人たち ガイダンスおよびオンデマンド教材を使って学習するにあたっての予備知識の確認、犯罪心理学を活用する仕事	レポート
	第2章 捜査の現場 ー事件は現場で起きている プロファイリング、筆跡鑑定、ポリグラフ検査などの手法と少年相談の現場	レポート
	第3章 鑑別と矯正の現場 少年鑑別所、少年院、刑務所のシステムと処遇	レポート
	第4章 現代の犯罪と非行 近年に起こった窃盗、強盗、性犯罪、凶悪犯罪の現状と犯罪者心理	レポート
	第5章 犯罪とは何か 犯罪研究の歴史、法律と犯罪、DV・虐待・ストーカーに関連する法律	レポート
	第6章 犯罪心理学へのアプローチ 犯罪心理学の研究法、臨床心理学的アプローチ、社会心理学的アプローチ、認知、生理、環境からのアプローチ	レポート
	第7章 心の世界から犯罪を見る ー臨床心理学 矯正現場での臨床心理学の活用、非行少年の心理、非行少年の心に関わる方法	レポート
	第8章 犯罪に挑む社会心理学 生態学的社会学および心理学、犯罪、非行などに関連する理論	レポート
	第9章 犯罪心理学はもっとおもしろくなる 発達心理学、環境心理学、精神生理学の分野が犯罪心理学に与える効果	レポート
	第10章 犯罪心理学の展望 警察の立場、矯正の現場からみる今後の展望、犯罪心理学の発展	レポート

成績評価方法 各章の課題を含む授業への積極的な参加（40%）、単位修得試験（60%）により総合評価とする。

教科書 著書 『犯罪に挑む心理学 現場が語る最前線』
著者 笠井達夫 桐生正幸 水田恵三（編）
出版社 北大路書房
出版年度 2009年12月20日 1版
ISBN 9784762822889

参考書 (任意購入)

必須ソフト・ツール

備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	健康心理学	担当教員	北島 順子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	①健康心理学の基礎的事項に関する知識、及び、隣接領域に関する理解を深める。 ②健康心理学に関する知識を実生活において活用できる。				
学習の進め方	①オンデマンド教材で学習する。 ②教科書で学習する。 ③課題に取り組む。				
	概 要			課 題	
学習内容	第1回 健康とは何か	健康の定義・歴史			ディスカッション
	第2回 健康心理学の意義	健康心理学とは、健康心理学台頭の背景			レポート
	第3回 健康長寿の秘訣	平均寿命、健康寿命			レポート
	第4回 健康とパーソナリティ	健康リスク要因とパーソナリティ			レポート
	第5回 健康とストレス	ストレスとは、ストレスの認知理論			レポート
	第6回 生活習慣と健康心理	健康習慣、生活習慣病			レポート
	第7回 食習慣と健康心理	食習慣、健康とダイエット、メタボリック・シンドローム			レポート
	第8回 食行動と健康心理	肥満とダイエットの心理、摂食障害			ディスカッション
	第9回 運動習慣と健康心理	運動習慣、運動の身体的・心理的効果			レポート
	第10回 嗜好行動と健康心理①	喫煙と健康、禁煙の秘訣			ディスカッション
	第11回 嗜好行動と健康心理②	飲酒と健康、アルコール依存症、薬物乱用防止のために			ディスカッション
	第12回 睡眠習慣と健康心理	睡眠習慣、睡眠障害			レポート
	第13回 家庭・学校における健康教育	家庭における健康教育で大切にしたいこと			ディスカッション
	第14回 職場・地域における健康教育	職場・地域環境、職場におけるメンタルヘルスケア対策			レポート
	第15回 まとめ	各回のまとめ			ディスカッション
成績評価方法	各回のレポート・課題 (60%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『健康のための心理学』 著者 小林芳郎編著 出版社 保育出版社 出版年度 2007年6月1日 ISBN 9784938795573				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	人格心理学	担当教員	五十嵐 英樹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標 人格（パーソナリティ）はどのように形成されるのでしょうか？人格に関わるさまざまな事柄を、さまざまな角度から心理学的に理解していくことを目指します。しかし、人の心は科学的に解明できていない未知の部分が多い領域です。既存の概念にとらわれすぎることなく、みなさんなりの率直な考えを大切にしながら、理解を深めていただきたいと思います。

学習の進め方 本授業では、教科書に沿って学習を進めていきます。学習を始める時には必ず、各講のオンデマンド教材を閲覧してから進めてください。また、各講の学習の最後には小テストを実施し、理解度を確認していきます。

	概 要	課 題
学習内容	第1講 人格心理学におけるパーソナリティとは？ パーソナリティの意味	小テスト
	第2講 パーソナリティの理論化 性格、人格、気質、個性	小テスト
	第3講 さまざまな性格理論① 類型論と特性論	小テスト
	第4講 さまざまな性格理論② 構造論	小テスト
	第5講 パーソナリティ理解① 観察と面接	小テスト
	第6講 パーソナリティ理解② 心理アセスメント、投影法	小テスト
	第7講 パーソナリティの発達の変化 発達とは何か？	小テスト
	第8講 パーソナリティの発達① 乳幼児から子ども時代の発達	小テスト
	第9講 パーソナリティの発達② 思春期以降の発達	小テスト
	第10講 パーソナリティ形成の要因 動機づけ、情緒、思考、言語、知能	小テスト
	第11講 健康なパーソナリティとは？ 社会適応、機能水準	小テスト
	第12講 パーソナリティの障害 精神疾患	小テスト
	第13講 ストレス ストレス評価、ストレス対処	小テスト
	第14講 パーソナリティと脳 脳の機能、脳の障害	小テスト
	第15講 パーソナリティの成熟 カウンセリング	小テスト
成績評価方法	各回の小テスト（30%）と単位修得試験の結果（70%）により評価する。	
教科書	著書 『パーソナリティと心理学 ―コミュニケーションを深めるために―』 著者 近藤 卓 出版社 大修館書店 出版年度 2009年9月1日 ISBN 9784469265446	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	カウンセリング心理学	担当教員	高橋 紀子 酒井 健(兼岡山) 具 英姫(東京)
レベルナンバー	300	単位数	2	資格名	認定心理士 CDA 受験資格
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全授業への出席 実施方法 レポート 試験会場 本学(さくら夙川キャンパス) 東京会場(東京サテライト) 岡山会場				

学習目標	カウンセリング心理学の定義、起源、歩みについて講じるとともに、代表的なカウンセリングを概観する。また、カウンセラーに必要な基本的態度に触れ、面接のプロセス時における課題や留意点について概説する。	
学習の進め方	パワーポイントを用いて説明する。必要に応じプリント類、ビデオを使用する。 また、カウンセリングのためのワーク、エクササイズも適宜行う。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 カウンセリング心理学の定義	
	定義を学ぶ	
	第2回 カウンセリング心理学の起源と歩み	
	歴史について知る	
	第3回 カウンセラーに必要な基本的態度 その1	
	ラポールについて学ぶ	
	第4回 カウンセラーに必要な基本的態度 その2	
	質問することについて考える	
	第5回 カウンセリングルームについて	
	快適な相談室の環境について考える	
	第6回 面接の実際 受见面接における課題や留意点	
	実際にカウンセリングするときに必要なことを押さえる	
	第7回 面接の実際 沈黙について	
	クライアントの沈黙の意味を考える	
	第8回 面接の実際 自己開示について	
クライアントが話をすることに思いを馳せる		
第9回 人間主義的理論におけるカウンセリング その1		
ロジャーズの理論を学ぶ		
第10回 人間主義的理論におけるカウンセリング その2		
ロジャーズの理論を学ぶ		
第11回 「グロリアと3人のセラピスト」について		
ビデオ鑑賞の前に必要な解説をする		
第12回 「グロリアと3人のセラピスト」 I		
実際のカウンセリングを鑑賞する		
第13回 「グロリアと3人のセラピスト」 Iの解説		
ロジャーズのカウンセリングについて学ぶ		
第14回 「グロリアと3人のセラピスト」 II		
ゲシュタルト療法のカウンセリングを学ぶ		
第15回 「グロリアと3人のセラピスト」 III		
論理療法のカウンセリングを学ぶ		
成績評価方法	授業中の小レポート(60%)と出席状況(20%)、授業態度(20%)により評価する。	
教科書	著書 『実践に役立つ臨床心理学』 著者 塩崎尚美 出版社 北樹出版 出版年度 2012年10月 改訂版 ISBN 9784779303425	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：	授業科目名	精神保健学	担当教員	堀川 諭
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格 社会福祉主事 任用資格

学習目標	近年、英国では、ガン、心疾患と並び、精神疾患を三大疾患に位置づけ、精神保健関連施策の充実が図られるようになりました。このように、現代社会において、精神保健はきわめて重要な問題となっています。この授業では、さまざまな角度から精神保健を学び、精神障害についての理解を深めたいと思います。				
学習の進め方	教科書を主教材として学習を進めます。各章のレポートを提出し、単位修得試験のレポートに取り組んでください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 精神保健の基礎 精神保健とは、精神保健の歴史、精神障害の原因、発達、知能と人格の心理検査			小レポート	
	第2章 精神症状の知識 意識の障害、知能の障害、記憶の障害、知覚の障害、思考の障害、感情の障害、意欲と行動の障害、自我の障害			小レポート	
	第3章 精神障害の知識 症状性を含む器質性精神障害 精神作用物質使用による精神および行動の障害 統合失調症 気分障害 神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 成人の人格および行動の障害 精神遅滞 心理的発達の障害 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 てんかん			小レポート	
	第4章 精神障害の治療 身体療法 精神療法 社会療法（精神科リハビリテーション）			小レポート	
	第5章 社会と精神保健 家庭と精神保健 学校と精神保健 職場と精神保健 病院と精神保健 施設と精神保健 災害と精神保健 地域精神保健福祉			小レポート	
成績評価方法	各章のレポート（50%）、単位修得試験のレポート（50%）				
教科書	著書 『新版 精神保健 第2版』 著者 石井厚 監修 出版社 医学出版社 出版年度 2010年9月24日 ISBN 9784870551084				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	el-Campusにて専用のレポート様式をダウンロードして使用してください。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	社会心理学	担当教員	森下 朝日
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	認定心理士 プレゼンテーション実務士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	人と人の相互作用や、社会の一員としての自分のあり方について考えることができる。				
学習の進め方	オンデマンド教材を主教材として学習を進める				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 社会的認知(1) 私たちの「もの見かた」	私たちが何かを理解し、判断するとき、頭の中では、どのような情報処理がなされているのだろうか。この回では、私たちが、あるものを見て、あるアクションを起こすまでの認知過程について学ぶ。さらに、知覚と記憶スキーマのしくみと特徴について学ぶ。			確認テスト
	第2回 社会的認知(2) ヒューリスティックと判断の偏り	私たちの社会的判断には、さまざまな形で偏りが生じやすい。この回では、判断の偏りを生じさせている人間の思考経路であるヒューリスティックについて学び、ヒューリスティックによって生じるさまざまな認知バイアスについて学ぶ。			確認テスト
	第3回 社会的態度(1) 態度とステレオタイプ	この回では、社会心理学を学ぶ上で重要な概念である「態度」について学習する。私たちが日常生活を営む上で、態度がどのように使われ、どのような役割を果たしているのかを知り、態度と深いかかわりを持つステレオタイプについて、その概念や機能、性質を学ぶ。			確認テスト
	第4回 社会的態度(2) 説得と態度変容	前回に引き続き、態度について学ぶ。認知のバランスが態度にどのような影響を与えるかを学んだ上で、説得的コミュニケーションがどのように態度を変容させるのか、その過程や機能について学習する。			確認テスト
	第5回 原因の帰属(1) 帰属理論と帰属スタイル	社会的認知や動機づけに大きな影響を及ぼす「帰属」について学ぶ。まず、帰属の定義と原理について学び、帰属についての基礎知識を身につけたうえで、自分自身の帰属スタイルを確かめる。			確認テスト
	第6回 原因の帰属(2) 帰属がやる気に与える影響	何かに成功したときや失敗したとき、帰属の仕方によって私たちのやる気がどのように変わるかを学ぶ。さらに、帰属の結果、無力感に陥ってしまったとき、どのようにすれば克服できるか、さまざまなアプローチから考える。			ディスカッション
	第7回 対人関係における心理(1) 対人魅力とその発展	対人関係における対人魅力について学ぶ。私たちが誰かに好意を抱くとき、どのような要因が関係しているか、また、そこから対人関係はどのように発展していくかについて学習する。			確認テスト
	第8回 対人関係における心理(2) 対人葛藤とその解決	前回は逆に、この回では、対人関係がこじれてしまったときに生じる対人葛藤について学ぶ。まず、対人葛藤のタイプと解決方法、そこで生じる認知バイアスについて学習し、その上で、葛藤の様相が帰属の仕方によってどのように変わるかを学習する。			確認テスト
	第9回 集団における心理(1) 集団とは何か	私たちは、社会生活を営むうえで、常に何らかの集団に属している。この回では、集団とはどのようなものか、人はなぜ集団に所属するのか、集団はどのようにして形成され、どのような機能を持つかなど、集団についての基本的概念を学ぶ。			確認テスト
	第10回 集団における心理(2) 集団から受ける影響	個々人が集団から受ける影響について、集団凝集性、すなわち「集団としてのまとまり」を軸に学習する。まとまりが強ければ、その集団は優れた成果を上げることができるのか。また、優れた成果をあげるための集団意思決定は、どのようになされるべきか。これらの点について考える。			確認テスト
	第11回 集団における心理(3) 同調と少数派の影響	集団から受ける圧力と、そこから引き起こされる同調行動について学習する。まず、同調とは何か、その定義や発生過程を学び、なぜ同調が起こるのか、何によって行動が左右されるのか、その要因を学習する。さらに、少数の人間が一貫した主張を行ったとき、集団内にどのような影響が生じるのかを学習する。			確認テスト
	第12回 集団における心理(4) リーダーシップとそのあり方	リーダーが集団に与える影響、ならびにリーダーのあり方について考える。全体を通じて、望ましいリーダーシップとは何かを模索するリーダーシップ論について、その内容と変遷を学習する。			確認テスト
	第13回 社会における心理(1) 群集心理と流言の伝播	群集という巨大な存在が私たち個人に与える影響を、平常時と非常時の2側面から学習する。さらに、流言がどのような要因で伝播し、どのように変容するかを学び、情報を正確に伝えるために、メッセージの送り手と受け手がどのような点に気をつけるべきかを考える。			確認テスト
	第14回 社会における心理(2) 道徳的判断	さまざまな社会的行動について、そのあり方を判断することを道徳的判断とよぶ。この回では、道徳的判断を左右する判断基準や発達段階について学ぶ。さらに、現代社会で大きな問題となっているインターネットを介した暴力について、道徳的判断の観点から考え、ディスカッションを行う。			ディスカッション
第15回 まとめ 一授業のふりかえり	この回では、まとめとして、第1回から第14回までの授業内容を振り返る。その上で、社会心理学とはどのような学問か、包括的に考える。			確認テスト	
成績評価方法	ディスカッションでの積極的発言(10%)および単位修得試験(90%)で評価する。				
教科書	著書 『図解雑学 社会心理学』 著者 井上隆二・山下富美代 出版社 ナツメ社 出版年度 2011年2月20日 ISBN 9784816329098				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	人間関係論	担当教員	森下 朝日
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	認定心理士 プレゼンテーション実務士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	人は社会生活の中で、常に誰かと影響しあいながら育ち、学び、他者との協力や競争を体験します。こうした人間関係の諸相に触れ、そこで生じる葛藤や心理状態を考察しつつ、望ましい人間関係について考えることがこの授業の目的です。	
学習の進め方	学習は、教科書を主とし、教科書の補足や要約・解説をデジタル教材にて確認する形となっています。また、自己を分析するための検査や実習の方法もデジタル教材にて提示されます。各章の終わりには確認テストが実施されますので、確実にクリアしてから次の章に進んでください。	
	概 要	課 題
学習内容	第1章 人間関係のなかの自己 人間関係を築くとき、私たちは、相手に対してさまざまなイメージを抱くのと同様、自分自身に対しても特定のイメージを抱く。そして、自分の行動や感情の動きを見つめながら、相手に対してどうアプローチしていこうかと考える。本章では、私たちがいかにして自分を知り、自己を評価し、それを他者へ表現するかについて考える。	確認テスト
	第2章 出会いからの人間関係の展開 私たちは、ある人と出会ったとき、その人がどういう人であるか、見た目や態度から判断しようと試みる。このとき、わかりやすく目立つものを基準にしたり、時には思いこみによって相手のタイプを決めつけてしまうことがある。本章では、対人認知や印象形成にどのようなメカニズムがあり、どのような思いこみが存在するかについて考える。	確認テスト
	第3章 言語的・非言語的コミュニケーション 私たちは一生を通じて、さまざまな人を相手に、さまざまなメッセージを送り続ける。時には相手の気持が分からないと悩み、自分の思いをうまく伝えることができないと苦しむ。対人コミュニケーションは複雑かつ繊細なものであり、人間関係を築く上での中枢となるものである。本章では、人と人のコミュニケーション、特に対面時の二者間のコミュニケーションの諸相について考える。	確認テスト
	第4章 好きと嫌いの人間関係 私たちは、さまざまな人間関係の中で、ある人を好きになったり、またある人を嫌いになったりする。私たちはなぜ他者に心惹かれるのだろうか。また、どうすれば親密な人間関係を築くことができるのだろうか。本章では、対人好悪や対人魅力と呼ばれる、この現実的かつ日常的なテーマについて考える。	確認テスト
	第5章 援助の人間関係 あなたは人を助けたことがあるだろうか。また、人に助けられたことはあるだろうか。なぜ人は人を助けようとするのだろうか。1964年にニューヨークで起きたある事件をきっかけに、援助行動にはさまざまな要因が関係していることが明らかとなった。本章では、援助行動を引き起こす要因と、援助行動を阻害する要因について考える。	確認テスト
	第6章 支配と服従の人間関係 私たちは、現代社会の中であって、人に影響を与え、また与えられながら生活している。こうした影響力の相互作用は、時に支配と服従の関係を生み出す。このとき、相手から受ける影響力の根拠となるのが社会的勢力である。本章では、社会的勢力の諸相について触れ、支配と服従の関係がどのような要因によって成り立つかを考える。	確認テスト
	第7章 攻撃と対立の人間関係 誰もこれまでに、誰かの悪口を言ったり、言葉を無視したり、罵ったり、時には暴力に訴えるなど、何らかの形で他者に対して攻撃行動を行ってきたことだろう。また、同様に、他者から攻撃を受けた経験も多いだろう。人はなぜ誰かを攻撃するのだろうか。また、こうした攻撃行動を促進する要因はどのようなものだろうか。本章では、攻撃行動の諸要因について学ぶとともに、望ましい人間関係のあり方について考える。	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験の結果（100％）により評価する。	
教科書	著書 『イラストレート 人間関係の心理学』 著者 齋藤 勇 出版社 誠信書房 出版年度 2011年5月25日 ISBN 9784414301502	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	文化心理学	担当教員	亀井 美弥子
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標 文化的存在である人間にとって、その心理的側面が文化と切り離せないものであることはいままでもない。本講座では文化と人間の行為、活動、発達との関係についていくつかの理論的立場とその関連領域について理解を深めることをめざす。各章の論説の背後に共通した文化心理学的観点があることに気づいてほしい。具体的な学習目標としては重要なキーワードを適切な文脈において使用できることとする。

学習の進め方 教科書を利用しての学習とするが、学習の順序が教科書の章立てと異なるので注意すること。適宜、補足説明や資料を提示する。学習テーマの区切りには小テストを実施する。学習者は基本的な心理学の知識を持っていることが望ましい。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 文化心理学の起源と源流 (教科書0章) 文化心理学の起源と源流について理解する。	小テスト
	第2回 社会心理学アプローチ (教科書8章) 文化心理学と比較心理学のアプローチの違い、集団主義-個人主義の問題について理解を深める。	小テスト
	第3回 文化認知論 (教科書6章) 主にブルーナーの理論から認知発達の文化的問題を理解する。	小テスト
	第4回 生物学的側面と文化的側面の統合 (教科書7章) 主にトマセロの理論からヒトの生物学的側面と文化との関連について理解する。	小テスト
	第5回 ヴィゴツキー理論 (教科書1章) ヴィゴツキーの理論について理解する。	小テスト
	第6回 社会文化的アプローチ (教科書2章) ワーチの理論の概要を理解する。	小テスト
	第7回 社会歴史的発達論 (教科書3章) 社会的実践のなかでの発達について理解する。	小テスト
	第8回 活動理論 (教科書4章) 活動理論と呼ばれる理論的立場について理解する。	小テスト
	第9回 状況論 (教科書5章) 状況論と呼ばれる理論的立場について理解する。	小テスト
	第10回 認知科学と文化心理学 (教科書9章) 文化心理学と共通する認知科学的視点について理解する。	小テスト
	第11回 心の社会理論 (教科書10章) 相互行為分析について理解する。	小テスト
	第12回 日本語教育における「文化」解釈 (教科書11章) 日本語教育における「文化」という問題について考える。	小テスト
成績評価方法	単位修得試験の結果 (100%) により評価する。	
教科書	著書 『朝倉心理学講座11 「文化心理学」』 著者 田島信元 (編) 出版社 朝倉書店 出版年度 2010年9月10日 ISBN 9784254526714	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	産業・組織心理学		担当教員	服部 泰宏
レベルナンバ	300	単位数	2			
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★			
単位修得試験	受験資格 実施方法 試験会場	全ての教材が「済」になること レポート —			資格名	認定心理士 CDA 受験資格 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	組織の中で働くということについて「考える力」を養うことを目指す。各回の講義で、組織の中で働くということについて考えるための理論・視点を提供する。みなさんに目指してほしいのは、そうした理論・視点を丸暗記することではなく、それらを使って組織の中で起こっていることについて「考える力」を身につけることである。					
学習の進め方	この授業では、デジタル教材を主教材として学習を進める。各回の学習の最後に提示される課題をクリアし、次の回に進む。 1. デジタル教材での学習 2. 指示に従い、教科書を講読 3. 課題に取り組む					
学習内容	概 要					課 題
	第1回 イントロダクション	「産業・組織心理学」とはどのような学問か、どのような歴史的背景の中で研究が蓄積され、今日この学問を学ぶ意義はどこにあるのか、ということについて理解することを目指す。				レポート
	第2回 人のやる気について考える①：モチベーションの3系統	第2回から第4回までは、モチベーション理論を紹介し、人のやる気について考える。第2回では、モチベーション理論の体系について理解し、その全体像を把握することを目指す。				レポート
	第3回 人のやる気について考える②：緊張系のモチベーション	何かが欠乏していたり、まだ達成していない課題を自覚したりするとき、私たちはそうした緊張状態を解消しようとして心理的エネルギーを生じさせる。第3回は、このようなマイナスのエネルギーに基づくやる気について考察し、こうした側面のやる気が実は私たちにとって必要不可欠であることを理解することを目指す。				レポート
	第4回 人のやる気について考える③：希望系のモチベーション	人はマイナスのエネルギーによってだけでなく、積極的な夢、希望、目標、憧れ、自己実現、楽しみなどによっても心理的エネルギーを発生させる。第3回の講義内容と合わせて、私たちのやる気が単一の理論では必ずしも説明できないことを理解することを目指す。				レポート
	第5回 仕事人生について考える①：キャリアとは何か	私たちは「今日は頑張った」「最近やる気がない」といった短期的な視点だけでなく、長い仕事人生をどう過ごすか「10年後に私は何をしているだろうか」といった長期的な視点を持つ必要がある。第5回から第8回では、長期的な仕事人生について考える。第5回では、キャリアとモチベーションの違いを説明したうえで、キャリアに関する理論が大きく分けて3つの系統に分類できることを説明する。自分自身の仕事人生について考える際、キャリアという視点がいかなる意味で有効なのかということを理解することを目指す。				レポート
	第6回 仕事人生について考える②：ジグソーパズルとしてのキャリア	第6回はキャリアに関する3系統の理論のうち、ジグソーパズルとしてのキャリアと呼ばれるものについて説明する。個人の特性や能力と様々な仕事に必要な特性や能力をいかにマッチングさせるか、ということについて理解することを目指す。				レポート
	第7回 仕事人生について考える③：階段としてのキャリア	私たち人間の成長は、成人とともに終わるのではなく、生涯にわたって続く。年齢を重ねることに私たち乗り越えるべき課題が現われ、それを克服することによって少しずつ成長していくことができる。第7回は、仕事人生の発達的な側面について理解することを目指す。				レポート
	第8回 仕事人生について考える④：旅としてのキャリア	私たちの仕事人生は、あらかじめ決められたルートを進んでいくとは限らない。仕事人生は、時として山や谷を越えたり河を渡ったりする旅のように予測のできないもの。第8回では、仕事人生の偶発的で予測不可能な側面、それらに対処する方法について理解する。				レポート
	第9回 集団について考える①：集団の功罪	私たちは、個人の限界を克服するために、物事に集団で取り組む。ただし、集団で物事に取り組むことによって、それを個人で行っているときには起こらないような問題点も発生する。第9回から第11回までは、こうした集団の功罪について考えていく。第9回では、集団の功罪について概観する。				レポート
	第10回 集団について考える②：集団による課題達成	集団の物事に取り組むことが必ずしも優れた結果を生むとは限らないということを、欧米の実証研究を紹介しつつ説明する。どのような場面で、集団は非効率になるのか。それはなぜか。こうした点について理解することを目指す。				レポート
	第11回 集団について考える③：集団とリーダーシップ	集団は時として非効率になるが、それは効果的なリーダーシップによってある程度解消できる。第11回は、集団とリーダーシップのかかわりについて理解することを目指す。				レポート
	第12回 リーダーシップについて考える①：リーダーシップとは何か	リーダーシップとは何か。リーダーシップとは一体どこにあるのか。こうした素朴な問題について考えた上で、リーダーシップの定義を行う。さらに、リーダーシップ理論には大きく分けて2つの系統があることを説明する。私たちが普段何気なく使っているリーダーシップとは、一体どのような現象なのかということについて理解することを目指す。				レポート
	第13回 リーダーシップについて考える②：特性理論と行動理論	第13回では、リーダーシップ理論の古典的な2つの系統について説明する。リーダーシップとは人が生まれつき備わった資質・能力であると主張する特性理論と、リーダーシップとは誰もが経験や学習を通じて獲得する行動パターンだと考える行動理論とを紹介する。おなじリーダーシップという言葉をめぐる様々な視点が存在すること、それらはそれぞれに正しいが、どちらも完全ではないということを理解することを目指す。				レポート
	第14回 リーダーシップについて考える③：新しいリーダーシップ理論	今日のような変化の激しい時代においては、古典的なリーダーシップ理論のようなリーダー像とは異なった種類のリーダーが求められる。第14回では、今日の産業組織にとって必要な、新たなリーダーシップのあり方について考える。リーダーシップという現象には、唯一最善のものなどなく、その時代や状況によって優れたリーダーシップが異なるということを理解することを目指す。				レポート
第15回 人と人のつながりについて	第15回では、人と人のつながりについて科学的に考える。「人脈が大事だ」とよく言われるが、とにかく知人を多く作ればそれでよいのか。人から人への「口コミ」による情報は、なぜあれほど早くしかも広範囲に広がっていくのか。こうした人と人のつながりに関する素朴な問題を、科学的に理解することを目指す。				レポート	
成績評価方法	成績は、次の項目を総合的に評価します。 (1)第1回から第15回までの「課題」の実施状況 (30%) (2)単位修得試験 (70%)					
教科書	著書 『産業・組織心理学エッセンシャルズ』 著者 外島裕・田中堅一郎 (編) 出版社 ナカニシヤ出版 出版年度 2010年11月15日 ISBN 9784888488808					
参考書(任意購入)	講義内で適宜指定します。					
必須ソフト・ツール						
備考						

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	心理学総合演習	担当教員	枚田 香(兼岡山) 具 英姫(東京)	
レベルナンバー	300	単位数	2			
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆			
単位修得試験	受験資格	15回の授業のうち2/3以上の出席をしていること			資格名	認定心理士
	実施方法	現地試験(レポート)				
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス) 東京会場(東京サテライト) 岡山会場				

学習目標 心理学のジャンルは多岐にわたっており、かといってそれぞれが浅いものではなく、深く広く学習することが理想ではあるが、現実には得意な分野についてより専門的な研究をすすめる方がいい。この先専門分野に特化するにしても、主な心理学の理論は知っておくべきことがないので、一通りの基本を再確認する授業にしたい。

学習の進め方 授業の前にテキストの該当する章に目を通しておくこと

	概 要	課 題
学習内容	第1回 ガイダンスおよび心理学の歴史 学派と中心的な研究法	小レポート
	第2回 心の進化と発達 ヒトが優れている理由	小レポート
	第3回 ライフサイクルと発達課題 生まれてから死ぬまでの心の発達	小レポート
	第4回 動機づけと情動 やる気と感情	小レポート
	第5回 性格と知能 性格類型、性格検査(心理テスト)、知能検査	小レポート
	第6回 ストレスとメンタルヘルス ストレスの理論とメンタルヘルスケアへの応用	小レポート
	第7回 カウンセリングと心理療法 カウンセリング技法と代表的な心理療法	小レポート
	第8回 感覚 人間の五感、刺激を処理する仕組み	小レポート
	第9回 知覚 感覚情報を脳で処理する仕組み	小レポート
	第10回 記憶 記憶のステップ、記憶の種類、忘却	小レポート
	第11回 学習 行動の変容、動機づけ	小レポート
	第12回 思考 問題解決、推論、創造力	小レポート
	第13回 脳と心 脳の仕組み、脳地図、脳損傷の影響	小レポート
	第14回 社会のなかの人と心理学 集団心理、群集心理	小レポート
	第15回 まとめ 全体の振り返り	小レポート

成績評価方法 平常点(60%)、レポート(40%)

教科書 著書 『はじめて出会う心理学』
著者 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行(著)
出版社 有斐閣アルマ
出版年度 2010年12月25日 改訂版
ISBN 9784641123458

参考書
(任意購入)

必須ソフト・ツール

備考 随時プリントを配布
受講者上限人数 グループワークを含む講義40名

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学 2013年度以前入学生：	授業科目名	カウンセリング論	担当教員	酒井 健 辻野 達也
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	レポート			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	「カウンセリング」についての理論と技法について、主要な学派の考え方とその実際について学びます。				
学習の進め方	講義を中心にしてすすめます。受講人数によりますが、なるべくディスカッションを取り入れたいと思います。ただ理屈を覚えるのではなく、実際にどういった使い方をするのかについて理解を深めるために、積極的に発言するようにしてください。教科書は、前提となる知識の確認の意味も含めて、事前に読んでおくことを強くすすめます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 カウンセリングの基本	カウンセラーの基本姿勢である傾聴の技法について、考え方と方法を学ぶ。			
	第2回 カウンセリングの流れ	カウンセリングも基本的な流れについて理解する。			
	第3回 パーソナリティ理解の基礎	心理理解のために必要なパーソナリティに関する理論を学ぶ。特に精神分析の中の対象関係論に基づく発達論的人格論を学ぶ。			
	第4回 パーソナリティ理解の応用1	芸術作品を例に、パーソナリティの具体的な理解の仕方について学ぶ。			
	第5回 パーソナリティ理解の応用2	パーソナリティ理解の応用1に引き続き、芸術作品を例に、パーソナリティの具体的な理解の仕方について学ぶ。			小レポート作成
	第6回 共感的理解の練習1	カウンセラーの基本である、共感的理解について学ぶ。			
	第7回 共感的理解の練習2	共感的理解が実際にどのように行われるかについて学ぶ。			
	第8回 傾聴の練習1	積極的傾聴の練習を行う。グループになり役割を変えながら、練習とディスカッションを行う。			
	第9回 傾聴の練習2	積極的傾聴の練習を行う。グループになり役割を変えながら、練習とディスカッションを行う。			
	第10回 傾聴の練習3	積極的傾聴の練習を行う。グループになり役割を変えながら、練習とディスカッションを行う。			小レポート作成
	第11回 ロールプレイ1	15分～20分程度のロールプレイを行い、ディスカッションによって、共感的理解や応答の仕方、相談者の気持ちの理解の方法について学ぶ。			
	第12回 ロールプレイ2	15分～20分程度のロールプレイを行い、ディスカッションによって、共感的理解や応答の仕方、相談者の気持ちの理解の方法について学ぶ。			
	第13回 事例の批判的検討1	模擬事例のビデオを見た後に、これまで学んだことを活かして批判的にディスカッションを行い、理解を深める。			
	第14回 事例の批判的検討2	模擬事例のビデオを見た後に、これまで学んだことを活かして批判的にディスカッションを行い、理解を深める。			
	第15回 振り返りとまとめ	質疑を中心に、まとめとしてディスカッションを行う。			まとめレポート作成
成績評価方法	小レポートの内容(30%)、授業への取組(ディスカッションにおける発言やワークへの取組などを含む 30%)、単位修得試験(40%)とする。				
教科書	著書 『カウンセリング・心理療法の基礎—カウンセラー・セラピストを目指す人のために』 著者 金沢吉展編 出版社 有斐閣 出版年度 2007年12月10日 1版 ISBN 9784641123373				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

ライフデザインメジャー科目

メジャー（専修）について

2014年度よりカリキュラム編成の変更にともない、メジャー（専修）名が新しくなります。
2013年度以前に入学した学生は、従前のメジャー（専修）名を記しました。
各自入学年度に該当するメジャー（専修）名を確認してください。

例) 授業科目名「カウンセリング心理学」

- ・2014年度入学生：心理学、ビジネスキャリア
- ・2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解

※メジャー（専修）欄が空白の場合は、メジャーに該当しません。

また、2014年度入学生は、一部メジャー（専修）が重複する科目があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	哲学	担当教員	石毛 弓
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート(第9回の授業内で課題の提示を行う) 試験会場 ー			資格名	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各回で紹介された哲学思想について、簡単にまとめることができる ・各回の学習の最後に設けられた課題において、自分なりの考えを書くことができる 				
学習の進め方	<p>この授業では、オンデマンド教材を読み問いに答えることで学習を進めます。 必要に応じて教科書を参照する場合があります。 各回の学習の最後には課題がありますので、提出してから次の回に進んでください。</p>				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 哲学をしてみるとはということか	「哲学」という考え方についての概説および主な授業の進め方について			確認テスト、 ディスカッション
	第2回 古代ギリシャ哲学Ⅰ	ソクラテス以前の古代ギリシャ哲学について			確認テスト、 ディスカッション
	第3回 古代ギリシャ哲学Ⅱ	ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて			確認テスト、 ディスカッション
	第4回 中世哲学	アウグスティヌス、トマス・アクィナスについて			確認テスト、 ディスカッション
	第5回 近代哲学	デカルト、スピノザ、ライプニッツについて			確認テスト、 ディスカッション
	第6回 イギリス経験論	ベーコン、ホブズ、ロック、パークリ、ヒュームについて			確認テスト、 ディスカッション
	第7回 18世紀ドイツ哲学	カントについて			確認テスト、 ディスカッション
	第8回 ドイツ観念論	フィヒテ、シェリング、ヘーゲルについて			確認テスト、 ディスカッション
	第9回 現代哲学のはじまりⅠ	ショーペンハウアー、キルケゴール、ニーチェについて			確認テスト、 ディスカッション
	第10回 現代哲学のはじまりⅡ	マルクス、フロイトについて			確認テスト、 ディスカッション
	第11回 現象学	フッサール、ハイデガーについて			確認テスト、 ディスカッション
	第12回 言語哲学	ソシュール、フレーゲ、ラッセル、ワイトゲンシュタインについて			確認テスト、 ディスカッション
	第13回 構造主義	レヴィ=ストロース、ラカン、バルトについて			確認テスト、 ディスカッション
	第14回 ポスト構造主義	フーコー、デリダ、ドゥルーズ=ガタリについて			確認テスト、 ディスカッション
	第15回 第1～14回の確認	第1～14回のまとめ			確認テスト
成績評価方法	平常点(30%)、各回の課題提出(15%)、レポート試験(55%) ※平常点は、期間内に学習が完了できたかや、提出課題の内容などを含みます				
教科書	著書 『はじめての哲学史』 著者 竹田青嗣・西研 出版社 有斐閣アルマ 出版年度 2011年2月15日 1版 ISBN 9784641120464				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	倫理と道徳	担当教員	石毛 弓
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標
 ・各回の学習の最後に設けられた課題において、自分なりの考えを書くことができる。
 ・すべての授業を受講し終えた時点で、自己の価値判断基準を自覚し、その基準でもって授業で習った課題を評価する（自分なりの考えを書く）ことができる。

学習の進め方
 この授業では、オンデマンド教材を読み問いに答えることで学習を進めます。
 必要に応じて教科書を参照します。
 各回の学習の最後には課題がありますので、提出してから次の回に進んでください。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 倫理って？ 道徳って？ ——概論 ・「倫理」と「道徳」の概念について ・今後の学習の見通しについて	ディスカッション
	第2回 「幸福」という基準 ——功利主義Ⅰ 功利主義について ——ベンサムを中心に	ディスカッション
	第3回 量の問題、質の問題 ——功利主義Ⅱ 功利主義について ——ミルを中心に	ディスカッション
	第4回 「人格」について ——義務論Ⅰ 義務論について	ディスカッション
	第5回 「嘘」について ——義務論Ⅱ 倫理学における「嘘」のとらえ方について	ディスカッション
	第6回 自然なルールとしての倫理・道徳 ——社会契約説 社会契約説について	ディスカッション
	第7回 分配のルールとしての倫理・道徳 ——正義論 正義論について	ディスカッション
	第8回 徳、ケア、共同体 ——徳倫理学 徳倫理学について	ディスカッション
	第9回 「である」と「べきである」のちがいは ——メタ倫理学 メタ倫理学について	ディスカッション
	第10回 いか生きるかということ ——生命倫理学Ⅰ QOL、インフォームド・コンセントを中心とした生命倫理学について	ディスカッション
	第11回 人格と責任 ——生命倫理学Ⅱ 人格論を中心とした生命倫理学について	ディスカッション
	第12回 自然の生存権の問題 ——環境倫理学Ⅰ 自然の生存権の問題を中心とした環境倫理学について	ディスカッション
	第13回 地球全体主義、世代間倫理 ——環境倫理学Ⅱ 地球全体主義および世代間倫理を中心とした環境倫理学について	ディスカッション
	第14回 現代倫理学あれこれ 現代におけるさまざまな倫理学について	ディスカッション
成績評価方法	各回の課題状況（35%）およびレポート試験（65%）	
教科書	著書 『動物からの倫理学入門』 著者 伊勢田哲治 出版社 名古屋大学出版会 出版年度 2010年4月15日 1版 ISBN 9784815805999	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	宗教学	担当教員	長谷川 琢哉
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標
日本人は「宗教オンチ」であるとか、「宗教嫌い」であるとかよく言われます。特に特定の宗教を深く信仰していない人は宗教に対して良くないイメージを持つことが多いのではないのでしょうか。しかしその反面、お正月、お盆、クリスマスなど、私たちの日常生活には本来宗教的な意味をもつ行事、習慣などが数多く存在します。また現代の世界情勢を知るためには、宗教の理解は欠かせません。そもそも宗教は人間の生や死と密接に関わるものであり、私たちの生活から完全に排除することは不可能なものです。なんとなく否定的なイメージを持つだけの宗教理解は貧困で不十分なものではないでしょうか。そこで本講義では、宗教について様々な角度からあらためて考えることを目標とします。本講義では現代社会において宗教が問題になる色々な場面が扱われます。それについて受講者の一人一人が問題の所在を把握し、自分で考えるようになることが本講義の最終的な目標です。

学習の進め方
・この授業は教科書を中心とした学習と、確認テスト、小レポート、単位修得試験レポートによって構成されています。
・学習の際にはひとつひとつの課題を順番に進めてください。
・なお、小レポートにはコメントを付けますので、次のレポートに取り組む前に確認してください。

	概 要	課 題
学習内容	第1回(序章) 宗教学への入り口 宗教を学問的に考えるということ ・「自分と宗教との関わり」、「日本人は無宗教か」など	
	第2回(第1章) 生と死の意味を問う 生や死という事柄について、宗教はどのようにとらえているのか ・「いのちの尊さ」、「妊娠中絶問題」、「脳死判定」、「ホスピス」など	
	第3回(第2章) 生命の循環と継承 いのちや世代の循環。環境、家族、共同体における宗教について ・「環境問題」、「人間形成と宗教」、「心の教育」など	
	第4回(第3章) 救いと癒しの現場 人間の悩みや苦しみに宗教はどのように答えているのか ・「癒しと宗教」、「宗教性と霊性」、「宗教とボランティア」など	確認テスト
	第5回(第4章) 差別・暴力・権力と宗教 宗教と差別、暴力、権力などの関係を色々な角度から考えてみる ・「男性性と女性性」、「宗教と紛争」、「テロリズム」、「宗教NGO」など	
	第6回(第5章) 政治と宗教の相克 宗教と政治はどのように関係しているのか ・「靖国問題」、「慰霊」、「アメリカの公共宗教」、「パレスチナ問題」など	確認テスト
	第7回(第6章) 現代社会における宗教 現代社会・消費社会における宗教の諸相 ・「カルト」、「原理主義」、「メディアと宗教」、「スピリチュアル」など	第1回小レポート
	第8回(第7章) 宗教における実践 身をもって生きられた宗教を考える ・「祈りと瞑想」、「祭祀と儀礼」、「修行」、「伝道」、「シャーマン」など	
	第9回(第8章) 宗教における言葉 言葉という角度から宗教をとらえる ・「言霊」、「神話と物語」、「教義と神学」、「声と文字」など	確認テスト
	第10回(第10章) 宗教における本質と規範 「あるべき」宗教の規定とその問題点について ・「神秘主義」、「戒律と禁欲」、「宗教の普遍性」、「宗教の本質」など	第2回小レポート
	第11回(第12章) 「宗教」概念と宗教学 「宗教」という概念と「宗教学」という学問の成立について ・「宗教」概念の近代性、「宗教と科学」、「宗教比較の方法」など	
	第12回(第13章) 宗教を心理において問う 「心理」という角度から宗教を考える ・「宗教体験」、「宗教心理学」、「強さと弱さ」、「臨死体験」など	確認テスト
	第13回(第15章) 宗教を思想において問う 宗教を思想的に考える ・「宗教多元論」、「ポストモダンと仏教」、「無神論」、「神義論」など	
	第14回(第16章) 新しい問いと宗教学 20世紀後半以降の「知」と宗教学の動向 ・「ポストコロニアリズム」、「フェミニズム」、「オリエンタリズム」など	第3回小レポート
	第15回(終章) 宗教学の実践 宗教を学ぶということの難しさや危険性 ・「他者の宗教とどう関わるのか」など	確認テスト

成績評価方法
単位修得試験レポート(70%)
小レポート3回(30%)

教科書
著書 『宗教学 キーワード』
著者 島蘭進、葛西賢太、福嶋信吉、藤原聖子 [編]
出版社 有斐閣
出版年度 2011年4月30日 初版
ISBN 9784641058835

参考書(任意購入)
参考図書は教科書の各章の最後に多く挙げられていますので、興味がある方は自分で読んでみましょう。

必須ソフト・ツール
備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	生命科学	担当教員	渡辺 勉
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	生命科学は難しいと思われがちだが、実際の日常生活に深く関わっている。生命科学の基礎と現状を知り、どのような形で生活の中に入っているのかを具体的にみる。そして、生命科学の及ぼす影響がメリットばかりでなくデメリットもあることを理解し、生命科学の成果について批判的に考える力を身につける。				
学習の進め方	(第1回～第15回) 本授業では、オンデマンド教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。教科書はオンデマンド教材の中でページを参照する指示があります。オンデマンド教材では取り扱わない情報も掲載されていますので是非、ご覧ください。 回ごとに確認テストがありますのでクリアしてから次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 生命科学とは何か?	生命科学とはどのような科学かを歴史や具体例を通して理解する	確認テスト		
	第2回 ヒトの進化	ヒトがサルから進化した歴史を知り、ヒトとは何かを知る	確認テスト		
	第3回 生命の誕生	海から生命が誕生し、突然変異と環境適応により多様な生物が誕生してきたことを知る	確認テスト		
	第4回 細胞	生物の体を構成する細胞の構造や機能を理解する	確認テスト		
	第5回 DNAとRNA	DNAとRNA、ゲノムや遺伝子の基礎を学ぶ	確認テスト		
	第6回 遺伝子について	遺伝子の基本的な働きを学び、遺伝子がわかることで何が出来るようになったかを理解する	確認テスト		
	第7回 がんと遺伝子	がんと遺伝子の関係を学び、がんのメカニズムと予防について理解する	確認テスト		
	第8回 ウィルスと細菌	細菌とウィルスの違いを知り、感染症について理解を深める	確認テスト		
	第9回 免疫のシステム	ヒトの生体防衛機構である免疫の基本を知り、その重要性を理解する	確認テスト		
	第10回 老化	老化のメカニズムについて、最新の知見を織り込みながら学ぶ。アンチエイジング医学についても理解を深める	確認テスト		
	第11回 生命を操る	遺伝子組み換えやクローンなど具体例を挙げながらその基礎知識や問題点を探る	確認テスト		
	第12回 生殖と発生、分化	生殖や発生の基礎的なメカニズムを知り、不妊治療についても考える	確認テスト		
	第13回 生物の多様性	生物多様性の重要性を知り、危機に瀕する多様性の問題点を理解する	確認テスト		
	第14回 生命倫理	生命倫理の生まれてきた歴史を知り、その重要性を理解する	確認テスト		
	第15回 まとめ	これまでに学んできたことを振り返り、生命科学のこれからを考える	確認テスト		
成績評価方法	課題や平常の学習態度 (40%)、単位修得試験 (60%) により総合評価する。				
教科書	著書 『生命科学の基礎—生命の不思議を探る—』 著者 野島博 出版社 東京化学同人 出版年度 2010年6月1日 1版 ISBN 9784807906512				
参考書(任意購入)	学習内容に沿って適宜提示する。				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	脳の科学	担当教員	西村 治彦
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	脳について知ることによって、心というものの理解に迫ります。 そして、「心とは意識と無意識を含めた脳活動の作用である」という観点に立って脳を科学することの大切さを理解します。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 脳の性質・無意識と脳の解釈 ○はじめに(脳を知り、心に迫る/脳を調べるメソッドロジー/鍵を握る無意識の世界) ○サイエンスの視点:対象におけるデータの相関関係と因果関係 ○錯覚・ゲシュタルト群化原理・顔認識に観る脳の癖 ○変化盲・単純接触現象・錯認帰属に観る脳の性質:行動への感情の妥協 ○サブリミナルな刺激への脳の反応と学習:やる気と直感のルーツ	レポート
	第2回 脳と記憶・記憶の役割 ○記憶の役割を探る:自我の存続とパターン・コンプリーション ○正誤の基準:慣れと記憶 ○好き嫌いの形成と記憶の再構築	レポート
	第3回 記憶の身体性 ○意識を越えた身体反応と感情の変化 ○分離脳・海馬損傷と記憶・行動 ○脳機能の前適応と心の構造	レポート
	第4回 生物の進化と感覚 ○脳のニューロン数と情報量、および生物の定義とチューリング・テスト ○脳と聴覚・皮膚感覚・嗅覚:そのしくみと機能 ○脳と視覚:そのしくみと機能	レポート
	第5回 意志と行動と脳活動 ○自由意志の測定とエイリアンアーム・シンドローム ○脳のゆらぎと行動 ○自由否定の存在、および行動の知覚	レポート
	第6回 脳の仕組み・自己言及の構造 ○脳の消費エネルギー・遺伝子と設計図・ニューロン活動 ○脳のフィードバックとリカーション ○おわりに	レポート
	成績評価方法	各回のレポート(60%)、単位修得試験(40%)
教科書	著書『単純な脳、複雑な「私」』 著者 池谷裕二 出版社 朝日出版社 出版年度 2010年3月1日 1版 ISBN 9784255004327	
参考書(任意購入)	『よくわかる最新「脳」の基本としくみ(How-nual Visual Guide Book)』、後藤和宏、秀和システム、1,470円(税込)、2009年 『心の脳科学「わたし」は脳から生まれる』、坂井克之、中央公論新社、945円(税込)、2008年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	身体科学	担当教員	渡辺 勉
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	自分の体のことは意外と知らないものだ。人間の体の基本的な構造や機能を理解し、怪我や病気をした際に、適切な対処行動を取れるように自分の身体との付き合い方を学ぶ。また、マスメディアやインターネットにあふれる健康情報に振り回されない知識を身につける。				
学習の進め方	オンデマンド教材を主教材として授業を進める。教科書で事前に予習をしているとより理解しやすい。適宜、参考資料を提示している。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 身体科学とは何か？	身体科学を歴史的に概観し、ヒトの体の構造や機能の概略を知る。身体科学のこれからについても考える			確認テスト
	第2回 歩く、走る、立つ、座る	ヒトの骨格や筋肉について学び、二足歩行の巧妙さを知る			レポート
	第3回 食べるということ	食べ物の栄養素や消化、吸収について学ぶ			確認テスト
	第4回 メタボリック症候群とは？	メタボリック症候群について知り、肥満が万病の元であることを理解する。また、予防法を考える			レポート
	第5回 病気から体を守る	病気とは何かを知り、人体に備わった免疫システムなど外敵からの防御システムを知る			確認テスト
	第6回 眠るということ	睡眠とサーカディアンリズムについて学び、睡眠障害の現状を知る			レポート
	第7回 体調を整える	自律神経やホルモンについて理解する。環境ホルモンについても学ぶ			確認テスト
	第8回 酸素は体をめぐる	心臓、肺、血管の構造と機能を知る。臓器移植についても考える			レポート
	第9回 見る、聞く、味わう…	五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）について学び、痛みとはどういうものかを知る			確認テスト
	第10回 体内をきれいにする	人体に備わっている排泄機能とそれを担っている臓器について知る			レポート
	第11回 記憶や情動は脳の働き	脳の基本的な構造や機能を知る			確認テスト
	第12回 子どもを産むということ	受精、妊娠、出産について理解する。不妊治療の現状や性感染症についても学ぶ			レポート
	第13回 疲れるとは？	疲労研究の最前線を見る			確認テスト
	第14回 喫煙・飲酒と健康	たばこの害、お酒やコーヒーの効用と害、薬物依存症の怖さを知る			レポート
成績評価方法	課題や平常の学習態度が（40%）、単位修得試験が（60%）で評価する。				
教科書	著書 『図解入門 よくわかる生理学の基本としくみ（図解入門 メディカルサイエンスシリーズ）』 著者 當瀬規嗣 出版社 秀和システム 出版年度 2011年3月20日 1版 ISBN 9784798012223				
参考書（任意購入）	『人体の構造と機能〈1〉解剖生理学（系統看護学講座 専門基礎分野）』、坂井建雄、医学書院、3,990円（税込）、2009年 学習内容に沿って適宜提示する				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	俳句と川柳	担当教員	川本 皓嗣
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標

俳句がたぶん世界最短の「まじめな」詩であることは、よく知られている。とはいえ、それが現にどれほど短いかについては、日本人自身でさえ、本当によく実感しているとは言いがたい。西洋では、俳句はわずか三行の極端な短詩だと見なされている。たしかに西洋では、もっとも短い「まじめな」定型詩でも十四行の長さをもつものだから、たった三行といえ、とんでもなく短い詩には違いない。だが実は、日本語俳句の五・七・五音、あわせて十七音は、英語やフランス語など西洋の言語の情報量に換算すれば、ほんの十音節にも足りない。つまり俳句は、西洋詩のわずか一行よりもっと短い詩なのであり、これは極端に短い諺か、コマーシャル・メッセージなみの信じがたい短小である。「閑（しづか）さや岩に浸（し）み入る蟬（せみ）の声」——ほとんど意味不明の片言（かたこと）に近いこのようなテキストが、そもそもどのようにして「詩」であり得るのか、なぜ複雑微妙な意味をはらんで、読者に深い感動を与えるのだろうか。この講座では、芭蕉の名句の数々をじっくり読み味わいながら、そうした俳句の不思議な成り立ちとしくみを、一から考え直してみたい。あわせて、たぶん世界最短の「おかしい」詩である川柳についても、同じ観点から、あらためて見直してみたい。同じ五・七・五の短詩でも、俳句は季語と切字を含む芸術的な自然詩、川柳はそのどちらをも含まない軽快なユーモア詩・人情詩というのが一般的な見方であろう。そうした通念はおおむね当たっている。とはいえ、俳句と川柳がこれまでどって来た歴史を考えたとき、またどちらもわずかに十七音の極端に短い詩だという点から見ても、両者には以外に多くの共通点がある。この二つをはじめから別物だと決め付けず、むしろ兄弟のように近いもの、一本の木の枝分かれしたようなものと考えて、それぞれに似たところや異なるところを観察してみれば、色々とよく見えてくるものがありそうである。

本授業では、俳句と川柳の成り立ちや発展のあとをたどりながら、それぞれの詩としての特性を考え、あわせて俳句・川柳の古今の名作をじっくり味わってみることにする。

学習の進め方

第1回、第2回と各回、順を追って学習を進めること。
まず、各回のコンテンツで十分に学習をしてから教科書を熟読し、再度コンテンツにて学習をすること。

	概要	課題
学習内容	第1回 十七字の世界	
	第1節 俳句の短さ 第2節 ハイクとイメージ	小テスト
	第2回 読者は作者	
	第1節 俳句は脳が甘い 第2節 開かれた作品	ディスカッション、小テスト
	第3回 写生	
	第1節 リアリズム（写実主義） 第2節 俳句は十七字が出発点	小テスト
	第4回 本意の働き	
	第1節 歌語とコノテーション 第2節 季語、俳言	小テスト
	第5回 秋の夕暮	
	第1節 「万葉集」の「秋の夕暮」 第2節 「古今集」の「秋の夕暮」 第3節 「後撰集」以後の「秋の夕暮」 第4節 「新古今集」の「秋の夕暮」と「三夕」	小テスト
	第6回 俳句の二重構造	
	第1節 滑稽の本質 第2節 詩的意義と文体特徴	小テスト
	第7回 誇張 一表現・意味の構造(1)	
	第1節 「も」考 第2節 「も」以外の誇張	小テスト
	第8回 矛盾 一表現・意味の構造(2)	
第1節 矛盾法(1) 第2節 矛盾法(2) 第3節 矛盾法(3)	小テスト	
第9回 意義の方向づけ		
第1節 干渉部の働き(1) 第2節 干渉部の働き(2)	ディスカッション、小テスト	
第10回 「閑かさや」の句		
第1節 「岩にしみ入る蟬の声」 第2節 「閑かさや」	小テスト	
第11回 俳句の翻訳		
第1節 俳句の翻訳における問題点 第2節 様々な俳句の英訳	小テスト	
第12回 芭蕉の桜		
第1節 ミモロジスム 第2節 「花」と「桜」	小テスト	
第13回 川柳とは		
第1節 川柳の成り立ち(1) 第2節 川柳の成り立ち(2)	小テスト	
第14回 川柳の構造		
第1節 川柳の構造(1) 第2節 川柳の構造(2)	ディスカッション、小テスト	
第15回 川柳の名作		
第1節 川柳を楽しむ(1) 第2節 川柳を楽しむ(2)	小テスト	

成績評価方法

平常点（コンテンツ学習、ディスカッション、小テスト）50%、単位修得試験50%

教科書

著書 『日本詩歌の伝統—七と五の詩学—』
著者 川本皓嗣
出版社 岩波書店
出版年度 2010年4月5日
ISBN 9784000016889

参考書(任意購入)

必須ソフト・ツール

備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	法律を知る	担当教員	前田 春樹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	民法全般についての基本理念を理解する。 総則、物権、債権、親族、相続の個々の論点について問題点を理解し、法律的な思考を身につける。	
学習の進め方	この授業では教科書を主教材として学習を進めます。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 民法総則	レポート
	民法の基本理念、権利主体、意思表示	
	第2回 財産法(1) 物権	レポート
	物権変動と登記の関係	
	第3回 財産法(2) 債権	レポート
	債権の効力(契約の解除、損害賠償請求)、人的物的担保	
第4回 家族法(1) 親族	レポート	
婚姻、離婚、親権		
第5回 家族法(2) 相続	レポート	
日本の相続制度の骨組み		
成績評価方法	単位修得試験(100%)	
教科書	著書 『民法第八版』 著者 我妻栄 遠藤浩他 出版社 勁草書房 出版年度 2010年3月10日 8版 ISBN 9784326450824	
参考書(任意購入)	『トピックからはじめる法学』、今井雅子他、成文堂、2,625円(税込)、2010年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代の法律	担当教員	芦田 秀昭
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 教科書『ライフステージと法』は女子学生のために書かれた法学入門書です。人の生活に即してライフステージごとに社会の中での「生きた法」の姿を学習します。この授業の目標は「特に民事法（家族関係除く）について、社会と法との関係を学び、法律に関心を持つことができるようになる」ということです。

学習の進め方 この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には課題がありますので、課題を終わらせて次の回に進みましょう。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 社会人へのパスポート(1) 法的な一人前について学びます。	確認テスト
	第2回 社会人へのパスポート(2) 権利について考え、紛争の解決方法についても見てみます。	確認テスト
	第3回 働く自由・女であることの自由(1) 働く女性にとって重要な、男女雇用機会均等法について見ます。	確認テスト
	第4回 働く自由・女であることの自由(2) 子育てをしながら働く女性にとって重要な、ワーク・ライフ・バランスの考え方や育児・介護休業法の育児に関する部分を中心に見ていきます。	確認テスト
	第5回 働きかたいろいろ(1) ここでは、まず労働基準法を取り上げます。「同一労働同一賃金の原則」と「時間外労働」の規定を見ていきましょう。つきにパートタイム労働法の改正部分を見ていきます。	確認テスト
	第6回 働きかたいろいろ(2) 労働者派遣法における、労働者保護のポイントを見ていきます。	確認テスト
	第7回 スマートな消費者をめざして(1) この章では、特定商取引法、割賦販売法、消費者契約法などが出てきますが、割賦販売法は次回にまわして、今回は、特定商取引法、消費者契約法について見ていきます。	確認テスト
	第8回 スマートな消費者をめざして(2) 今回は、割賦販売法について見ていきます。	確認テスト
	第9回 スマートな消費者をめざして(3) 今回は民法の貸借借契約の規定および借地借家法について見ていきます。	確認テスト
	第10回 スマートな消費者をめざして(4) 今回は民法の不法行為責任と、PL法（製造物責任法）について見ていきます。	確認テスト

成績評価方法 単位修得試験 (100%)

教科書 著書 『ライフステージと法 (第5版)』
著者 副田隆重・浜村彰・棚村政行・武田万里子
出版社 有斐閣
出版年度 2010年11月20日 5版
ISBN 9784641123472

参考書
(任意購入)

必須ソフト・ツール

備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代家族法の諸問題	担当教員	芦田 秀昭
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	教科書『家族法の歩き方』は日本の家族法の入門書です。この教科書を読み込むことにより、現代の家族法の基礎知識を身につけるとともに、その問題点などを理解することがこの授業の目標です。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には課題がありますので、課題を終わらせて次の回に進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 家族と家族法	①現代日本の家族の姿：マクロの家族 ②家族とは何か ③家族法の特徴：ミクロの家族法 ④親族とは			確認テスト
	第2回 夫婦1 婚姻(1)	①結婚の条件 ②婚約 ③婚姻の要件 ④婚姻の無効・取消し			確認テスト
	第3回 夫婦2 婚姻(2)	①婚姻の夫婦間の効力 ②夫婦間の効力の壁 ③婚姻の第三者に対する効力 ④親の因果が子に及ぶ			確認テスト
	第4回 夫婦3 婚姻(3)	①夫婦財産制とは ②夫婦間の財産関係 ③夫婦と第三者の間の財産関係			確認テスト
	第5回 夫婦4 離婚(1)	①現代日本の離婚 ②離婚の方法 ③協議離婚の問題点 ④有責配偶者からの離婚請求			確認テスト
	第6回 夫婦5 離婚(2)	①配偶者間 ②親子間 ③他の親族間			確認テスト
	第7回 夫婦6 離婚(3)	①夫婦間の財産関係 ②財産分与 ③養育費			確認テスト
	第8回 夫婦7 内縁	①内縁の発生原因 ②保護の範囲と限界 ③重婚的内縁 ④内縁でも事実婚でもない関係			確認テスト
	第9回 親子1 実親子関係(1)	①嫡出子と非嫡出子 ②母子関係と父子関係 ③嫡出推定制度 ④嫡出推定制度の問題点			確認テスト
	第10回 親子2 実親子関係(2)	①任意認知 ②強制(裁判)認知 ③死後生殖と死後認知			確認テスト
	第11回 親子3 養親子関係	①普通養子 ②特別養子			確認テスト
	第12回 親子4 親権(1)	①親権は親の権利ではない ②親権者の決定と変更 ③親権の内容 ④親権の濫用			確認テスト
	第13回 親子5 親権(2)	①財産管理権 ②多額の財産を有する子 ③利益相反行為 ④代理権の濫用			確認テスト
	第14回 成年後見・扶養	①成年後見制度 ②扶養			確認テスト
成績評価法	単位修得試験 (100%)				
教科書	著書 『家族法の歩き方』 著者 本山敦 出版社 日本評論社 出版年度 2009年2月25日 1版 ISBN 9784535516199				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	消費者のための法律知識	担当教員	千代原 亮一
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	消費者法が社会の中で登場してきた歴史と背景をふまえて、消費者問題の現状と法的基礎知識について説明できる。 具体的な消費者問題について、適切な法的解決方法を考え、例をあげられる。				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材として、学習を進めます。 オンデマンド教材は、教科書の内容をまとめたものになっていますので、内容の理解を深めるために、教科書で補ってください。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 消費者法の意義・概要	消費者法の意義、悪徳商法、サラ金問題、消費者保護の必要性			確認テスト
	第2回 民法・特別法による救済	民法による救済、特別法（特定商取引法）による救済			確認テスト
	第3回 消費者契約法①	消費者契約法の概要、消費者契約法における意思表示の取消し			確認テスト
	第4回 消費者契約法②	消費者契約法における契約条項の無効			確認テスト
	第5回 不適正勧誘取引	高齢者の消費生活トラブル、クーリング・オフ			確認テスト
	第6回 マルチ商法・ネズミ講	ネズミ講、マルチ商法、悪質商法			確認テスト
	第7回 宗教商法	反社会的な宗教活動、宗教商法（強迫事例、詐欺事例、献金事例）			確認テスト
	第8回 先物取引	先物取引の意味、先物取引被害の救済方法			確認テスト
	第9回 製造物責任・欠陥住宅	製造物責任とPL法による解決、欠陥住宅被害の責任追及			確認テスト
	第10回 不動産取引・原野商法	原野商法被害と救済方法、投資型・リゾートマンション持分売買、住宅・マンション値下げ販売			確認テスト
	第11回 金融と消費者、保険・証券取引	消費者金融と商工ローン問題、ワラント取引被害、変額保険訴訟			確認テスト
	第12回 クレジット・サラ金問題と消費者	クレジット・サラ金被害、多重債務問題、貸金業法の改正			確認テスト
	第13回 インターネットと消費者保護	インターネットと消費者問題、ネット・オークションをめぐるトラブル、インターネットを利用したネズミ講、スパイウェア			確認テスト
成績評価方法	単位修得試験（100%）				
教科書	著書 『消費者法（第2版）』 著者 鳥谷部茂・山田延廣 出版社 大学教育出版 出版年度 2010年5月7日 2版 ISBN 9784887309692				
参考書 (任意購入)	『消費者法（第3版）』、大村敦志、有斐閣、4,095円（税込）、2007年 『消費者法講義（第3版）』、日本弁護士連合会編、日本評論社、4,725円（税込）、2009年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	暮らしの安全と消費者問題	担当教員	二階堂 達郎
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標 近年、私たちの生活水準は大きく向上し、消費生活は豊かになってきた。しかし、一方で、欠陥商品や公害・薬害などによる消費者被害、あるいは商品やサービスの販売や表示をめぐるトラブルは一向に絶えない。また、多重債務など消費者信用をめぐる問題も大きな社会問題になっている。この授業では、わたしたちの暮らしの安全を守るという観点から、消費者問題の理解を深めるとともに、実際に被害を被った場合にとるべき対処法などについて学ぶ。

学習の進め方 本授業は、教科書に基づいて学習を進めます。事前に、教科書の指定された範囲に目を通して授業に臨んでください。各単元の終わりに確認テストを実施しますので、これをクリアしてから次の回へ進んでください。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 消費者問題とは何か 消費者問題の定義、発生の背景、およびわが国における歴史について学ぶ。	確認テスト
	第2回 消費者被害の現状 消費者被害の実態と特徴について学ぶ。	確認テスト
	第3回 行政と企業の消費者問題対応 わが国の消費者行政の仕組みや企業の対応の現状と問題点について学ぶ。	確認テスト
	第4回 消費生活と契約 契約が消費者取引においてもつ意味や効力について学ぶ。	確認テスト
	第5回 消費者取引の問題点と無店舗販売 無店舗販売を中心とした消費者取引の現状と問題点、および特定商取引法の概要について学ぶ。	確認テスト
	第6回 特定商取引法の規制対象となる取引 特定商取引法の対象となっている取引と規制の内容について学ぶ。	確認テスト
	第7回 クーリング・オフ制度と消費者契約法 クーリング・オフ制度とその行使の仕方や、消費者契約法の概要について学ぶ。	確認テスト
	第8回 消費者被害の実態と被害事例① 特定商取引の規制となる商法について、消費者被害の事例を通じて被害への対処法を学ぶ。	確認テスト
	第9回 消費者被害の実態と被害事例② 特定商取引の規制となる商法について、消費者被害の事例を通じて被害への対処法を学ぶ。	確認テスト
	第10回 金融サービスと資産形成をめぐるトラブル 金融サービスと資産形成にかかわる消費者被害の事例を通じて、被害への対処法を学ぶ。	確認テスト
	第11回 不動産取引とその他のサービスをめぐるトラブル 不動産取引や各種サービスにかかわる消費者被害の事例を通じて、被害への対処法を学ぶ。	確認テスト
	第12回 消費者信用をめぐる問題 消費者信用についての理解を深め、消費者信用にかかわるトラブルへの対処法を学ぶ。	確認テスト
	第13回 商品・サービスの安全性をめぐる問題① 商品やサービスの安全にかかわる法的規制や被害の実態について学ぶ。	確認テスト
	第14回 商品・サービスの安全性をめぐる問題② 商品やサービスの安全にかかわる法的規制や被害の実態について学ぶ。	確認テスト
成績評価方法	各回の課題 (50%)、単位修得試験 (50%) により総合評価する。	
教科書	著書 『消費者問題入門』 編著者 吉田良子 出版社 建帛社 出版年度 2010年10月25日 3版 ISBN 9784767914428	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	家庭の経営	担当教員	二階堂 達郎
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			
学習目標	現代の家計は家族形態の多様化もあって急激に変化している。こうした中で、かつて家庭内で受け継がれてきた生活習慣や家計経営上の経験が実態にそぐわないことがしばしば生じている。この授業では、家計という特有な経済単位を経済的側面からとらえ直し、今日における家計の意義やあり方について考える。				
学習の進め方	本授業は、教科書と副読本を活用して学習を進めます。副読本には学習の目標、内容、資料および要点が記載してあります。教科書を参照しながら、副読本を中心に授業を進めます。各単元の終わりに小テストを実施しますので、これをクリアしてから次の回に進んでください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 家庭の経済	家庭の経済的なメカニズムの特徴や役割について学ぶ。			小テスト
	第2回 市場経済の中の家計	企業・政府など他の経済主体との相互関係や市場経済の中で家計が占める地位などについて学ぶ。			小テスト
	第3回 家事労働	家事労働の特徴、現状、問題点などについて学ぶ。			小テスト
	第4回 家計の収入	勤労者（サラリーマン）世帯の家計収入の構造、現状、動向などについて学ぶ。			小テスト
	第5回 家計の支出	勤労者（サラリーマン）世帯の家計支出の構造、現状、動向などについて学ぶ。			小テスト
	第6回 収支のバランスと生活水準	家計の収支の現状、動向や、生活水準にかかわる諸概念や問題について学ぶ。			小テスト
	第7回 資産と負債	勤労者（サラリーマン）世帯の資産と負債の現状、動向などについて学ぶ。			小テスト
	第8回 世帯の類型と家計	近年増加している高齢者世帯や単身世帯、共働き世帯などの家計の現状、動向、および問題点などについて学ぶ。			小テスト
	第9回 ライフサイクルと家計	家計の状態がライフサイクルに応じてどのように変化しているかについて学ぶ。			小テスト
	第10回 家計とライフプラン	ライフステージごとの家計の特徴とライフプラン（生活設計）について考える。			小テスト
	第11回 暮らしの安定と生活保障	暮らしを守るために知っておきたい、生活を保障するための社会保障などの制度や仕組みについて学ぶ。			小テスト
	第12回 暮らしの安全を守るために	暮らしの安全を守るために、食品・生活用品などの商品やサービスの安全性を確保するための制度や仕組みについて学ぶ。			小テスト
	第13回 消費者トラブルに遭わないために	さまざまな悪徳商法について理解し、その被害から身を守る方法について学ぶ。			小テスト
	第14回 クレジットやローンをめぐるトラブルに遭わないために	消費者信用をめぐるトラブルや多重債務の実態などについて理解し、それから身を守る方法について学ぶ。			小テスト
	第15回 環境にやさしい暮らし	ゴミ問題やリサイクルなど生活に身近な環境問題を学び、環境にやさしいこれからのライフスタイルについて考える。			小テスト
成績評価方法	各回の課題（50%）、単位修得試験（50%）により総合評価する。				
教科書	著書 『お金と暮らしの生活術』 著者 大藪千穂 出版社 昭和堂 出版年度 2011年5月20日 新版 ISBN 9784812211359				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	生活環境論	担当教員	大野 治代
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	

学習目標 生活環境に影響を及ぼす要因は多いが、ここでは人の日常生活に及ぼす日照・照明・色彩・騒音・温熱・換気・環境共生の諸要因について理解を深め、これらが住まいを介して人に及ぼす心理・生理的な影響に如何に対処すべきかについて考えます。住まいのデザイン方法ではなく、日常生活環境において健康で安全・安心な生活環境はどうあるべきか考えます。

学習の進め方 教科書の内容に基づいて進みます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 生活環境の変遷 環境の意味は、広義には地球環境や公害問題などが対象となる。ここでは、建物の内外および建物周辺など狭義の環境について検討する。 私たちを取り巻く生活環境は自然環境と社会環境の影響を受けている。1) 暮らしの変遷、2) 社会環境の動き、3) 日本の自然と暮らし、4) 世界の自然と暮らし	小テスト
	第2回 人と住まいと心理生理の関り 1) 住まいと環境、2) 人と心と身体、3) 人が環境から受ける刺激とそれに対する感覚器官の反応、4) 生活環境に対する高齢者と若者の反応	小テスト
	第3回 自然の光と住まい環境 1) 日照と人の意識、2) 太陽の動きと日当たり、3) 日影と建物高さ、4) 日射の遮蔽	小テスト
	第4回 照明と環境 1) 明るさと目の働き、2) 明るさと単位、3) 照明と雰囲気、4) 自然光(太陽光)とランプの光、5) 照明方法(窓からの光とランプからの光)	小テスト
	第5回 色彩の環境 1) 色の表示、2) 物の色と光の色、3) 色彩の心理・生理、4) 色彩計画、5) 景観照明、6) カラーユニバーサル	小テスト
	第6回 音の環境 1) 音の表示、2) 音の大きさ・高さ・音色、3) 音の伝わり方	小テスト
	第7回 騒音と生活環境 聞きたくない音は騒音です。大きな音は誰もが騒音と感じますが、日常生活音では個人による差異があります。 1) 騒音、2) 室内音響、3) 騒音規制	小テスト、 これまでのまとめ
	第8回 熱的な快適環境 四季がある日本では、快適である生活は種々の要因で決まります。ここでは、熱として感じる快適さの指標について考えます。1) 人と熱、2) 熱の指標、3) 温度と湿度	小テスト
	第9回 結露・カビ・ダニの環境 室内に結露が生じると、そこに埃が付き、カビが生えます。カビが生えると、それを食べるダニが増えます。まず結露が発生しない生活をするのが大切です。「湿り空気線図」を利用して、結露対策を考える。 1) 温度と湿度、2) 断熱、3) 結露	小テスト
	第10回 室内の空気汚染 1) 空気の汚れ(粒子状物質と揮発性物質)	小テスト
	第11回 シックハウス症候群・化学物質過敏症 内装材から発生する揮発性物質によるシックハウス症候群は建物を離れると症状は出ないが、化学物質過敏症は微量物質のあるところはどこでも発症する。	小テスト
	第12回 室内の換気 1) 自然換気、2) 機械換気、3) 換気計画	小テスト
	第13回 室内の気密性と臭い環境 日本の従来家は木造で隙間が多かったため、換気に配慮しなくても新鮮な空気が室内に流れ込んでいた。エネルギー効率を考えた気密性重視の建物では、換気計画が重要である。最近では、においを室内環境に利用する計画もあるが、汚れを隠すことも考えられるので、乱用は避けたい。	小テスト
	第14回 生活と環境共生 私たちが快適さを求め続けた結果、地球温暖化等の環境問題を引き起こした。限りある資源を守るため、美しく豊かな地球を次世代に引き継ぐため、私たちの生活の見直しが迫られている。 1) 生活と地球環境、2) 生活とエネルギー、3) 環境共生住宅	小テスト
	第15回 生活環境と設備 社会の経済や技術の進歩に伴い、快適な生活を可能とした設備機器の発達がある。生活と設備機器の役割について考える。 1) 住まいと給排水、2) ガス、3) 電化住宅、4) 空調	小テスト
成績評価方法	各回の小テストとこれまでのまとめ(50%)、単位修得試験(50%)より評価する。	
教科書	著書 『住まいの環境』 著者 図解住居学編集委員会編、大野治代、矢野隆、佐藤真奈美、山中俊夫、永村悦子、奥野芳弘著 出版社 彰国社 出版年度 2011年4月10日 ISBN 9784395280353	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	環境デザイン		担当教員 川窪 広明 井之上 節朗 神農 悠聖 松富 謙一 山野 松雄
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		資格名
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	私たちの生活空間を取り囲む環境について「建築」や「まちづくり」という観点から学習します。人間が暮らす建物やまちには、「良い環境」を取り入れ「悪い環境」を排除するという役割があります。この役割について理解し、私たちが健康で安全な生活を営む基本的な知識を学びます。				
学習の進め方	この授業は、5名の講師がそれぞれの専門分野から「環境デザイン」についてオンデマンド形式で講義を行います。各講師の講義を聴講したあと、各回の確認テストを行ってください。また各講師より推薦された参考図書がある場合は、ぜひ読んでください。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 環境デザインの考え方	「環境」をどのように捉えるかを理解し、熱帯性気候、地中海性気候、そしてわが国の気候と住居の関連性を例に、環境と建築との関係を考えます。(担当：川窪広明)			確認テスト
	第2回 身近な環境デザイン	人間が環境の情報を得るために使用する視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚について学びます。また、身近な建築やまちなみを見直し、環境デザインの面白さを再発見します。(担当：川窪広明)			確認テスト
	第3回 人間の行動と心理	人間の行動パターンがどのような心理状態で発生するかを学びます。そして安全で暮らしやすい環境のために、どのようにデザインを工夫すべきかを学びます。(担当：川窪広明)			確認テスト
	第4回 さまざまな色覚とカラーユニバーサルデザイン	遺伝や眼の疾患、加齢変化によるさまざまな色覚のしくみを理解し、できるだけ全ての人に見やすい色彩環境とするためにはどのようなことに配慮すべきかについて考えます。(担当：神農悠聖)			確認テスト
	第5回 色と建築	建築の色彩は大きな面積を占めるため、建築空間において色彩設計をする際は十分な検討が必要です。ここでは建築業界で色を伝達・記述する際に用いられる「マンセル表色系」と、色彩の心理的効果を考慮した建築の配色について学びます。(担当：神農悠聖)			確認テスト
	第6回 採光と窓	多くの方が家を建てるときに重要視するであろう「日当たり」の必要性を知り、採光を得るための窓の方式や、日照を調整する方法を学びます。(担当：神農悠聖)			確認テスト、前半のまとめ
	第7回 シックハウスと健康	現在、問題になっているシックハウス症候群とは何か、さらにそれが人間の健康にどのような影響を与えるのかについて説明します。(担当：山野松雄)			確認テスト
	第8回 シックハウスと原因	シックハウス症候群を引き起こす原因について説明します。またこれらの原因が住宅のどのような場所に潜んでいるのかについても説明します。(担当：山野松雄)			確認テスト
	第9回 シックハウスを防ぐために	すまいを新築したり改装したりする際、シックハウス症候群を防ぐためにどのような点に気をつけるべきか、設計方法から建築材料の選び方、すまいの手入れ方法について説明します。(担当：山野松雄)			確認テスト
	第10回 各部位における建築材料の使い分け	各部位における建築材料の基本的な使い方(材料選択)、本来の部位以外への使用例、その材料の持つ質感と安全性、室内環境を考慮した特性のある材料などを紹介します。(担当：井之上節朗)			確認テスト
	第11回 これから求められる建築設備	これからの高齢化社会を考えて必要とされるホームエレベーター、階段昇降機などの設計、設置計画やランニングコストのかからない自然エネルギーを利用したパッシブソーラーシステムについて学びます。(担当：井之上節朗)			確認テスト
	第12回 DIYの手法	住宅を管理するにあたり、アメリカなどでは一般化しているオーナーズマニュアル(ハウスマニュアル)の考え方を紹介し、具体的にDIYの方法と道具の使い方、住宅機器の定期点検について学びます。(担当：井之上節朗)			確認テスト
	第13回 コーポラティブ住宅の計画	コーポラティブ住宅は、地域社会における住環境の関わり合いを課題として供給されてきました。コーポラティブ住宅とは何かから、計画のプロセスを通じて良好なコミュニティが生み出される事を学びます。(担当：松富謙一)			確認テスト
	第14回 住宅再生の計画	木造密集地でのまちづくりを通じた空家の再生方法を学びます。住宅の再生から地域課題を解決する社会的意義を考え、住環境との関わり合いについての重要性を知ります。(担当：松富謙一)			確認テスト
	第15回 住宅の維持管理	住宅の完成後から建物維持管理についての方法を学びます。共同住宅の大規模修繕計画を参考に、日常の点検のしかたを知り、住宅の設計計画に生かします。(担当：松富謙一)			確認テスト
成績評価方法	前半のまとめ(40%)、単位修得試験(60%)により評価する。				
教科書	著書 『健康をつくる住環境』 著者 健康をつくる住環境編集委員会 出版社 井上書院 出版年度 2011年3月20日 1版 ISBN 9784753019779				
参考書(任意購入)	各講師が必要に応じて推薦する。				
必須ソフト・ツール					
備考	前半のまとめは、第1回から第6回の講義内容について行う。また単位修得試験は、第7回から第15回の講義内容について行う。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	働くことを考える	担当教員	後藤 亮子 堀上 晶子 (東京)
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	レポート③を試験とします。レポート③を提出するには、全授業へ出席する必要があります。			資格名 CDA 受験資格
	実施方法	現地試験 (レポート)			
	試験会場	本学 (さくら夙川キャンパス) 東京会場 (東京サテライト)			

学習目標	キャリア論の概要を理解し、社会を知ること、自分を知ることによってキャリアへの肯定的な意図を創ります。さらに社会人基礎力を体感することも加えて、「何のために働くのか」という問の答えを探索します。				
学習の進め方	個人演習やグループワークなど参画型で構成されています。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 現代社会とキャリアデザイン	現代社会におけるキャリアデザインの必要性を理解します。			
	第2回 キャリアデザインと人生設計	現代人のライフスタイルと職業について考察します。			
	第3回 キャリアデザインのための自己理解①	第3回、第4回、第6回、第7回では、自己のキャリア意識を明確にするために、自己理解の演習を行います。			
	第4回 キャリアデザインのための自己理解②	自己理解の演習			
	第5回 第1回～第4回の学びの整理	学びの整理として、振り返りを行います。 授業時間内にレポート課題①があります。			レポート①
	第6回 キャリアデザインのための自己理解③	自己理解の演習			
	第7回 キャリアデザインのための自己理解④	自己理解の演習			
	第8回 キャリアデザインと仕事理解①	第8回、第9回では、キャリア形成の外的環境 (社会、就労環境) を理解し、多様な働き方を考察します。			
	第9回 キャリアデザインと仕事理解②	働き方の考察			
	第10回 第5回～第10回の学びの整理	学びの整理として振り返りを行います。 授業時間内にレポート課題②があります。			レポート②
	第11回 キャリア理論の基礎①	第11回～第12回ではキャリア形成に役立つキャリア理論の中から代表的な考え方を学びます。			
	第12回 キャリア理論の基礎②	キャリア理論の学習			
	第13回 キャリアデザインと基礎能力～社会人基礎力の養成①	企業が職場で求める能力を「社会人基礎力」と呼びます。 第13回～第14回では、仕事と個人をつなぐ役割をなす社会人基礎力を体感し、働くことを考える材料のひとつに加えます。			
	第14回 キャリアデザインと基礎能力～社会人基礎力の養成②	社会人基礎力を体感する演習			
第15回 全過程の学びの整理	質疑応答と意見交換を行います。 レポート課題③として当科目を受講した感想と学びを記述していただきます。			レポート③	
成績評価方法	・全授業への出席が必要です。 ・成績評価は、出席時間 (50%) と平常点 (50% レポート①、②、③の提出と受講態度) で行います。				
教科書	著書 『キャリアデザイン講座』 著者 大宮 登 出版社 日経 BP ソフトプレス 出版年度 2011年4月26日 初版 ISBN 9784891006525				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	筆記具をスクーリングに持参すること 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	キャリアデザイン論	担当教員	西尾 久美子	
レベルナンバー	200	単位数	2			
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆			
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名	CDA 受験資格
	実施方法	レポート				
	試験会場	—				

学習目標	自分の過去の経験を振り返り、キャリアデザイン論で学んだ考え方をを使って、自ら説明することができる。 自分らしい働き方を意識して、今後のキャリアについてキャリアデザインができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 キャリアデザインとは何か キャリアデザインを学ぶことの意味を考える。	ディスカッション
	第2回 キャリアデザインの必要性 キャリアデザインの必要性を考える。	レポート
	第3回 キャリアを考える視点 主観的基準と客観的基準のバランスを考える。	レポート
	第4回 仕事生活とキャリアデザイン キャリアの節目とその変化を理解して、キャリア年表を作成する。	レポート
	第5回 キャリアアンカー キャリアアンカー（キャリアのよりどころ）について理解する。	ディスカッション
	第6回 過去を振り返る 自分の経験から、キャリアの物語を作る。	レポート
	第7回 キャリアサバイバル キャリアサバイバルの概念を理解する。	レポート
	第8回 職務と役割の分析 職務と役割の戦略的プランニングをする。	レポート
	第9回 偶然を自分のものにする ハプンスタンスアプローチを理解する。	ディスカッション
	第10回 キャリアのサポーター キャリアを手助けしてくれる人を知る。	レポート
	第11回 ワークライフバランス ワークライフバランスとキャリアの選択の関係性を理解する。	レポート
	第12回 何のために働くのか 働くことを通じて、自分が大切にしようとしていることを知る。	ディスカッション
成績評価方法	各回の課題（60%）、単位修得試験（40%）	
教科書	著書 『キャリアデザイン』 著者 田路則子 月岡 亮、監修 ライトワークス 出版社 ファーストプレス 出版年度 2008年11月11日 ISBN 9784904336175	
参考書(任意購入)	『働くひとのためのキャリア・デザイン』、金井壽宏、PHP 研究所、819円（税込）、2001年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	ジェンダーと社会	担当教員	藤田 道代
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	レポート			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 ジェンダーとは、「それぞれの社会において社会的・文化的に形成された性別や性差についての知識」とここでは簡単に説明しておこう。従って時代や地域によってその内容が異なっている。それらが現代社会では様々な矛盾を起こしており、日本でも1999年に男女共同参画社会基本法の施行を受けて国全体での取り組みがスタートした。地域、学校、企業においても同様である。しかし、「ジェンダー」という言葉自体が認識されだして日が浅く、ともすると情緒的な反応も多々見られる。そこで統計資料やビデオなども用いながら、客観的にジェンダーについて考察できる力を養いたい。

学習の進め方 ジェンダーに関わる事柄は履修生個々の事柄でもあることを自覚し、基礎的な講義をもとに履修生相互のディスカスを積極的にに行い、ジェンダーに関わる諸問題を掘り下げていく。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 授業オリエンテーション ジェンダーとは?① 「ジェンダー」に関する代表的な理論の概要を紹介	
	第2回 ジェンダーとは?② ジェンダーに関する具体的な考察を通し、履修生個々の問題でもあることの確認。	
	第3回 ジェンダーとは?③ セクシュアリティとの関連を考察する。	
	第4回 身近な日常生活のチェックする① 履修生自身の日常からジェンダー事例を考察しあう。	
	第5回 身近な日常生活チェックと、小まとめ。 履修生の考察をもとにグループでディスカスし発表。	
	第6回 国際比較から日本の現状を把握する① HDI、GEM、GGIの指標から日本の状況を概観する。	
	第7回 国際比較から日本の現状を把握する② GEM、GGIの各インデックスをデータで確認する。	
	第8回 国際比較から日本の現状を把握する③ 日本の状況を履修生で検討する。	
	第9回 教育、家族、就業とジェンダー① 3分野とジェンダーの関連を具体的に考察する。	
	第10回 教育、家族、就業とジェンダー②と、小まとめ 6回目以降の授業内容をもとにグループでディスカスし発表する。	
	第11回 日本のジェンダーと支援 これまでの政策と支援の内容を具体的に検討する。	
	第12回 各国におけるジェンダー関連の支援を概説 代表的な事例を中心に考察する。	
	第13回 日本と各国の支援の比較検討 グループでディスカスしまとめる。	
	第14回 1回目からの授業をふまえてのまとめ グループディスカスの発表。	
	第15回 今後の課題 グループ発表をベースに現時点での課題を考える。	
成績評価方法	単位修得試験の結果(70%)、授業への主体的参加度(30%)(授業での質問や意見、提出ペーパー内容、自発的レポート提出、等)。	
教科書	著書 『ジェンダーの社会学入門』 著者 江原由美子・山田昌弘 出版社 有斐閣 出版年度 2010年10月15日 ISBN 9784000280488	
参考書(任意購入)	授業中、適宜指示する。(統計資料とビデオなど視覚教材を多用する)	
必須ソフト・ツール		
備 考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代社会と家族	担当教員	藤田 道代
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	家族に関わる事柄は、ともすると情緒的に捉えられることが多い。しかし現代社会においては情緒的な思いだけでは家族を把握することは困難である。そこで家族をめぐる諸現象を客観的かつ複層的に考察できる基礎力を、データ等が豊富な教科書をもとに培いたい。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 家族とは 家族を考えると、家族実体と、家族イメージの双方の視点がある。それらを認識し、実体とイメージの変化をも併せ理解する。	レポート
	第2回 近代の家族① イエと家族 近代家族概念を理解し、近代以前のイエ、戦前の都市中間層家族、戦中・戦後家族の流れを理解する。	レポート
	第3回 近代の家族② 第2回の近代家族概念を理解し、戦前の都市中間層家族、戦中・戦後家族における過程、一家団楽、主婦の誕生などソフト面を理解する。	レポート
	第4回 近代の家族③ 働く事と家族との関わり、その日本的特性、そして変化を理解する。	レポート
	第5回 近代から現代家族へ 家族の多様化を、脱制度化・シングル単位・ネットワークという視点から理解する。	レポート
	第6回 妻と夫① 結婚に関する考え方の多様化を理解する。	レポート
	第7回 妻と夫② カップルまたは夫婦関係に見られる諸相を具体的に理解する。	レポート
	第8回 親であること 「少子化」云々という考え方とは少し距離を置いて、「親」であるとはどういう事か考えてみる。	レポート
	第9回 家族であること、ひとりになること 現代は家族各々のライフステージを家族成員としてだけではなく、「ひとり」で生きる選択もできる。そしてそれはどういう事か考えてみる。	レポート
	第10回 現代の家族制度と家族の開放化 特定の家族を排除したり個人を生きづらくしている家族の実相を認識しつつ家族の新たな方向性を考えてみる。	レポート
成績評価法	単位修得試験 (50%)、各回のレポート (50%)	
教科書	著書 『よくわかる現代家族』 著者 神原文子、杉井潤子他 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2011年3月10日 1版 ISBN 9784623053445	
参考書(任意購入)	『家族を越える社会学』、牟田和恵 編、新曜社、2,310円(税込)、2009年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	子どもと社会	担当教員	東口 たまき
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全授業への出席			資格名
	実施方法	レポート(授業中に実施)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 多様で複雑で変化の激しい社会です。人間関係や親子関係のありかたは昔と変わってきています。子どもの権利、子どもの理解、また人々がお互い気持ちよく暮らせるためにはどのような社会形成が望ましいのかについて、子どもの発達を通して、周囲の大人の成長と社会の在り方を考えていきます。

学習の進め方 パワーポイントを用いて授業をすすめます。必要に応じてプリント類、ビデオを使用します。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 子どもの誕生 子どもの発見といわれる歴史的な児童問題	
	第2回 子どもの権利と幼児教育 人類の成果としての子どもの人権について	
	第3回 生きる力の基礎 1 幼児期に形成される能力(身体)	
	第4回 生きる力の基礎 2 幼児期に形成される能力(認知・言語)	
	第5回 幼児の学びの発達 心理学に見る子どもの発達過程	
	第6回 幼児と遊び 発達に重要な関わりをもつ遊び	
	第7回 遊びと発達検査 発達に重要な関わりをもつ遊びと発達検査	
	第8回 幼児教育の方法 教育方法と健康、人間関係、環境、ことば、表現の5領域	
	第9回 子どもの主体性と理解 子どものもつ能動性と主体性形成について	
	第10回 子どもの主観的世界と保育所の実践 子どもの特質としての主観的世界と保育者の姿勢・応答	
	第11回 幼児教育の共同体 地域における子育て支援の実践と取り組み	
	第12回 子ども理解の実践 1 活発過ぎたり、乱暴な子どもや大人し過ぎる子どもへの理解	
	第13回 子ども理解の実践 2 活発過ぎたり、乱暴な子どもや大人し過ぎる子どもへの発達支援	
	第14回 幼児と社会 継承伝統としての育児文化再構築への捉えなおし	
	第15回 子どもが幸福にそだつ社会をもとめて 総括	
成績評価方法	レポート(60%) 平常点(40%)	
教科書	著書 『新しい時代の幼児教育』 著者 小田豊・榎沢良彦編 出版社 有斐閣 出版年度 2008年1月20日 初版 ISBN 9784641121614	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	乳幼児と親支援のための事例研究	担当教員	東口 たまき
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全授業への出席			資格名
	実施方法	レポート(授業中に実施)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	乳幼児と親との関係性について学び、乳幼児期の子育てやその支援について事例を通して理解を深めます。この研究が机上の産物だけに留まらず、私たちが無理なく自然体で日常生活で人に支援が実践できるようになることも目標としています。発達研究と子育てをむすんでいきます。				
学習の進め方	パワーポイントを用いて説明します。必要に応じてプリント類、ビデオを使用します。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 家庭とは何か?	家族の意義とその機能について			
	第2回 家族と子育て1	親(父親・母親)と子育て 兄弟とのかかわり			
	第3回 家族と子育て2	祖父母、その他家族の子育て			
	第4回 現代家族の子育てと支援の必要性1	子育てにおける不安、負担感とストレス			
	第5回 現代家族の子育てと支援の必要性2	特別な配慮を必要とする子供をもつ親への支援			
	第6回 現代家族の子育てと支援の必要性3	児童虐待の実態とその対応 ひとり親家庭への支援			
	第7回 子育て支援の方法1	感覚統合運動をとおして考える子どもの発達 1			
	第8回 子育て支援の方法2	感覚統合運動をとおして考える子どもの発達 2			
	第9回 子育て支援の方法3	遊びと子育て支援の事例			
	第10回 親子が気持ちよく暮らすために	共感するとは			
	第11回 保護者の心を聴くために	発達相談・保育相談の事例			
	第12回 家族援助の展望と課題1	多様化する家族支援のニーズ			
	第13回 家族援助の展望と課題2	家族援助の課題			
	第14回 親子の集い・子育て広場	子育て広場の事例			
	第15回 さまざまな家族との関わりと支援活動	子育て支援の実践			
成績評価方法	授業中の小レポート(60%)と平常点(40%)により評価する。				
教科書	著書『家庭支援論』 著者 小田豊 日浦直美 中橋美穂 編 出版社 北大路書房 出版年度 2014年 3月 第2版 ISBN 9784762828454				
参考書(任意購入)	著書『子ども・家族の実態と子育て支援』(『保育の理論と実践講座』第3巻)、浅井春夫 丸山美和子 共編、新日本出版				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名 「子どもと社会」の学習内容を理解していることが望ましい。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	子育て支援活動事例研究	担当教員	東口 たまき
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	授業時のリアクションペーパーの提出とディスカッション 全授業への出席			資格名
	実施方法	平常点(レポート)授業時に出す課題「リアクションペーパー」により評価			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	地域で展開されている子育て支援活動の実際を紹介し、次世代育成の動向について学習する。具体的には家庭・園・地域で展開されている「育児(保育)の社会化」、「育児負担の軽減」、「地域における育児文化の形成」、「育児力を増大させる子育て支援」などについて理解することを目標とします。				
学習の進め方	教科書に沿った講義も行いますが、三日間通してワークショップによる参加型授業を実施し、共同性を体験する学習をすすめていきます。特に、受講者の創造性・想像力を生かした授業の展開を図ることによって理解を深め合い、受講者同士や教員との交流に取り組んでいきます。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 親子の愛着と親の精神衛生	ケア(育児)の原初としての愛着行動と育児不安症候群			ケアの原点
	第2回 父母子関係とソーシャルサポート	核家族における育児の実際と社会的支援			ワークライフバランス
	第3回 虐待の可能性とその防止への援助	虐待の種(シーズ)をもつヒトの親と支援防止の方法			虐待の理解と親支援
	第4回 親としての力、子育てに関する有能性	本来ケア(育児)力をもつヒトの親			親になること
	第5回 親としての成長、親としての変貌	育児は親と子がともに育ちあう関係づくりの過程			育ちあう親子
	第6回 園の経験と子どもの育ち	集団のもつダイナミクスと家庭生活			集団力動と発達・成長
	第7回 園のなかでの子ども同士の関係の発達	社会性と自我を萌芽させる園児の交流			社会性と自我
	第8回 園のなかでの自己抑制・情動調整の育ち	自律から自立にむけた忍耐と情緒の発達過程			自律から自立へ
	第9回 家庭外保育と発達への影響	家庭か家庭外かの二律背反でない幼児教育の必要性			子育ての社会化
	第10回 保育の形態とその質	保育環境と保育者のあり方と展開			保育者と環境整備
	第11回 園における子育て支援の実際	社会資源としての利用園児家庭以外へのアプローチ			子育て支援の中核機関
	第12回 保育カウンセリングのあり方	育児・保育に関するカウンセリングの有効性			個別カウンセリング
	第13回 地域での子育て相談の実際	相談から始まる子育て支援の展開			育児相談窓口
	第14回 親子のつどい・子育て広場	地域に展開されるひろば事業の展開			ひろば事業
	第15回 地域での子育て支援活動	子育て(育児)の社会化を推進していく子育て支援の実際			地域子育て支援
成績評価方法	*単元ごとに提出課題リアクションペーパーの評価…25%×3回=75% *ディスカッションへの参加度・受講態度…25%				
教科書	著書 『子育て支援の心理学—家庭・園・地域で育てる—』 著者 無藤隆・安藤智子編 出版社 有斐閣 出版年度 2008年10月5日 1版 ISBN 9784641173507				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	障害児教育事例研究	担当教員	今野 芳子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全授業への出席 授業の節目でのミニレポート（理解度や自分の課題などの整理）			資格名
	実施方法	現地試験（レポート）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	現在およびこれからの社会は障害ある人も障害の無い人も誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共に生きる社会であることが求められている。そんな将来の担い手となる子どもたちの教育という立場から「障害」と「障害のある子ども」にかかわる特別支援教育について理解を深めたい。様々な事例を検討し研究する中で、目標や支援計画と具体的な支援について考えたい。その際、受講者の方々がすでに身につけておられる感覚や思考法を活かし、実践的な視点を確認しながら学んでいただけたらと期待している。				
学習の進め方	集中講義初日 受講生の方々のモチベーションと相互のチャンネル合わせ 2日目 事例の提示と検討 3日目 事例提示 とかかわりの最前線を繋ぐ 事例研究は、インシデント（短い事例）を提示しそのプロセスをつかって検討する。 事例は、幼児・児童・思春期・青年・社会参加されている成人などの視点も入れる。 体験的な活動を取り入れ、受講者相互からも学べるよう3日間の学習環境を整えたい。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 共に生きる社会と「障害」について	障害とは何か 自分が教育（かかわり）を学ぶ意味			予習 P.2～
	第2回 障害のある子どもの理解	障害が発生しやすい時期と障害種別			予習 P.54～
	第3回 障害のある子どもの教育①	障害児教育から特別支援教育へ			P.36～
	第4回 障害のある子どもの教育②	発達障害と教育ニーズ、指導・支援			P.102～
	第5回 事例と事例研究法	インシデント・プロセス など			
	第6回 事例 眼の不自由な子ども	視覚障害の特性とかかわりの留意点			P.56～
	第7回 事例 耳の不自由な子ども	聴覚障害の特性とかかわりの留意点			P.60～
	第8回 事例 知的発達に遅れのある子ども	知的障害の特性とかかわりの留意点			P.66～
	第9回 事例 肢体の不自由な子ども	肢体不自由の子どもの特性とかかわりの留意点			P.76～
	第10回 障害の受容	保護者・兄弟の受容・本人の受容			P.14～
	第11回 事例 病気の子どもや体の弱い子ども	病弱の子どもの特性とかかわりの留意点			P.82～
	第12回 事例 学習障害の子ども	生活場面・学習場面での「困り感」と支援			P.108～
	第13回 事例 注意／欠陥多動性障害等の子ども	「困り感」と支援			P.110～
	第14回 事例 高機能自閉症の子ども等の子ども	「困り感」と支援			P.70～P.90、P.112～
	第15回 モチベーションと自分の課題（まとめ）	記述と発表とコメント			
成績評価方法	平常点（50%）とレポート（50%）				
教科書	著書 『よくわかる障害児教育 第2版』 著者 石部元雄、上田征三、高橋実、柳本雄次（編） 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2010年10月10日 2版 ISBN 9784623054343				
参考書（任意購入）	『特別支援学校における介護等体験ガイドブック「フィリア」』、全国特別支援学校長会 編著、株式会社ジアーズ教育新社				
必須ソフト・ツール					
備考	事前に授業選択のモチベーションなどを連絡してください。事前研究の活性化に役立てたいと期待しています。 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	生涯発達心理学	担当教員	松並 知子
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	認定心理士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間をライフサイクルの観点から広く捉える視野を養う ・人間発達の本質を深く考えようとする姿勢を身につける ・自らの心の成長とアイデンティティの確立を模索・確認する 	
学習の進め方	<p>本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回のテキストの該当箇所を熟読してから学習を進めてください。デジタル教材の中で教科書のページや図表を参照する指示がある場合は、必ず確認をして下さい。また、デジタル教材では取り扱わない情報も掲載されていますのでよく読んで学習に臨んで下さい。また、各回ごとに課題として確認テストがありますので、確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。</p>	
	概 要	課 題
学習内容	第1回 はじめに オリエンテーションと生涯発達心理学の概要を理解する	確認テスト
	第2回 人はどこまで発達するのか 一生涯発達の考え方— 人生は誕生から死までの継続した流れの中で発達していくものであることを理解する	確認テスト
	第3回 赤ちゃんの誕生 赤ちゃんの持つかわり能力とその発達を理解する	確認テスト
	第4回 愛着関係の発達 一かわりのなかで育つ心— かわりの中で育つ愛着が対人関係に与える影響を考える	確認テスト
	第5回 自己と情動の発達 自己意識の発達と情動の芽生え、さらには情動調整の発達について学ぶ	確認テスト
	第6回 知的発達 一その意味と保育者のかわり— 幼児期にめざましい発達を遂げる知的能力について、いくつかの理論を紹介しながら、その発達のメカニズムを理解する	確認テスト
	第7回 遊びと仲間作りを支える心の発達 就学後の仲間関係や仲間遊びの展開をも視野に入れて、子どもたちの保育にあたる者としての心構えを育てる	確認テスト
	第8回 社会性の発達 一思いやる心— 幼児期において社会性の問題がどのようにとらえられているのか把握し、共感性、他者理解、道徳心の芽生えなど、幼児期を中心とした理論や研究を理解できるようにする	確認テスト
	第9回 異文化と子どもの発達 多文化化する現代社会において子どもの育ちについて文化間の違いを学び、国際結婚家庭の子育て観について理解すること	確認テスト
	第10回 大人への芽生え 一思春期の心の発達と問題— 身体的変化と共に心理的变化が出現する思春期の特徴を概観し、この時期に見られる心理的危機とその発生のメカニズムを理解する	確認テスト
	第11回 大人になること 一自我同一性の獲得— エリクソンの理論に基づいて、高校生後半から成人期30歳くらいまでの範囲で、自我同一性に関する理論を学ぶ	確認テスト
	第12回 キャリア発達とその支援 人生におけるキャリア発達を、職業選択だけでなく、生涯発達の視点から自らの能力や対人関係なども含め、考えていけるようになること	確認テスト
	第13回 親となること 初めて子どもをもつ親の心の動きをいくつかの視点から見て、本当の意味で親になることについて学ぶ	確認テスト
	第14回 老いを迎えること 高齢期の肯定的な側面にも着目し、生きがいを持って人生を生きていく事、人生の意味をその人なりに見出すことの大切さを理解できるようにする	確認テスト
	第15回 まとめ これまでの内容をふまえて、科目のまとめを行う	確認テスト
成績評価方法	平常点(40%)は、第1回～第14回に実施する各回の確認テストの結果によって決まる。 単位修得試験は(60%)の配分とする。	
教科書	著書 『新時代の保育双書 発達心理学 子どもの発達と子育て支援』 著者 青木紀久代編 出版社 みらい 出版年度 2011年4月20日 ISBN 9784860151058	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ライフデザイン 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	人間関係論	担当教員	森下 朝日
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	認定心理士 プレゼンテーション実務士 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標	人は社会生活の中で、常に誰かと影響しあいながら育ち、学び、他者との協力や競争を体験します。こうした人間関係の諸相に触れ、そこで生じる葛藤や心理状態を考察しつつ、望ましい人間関係について考えることがこの授業の目的です。	
学習の進め方	学習は、教科書を主とし、教科書の補足や要約・解説をデジタル教材にて確認する形となっています。また、自己を分析するための検査や実習の方法もデジタル教材にて提示されます。各章の終わりには確認テストが実施されますので、確実にクリアしてから次の章に進んでください。	
	概 要	課 題
学習内容	第1章 人間関係のなかの自己 人間関係を築くとき、私たちは、相手に対してさまざまなイメージを抱くのと同様、自分自身に対しても特定のイメージを抱く。そして、自分の行動や感情の動きを見つめながら、相手に対してどうアプローチしていこうかと考える。本章では、私たちがいかにして自分を知り、自己を評価し、それを他者へ表現するかについて考える。	確認テスト
	第2章 出会いからの人間関係の展開 私たちは、ある人と出会ったとき、その人がどういう人であるか、見た目や態度から判断しようと試みる。このとき、わかりやすく目立つものを基準にしたり、時には思いこみによって相手のタイプを決めつけてしまうことがある。本章では、対人認知や印象形成にどのようなメカニズムがあり、どのような思いこみが存在するかについて考える。	確認テスト
	第3章 言語的・非言語的コミュニケーション 私たちは一生を通じて、さまざまな人を相手に、さまざまなメッセージを送り続ける。時には相手の気持が分からないと悩み、自分の思いをうまく伝えることができないと苦しむ。対人コミュニケーションは複雑かつ繊細なものであり、人間関係を築く上での中枢となるものである。本章では、人と人のコミュニケーション、特に対面時の二者間のコミュニケーションの諸相について考える。	確認テスト
	第4章 好きと嫌いの人間関係 私たちは、さまざまな人間関係の中で、ある人を好きになったり、またある人を嫌いになったりする。私たちはなぜ他者に心惹かれるのだろうか。また、どうすれば親密な人間関係を築くことができるのだろうか。本章では、対人好悪や対人魅力と呼ばれる、この現実的かつ日常的なテーマについて考える。	確認テスト
	第5章 援助の人間関係 あなたは人を助けたことがあるだろうか。また、人に助けられたことはあるだろうか。なぜ人は人を助けようとするのだろうか。1964年にニューヨークで起きたある事件をきっかけに、援助行動にはさまざまな要因が関係していることが明らかとなった。本章では、援助行動を引き起こす要因と、援助行動を阻害する要因について考える。	確認テスト
	第6章 支配と服従の人間関係 私たちは、現代社会の中であって、人に影響を与え、また与えられながら生活している。こうした影響力の相互作用は、時に支配と服従の関係を生み出す。このとき、相手から受ける影響力の根拠となるのが社会的勢力である。本章では、社会的勢力の諸相について触れ、支配と服従の関係がどのような要因によって成り立つかを考える。	確認テスト
	第7章 攻撃と対立の人間関係 誰もこれまでに、誰かの悪口を言ったり、言葉を無視したり、罵ったり、時には暴力に訴えるなど、何らかの形で他者に対して攻撃行動を行ってきたことだろう。また、同様に、他者から攻撃を受けた経験も多いだろう。人はなぜ誰かを攻撃するのだろうか。また、こうした攻撃行動を促進する要因はどのようなものだろうか。本章では、攻撃行動の諸要因について学ぶとともに、望ましい人間関係のあり方について考える。	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験の結果（100%）により評価する。	
教科書	著書 『イラストレート 人間関係の心理学』 著者 齋藤 勇 出版社 誠信書房 出版年度 2011年5月25日 ISBN 9784414301502	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	暮らしから見る福祉	担当教員	二階堂 達郎
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉を取り巻く現代社会の特徴を説明できる。 ・現代の社会福祉の施策の概要を説明できる。 ・上記を踏まえ、福祉問題の概要を理解し、自分なりの問題解決方法を考えることができる。 				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 社会福祉の概念	社会福祉の定義、基本理念について学習します。			確認テスト
	第2回 社会福祉をとりまく現代社会の特徴(1)	現代社会における、家族、貧困について学習します。			確認テスト
	第3回 社会福祉をとりまく現代社会の特徴(2)	現代社会における少子化と高齢化について学びます。			ディスカッション
	第4回 社会福祉サービスの概観 (児童福祉)	児童福祉、児童福祉関連サービス、児童福祉の実施機関、これまでの少子化対策について学びます。			確認テスト
	第5回 社会福祉サービスの概観 (障害者福祉)	障害者福祉の基本理念、障害者の定義、障害者の実態、障害者自立支援法について学びます。			確認テスト
	第6回 社会福祉サービスの概観 (高齢者福祉)	高齢者福祉施策の変遷、介護の実践について学びます。			ディスカッション
	第7回 社会福祉サービスの概観 (母子および寡婦福祉)	母子及び寡婦福祉法、母子・父子世帯の生活状況について学びます。			確認テスト
	第8回 社会福祉サービスの概観 (生活保護)	生活保護の原理・原則、保護の種類、生活保護の動向について学びます。			確認テスト
	第9回 地域福祉への発展	地域福祉、地域福祉推進組織と担い手、地域福祉推進に関する課題について学びます。			ディスカッション
	第10回 児童虐待への対応	児童虐待の基礎知識、発生状況、児童虐待の防止対策の経緯について学びます。			確認テスト
	第11回 発達障害者に対する福祉	発達障害の基礎知識、発達障害者支援法について学びます。			確認テスト
	第12回 精神障害者福祉を取り巻く現状	精神障害者、精神保健福祉法、精神障害者の社会復帰の現状について学びます。			ディスカッション
	第13回 社会福祉の財政・人材とバリアフリー社会の実現	社会福祉財政の動向、社会福祉の人材、バリアフリー新法について学びます。			確認テスト
成績評価方法	各回の確認テスト (50%) と単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 『四訂版 社会福祉概論 その基礎学習のために』 著者 西村昇、日開野博、山下正國 出版社 中央法規 出版年度 2010年3月25日 ISBN 9784805832844				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	福祉住環境論	担当教員	藤本 幹也
レベルナンバー	300	単位数	4		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標 住宅という器は、人が生活していくためには必要不可欠なものであり、この場所は、安全で、快適であることが必要不可欠である。この授業では、高齢者、障害者の疾患の特徴をよく理解した上で、どのように住まいを改善すれば、本人自身が望む、住環境が提供できるのかを考えていくとともに、そのために建物の基礎的な知識から法律や様々な制度、福祉用具に関する知識を身につけ、建物をより、安全で快適なものに改修していくために必要な知識や、技術を幅広く学んでいくことを目的とする。

学習の進め方 この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。教科書を参照しながら進めていきますので、教科書を準備してオンデマンド教材を視聴すること。各回の学習の最後に確認テストを実施する。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 少子高齢社会と共生社会への道 日本の高齢化社会及び少子化の現状を理解し、日本の高齢化社会及び少子化が今後我々の生活にどのような影響を与えるか把握する。また、その一方で、高齢化や少子化対策の具体的な施策にはどのようなものがあるのか理解する。	確認テスト
	第2回 福祉住環境整備の重要性・必要性 日本の住宅の特徴を整理するとともに、日本の住環境の問題点と家庭内事故の現状を把握し、高齢者、障害者の住宅施策の変遷と概要を整理する。また、住環境整備をサポートする福祉住環境コーディネーターの役割についても学ぶ。	確認テスト
	第3回 在宅生活の維持とケアサービス 超高齢社会を迎えるにあたり、介護保険制度のしくみを理解し、介護保険制度を取り巻く状況や、介護保険サービスの種類を理解する。	確認テスト
	第4回 高齢者の心身の特性及び健康と自立について1 高齢者の住環境整備を進めていく中で、高齢者の身体特性を理解しておくことは非常に重要である。ここでは、高齢者の身体機能の特性を理解し、さらに高齢者がかかりやすい疾患及びその特徴を理解する。	確認テスト
	第5回 高齢者の心身の特性及び健康と自立について2 虚弱高齢者のかかりやすい疾患について理解し、さらに、その疾患を種類別に分類し、その特徴を理解する。ここでは、「加齢に伴う視覚機能障害」、「加齢に伴う聴覚機能障害」、を中心に学習をする。	確認テスト
	第6回 障害者の心身の特性について 障害者のかかえる障害の種類や内容について学習する。障害者が残存している機能を生かし、自立した生活が送れるように支援するためにも、障害者の心身の特徴を理解しておくことは重要であり、ここでは、「肢体不自由」、「内部障害」、「視覚障害」、「認知・行動障害」を中心に学習する。	確認テスト
	第7回 バリアフリーとユニバーサルデザインを考える バリアフリーおよびユニバーサルデザインについて、その誕生の背景と、法的な内容を理解し、さらに法的な内容を理解した上で、高齢者、障害者の住環境整備にどのようにすればよいか、考えていく。	確認テスト
	第8回 生活を支えるさまざまな用具 高齢者、障害者の住環境整備を進めていく上で、福祉用具を用いることは非常に有効である。ここでは、福祉用具の種類を把握し、日常生活において、色々な機能をもつ福祉用具の性能、役割について学習する。	確認テスト
	中間テスト 中間テスト	確認テスト
	第9回 安全・快適な住まいの整備その1 住環境整備を実施するためには、住環境整備の基本技術及び住環境整備の基礎知識を身につける必要がある。ここでは、その技術・知識を学習し、住環境整備の対応方法を考えていく。	確認テスト
	第10回 安全・快適な住まいの整備その2 住宅内における問題点を解決し、だれもが使いやすい安全で快適な空間を提案するための、技術を身につける。ここでは、「階段」、「浴室」、「キッチン」、「寝室」に着目し、その問題点を整理し、さらに改善していく方策を学習する。	確認テスト
	第11回 疾患別にみた福祉住環境整備その1 高齢者、障害者が抱えやすい、疾患を理解した上で、「脳血管障害」、「廃用症候群」、「認知症」、「関節リウマチ」といった各種疾患に対応した住環境整備を具体的にどのように提案していくか学習する。	確認テスト
	第12回 疾患別にみた福祉住環境整備その2 高齢者、障害者が抱えやすい、疾患を理解した上で、「パーキンソン病」、「糖尿病」、「肢体不自由者」「内部障害」といった各種疾患に対応した住環境整備を具体的にどのように提案していくか学習する。	確認テスト
	第13回 安心して暮らせるまちづくり 社会の変化とともに、ライフスタイルの多様化と暮らし方について学習する。ここでは高齢期の住まい方や、安心して住み続けるための提案や、高齢者や障害者に対応した住宅・住環境整備の現状や、今後の課題について学習していく。	確認テスト
第14回 住環境整備の実践に必要な知識 住宅建築の主な構造、工法の種類について理解し、さらに、建物の耐震診断や、シックハウス対策、設備など住環境整備における留意事項を整理し、専門的な知識を活かし、高齢者、障害者本人、家族の要望を整理し、住環境整備の具体的をしていくために、事例を通じて学習する。	確認テスト	

成績評価方法 評価の割合は、毎回実施する確認テスト (10%)、中間テスト (30%)、単位修得試験 (60%) で行う。

教科書	著書 『福祉住環境論コーディネーター検定試験3級公式テキスト』 著者 東京商工会議所 出版社 東京商工会議所編 出版年度 2014年1月 改訂2版 ISBN 9784924547520
	著書 『福祉住環境論コーディネーター検定試験2級公式テキスト』 著者 東京商工会議所 出版社 東京商工会議所編 出版年度 2014年1月 改訂2版 ISBN 9784924547537

参考書(任意購入) 『高齢者・障害者に配慮の建築設計マニュアル』、高橋 儀平、彰国社、5,040円(税込)、1996年

必須ソフト・ツール

備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	少子高齢社会の家族	担当教員	藤田 道代
レベルナンバー	300	単位数	4		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	3/4以上の出席		資格名	
	実施方法	レポート			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 少子高齢社会での家族の状況を客観的データから理解する。次に、家族の内部構造と外部構造との関連を具体的にとらえる。これらを通じて、より大きな視点から科学的に家族を理解考察する姿勢を身につけることを目的とする。後半はケアを共通視点にして考察したい。

学習の進め方 家族に関わる事柄は、ともすると情緒的に捉えられることが多い。基礎的な講義をもとにデータ等も参考にしながら、客観的に家族を考えられるようにする。履修生相互のディスカスを積極的に行い、家族に関わる諸問題を掘り下げていく。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 家族とは 履修生自身の家族観を認識し、それを分析する。	
	第2回 「家族」定義の比較① 家族の定義の変遷を理解する。	
	第3回 「家族」定義の比較② 日本における家族定義の変遷の背景を理解する。	
	第4回 「家族」定義の比較③ 家族観に関する国際比較	
	第5回 家族形態、家族成員の変遷 データをもとに理解する。	
	第6回 合計特殊出生率と高齢化率の変遷 データをもとに理解する。	
	第7回 現代日本にみる遅れてきた「近代家族」概念① 近代家族論の概要を理解する。	
	第8回 現代日本にみる遅れてきた「近代家族」概念② データをもとに考察する。	
	第9回 現代日本にみる遅れてきた「近代家族」概念③ 近代家族から現代へ。	
	第10回 第1回からのまとめ グループディスカスとその内容発表	
	第11回 近代以前の家族：家族の諸慣行 婚姻と相続① 現代に影響が見られる家族観の理解のため、婚姻の諸慣行を理解する。	
	第12回 近代以前の家族：家族の諸慣行 婚姻と相続② 現代に影響が見られる家族観の理解のため、相続の諸慣行を理解する。	
	第13回 近代以前の家族：家族の諸慣行 婚姻と相続③ 現代に影響が見られる家族観の理解のため、諸慣行の関連性を理解する。	
	第14回 家族周期の変化① 家族周期の変化の概要を理解する。	
	第15回 家族周期の変化② 家族周期の変化からファミリーライフステージ毎に具体的に諸問題を考える。	
	第16回 家族周期の変化③ 家族周期の変化からファミリーライフステージ毎に具体的に諸問題を考える。	
	第17回 戦後の家族体制 戦後の家族体制の概要を理解する。	
	第18回 戦後の家族体制：女性の主婦化 戦後の家族体制の特徴の1つである、女性の主婦化をデータ等から確認と理解。	
	第19回 戦後の家族体制：2人っ子 戦後の家族体制の特徴の1つである、「2人っ子」の概要と人口論的考察。	
	第20回 第11回以降のまとめ グループディスカッションと、その内容の発表。	

	概 要	課 題
学習内容	第21回 家族とケア ケアとはなにか。	
	第22回 育児支援の国際比較① 欧米やアジアの育児支援を概観する。	
	第23回 育児支援の国際比較② 欧米やアジアの育児支援を比較検討し、日本の現状を考察する。	
	第24回 若者と家族① 日本の若者を中心に、彼らを取り巻く現代の諸問題を事例・データから考える。	
	第25回 若者と家族② 日本の若者を中心に、彼らを取り巻く現代の諸問題を検討する。	
	第26回 高齢者と家族 高齢社会の概要を理解する。	
	第27回 高齢者介護支援① 高齢者介護の諸問題を具体的に取り上げる。	
	第28回 高齢者介護支援② 高齢者介護の諸問題を国際比較しながら今後の問題を考える。	
	第29回 第21回以降のまとめ グループディスカッションし、その内容を発表する。	
	第30回 今後の課題 これまでのグループディスカッションをもとに、今後の課題を家族という視点から履修生とともに考察する。	
	成績評価方法	単位修得試験の結果（60%）、授業への主体的参加度（40%）（授業での質問や意見、提出ペーパー内容、自発的レポート提出、等）。
教科書	著書 『21世紀家族へ』 著者 落合 恵美子著 出版社 有斐閣 出版年度 2010年9月15日 3版 ISBN 9784641280915	
参考書 (任意購入)	『家族を超える社会学』、牟田和恵 編、新曜社、2,310円（税込）、2009年12月10日 『ケアの社会学』、上野千鶴子 著、太田出版、2,993円（税込）、2011年 (統計資料とビデオなど視覚教材を多用する)	
必須ソフト・ツール		
備考	「現代社会と家族」を履修しておくことが望ましい。 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	社会福祉援助技術	担当教員	小泉 邦昭
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名 社会福祉主事 任用資格
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	高齢化の進む現代の日本の社会において、福祉援助を必要とする人口は飛躍的に増加すると考えられる。世の中の需要に則して福祉援助が出来る人材を如何にして、育成するかが本講座の主目的である。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。オンデマンド教材での学習を終えたら指示に従い教科書で学習してください。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 自立支援と就労 福祉施策の基本的な視点、個人が人として尊厳を持って、家族や地域の中で、人らしい安心のある生活が出来るよう支援する事を学ぶ。	小テスト
	第2章 雇用・就労の動向と就労施策の概要 社会状況は、大きく変化しつつある。将来の雇用・就労の動向と労働施策は、今後大幅に変化して行く事を学ぶ。	小テスト
	第3章 就労支援制度の概要 生活保護、障害者福祉、障害者雇用の夫々の分野の特徴を踏まえて学習する。	レポート
	第4章 就労支援に係る組織、団体の役割と実際 従来就労支援は国が実施して来たが、今後は都道府県や市町村での自主的な就労支援について学ぶ。	小テスト
	第5章 就労支援に係る専門職の役割と実際 就労支援に係わる専門職を広く捉え、その役割と実際、今後の活動に向けての課題などについて学ぶ。	小テスト
	第6章 就労支援分野との連携と実際 就労支援における関係機関、団体等の提携の方法、連携の実際について学習することにより、適切な連携のあり方、そのための条件や環境について学ぶ。	小テスト
	成績評価方法	各章の課題（60%）と単位修得試験（40%）の結果を総合的に評価する。
教科書	著書 『社会福祉援助技術論1』 著者 社会福祉学習双書 出版社 全国社会福祉協議会 出版年度 2011年3月25日 改訂2版 ISBN 9784793510199	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	社会福祉概論	担当教員	室崎 千重
レベルナンバー	200	単位数	4		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	3/4以上出席していること (ただし最終日は必ず出席すること)			資格名 社会福祉主事 任用資格
	実施方法	平常点(レポートなど)及び課題発表と提出			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の基本的な理念、歴史や歩み、諸制度を学び、基礎的理解を目指す ・人々の住まいや暮らしと福祉サービスの関わりを捉え、理解を深める ・社会福祉に関する知的好奇心を広げ、私たちが今後どのように関わっているのか考える 				
学習の進め方	この授業は、スクーリングによる講義形式です。講義の理解を深めるために、グループワークによる議論や発表、施設見学による体験学習も行います。				
	概 要			課 題	
学習内容	第1回 社会福祉とは何か	講義の進め方について、イントロダクション			
	第2回 現代社会の福祉ニーズ	統計データから読む現代社会の特徴と生活課題について			小レポート(1)
	第3回 社会福祉の歴史(1)	西洋における社会福祉の歴史について			
	第4回 社会福祉の歴史(2)	日本における社会福祉の歴史について			
	第5回 社会福祉のしくみ(1)	社会福祉の法律と社会保障制度について			
	第6回 社会福祉のしくみ(2)	社会福祉を支える機関・施設、社会保障について			
	第7回 居住福祉	生活の基本となる住まいについて			
	第8回 貧困問題と社会福祉	貧困や格差の所在、生活保護制度について			小レポート(2)
	第9回 高齢者と社会福祉(1)	高齢者の生活課題、介護保険制度について			
	第10回 高齢者と社会福祉(2)	高齢者施設、高齢者住宅の事例紹介			小レポート(3)
	第11回 現代家族の変化	家族と社会の変化からみる生活課題			
	第12回 こどもと社会福祉	こどもと家庭への諸施策について			
	第13回 女性と社会福祉	女性の就労について			
	第14回 グループ討議と発表	グループで課題について議論し、発表			ディスカッション、 小レポート(4)
	第15回 社会福祉の専門職	社会福祉の専門職の職務について			
	第16回 障がい者と社会福祉(1)	ノーマライゼーション、障害とは何か			
	第17回 障がい者と社会福祉(2)	身体障害者について			
	第18回 障がい者と社会福祉(3)	知的障害者、精神障害者について			
	第19回 ユニバーサルデザイン(1)	グループワーク：誰もが使いやすいモノや環境の提案			
	第20回 ユニバーサルデザイン(2)	第19回と同じ。グループでアイデアをまとめ、発表する。			ディスカッション (グループ課題)

	概 要	課 題	
学習内容	第21回 地域福祉とコミュニティ(1) 地域福祉について、住民参加のまちづくりについて		
	第22回 地域福祉とコミュニティ(2) 地域福祉の担い手について		
	第23回 施設見学(1) 兵庫県立総合リハビリテーションセンター内の展示施設（明石駅からバスで15分） 福祉機器および高齢者・障害者に配慮したモデル住宅見学 高齢者体験、車いす体験		
	第24回 施設見学(2) 第23回と同じ		
	第25回 施設見学(3) 第23回と同じ	小レポート(5)	
	第26回 福祉の総合的な展開(1) 新バリアフリー法などハード面を含めた環境整備について		
	第27回 福祉の総合的な展開(2) 地域での具体的な取り組み紹介		
	第28回 レポート発表と討議(1) 各自レポート課題を発表し、全体で討議する	個人レポート提出、 ディスカッション、 プレゼンテーション	
	第29回 レポート発表と討議(2) 各自レポート課題を発表し、全体で討議する	個人レポート提出、 ディスカッション、 プレゼンテーション	
	第30回 まとめ 講義内容のまとめ		
	成績評価 方 法	成績は、授業中に行う小レポート（30%）、グループによる議論（20%）、個人レポートと発表・討議（50%）として評価する。 100点満点とし、60点以上を合格とする。	
	教 科 書	著書 『新・社会福祉とは何か』 著者 大久保秀子 出版社 中央法規 出版年度 2010年4月5日 ISBN 9784805832851	
	参 考 書 (任意購入)		
必須ソフト・ ツール			
備 考	第23回～第25回に行う施設見学の交通費は各自負担となります。 大手前大学から兵庫県立リハビリテーションセンターまでの片道交通費の目安は、JR さくら夙川～明石620円、明石から神姫バス200円です。 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	社会福祉演習	担当教員	山口 幸
レベルナンバー	400	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	我が国の社会福祉が抱える諸問題を理解し説明することができる。 我が国のこれからの社会福祉のあり方について議論をし、自分の意見を述べるすることができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。 1. オンデマンド教材で学習する 2. 教科書で学習する 3. 課題（確認テスト、レポート、ディスカッションなど）に取り組む	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 「寝たきり老人」のいる国・いない国 我が国の少子高齢化の現状を理解するとともに、国際比較や他の国の先進事例を通して、これからのあるべき姿について考えます。	ディスカッション
	第2回 我が国の高齢者福祉施策のあゆみ 我が国の高齢者福祉施策がどのような理念に基づいて、どのように実施されてきたのかを学びます。	確認テスト
	第3回 社会福祉と心理学 「人はなぜ集団を作るのか」「人はなぜ人を助けるのか」「人はなぜ人を好きになるのか」というテーマで、社会福祉を实践する上で必要な心理学の知識を学びます。	レポート
	第4回 高齢者福祉を支えるしくみ 現在、我が国の高齢者福祉を支えている介護保険制度の現状を学ぶとともに、よりよいしくみづくりをしていくための課題について考えます。	レポート
	第5回 認知症とパーソンセンタードケア 認知症の基礎知識や早期発見のシグナルを知るとともに、認知症ケアの新しい考え方であるパーソンセンタードケアについて学び、これからの認知症ケアのあり方について考えます。	レポート
	第6回 地域密着型サービスの取り組み 住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるための、地域密着型サービスがどのように生まれ、広がっていったのか、また、地域生活支援の具体的な実践事例について学びます。	レポート
	第7回 ユニットケアとこれからの施設ケア 「新しい文化」のケアの实践としてのユニットケアのあゆみやその実践事例について学び、これからの施設ケアのあるべき姿について考えます。	ディスカッション
	第8回 社会福祉とボランティア ボランティアとは何か、ボランティアがどのように活躍してきたのかを学び、社会福祉におけるボランティアのあり方について考えます。	レポート
	第9回 スウェーデンの福祉と文化 福祉先進国として知られるスウェーデンについて知るとともに、スウェーデンの高齢者福祉の歴史と現状について学び、これからの我が国の高齢者福祉のあるべき姿について考えます。	ディスカッション
	第10回 まとめ —これからの社会福祉 社会福祉を实践していく上で必要な哲学を学び、これからの社会福祉のあり方を考えます。	
成績評価方法	単位修得試験（50％）と各回の課題（50％）	
教科書	著書 「福祉が変わる 医療が変わる—日本を変えようとした70の社説プラスα」 著者 大熊由紀子・朝日新聞論説委員室 出版社 ぶどう社 出版年度 2006年4月10日 ISBN 9784892401282	
参考書(任意購入)	「寝たきり老人」のいる国いない国—真の豊かさへの挑戦、大熊由紀子、ぶどう社、1,529円（税込）、1990年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	社会福祉実習	担当教員	小泉 邦昭
レベルナンバー	400	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	平常点(授業3/4の出席)を単位修得試験の受験資格(レポート、感想文の提出資格)とする。			資格名
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	社会福祉援助のためには、福祉に関わる多くの職場を知り、その職場で働くにはどのような資格が必要かを学び、実際の職場を見て、自分の適性を考えるのが本講座の目的。				
学習の進め方	福祉・介護を必要とする職場には、どのような職場があるか学び、またその職場で働くにはどのような資格が必要か、資格の種類と取得方法について講義を基に学び、福祉・介護が行われている職場を見学する。また、介護保険制度について学び、障害を持つ人たちの働くための訓練をする「障害者自立支援法」を学ぶために、地域支援センターを見学及び、作業実習をする。				
学習内容	概 要			課 題	
	1日目(10/18) ①「福祉・介護の職場」【講義】				レポート
	①福祉・介護を必要としている職場は、どのような援助をしているのか。				
	1日目(10/18) ②「介護保険法について」【講義】				レポート
	①福祉・介護を受けるにあたりその制度と申請方法。				
	2日目(10/19) ①「障害者自立支援法について」【講義】				レポート
	①障害を持った方々が、自立して働けるよう支援する法律、これに基づいて作業所を設置し、将来の自立を支援する。				
	2日目(10/19) ②「各福祉・介護に必要な資格」【講義】				レポート
	②各福祉、介護の職場で必要とされる各種の資格取得のための手順等。				
	3日目(11/1)「介護老人保健施設の見学」【実習】				感想文
	医療施設併設タイプ サービス付き高齢者住宅の見学 集合場所について：大手前大学さくら夙川キャンパスの本館(A棟)1Fエントランス 9時				
4日目(11/2)「介護老人保健施設の見学」【実習】				感想文	
集合について：大手前大学さくら夙川キャンパスの本館(A棟)1Fエントランス 9時					
5日目(11/20) ①「地域活動支援センター I型見学」【実習】				感想文	
集合について：大手前大学さくら夙川キャンパスの本館(A棟)1Fエントランス 9時					
5日目(11/20) ②「地域活動支援センター III型見学と実習」【実習】				感想文	
集合について：大手前大学さくら夙川キャンパスの本館(A棟)1Fエントランス 9時					
6日目(11/22)「特別養護老人ホームの見学」【実習】				感想文	
集合について：大手前大学さくら夙川キャンパスの本館(A棟)1Fエントランス 9時					
成績評価方法	スクーリング出席(50%)、レポート(25%)、感想文(25%)				
教科書	著書 「福祉・介護の仕事&資格がわかる本」 著者 資格試験研究会 出版社 (株)実務教育出版 出版年度 2010年9月30日 1版 ISBN 9784788903630				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	交通費は自費となります。 集合時刻に遅れた場合は、欠席となります。通信教育部事務室(0798-32-5141)に連絡してください。 受講者上限人数 実習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	障害者福祉	担当教員	堀川 諭
レベルナンバー	400	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全授業回数の2/3以上を出席し、確認テストを受けること。(ただし最終日は必ず出席すること)			資格名 社会福祉主事 任用資格
	実施方法	授業内で提出する確認テスト、el-Campusで提出するレポート			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	さまざまな障害の理解を通して、障害者福祉について学ぶ。				
学習の進め方	授業計画に従って講義形式で学習を進めるが、映像を使って理解を深めるとともに、時にディスカッションを交えて考える機会を持ちたい。確認テストは各回の終わりに行う。				
	概 要				課 題
学習内容	第1回 障害の理念	障害とはなにか、国際生活機能分類(IFC)、わが国における障害者の法的定義について学ぶ。			確認テスト
	第2回 障害者福祉の基本理念①	障害者福祉の基本理念であるノーマライゼーションについて学ぶ。			確認テスト
	第3回 障害者福祉の基本理念②	リハビリテーションの意味、インクルージョンの歴史的経緯と展望を学ぶ。			確認テスト
	第4回 視覚障害についての理解	視覚の構造と機能、視覚障害の原因と眼疾患、視覚障害の心理的影響と受容過程、介護について学ぶ。			確認テスト
	第5回 視覚・言語障害についての理解	視覚・言語障害とはどういう障害か、その日常生活と介護について学ぶ。			確認テスト
	第6回 肢体不自由についての理解	肢体不自由の原因、障害受容の過程、肢体不自由のある人の生活とその介護について学ぶ。			確認テスト
	第7回 内部障害についての理解	内部障害とは何か、その生活のしづらさ、病態に応じた介護について学ぶ。			確認テスト
	第8回 知的障害についての理解	知的障害の医学理解、介護の留意点について学ぶ。			確認テスト
	第9回 精神障害についての理解	精神障害の医学的理解、精神障害者への介護、在宅生活支援について学ぶ。			確認テスト
	第10回 高次脳機能障害についての理解	高次脳機能障害とは何か、その具体的症状と支援のありかたについて学ぶ。			確認テスト
	第11回 発達障害についての理解	発達障害の特性を理解し、適切な介護について学ぶ。			確認テスト
	第12回 重症心身障害・難病についての理解	重症心身障害・難病の定義、多様な生活上のニーズ、介護のポイントについて学ぶ。			確認テスト
	第13回 障害のある人に対する介護の基本視点	障害のある人の自己決定・エンパワメント・権利擁護、および生活のニーズ・アセスメントについて学び、社会資源の活用方法について理解する。			確認テスト
	第14回 家族への支援	障害者のある人の家族への支援について学ぶ。			確認テスト
	第15回 連携と協働	保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携と、地域におけるサポート体制について学ぶ。			確認テスト
成績評価方法	確認テスト(60%)、レポート課題(20%)、授業への参加意欲(20%)で総合的に評価する。				
教科書	著書 『障害の理解(新・介護福祉士養成講座13)』 著者 介護福祉士養成講座編集委員会編集 出版社 中央法規出版 出版年度 2013年2月 第3版 ISBN 9784805837719				
参考書(任意購入)	適宜紹介する。				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン 2013年度以前入学生：	授業科目名	医学一般	担当教員	堀川 諭
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名 社会福祉主事 任用資格
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	医学の進歩によって人間の寿命は大幅に伸びました。その一方、困難な課題も次々と登場しています。たとえば、プリオンのような新たな感染症の出現、再生医療、臓器移植といった新たな問題です。この授業では、広く医学の基本的知識を学ぶとともに、現代医学が抱えるさまざまな問題についても理解を深めたいと思います。	
学習の進め方	教科書を主教材として学習を進めます。各章のレポートを提出し、単位修得試験のレポートに取り組んでください。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 人の成長・発達と老化	レポート
	身体の成長・発達、精神の成長・発達、老化	
	第2章 身体構造と心身の機能	レポート
	身体部位の名称、各器官の構造と機能	
	第3章 疾病の概要	レポート
	生活習慣病と未病、悪性腫瘍、脳血管疾患、心疾患、高血圧、糖尿病と内分泌疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、血液疾患と膠原病、腎臓疾患、泌尿器系疾患、骨・関節疾患、目・耳の疾患、感染症、神経疾患と難病、先天性疾患	
	第4章 障害の概要	レポート
	視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、発達障害、認知症、高次脳機能障害、精神障害	
	第5章 リハビリテーションの概要	レポート
リハビリテーションとは、リハビリテーションにおける障害評価、リハビリテーションの諸段階、リハビリテーションにかかわる専門職、リハビリテーションの四つの側面		
第6章 国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要	レポート	
国際障害分類 (ICIDH) から国際生活機能分類 (ICF) への変遷、心身機能と身体構造・活動・参加の概念、背景因子、健康状態と生活機能低下の概念		
第7章 健康のとらえ方	レポート	
健康の概念とプライマリヘルスケア、日本人の人口統計、人口の高齢化と家族、国民健康づくり対策、感染症対策、産業保健、歯科保健		
成績評価方法	各章のレポート (50%)、単位修得試験のレポート (50%)	
教科書	著書 『新・社会福祉士養成講座 第1巻「人体の構造と機能及び疾病 医学一般」』 著者 社会福祉士養成講座編集委員会 出版社 中央法規 出版年度 2011年2月1日 ISBN 9784805834169	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考	el-Campusにて専用のレポート様式をダウンロードして使用してください。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

ビジネス・キャリアメジャー科目

メジャー（専修）について

2014年度よりカリキュラム編成の変更にともない、メジャー（専修）名が新しくなります。
2013年度以前に入学した学生は、従前のメジャー（専修）名を記しました。
各自入学年度に該当するメジャー（専修）名を確認してください。

例) 授業科目名「カウンセリング心理学」

- ・2014年度入学生：心理学、ビジネスキャリア
- ・2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解

※メジャー（専修）欄が空白の場合は、メジャーに該当しません。

また、2014年度入学生は、一部メジャー（専修）が重複する科目があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本語表現	担当教員	北野 朋子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標 社会生活の中で正しく情報を受信し、また相手に自分の意図が正しく伝わるように発信するための日本語能力を養う。日本語の発声や発音、慣用句やことわざなども学び、さまざまな文章に触れることで「読む」能力を伸ばすと共に、課題発表などを通して「書く」能力も身に付ける。

学習の進め方 (第1回～第14回)
本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。回ごとに確認テストがありますので、その確認テストをクリアしてから次の回へ進みますよう。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 社会生活と自己表現 コミュニケーションと日本語、話しことばと書きことば、挨拶やその受け答えなどについて、学ぶ。	ディスカッション 確認テスト
	第2回 音声表現 日本語の発声や発音について学ぶと共に、美しい日本語や魅力的な話し方、また話し方の基本とスピーチの方法を身に付ける。	確認テスト
	第3回 語彙と表現 語彙の特徴や分類、修辭法や慣用句、比喩、ことわざ、四字熟語、漢字の標記、同訓・同音意義語などについて学ぶ。	確認テスト
	第4回 ディスカッション 設定されたテーマについて発表し、他の受講者の発表についての感想を述べる。	ディスカッション 確認テスト
	第5回 敬語の基本 尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを理解し、正しく用いることができるようになる。	確認テスト
	第6回 間違いやすい敬語 社会生活の中で間違いやすい敬語について考え、正しい敬語を身に付ける。	確認テスト
	第7回 ビジネスでの日本語 ビジネス場面での日本語について学び、社会人としての基本を身に付ける。	プレゼンテーション課題 確認テスト
	第8回 中間まとめ	中間まとめ
	第9回 ささまざまな文章 文章の種類を理解し、美しい日本語の文章に触れる。	確認テスト
	第10回 原稿用紙の用法 原稿用紙に正しい規則で文章を書くことを学ぶ。	確認テスト
	第11回 文章の構成と推敲 序論や本論といった文章構成やパラグラフなどについて学び、目的に合った文章を作成する。	確認テスト
	第12回 手紙とはがき 手紙やはがきの書き方のルールを学び、美しい文書を書くことを目的とする。	確認テスト
	第13回 ビジネス文書 さまざまな種類のビジネス文書について学び、目的に合った正しい文書を作成する。	プレゼンテーション課題 確認テスト
	第14回 レポート作成 レポートを書くときのルールや構成について学ぶ。また実際に履歴書やエントリーシートなどを書き、社会生活に活かす。	確認テスト
成績評価方法	前半のまとめ (40%)、単位修得試験 (40%)、ディスカッションと課題発表 (20%) により総合評価する。	
教科書	著書 『新・日本語表現法』 著者 水原道子、福井愛美、上田知美 出版社 アイシー印刷株式会社 出版年度 2011年6月29日 改訂版	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	統計学	担当教員	花島 健吾
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	現代社会のビジネスにおける「統計学」の活用を知る。また、実務や実生活で「統計」を使いこなせるようになることを目標にする。				
学習の進め方	教科書に沿ったデジタル教材を主として学習を進めます。教科書の該当箇所を読んでからデジタル教材を閲覧して下さい。初めて統計学に触れる方を対象としていますので、予備知識がなくても無理なく学習を進められます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第0章 データと社会				
	0-1 統計の基本 0-2 統計は嘘をつく 統計学を学ぶと、どんなことができるようになるのか？また社会ではどのような使い方をされているのかを考察する。				
	第1章 ヒストグラム			確認テスト	
	1-1 ヒストグラム 統計の基本である度数分布表の読み取り方を理解し、データから度数分布表を作成できるようにする。				
	第2章 いろいろな平均			確認テスト	
	2-1 いろいろな平均 なじみ深い算術平均だけでなく、中央値や最頻値などの種々の平均の意味とその活用法を知る。				
	第3章 分散と標準偏差			確認テスト	
	3-0 偏差値って何？ 3-1 分散と標準偏差 3-2 基準化と偏差値 「同じ点数でも偏差値が違ったのはなぜか？」などデータの散らばり具合を、分散と標準偏差を用いて明らかにする方法を学ぶ。				
	第4章 確率密度関数			確認テスト	
4-1 確率密度関数 一見、難解に見える確率密度関数のエッセンスだけを理解し、読み取りができるようにする。 4-2 正規分布 誰でも一度は目にしたことのある正規分布について考察する。 また、代表的な分布である標準正規分布について考察する。					
第5章 相関			確認テスト		
5-1 単相関 5-2 クラメールの連関係数 「牛乳を飲む量と身長の関係は？」などデータ間の関係性を明らかにする手法を学ぶ。					
第6章 統計的仮説検定			確認テスト		
6-0 統計的仮説検定 6-1 カイ二乗分布 6-2 カイ二乗検定 その統計は本当に正しいのでしょうか？統計の妥当性を検討する手法について習得します。					
第7章 区間推定			確認テスト		
7-1 中心極限定理 7-2 母平均の推定 7-3 母分散の推定 7-4 t分布 区間推定は、「一部から全体を探る」統計学の真髄です。少ないデータで鮮やかに全体を浮かび上がらせてみます。					
成績評価方法	単位修得試験（100%）により総合評価する。				
教科書	著書 「ラストリゾート統計学」 著者 花島健吾 出版社 ジャあそで堂 出版年度 2011年6月10日 1版				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	経営学総論	担当教員	藤本 秀俊
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 —			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	初めて経営学を学ぶ初心者の方を対象に、基本的な知識や理論を知ると共に、企業経営の全体像について理解します。	
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。また、企業経営の現状を客観的に掴むため普段から新聞を読んだり、ニュース番組を観たりして、実際の企業経営について関心を持って知識を増やしておいてください。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 企業経営入門 学びはじめとして、企業経営とはどのようなことを指すのかについて学ぶ。	確認テスト
	第2章 企業とは 企業はどのようにして社会に役立っているのか、社会に対する役割や現代の企業像について学ぶ。	確認テスト
	第3章 コーポレート・ガバナンス 会社は誰が動かしているのか、会社の形態や機関について学ぶ。	確認テスト
	第4章 経営理念と戦略 企業はどのような方針で動いているのか、経営理念の意味、経営戦略の種類について学ぶ。	確認テスト
	第5章 組織形態 企業はどのような仕組みで動いているのか、組織の形、組織形態の基本モデル、発展パターンについて学ぶ。	確認テスト
	第6章 組織間関係 企業は他の企業とどのように協力しているのか、企業集団、系列、戦略的提携について学ぶ。	確認テスト
	第7章 生産管理 企業はどのようにしてモノを造るのか、生産方式、コストダウン、QCサークルなどについて学ぶ。	確認テスト
	第8章 組織構造と職務設計 社員は仕事をどのように分担しているのか、仕事の分業、調整、効率について学ぶ。	確認テスト
	中間レポート	レポート
	第9章 モチベーションとリーダーシップ 社員はなぜ働くのか、働くことの意味や動機づけ、リーダーシップについて学ぶ。	確認テスト
	第10章 雇用システム 社員はなぜ組織にとどまろうとするのか、雇用管理、雇用形態等について学ぶ。	確認テスト
	第11章 報酬制度 社員はどのような報酬を求めているのか、賃金形態と賃金体系、賃金体系の変遷について学ぶ。	確認テスト
	第12章 人材育成制度 社員はどのようにして育てられるのか、人材育成の枠組み、キャリア支援、人材育成の課題について学ぶ。	確認テスト
	第13章 マーケティング 会社はどのようにしてモノを売るのか、マーケティングの意味、マーケティング戦略、ブランドについて学ぶ。	確認テスト
	第14章 国際経営 企業は海外でどのように経営しているのか、グローバル企業の類型、経営課題等について学ぶ。	確認テスト
第15章 会計制度 企業の利益はどのようにして測定するのか、財務活動、会計活動の基本について学ぶ。	確認テスト	
成績評価方法	各回の確認テスト (30%)、中間レポートの結果 (30%)、単位修得試験 (40%) により総合評価する。	
教科書	著書 『経験から学ぶ経営学入門』 著者 上林憲雄、奥林康司、團泰雄、開本浩矢、森田雅也、竹林明 出版社 有斐閣 出版年度 2011年5月30日 1版 ISBN 9784641183483	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	経営組織論	担当教員	小江 茂徳
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	経営組織論の学説を理解し、説明できるようになること、また自分が所属する身近な組織について、自分なりにどのようにうまく運営していけばよいのか考え、説明できるようになることです。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の該当する章をあらかじめ読了し、さらにオンデマンド教材を使って学習してください。各回の学習の最後には、課題を設けていますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 いろいろな組織の捉え方 ー多様な組織観を探るー 経営組織論にて仮定されてきた10の組織観について学習します。	確認テスト
	第2回 組織の中の個人① 組織の人間モデル 組織を理解する上で重要な人間モデルについて学習します。	確認テスト
	第3回 組織の中の個人② モチベーション モチベーション論を通して、組織の参加者のやる気をいかに高めていけば良いのか学習します。	レポート
	第4回 個人と組織のかかわり合い 個人は、組織に対して、いかに関与していけば良いのかについて学習します。	確認テスト
	第5回 集団の機能と組織 集団に関して、また集団が持つダークサイドについて学習します。	確認テスト
	第6回 組織におけるリーダーシップ リーダーシップ論を通じて組織の参加者をいかに導いていけば良いのかについて学習します。	レポート
	第7回 組織文化 組織文化論を通じて、自分の所属する組織の文化を理解する手法について学習します。	レポート
	第8回 経営組織の設計① 代表的な組織形態のメリット・デメリットを理解することを通じて、組織設計の考え方を学習します。	確認テスト
	第9回 経営組織の設計② 組織設計における基本的な原理について学習します。	確認テスト
	第10回 経営組織の動態化 ー組織変革ー 組織変革におけるさまざまな阻害要因について学習します。	確認テスト
	第11回 組織全体の方向づけと働く個人 良い経営戦略や組織のあり方について学習します。	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験（100％）によって評価します。	
教科書	著書 『経営組織（経営学入門シリーズ）』 著者 金井壽宏 出版社 日本経済新聞社 出版年度 2011年3月17日 ISBN 9784532105372	
参考書 (任意購入)	参考書は、各回の講義ごとにオンデマンド教材上で掲示しています。	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	経営管理論	担当教員	今井 希
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	テイラー、フォード、メイヨーから、ポーター、ウェルチなど草創期から近年の理論家・経営者を中心として、経営管理（マネジメント）に関する理論と実践がどのように展開してきたのか。その系譜と代表的な経営管理の考え方を、それが成立した社会的背景とともに理解する。				
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。また、各章の小テストはel-Campusで実施しますので、必ず確認して受験してください。				
学習内容	概 要				課 題
	第1章 ストップウォッチ・サイエンス —「科学的管理法」の登場	本章では、「科学的管理法」を提唱した、F. テイラーを中心に、再初期のマネジメントの思想と、それが登場した背景を学びます。 F. テイラーの「科学的管理法」が、それまでのマネジメントの考え方とどのように異なっているのかを考えてみましょう。			小テスト
	第2章 モダン・タイムス —フォードの大量生産ライン	本章では、フォード社が開発した移動組立ラインによる大量生産方式について学びます。 フォード社の大量生産方式の特徴とその問題点を、H. フォードのマネジメントに関する考え方とともに考えてみましょう。			小テスト
	第3章 組織の発見 —アルフレッド・スローンの経営モデル	本章では、組織の問題について考えた三人の理論家・実務家について、彼らの組織に対する考察と実践を学びます。 彼らのマネジメントの考え方を、テイラーやフォードといったそれ以前の考え方との違いから考えてみましょう。			小テスト
	第4章 人間の発見 —ホーソン実験と動態的管理	本章では、E. メイヨー達が行った「ホーソン実験」と呼ばれる調査と、M. P. フォレットのマネジメントの考え方を学びます。 「ホーソン実験」を通じて、メイヨーらは何を発見したのか。また、メイヨーらとフォレットとの考え方の違いを考えてみましょう。			小テスト
	第5章 戦時中の教訓 —品質管理と日本の再生	本章では、第二次大戦中のアメリカにおける戦争と企業活動の関わりと、その日本への影響を学びます。 アメリカにおける品質管理の形成と戦争との関わり、またそれが戦後の日本再生に与えた影響を考えてみましょう。			小テスト
	第6章 夢の生活 —マーケティングの興隆と人間関係学派	本章では、マーケティングの考え方と人間関係学派と呼ばれる動機づけ研究を、当時の社会的状況とあわせて学びます。 マーケティングの4Pやマーケティング近視眼といったコンセプトの含意や、人間関係学派が何を明らかにしようとしてきたのかを考えてみましょう。			小テスト
	第7章 戦略の理解 —ドラッカー、チャンドラー、アンゾフ、ミンツバーグ	本章では、経営戦略論の展開とビジネス・スクールにおける経営者教育について学びます。 経営戦略の研究者が主張したことを、経営者育成機関としてのビジネス・スクールの役割とあわせて考えてみましょう。			小テスト
	第8章 組織的な麻痺 —ヨーロッパ型の企業経営	本章では、アメリカ企業やその経営者が抱えた問題と、成功しているヨーロッパ企業のマネジメントの方法を学びます。 A. トフラーやH. ミンツバーグが指摘した、アメリカ企業とその経営者の問題とは何か。また、問題解決の手がかりとしようとしたヨーロッパ企業のマネジメントの特徴とアメリカ型のマネジメントとの違いを考えてみましょう。			小テスト
	第9章 エクセレントな冒険 —日本の経営への注目	本章では、深刻化するアメリカ企業の経営不振と、それを克服するために模索したいくつかの可能性について学びます。 解決策としての日本企業への注目や、競争・顧客サービス・人的資源管理・リーダーシップといった領域で行われた経営の再検討は誰によってどのように行われたのかを考えてみましょう。			小テスト
	第10章 新しいパワーバランス —ABB、GE、トヨタ、デル	本章では、1990年代に注目された新しいマネジメントの方法を具体的な企業の活動を通じて学びます。 各企業が行っているマネジメントの特徴と、組織の編成という点における従来の視点との違いを考えてみましょう。			小テスト
	第11章 マネジメントの現状 —21世紀に向けて	本章では、組織のマネジメントに関して1990年代後半に議論されていたトピックについて学びます。 最終章ということもあり、必ずしもまとまった内容ではありませんが、アージリス・ショーンの学習論のポイントを考えてみましょう。			レポート
成績評価方法	毎回の課題（30%）と単位修得試験（70%）の成績によって評価する。				
教科書	著書 『マネジメントの世紀1901～2000』 著者 スチュアート・クレイナー 出版社 東洋経済新報社 出版年度 2010年8月31日 ISBN 9784492521137				
参考書(任意購入)	『経営管理』、野中郁次郎、日本経済新聞社、903円（税込）、1980年 『経営組織』、金井壽宏、日本経済新聞社、903円（税込）、1999年 『経営管理』、塩次喜代明・小林敏男・高橋伸夫、有斐閣、1,995円（税込）、2009年など				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	マーケティング論	担当教員	杉林 弘仁
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席 レポート評価とディスカッションへの寄与度で評価します。			資格名 プレゼンテーション実務士
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	マーケティングは企業活動のなかでどのような役割を果たしているのか、マーケティングとは何か、マーケティングの基本概念を体系的に学びます。しかし、マーケティングは企業活動だけのものではなく、日常生活や仕事のなかで、問題解決の思考や、価値観や生き方を考えるヒントを取り入れることでもあります。 本講でのディスカッションを通じて、皆さんとともに市場を見る目、マーケティングセンスを磨いていきたいと思えます。
学習の進め方	主にパワーポイントを使って、基礎的な知識・理論について説明しますが、時折、発言を求め、双方コミュニケーションを図ります。スクーリングの後半に、各自、業界・企業・商品について事例報告、または、消費者ニーズの探求についてレポートしていただき、それをもとにディスカッションします。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 マーケティング概要(はじめに) まず、最初にマーケティングの全体像がわかるようにマーケティング管理の体系について説明します。	
	第2回 マーケティング変遷 マーケティングのなりたち、時代背景によって変化するマーケティング論の発展について学習します。	
	第3回 マーケティング戦略 戦略とは何か、経営戦略論の知識と合わせて学習します。	
	第4回 マーケティングとマーチャンダイジング 小売業のマーケティングとマーチャンダイジングについて、流通論の基本的な知識とあわせて説明します。	
	第5回 標的市場の設定(ターゲット) 第5回以降はマーケティングの各詳細項目にはいっていきます。この回はターゲットのとらえ方についてみていきます。	
	第6回 製品マネジメント マーケティングの中心課題である製品、製品・商品の考え方、製品開発過程についてみていきます。	
	第7回 価格マネジメント 価格のもつ特性・消費者への効果について、価格のもつ意味、価格戦略について考えます。	
	第8回 チャネル・マネジメント 流通チャネルの構造、チャネル構築と管理について、チャネルとは何かについて考えていきます。	
	第9回 プロモーション・マネジメント 広告・プロモーション、人的販売、その他プロモーションの種類とその役割について、考えていきます。	
	第10回 ブランド・マネジメント ブランドとは何か、マーケティング課題の中心、非価格競争について考えていきます。	講義で得た知見をもとに「マーケティングの実践として消費者ニーズに探求」のレポートを作成
	第11回 顧客マネジメント 営業という仕事を取り上げて、これからの顧客との関係の構築について考えてみます。	
	第12回 企業の社会的責任 事業を通じた社会問題の解決について考えてみます。	
	第13回 消費者ニーズの探求・マーケティング・アイ(1) 各自のレポート発表に基づき、マーケティングセンスを高めるディスカッションを行います。	
	第14回 消費者ニーズの探求・マーケティング・アイ(2) 各自のレポート発表に基づき、マーケティングセンスを高めるディスカッションを行います。	
	第15回 マーケティング(おわりに) このスクーリングで得たマーケティングとは何だったのか整理し総括とします。	
成績評価方法	課題レポート(70%)、ディスカッション寄与度(30%)	
教科書	著書 『1からのマーケティング第3版』 著者 石井淳蔵・廣田章光 出版社 碩学舎 出版年度 2011年1月30日 3版 ISBN 9784502665509	
参考書(任意購入)	著者 『マーケティングを学ぶ』 著者 石井淳蔵 出版社 ちくま新書 出版年度 2010年 ISBN 978-4-480-06530-8	
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	マーケティングリサーチ	担当教員	杉林 弘仁
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	マーケティングリサーチの入門として、アンケート調査を中心にマーケティングリサーチの概念とその体系について理解することを目標としています。					
学習の進め方	この講義ではオンデマンド教材を主教材として学習を進めます。学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせてから、次の回に進むようにしてください。					
学習内容	概 要			課 題		
	第1回 マーケティングとは	マーケティングとは何か、というところから始めます。レビットの論文「マーケティングマイオビア」を参照してマーケティング的な発想を理解します。マーケティングの定義やマーケティングでよく使う言葉を整理しながら、企業のビジネスの視点とマーケティング戦略の体系について学習していきます。			確認テスト	
	第2回 マーケティングとリサーチの役割	マーケティングの史的展開についてみていきます。マーケティングの始まりから、マーケティングのロジックがどのようにかわり、どのようにマーケティングリサーチが必要になったのか、その背景について学習します。マーケティングは動態でリサーチもそれに合わせて変化することを学びます。マーケティングのなかでのリサーチの役割をつかむうえで、市場分析視点として市場細分化についてみていきます。			確認テスト	
	第3回 リサーチプロセス課題の発見と定義	リサーチの各論に入っていく前に、まず、マーケティングリサーチの目的は何か、ということに視座をおきます。ついでリサーチを6つのプロセスに分けて、リサーチの大枠を理解します。そのプロセスはどのようなステップになっていて、また各ステップにはどのような内容のものがあるのか、事例をまじえながらリサーチの流れとともに理解していきます。			確認テスト	
	第4回 リサーチデザインとデータ収集方法の決定	リサーチの種類にはどのようなものがあるのか、そして、リサーチデザインについてみていきます。ついで、1次データと2次データの分類と、そのデータを収集する方法にはどのようなものがあるのか、について理解します。			確認テスト	
	第5回 質問紙の作成	データの収集のなかでもアンケート調査でつかわれる質問紙の作成にフォーカスします。質問紙の作成を9つのステップにわけます。質問紙作成の全体プロセスとの位置づけをとらえて、各ステップでの留意点についてみていきます。			確認テスト	
	第6回 測定	ここでは、測定とは何か、測定のための尺度にはどのようなものがあるかを理解します。ついで消費者の行動ではなく態度とは測定する理由、態度の構成要因は何か、態度を測定するための尺度にはどのようなものがあるかを理解します。			確認テスト	
	第7回 サンプルデザインのプロセス	サンプリングを行うまえに、どのようなサンプルデザインを設計すべきなのか、サンプルデザインのプロセスをつかみ、各プロセスで、その詳細をみていきます。母集団をどう定義し、サンプリングフレームをどう捉えるのか、サンプリング方法にはどのようなものがあるのか、そのサンプルサイズはどうか考えればいいのか、データの収集と誤差問題についても考えていきます。			確認テスト	
	第8回 データ分析と仮説検定	データの分析に入る前のステップとして回収したデータのエディティング、スクリーニングについてみます。ついで、データを記述統計する際の基本統計量について、どのようなものがあるのかを学習します。仮説検定では、検定の基本的な考え方と、代表的な検定の手法をみていきます。			確認テスト	
	第9回 その他の統計手法	データの分析では、その他の統計的手法として2変量の相互関係をみる相関分析と3変量以上の関係をみる回帰分析についての基本的な見方を学習します。そのあとで、その他、多変量のデータを解析する多変量解析にはどのような種類のものがあるのかについて学習します。			確認テスト	
	第10回 レポートプレゼンテーション	多変量解析についていくつかの代表的な手法をみていきます。最後に、マーケティングリサーチの最終のプロセスとして、リサーチ結果を、マーケティングの意志決定に反映させるための、リサーチ結果の報告について学習します。			確認テスト	
成績評価方法	各回の確認テスト (30%)、単位修得試験 (70%)					
教科書	著書 『マーケティングリサーチ入門』 著者 高田博和・上田隆穂・奥瀬喜之・内田学 出版社 PHP 研究所 出版年度 2008年12月22日 1版 ISBN 9784569704494					
参考書(任意購入)						
必須ソフト・ツール						
備考						

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	経営戦略事例研究	担当教員	芦原 直哉
レベルナンバ	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用法	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席(ただし最終日は必ず出席すること)			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	【目的】 経営戦略の事例を分析することにより、正しい経営理念、的確な戦略立案、戦略目標を達成するための組織について習得する。 【目標】 戦略コンテキストの分析を行い、コンテキストの変化に対応し成長するための競争優位の戦略について立案しプレゼンテーションできる能力を習得する。	
学習の進め方	講義とケーススタディを並行して行うことにより経営戦略の理論と実践を融合させる。予め教科書とケースブックが送られるので、受講生は教科書・参考書を熟読しケースブック記載のレポート課題をプレゼンテーション資料として作成し、授業でのディスカッションや発表の準備をして臨むこと。	
学習内容	概 要	
	第1回 講義：経営理念と経営戦略 戦略立案に先立って必要不可欠な経営理念の重要性を学ぶ。	CASE 1
	第2回 CASE 1 ケーススタディ(不滅の理念企業、ドラッグストア業界の理念分析) CASE 1の発表とディスカッション	研究課題 1
	第3回 企業不祥事とCSR 昨今、利益至上主義的経営戦略が企業不祥事を招き破綻へと進むケースが多い。企業不祥事事例から理念・戦略の在り方を学ぶ。	CASE 2
	第4回 CASE 2 ケーススタディ(企業不祥事から会社を守れ) 企業不祥事企業と不祥事から会社を守る企業の事例を研究する。	CASE 3
	第5回 講義：意思決定とロジカルシンキング レポート、プレゼンテーションの為にロジカルシンキング、ライティング、プレゼンテーションを習得する。	
	第6回 CASE 3 戦略コンテキストの分析 戦略を立案するための戦略コンテキストの分析を行う。特定業界・特定企業の内部コンテキストの分析についてケーススタディによって習得する。	CASE 3
	第7回 SWOT分析 外部環境としての機会と脅威、内部環境としての強みと弱みの分析から戦略の方向性を導き出す手法を習得する。	CASE 3
	第8回 CASE 4 成長戦略(ディスカッション) 最新の成長戦略事例を分析することにより成長戦略モデルを研究しグループでディスカッションする。	CASE 4
	第9回 CASE 4 成長戦略(発表) グループ毎に研究成果を発表する。	CASE 4
	第10回 講義：戦略と組織 戦略と組織に関する理論を習得する。	
	第11回 CASE 3 成長戦略2(ディスカッション) CASE 3のX社が今後どのような成長戦略を採るべきかについての課題につきグループでディスカッションする。	CASE 3
	第12回 CASE 3 成長戦略2(発表) グループでの研究成果を発表する。	CASE 3
	第13回 総合課題：(ディスカッション) X社の中期ビジョン策定課題をグループでディスカッションしグループとしてのプレゼンテーション資料を作成する。	CASE 3
	第14回 総合課題：(発表) グループの成果をガラスで発表する。	CASE 3
第15回 課題試験 事前に与えられた課題について試験を行う。授業での学習と復習に対する取組姿勢及び理解度を評価する。		
成績評価方法	単位修得試験(40点)、平常点レポート(40点)、授業貢献度(20点)	
教科書	著書 『経営者の使命と行動』 著者 芦原直哉 出版社 三恵社 出版年度 2010年4月1日 2版 ISBN 9784883614523 配布資料：Case Book	
参考書(任意購入)	『The Function or the Executive(経営者の役割)』、Barnard, C I. (山本安次郎、田杉鏡、飯野春樹訳)、London: Harvard University Press(ダイヤモンド社)、1938(1956)年 『企業戦略論(上・中・下)』、Barney, L. B. (岡田正人訳)、ダイヤモンド社、2,520円(税込)、2003年 『戦略の経済学』、Besanko D, Dranove D, Shanley M. (奥村昭博、大林厚臣訳)、ダイヤモンド社、6,720円(税込)、2002年 『Built to LAST(ビジョナリーカンパニー)』、Collins, J.C.& Porras, J.I. (山岡洋一訳)、New York: Harper Collins(日経BP出版センター)、1994(1995)年 『組織の経営学』、Daft, R L, ダイヤモンド社、3,360円(税込)、2002年 『ビジネス倫理10のステップ』、Dorisicff, D M; Hoffman, W M; (葉山隆二、小山博之訳)、生産性出版、2,520円(税込)、2001年 『マネジメント(第1・下巻)』、Drucker, P F; (野田一夫、村上恒夫監訳)、ダイヤモンド社、2,520円(税込)、1974年 『マーケティング・マネジメント』、Kotler, P. (恩蔵直人、月谷真紀訳)、ピアソン・エデュケーション、3,990円(税込)、2002年 『完全なる経営』、Maslow, A H. (金井壽宏、大川修二訳)、日本経済新聞出版社、2,625円(税込)、2001年 『競争の戦略』、Porter, M E; (土岐坤、中辻萬治、小野寺武夫訳)、ダイヤモンド社、5,913円(税込)、1980(1982)年 『戦略経営論』、Saloner, D; Shepard, A; Podolny, L; (石倉洋子訳)、東洋経済新報社、5,040円(税込)、2002年 『企業家とは何か』、Schumpete r. (清成忠男訳)、東洋経済新報社、1,890円(税込)、1998年 Simon, H. A., Administrative Behavior, New York: The Free Press, 1945年 『経営管理入門』、岸川善光、同文館出版、2,730円(税込)、1999年 『超企業・組織論』、高橋伸夫編、有斐閣、2,310円(税込)、2000年 『ミッション・経営理念』、社会経済生産性本部(編)、生産性出版、2,730円(税込)、2004年 『戦略経営論』、Saloner, D; Shepard, A; Podolny, L; (石倉洋子訳)、東洋経済新報社、2002年	
必須ソフト・ツール		
備考	CASEは最新のものを使うので上記記載の内容と異なる場合もある。 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	ビジネスネゴシエーション事例研究	担当教員	芦原 直哉
レベルナンバ	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席(ただし最終日は必ず出席すること)			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	【目的】交渉相手の協力を得て自社の問題を解決し双方が利益を享受する“共利協働型交渉”を事例や模擬交渉を通じて習得する。 【目標】共利協働型交渉の理論を習得するとともに、理論を実践できる能力を習得する。				
学習の進め方	講義・模擬交渉・ケーススタディを三位一体で授業をすすめ、交渉の理論を実践で生かせる能力と技術を習得する。予め教科書とケースブックが送られるので、受講生は教科書・参考書を熟読しケースブック記載のレポート課題をプレゼンテーション資料として作成し、授業でのディスカッションや発表の準備をして臨むこと。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 講義：交渉相手と交渉力	交渉相手の文化や関係、パワーバランスなどを認知・理解することの重要性を学ぶ。			CASE 1
	第2回 模擬交渉1(プロ野球選手移籍条件交渉)	模擬交渉を通じて分配型交渉に不毛を理解し、共通目的の探索による共利協働型交渉への転換方法を体得する。			CASE 1
	第3回 ディスカッション CASE 1	CASE 1 課題の発表とディスカッション			CASE 1
	第4回 講義：取引交渉1(分配型交渉)	分配型交渉の理論とその問題点を学ぶ。			CASE 1
	第5回 講義：取引交渉(共利協働型交渉)	共利協働型の交渉の理論を学ぶ。			CASE 2
	第6回 模擬交渉2(アルバイト時給交渉)	模擬交渉を通じて共利協働型交渉の理解をより深める。			CASE 2
	第7回 ディスカッション CASE 2	ビジネスは交渉相手である顧客の問題を解決することであることを商品開発成功事例を分析し理解を深める。			CASE 2
	第8回 模擬交渉3(自動車船積み交渉)	究極の問題解決型交渉を模擬交渉によって理解する。			CASE 2
	第9回 講義：意思決定交渉	内部の交渉である意思決定交渉の理論について学ぶ。			CASE 2
	第10回 講義：紛争解決交渉	コンフリクトを起こしてしまった交渉の解決手法について学ぶ。			CASE 3
	第11回 模擬交渉4(合併交渉①)	企業合併の模擬交渉を通じて、組織内の意思決定交渉の理解を深める。			CASE 3
	第12回 模擬交渉4(合併交渉②)	組織内での意思決定交渉の後に合併相手との取引交渉を行い、組織の意思決定と外部との取引交渉の相互関係について理解を深める。			CASE 3
	第13回 ディスカッション CASE 3	非倫理的ビジネス交渉が企業不祥事となり信用を失墜させ、多くの場合破綻への道を歩むことを事例研究から学ぶ。			CASE 3
	第14回 講義：紛争解決交渉	組織内外の紛争を解決する交渉について手法を学ぶ。			CASE 3
	第15回 課題試験	課題についての理解度を論述試験する。			
成績評価方法	単位修得試験(40点)、課題レポート(20点)、模擬交渉(20点)、授業貢献度(20点)				
教科書	著書 『交渉の科学』 著者 芦原直哉 出版社 三恵社 出版年度 2009年4月1日 初版 ISBN 9784883614516 配布資料：Case Book				
参考書(任意購入)	『The Function or the Executive(経営者の役割)』、Barnard, C.I.(山本安次郎、田村鏡、飯野春樹訳)、London: Harvard University Press(sダイヤモンド社)、1938(1956)年 『バイアスを排除する経営意思決定』、Bazerman, M.(兼広崇明訳)、東洋経済新報社、2,940円(税込)、1999年 『紛争管理論』、Deutsch, M.; Coleman, P.T.; (レビン小林久子訳)、日本加除出版、2002(2003)年 『紛争解決の心理学』、Deutsch, M.; ミネルバ書房、1973(1995)年 『ファシリテーションリーダーシップ』、Eekes, J.; ダイヤモンド社(ジェネックスパートナーズ訳)、1,890円(税込)、2004年 『Getting to YES: Negotiating Agreement Without Giving In』、Fisher, R; Ury, W; Patton, B.; New York: Penguin Books、1981年 『Essentials of Negotiation(交渉学教科書)』、Lewicki, R J; Saunders, D M; Minton, J W; (藤田忠監訳、各務洋子、熊田聖、篠原美登里訳)、San Francisco: Irwin McGraw-Hill(文真堂)、1997(1998)年 『考える技術・書く技術』、Minto, B.(山崎康司訳)、ダイヤモンド社、1,680円(税込)、1999年 『企業倫理』、Paine, L.S.(梅津光弘、柴柳英二訳)、慶應義塾出版会、1999年 『The Art & Science of Negotiation』、Raiffa, H.; London: Harvard University Press、1982年 『ビジネス交渉と意思決定』、印南一路、日本経済新聞社、1,785円(税込)2001年 『社会的認知ハンドブック』、山本眞理子・外山みどり・池上知子・遠藤由美・北村英哉・宮本聡介編、北大路書房、3,990円(税込)2001年				
必須ソフト・ツール					
備考	CASE及び模擬交渉は最新のものを使うので上記記載の内容と異なる場合がある。 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語プレゼンテーション	担当教員	野坂 純子
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	英語のスピーチ・プレゼンテーションの基本スタイルを知る 英語でプレゼンテーションを行う技術を身につける スピーチやプレゼンテーションに使う英語のフレーズ・ボキャブラリーを習得する				
学習の進め方	教科書・DVD教材などの英語プレゼンテーションを参考にしながら、実践力を養います。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 身体表現の基本 I	姿勢・アイコンタクトの重要性と効果			確認テスト
	第2回 身体表現の基本 II	好ましい姿勢・アイコンタクトのとり方			確認テスト
	第3回 ジェスチャーによる効果 I	ジェスチャーの種類と効果			確認テスト
	第4回 ジェスチャーによる効果 II	効果的なジェスチャーの使い方			確認テスト
	第5回 発声と発音 I	プレゼンテーションに見る音声効果と重要性			確認テスト
	第6回 発声と発音 II	英語プレゼンテーションにおける発声と発音の方法			確認テスト
	第7回 視覚資料の活用 I	視覚資料の種類と効果			確認テスト
	第8回 視覚資料の活用 II	視覚資料の作り方			確認テスト
	第9回 説明と説得の技術 I	視覚資料の使い方			確認テスト
	第10回 説明と説得の技術 II	説明・説得の進め方			確認テスト
	第11回 プレゼンテーションの組み立て	全体構成			確認テスト
	第12回 内容の構成 I	Introduction			確認テスト
	第13回 内容の構成 II	Body			確認テスト
	第14回 内容の構成 III	Conclusion			確認テスト
	第15回 まとめ	総合表現			確認テスト
成績評価方法	確認テスト(50%)、単位修得試験(50%)				
教科書	著者 [SPEAKING of SPEECH New Edition] 著書 David Harrington & Charles Lebeau 出版社 MACMILLAN 出版年度 2009年 ISBN 9784777362714				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 演習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語ネゴシエーション	担当教員	田中 義次
レベルナンバ	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	授業への積極的な態度と参加(2/3以上の出席)			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	皆様とともに講師の欧米人、中国人、アジア人との社会体験・業務交渉を参考に、急激にグローバル化する世界の環境の中で、TOOLである英語をどの様に(positive、negative、aggressive発想)扱うことが効果的であるかを具体的、実践的に学びとる。				
学習の進め方	「気概」「ウイット」「思いやり」「CHALLENGE」がKEY WORDS。「交渉は一夜にして成らず」日常生活の話題を通じて交渉環境・相手を具体的に想定し、皆さんとともに重要な手掛かりやポイントを探求しながら多様な交渉を優位に導ける方法・準備行為を確認し、TOOLである英語を如何にうまく効果的(T.P.O)に具体的に表現出来るかを動画なども活用し実践的におこなう。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回	英語交渉で一番身につけたいものは？			
		全体ガイダンス(米国・中国交渉術・法的背景・関係英語)			
	第2回	半端じゃない米国人の食べる量、必ず残す中国人、WHY？			
		「食・商習慣」から見た米国・中国交渉術			
	第3回	骨格が違う人種・アメリカ人・列を守らない香港人	確認テスト		
		「衣服・生活習慣」から見た米国・中国交渉術			
	第4回	サンフランシスコ、一日のうちに四季がある。それで!!			
		「衣服」から見た米国・中国交渉術			
	第5回	以心伝心は日本人の特許、沈黙は金なり=世界で通用するの？	確認テスト		
		「住生活習慣・マナー・治安」から見た米国・中国交渉術			
	第6回	中国アモイ、祝宴で隣の席の市長が半年後死刑に！			
		「住生活習慣・マナー・治安」から見た米国・中国交渉術			
	第7回	高級住宅地とスラム街が隣り合わせに	確認テスト		
		「住生活習慣・マナー・治安」から見た米国・中国交渉術			
	第8回	アメリカの会社では直属の上司が社内公募！、中国では国！	確認テスト		
	「労働・教育・賃金」から見た米国・中国交渉術				
第9回	娘が障害者の支援に、学校の単位に、ゴミ拾いも！				
	「労働・教育・賃金」から見た米国・中国交渉術				
第10回	解雇と同時に会社のものは一切触れさせない				
	「労働・教育・賃金」から見た米国・中国交渉術				
第11回	米国人の「YES」は「NO」、「NO」は「YES」なの？	確認テスト			
	情報・観光・エンタータイムから見た米国・中国交渉術				
第12回	警察も金次第、信号無視で突っ走る(中国)				
	情報・観光・エンタータイムから見た米国・中国交渉術				
第13回	自動車保険(スポーツカーはなぜこんなに高いの？)	確認テスト			
	「保険・医療・金融」から見た米国・中国交渉術				
第14回	銀行は信用できる？目前で横線をひいて訂正した社員！				
	「保険・医療・金融」から見た米国・中国交渉術				
第15回	まとめ：成功の秘訣は“どれだけ多く失敗できるか”				
	全過程を振り返り皆で意見交換				
成績評価方法	各回ごとの確認テスト60%、単位修得試験40%				
教科書	著書 「英語で意見を通すための論理トレーニング」 著者 有元 光津世 出版社 ジャパンタイムズ 出版年度 2009年1月25日 ISBN 9784789013222				
参考書(任意購入)	「ハーバード・ビジネススキル講座 交渉力」、ハーバード・マネジメント・アップデート編集部(著)、ハーバード・マネジメント・コミュニケーション・レーター編集部(著)、DIAMONDハーバード・ビジネスレビュー編集部(翻訳)、ダイヤモンド社、1,890円(税込)、2006年 「駆け引きを有利に進めるビジネス英語」、法島由昭(著)、三修社、1,890円(税込)、2008年				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 演習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	簿記論・財務会計	担当教員	小野 慎一郎
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	会計の基本的な用語や考え方を理解し、その内容について説明できるようになる。 会計数字の意味する内容を理解し、会計数字から企業活動を読み取ることができるようになる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 会計情報の役割 経済社会における会計、企業活動と会計情報、会計の機能	確認テスト
	第2章 会計制度と社会 株式会社の利害関係者、会社法の会計、金融商品取引法の会計、法人税法の会計	確認テスト
	第3章 会計の仕組み 貸借対照表、当期純利益、損益計算書	確認テスト
	第4章 貸借対照表 貸借対照表の役割、流動・固定分類、資産、負債、純資産	確認テスト
	第5章 在庫の会計 商品の仕入と製品の生産、売上原価の計算、棚卸資産の期末評価、棚卸資産回転期間	確認テスト
	第6章 生産設備の会計 固定資産の範囲と区分、有形固定資産の取得、減価償却、減損処理	確認テスト
	第7章 金融資産の会計 金融資産の種類と目的、現金及び預金、有価証券、時価評価	確認テスト
	第8章 負債と資本の会計 自己資本と他人資本による資金調達、営業負債と有利子負債、純資産の内訳と配当	確認テスト
	第9章 損益計算書 損益計算書の仕組み、利益算出の流れ、損益計算書にみる企業の経営形態	確認テスト
	第10章 営業活動の会計 企業の営業活動と営業循環、売上代金の回収と収益の認識、代金回収の不確実性	確認テスト
	第11章 儲かる仕組みの分析 収益性の分析、ROEの3分解、安全性の分析	確認テスト
	第12章 利益構造の分析 損益分岐点、損益分岐分析にみる利益構造、内部経営分析としてのCVP分析	確認テスト
	第13章 経営管理と会計 PDCAサイクル、原価管理	確認テスト
	第14章 会計を活用する仕事 経理担当者、財務諸表の分析者、公認会計士、税理士、企業経営者	確認テスト
成績評価方法	各回の確認テスト (50%)、単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『1からの会計』 著者 谷武幸・桜井久勝 出版社 碩学舎 出版年度 2011年6月10日 1版 ISBN 9784502299803	
参考書(任意購入)	『カラー版 会計のことが面白いほどわかる本〈会計の基本の基本編〉』、天野敦之、中経出版、1,680円(税込)、2012年 『財務会計・入門〔第9版〕』、桜井久勝・須田一幸、有斐閣、1,890円(税込)、2014年	
必須ソフト・ツール	計算機	
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	広報論	担当教員	藤江 俊彦
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	広報・PRと広告・宣伝の定義と相違を説明出来るようになる。それぞれを効果的かつ効率的に活用するために、プロセスを理解し計画から戦略管理の方法を指摘できるようになることを目指す。				
学習の進め方	el-Campus システム上のオリエンテーションに従って学習を進めること。まず、各章にある学習目標とポイントの解説教材を視聴し、教科書を読んでいくこと。読み終わったら、理解度の確認のために小テストを受験すること。単位修得試験の範囲は全授業回で扱う内容とする。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 広報ベーシック・バージョン	広報・PRの基本知識と広告宣伝との相違			小テスト
	第2回 広報レベルアップ・バージョンⅠ	マスコミへのアプローチとパブリシティ			小テスト
	第3回 広報レベルアップ・バージョンⅡ	危機広報と緊急時のマスコミ対応			小テスト
	第4回 広報スキルアップ・バージョンⅠ	活字広報ツールの印刷・編集の基本			小テスト
	第5回 広報スキルアップ・バージョンⅡ	社内報と映像・ウェブ・体験型(イベント等) ツール			小テスト
	第6回 広報ストラテジック・バージョン	目的・対象対応の戦略広報(IR、環境、CI等)			小テスト
	第7回 広告・宣伝ベーシック・バージョン	広告とマーケティング・コミュニケーション			小テスト
	第8回 広告・宣伝レベルアップ・バージョン	広告取引と広告媒体(マスメディア)の特性			小テスト
	第9回 広告・宣伝スキルアップ・バージョン	広告計画と広告表現、パンフ、DM制作			小テスト
	第10回 広告・宣伝ストラテジック・バージョン	広告目標、予算、効果測定、法的規制			小テスト
	成績評価方法	小テスト(40%)と単位修得試験(60%) ・小テストは、各章の内容から5問程度出題。合格基準は80%である。合格するまで何度でも受験可。 ・単位修得試験は、授業範囲内からレポート課題とする。			
教科書	著書 『はじめての広報・宣伝マニュアル』 著者 藤江俊彦 出版社 同友館 出版年度 2007年12月10日 ISBN 9784496025013				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	経営と情報	担当教員	藤田 昌弘
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席（ただし最終日は単位修得試験のため必ず出席すること）			資格名
	実施方法	現地試験（レポート）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	経営における情報の重要性和情報システムの必要性を理解する。				
学習の進め方	事前に教科書を読み、経営における情報に関するターム（用語）を調べておくこと。 授業で、それらのタームの解説を行うとともに、経営における情報の役割を一緒に考える。 各授業の最後に一日の講義の内容をまとめとして解説する。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 授業の計画、情報の一般概念	情報の概念を整理する。			
	第2回 情報の価値	情報取得による“情報のありがたさ”の意味を考える。			
	第3回 情報の持つ特質、情報に求められる要件	物的剤と情報剤の持つ特質の違い、情報に求められる要件を整理する。			
	第4回 企業活動と情報1	教科書の第1章を参考に講義をおこなう。			
	第5回 企業活動と情報2、中間のまとめ1	教科書の第1章を参考に講義をおこなう。			
	第6回 意思決定と情報	教科書の第2章・第3章を参考に講義をおこなう。			
	第7回 情報技術	教科書の第4・第5章を参考に講義をおこなう。			
	第8回 情報技術	教科書の第17章を参考に講義をおこなう。			
	第9回 経営情報システムの種類	教科書の第7章・第8章・第9章を参考に講義をおこなう。			
	第10回 経営情報システムの種類、中間のまとめ2	教科書の第10章・第11章を参考に講義をおこなう。			
	第11回 情報システムの計画	教科書の第13章を参考に講義をすすめる			
	第12回 情報システムの設計	教科書の第13章を参考に講義をすすめる。			
	第13回 経営とインターネット	教科書の第17章を参考に講義をすすめる。			
	第14回 eビジネスの特徴	教科書の第18章を参考に講義をすすめる。			
	第15回 全体のまとめとテスト	レポートの課題提示とレポートの提出。			
成績評価方法	単位修得試験（100%）により評価する				
教科書	著書 『経営情報システム』 著者 宮川公男 出版社 中央出版社 出版年度 2011年2月10日 3版 ISBN 9784502414107				
参考書(任意購入)	『情報の経済理論』、野口 悠紀雄、東洋経済新報社、3,990円（税込）、1974年7月1日				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	起業論	担当教員	岩山 仁
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席			資格名
	実施方法	平常点(レポートなど)及び課題発表と提出			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	起業することの個人的意味と社会的意味を概観し、起業する上で必要な考え方、知識、メンタル・コントロール等の基本を学んだ上で、ビジネスアイデアを発掘し、「アイデア」を「プラン」に落とし込むスキルを習得することを目指します。				
学習の進め方	講義だけではなく、ワークを通して起業する上で必要な考え方、知識、メンタル・コントロール等の基本を身につけながら、実際の事例を参考にして、事業のプランニングをしていきます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 起業することの意味	起業することの個人的意味と社会的意味について概観し、自分にとっての起業の意味を考える			
	第2回 起業に必要な考え方	起業に必要な考え方、ミッション、ビジョンについて			
	第3回 サクセス・コントロール	人間の行動のメカニズムと「成功」をコントロールする方法について			
	第4回 自分を知る	ビジネスタイプ分析による、自分の能力・特性を活かす方法と、短所を補うビジネスチームの作り方について			
	第5回 ビジネスアイデア	ビジネスアイデアの作り方と、ビジネスの基本について			ビジネスアイデア
	第6回 マーケティングの基本	NEEDSとWANTS、AIDMAからAISASへ			
	第7回 リサーチ	インターネットを利用した簡単なりサーチの方法と実践			各々の考える事業についての調査
	第8回 プランニングの基礎	目指す事業についての5W2Hを明確にし、アイデアをプランに落とし込む方法について			
	第9回 モデリング	成功事例の分析とTTP戦略について			各々の考える事業の成功事例調査
	第10回 プランニング演習1	各々の事業の基本的なプランニングを行い、相互評価、アイデアの補足を行う			事業の基本的なプランニング
	第11回 目標設定と行動マネジメント	目標設定の仕方と目標達成のための行動マネジメントについて			
	第12回 売り上げと利益	売上と利益についての基本と利益を上げるためのポイント			
	第13回 利益モデル	さまざまな利益モデルのしくみと実例			
	第14回 プランニング演習2	ここまで学んだことを踏まえて、各々の事業のプランニングの仕上げを行う			
	第15回 プランの発表とふりかえり	受講生による事業計画の発表とふりかえり			事業計画の作成と発表
成績評価方法	授業への積極的参加(15%)、課題提出(30%)、発表及び期末レポート(55%)により、総合的に評価。				
教科書	著書 『億万長者専門学校』 著者 クリス岡崎 出版社 中経出版 出版年度 2008年9月27日 ISBN 9784806130451				
参考書(任意購入)	『葉っぱで2億円稼ぐおばあちゃん』、ビーバル地域活性化総合研究所編、小学館、1,260円(税込)、2008年 『ザ・アントレプレナー』、吉田雅紀、ダイヤモンド社、1,500円(税込)、2006年 『佐藤可土和の超整理術』、佐藤可土和、日本経済新聞出版社、1,575円(税込)、2007年				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	財務分析	担当教員	上野 精一
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	財務分析の基本的枠組みを解説した上で、ケーススタディとして財務分析の実践を行うことにより、大企業のみならず身近な中小企業の財務分析ができるようになることを学習目的とする。	
学習の進め方	教科書の内容をデジタル教材で補完することをベースに、疑問点等は科目掲示板等での質疑応答で理解を深める。受講生の間のコミュニティとして科目掲示板を利用する。	
学習内容	概 要	課 題
	第1講 財務諸表の見方、読み方、基礎知識 専門用語の理解	小テスト
	第2講 貸借対照表の見方、読み方 基礎 専門用語の理解	小テスト
	第3講 貸借対照表の見方、読み方 実践 ケーススタディ	小テスト
	第4講 損益計算書の見方、読み方 基礎 専門用語の理解	小テスト
	第5講 損益計算書の見方、読み方 実践 ケーススタディ	小テスト
	第6講 キャッシュフロー計算書の見方、読み方 基礎・実践 専門用語の理解、ケーススタディ	小テスト
	成績評価方法	各講の小テスト（30%）と単位修得試験の結果（70%）により評価する。
教科書	著書 「1秒！」で財務諸表を読む方法【実践編】 著者 小宮一慶 出版社 東洋経済新報社 出版年度 2010年12月16日 ISBN 9784492601907	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	事業計画	担当教員	前田 佐保
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	授業参加度（出席状況、ディスカッションなど）とプレゼンテーションの実施 2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	レポート（事業計画書を完成させて提出すること）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標 本授業では、社会的課題の解決に向けた事業の企画立案力、提案力・表現力を養うことをめざす。具体的には、まず、企業とは違ったNPOマネジメントの特性を踏まえ、NPO（社会的企業含む）の事業計画（ビジネスプラン）の作成に関する基本的な知識や考え方、具体的な手法について理解する。その上で、実際にビジネスプランを作成、プレゼンテーションを実施、受講生同士で相互レビューなどの体験を通じて、実践的な技能の習得を図る。

学習の進め方 教科書（第2章、第6章、第7章を中心に）は基礎知識の習得のため自宅学習を行うこと。講義では、適宜パワーポイントを使用したり、参考資料を配布して進める。授業での指導を踏まえ、インターネットや文献などで情報収集を行い、ビジネスプランを作成すること。一方的な講義中心ではなく、皆さんの思い・構想を具体的なビジネスプランに落とし込む作業を通じて自主的に学び、また受講生同士で学びを得られるよう、積極的な姿勢で取り組むことを期待しています。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション 授業の概要やねらい、自己紹介、スケジュールなど	
	第2回 NPO マネジメントの特徴を理解する ミッション・ベースト・マネジメント、会員、理事会と事務局、ボランティア、多様なステークホルダーとの関係、ファンディング、広報など	
	第3回 プロジェクトマネジメントの枠組みを理解する 開発援助プロジェクトで主に活用されている事業管理手法であるプロジェクトサイクルマネジメント（PCM）の基礎知識、PDCA サイクルの紹介など	
	第4回 事業計画をつくる① 考え方のポイント ミッション、ゴール、オブジェクトの関係 思い、ニーズ、キャパシティのバランスを図る	
	第5回 事業計画をつくる② 準備 外部環境と内部環境の分析	
	第6回 事業計画をつくる③ 準備 SWOT分析	
	第7回 事業計画をつくる④ 企画立案 問題意識と課題の特定、原因の分析、事業対象とニーズ	
	第8回 事業計画をつくる⑤ 企画立案 事業内容（商品・サービスの内容・特徴・優位性、提供方法、実施体制、広報など）、事業実施によって想定される効果	
	第9回 事業計画をつくる⑥ 企画立案 事業実施スケジュール（責任者や目標、期限含む）	
	第10回 事業計画をつくる⑦ 企画立案 資金・収支計画、予算	
	第11回 プレゼンテーション① 受講生による事業計画（ビジネスプラン）の発表	
	第12回 プレゼンテーション② 受講生による事業計画（ビジネスプラン）の発表	
	第13回 プレゼンテーション③ ビジネスプランの相互レビュー、ディスカッション	
	第14回 中期計画、戦略計画 組織の戦略、方向性に関わる中長期ビジョンと事業計画の策定について事例等を通じて理解する	
	第15回 まとめ これまでの講義のふりかえり	
成績評価方法	授業参加度（30%）、プレゼンテーション（30%）、単位修得試験（40%）により総合評価。	
教科書	著書 『NPO マネジメントハンドブック 組織と事業の戦略的発想と手法』 著者 柏木宏著 出版社 明石書店 出版年度 2008年9月5日 1版 ISBN 9784750319513	
参考書（任意購入）	『第2版』NPO実践マネジメント入門』パブリックリソースセンター編、東信堂、2,500円（税込）、2012年 ※その他、授業中に適宜、参考文献・URLを紹介したり、プリントを配布する。	
必須ソフト・ツール		
備 考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	企業経営を考える	担当教員	小江 茂徳
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	経営学の基本的な知識を習得することを目的とします。				
学習の進め方	本講義では、教科書すべての内容を習得するのではなく、教科書の中で、いくつかピックアップした章を学習します。内容としては経営学の中でも極めて基本的かつ重要な内容を選択しており、今まで経営学を学んだことのない方、とりわけ高校を卒業したばかりの方にも理解しやすい講義内容になっています。教科書をじっくり読んで、理論や専門用語とその意味について修得し、最後は確認テストを実施してください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 企業と経営	教科書：第1部第1章 企業の社会における位置づけと、企業内の内部構造について理解します。			確認テスト
	第2回 企業・会社の概念と諸形態	教科書：第1部第2章 一口に企業といっても、企業にはさまざまな形態があります。この章では、企業の種類にはどのようなものがあるか、またそれぞれのどのような特徴があるのか理解します。			確認テスト
	第3回 所有・経営・支配と経営目的	教科書：第1部第3章 株式と企業の所有の関係性について理解しましょう。とりわけ、所有者と経営者の役割が株式の所有構造により、どのように変化するのか学習しましょう。			確認テスト
	第4回 株式会社社の機関とコーポレート・ガバナンス	教科書：第1部第4章 企業内の機関およびその役割について理解しましょう。			確認テスト
	第5回 日本型企業システム	教科書：第1部第5章 日本企業固有の経営の習慣、制度について理解しましょう。			確認テスト
	第6回 経営戦略の体系と理論	教科書：第2部第1章 経営戦略論の系譜について学習しましょう。			確認テスト
	第7回 全社戦略	教科書：第2部第2章 経営戦略は3つのレベルに分類されますが、全社戦略は企業全体のあり方の指針となります。事業分野の選択と資源展開のために、企業がどのように行動すべきなのか理解しましょう。			確認テスト
	第8回 事業戦略	教科書：第2部第3章 経営戦略の第2のレベルが事業戦略です。事業が競争優位性を保つ為にどのような戦略が有効であるのか理解しましょう。			確認テスト
	第9回 機能別戦略	教科書：第2部第4章 機能別戦略とは、企業の各機能レベルにおける戦略を意味します。各機能の具体的な戦略について理解しましょう。			確認テスト
	第10回 経営戦略の策定と経営環境	教科書：第2部第5章 経営戦略を策定するにあたって理解しなければならない経営資源、SWOT分析、PPM、バリューチェーン等の分析的ツールについて学習します。			確認テスト
	第11回 組織に関する基礎理論	教科書：第3部第1章 組織論における重要な古典的理論について学習します。組織論の重要な論者達が、組織をどのように捉えようとしてきたのか、理解しましょう。			確認テスト
	第12回 分業と協働の体系としての組織	教科書：第3部第2章 分業と協働の体系としての経営組織の基本型と応用型にどのようなものがあるのか理解しましょう。また組織編成における基本原則もきちんと理解しましょう。			確認テスト
	第13回 企業組織の諸形態	教科書：第3部第3章 企業組織にはどのような組織形態が考えられるのか、またそれらにどのような長所や短所があるのか、学習しましょう。			確認テスト
	第14回 経営管理の基礎理論	教科書：第4部第1章 経営管理論の古典的理論である管理過程論(ファヨール)、人間関係論、モチベーション論、リーダーシップ論等、基礎的な理論について学びます。			確認テスト
	第15回 経営機能と管理機能、リーダーシップ、マネジメントプロセス	教科書：第4部第2章 組織を管理するということはどういうことか、理解しましょう。			確認テスト
	第16回 企業経営と情報化	教科書：第5部第3章 企業経営における情報の持つ意義、また情報を用いたビジネスについて理解しましょう。			確認テスト
第17回 企業の社会的責任と経営倫理	教科書：第5部第4章 いまや企業経営においてCSRは重要な経営課題となっています。どのような企業のCSRの取り組みがあるのかを理解し、またご自身の興味ある企業がどのような取り組みをしているのか調べてみましょう。			確認テスト	
成績評価方法	単位修得試験(100%)				
教科書	著書 『経営学の基本(第3版)』 著者 経営能力開発センター 出版社 中央経済社 出版年度 2011年4月15日 3版 ISBN 9784502671906				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	指定教科書は経営学検定試験の公式テキストとなっておりますが、本講義は、検定試験対策を目的とした講義ではありません。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	働くことを考える	担当教員	後藤 亮子 堀上 晶子 (東京)
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	レポート③を試験とします。レポート③を提出するには、全授業へ出席する必要があります。			資格名 CDA 受験資格
	実施方法	現地試験 (レポート)			
	試験会場	本学 (さくら夙川キャンパス) 東京会場 (東京サテライト)			

学習目標	キャリア論の概要を理解し、社会を知ること、自分を知ることによってキャリアへの肯定的な意図を創ります。さらに社会人基礎力を体感することも加えて、「何のために働くのか」という問の答えを探索します。				
学習の進め方	個人演習やグループワークなど参画型で構成されています。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 現代社会とキャリアデザイン	現代社会におけるキャリアデザインの必要性を理解します。			
	第2回 キャリアデザインと人生設計	現代人のライフスタイルと職業について考察します。			
	第3回 キャリアデザインのための自己理解①	第3回、第4回、第6回、第7回では、自己のキャリア意識を明確にするために、自己理解の演習を行います。			
	第4回 キャリアデザインのための自己理解②	自己理解の演習			
	第5回 第1回～第4回の学びの整理	学びの整理として、振り返りを行います。 授業時間内にレポート課題①があります。			レポート①
	第6回 キャリアデザインのための自己理解③	自己理解の演習			
	第7回 キャリアデザインのための自己理解④	自己理解の演習			
	第8回 キャリアデザインと仕事理解①	第8回、第9回では、キャリア形成の外的環境 (社会、就労環境) を理解し、多様な働き方を考察します。			
	第9回 キャリアデザインと仕事理解②	働き方の考察			
	第10回 第5回～第10回の学びの整理	学びの整理として振り返りを行います。 授業時間内にレポート課題②があります。			レポート②
	第11回 キャリア理論の基礎①	第11回～第12回ではキャリア形成に役立つキャリア理論の中から代表的な考え方を学びます。			
	第12回 キャリア理論の基礎②	キャリア理論の学習			
	第13回 キャリアデザインと基礎能力～社会人基礎力の養成①	企業が職場で求める能力を「社会人基礎力」と呼びます。 第13回～第14回では、仕事と個人をつなぐ役割をなす社会人基礎力を体感し、働くことを考える材料のひとつに加えます。			
	第14回 キャリアデザインと基礎能力～社会人基礎力の養成②	社会人基礎力を体感する演習			
第15回 全過程の学びの整理	質疑応答と意見交換を行います。 レポート課題③として当科目を受講した感想と学びを記述していただきます。			レポート③	
成績評価方法	・全授業への出席が必要です。 ・成績評価は、出席時間 (50%) と平常点 (50% レポート①、②、③の提出と受講態度) で行います。				
教科書	著書 『キャリアデザイン講座』 著者 大宮 登 出版社 日経 BP ソフトプレス 出版年度 2011年4月26日 初版 ISBN 9784891006525				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	筆記具をスクーリングに持参すること 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	キャリア概論	担当教員	坂本 理郎 岩波 薫 堀上 晶子(東京)
レベルナンバ	100	単位数	2	資格名	CDA 受験資格
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全授業への出席 実施方法 レポート 試験会場 本学(さくら夙川キャンパス) 東京会場(東京サテライト)				

学習目標	キャリア形成に関連する最近のトピックや入門的な理論を取り上げ、キャリアについて学ぶための基礎作りを行う。また、自分自身の個性やキャリアに対する考え方を理解し、将来キャリアをデザインするためのヒントも得たい。				
学習の進め方	一方向的な講義は必要最小限にとどめ、ワークシートやアセスメントなどを用いた個人ワーク、少人数でのグループ・ワークを多用する。受講者どうしの様々な「対話」の方法も試しつつ、相互に理解をしながら、キャリア形成に対する自分自身の考え方を理解できるようにする。また、テーマに沿った話題提供のために、TV番組やビデオなどの視聴も行う。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 仕事選びの基準とは① 「やりたいこと」と「できること」	「やりたいこと」を仕事にするべきか、「できること」を仕事にするべきか、若者たちの事例を用いて議論する。			
	第2回 仕事選びの基準とは② 「やりたいこと」と「できること」	前回内容に関する議論と講義。			
	第3回 仕事選びの基準とは③ 才能と努力	努力は才能を超えるか、ある若者の事例を用いて議論する。			
	第4回 仕事選びの基準とは④ 才能と努力	前回内容に関する議論と講義。			
	第5回 就職氷河期①	キャリアの入口で若者をつまづかせている「就職氷河期」。その要因と対策について考える。			
	第6回 就職氷河期②	前回内容に関する議論と講義。			
	第7回 ライフサイクルとキャリア① ワークライフバランス	仕事と家庭の両立(統合)はどのようにすればよいのか。事例および自身の体験に基づいて議論する。			
	第8回 ライフサイクルとキャリア② ワークライフバランス	前回内容に関する議論と講義。			
	第9回 キャリア形成とメンタルヘルス①	働く人のメンタルヘルスの現状と課題を、マネジメントの視点も含めて議論する。			
	第10回 キャリア形成とメンタルヘルス②	キャリア形成に関するストレス要因とその対策について。			
	第11回 キャリア形成と人間関係①	キャリア形成に影響を与える他者との人間関係について議論する。			
	第12回 キャリア形成と人間関係②	前回内容に関する議論と講義。			
	第13回 グループワーク①	ここまでで学習したことをふまえ、与えられた課題にしたがって、グループ・ワークを行う。			
	第14回 グループワーク②	ここまでで学習したことをふまえ、与えられた課題にしたがって、グループ・ワークを行う。			
	第15回 グループワーク発表	グループワークの結果を発表する。			
成績評価方法	講義への参加(ディスカッションなどへの)とその貢献度合い(量と質):(40%)、レポート:(60%)				
教科書	著書 『キャリア研究を学ぶ25冊を読む』 著者 日本キャリアデザイン学会 監修 出版社 泉文堂 出版年度 2009年11月15日 ISBN 9784793003684				
参考書(任意購入)	安部正浩・松繁寿和編著(2010)『キャリアのみかた一図で見る109のポイント』有斐閣				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	キャリア形成と社会	担当教員	山縣 康浩	
レベルナンバー	100	単位数	2			
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆			
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名	CDA 受験資格
	実施方法	レポート				
	試験会場	—				

学習目標	一人の経営者が、社会とどのようにかかわりながら自分のキャリアを形成してきたかを考察することで、自分自身のキャリア形成を考えるヒントをつかむ。	
学習の進め方	この講義では、教科書を中心にして学習を進めます。学習を進めるうえで、ポイントや是非考えて頂きたい事柄などをデジタル教材に掲載しますので、活用してください。レポートでは、教科書と合わせてご自身のご経験も踏まえた内容を記入頂きます。キャリアは、自分自身のものですので、しっかりと考えてみて下さい。	
学習内容	概 要	課 題
	教科書第1章から第7章の補足説明	
	小倉氏のトランジション並びに自分自身のトランジションについて考える。	
	中間レポート	レポート
中間レポートの実施。		
教科書第8章から第15章の補足説明		
小倉氏のキャリアを4Sの視点からまとめてみる。		
成績評価方法	中間レポート (50%)、単位修得試験の結果 (50%) により総合評価する。	
教科書	著書 『小倉昌男 経営学』 著者 小倉昌男 出版社 日経 BP 社 出版年度 2010年12月20日 1版 ISBN 9784822241568	
参考書(任意購入)	『経営はロマンだ!』、小倉昌男、日経ビジネス人文庫、630円(税込)、2003年 『福祉を変える経営』、小倉昌男、日経 BP 社、1,365円(税込)、2003年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	キャリアマネジメント	担当教員	山縣 康浩
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名 CDA 受験資格
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			
学習目標	個人の視点、経営の視点、社会の視点からキャリアを捉え、自律的キャリア形成についての考察を深める。				
学習の進め方	この講義では、みなさんご自身の経歴や職歴を中心に、キャリアの考察を深めていきます。まず、過去を振り返る中で、節目においてどのような選択をしてきたのか。そして、みなさんが働く職場ではどのような環境変化が起こり、そして求められる人材がどのようにシフトしてきているのか。そして最後に、将来の視点を入れてキャリアアジェンダを作成していきます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 自分のキャリアの拠り所を考える 節目における選択基準は何かを理解する			レポート	
	第2回 働く職場での環境変化Ⅰ マネジメントの概念が変わったことへの理解を促進する			レポート	
	第3回 働く職場での環境変化Ⅱ 働く職場で求められる人材がシフトしていることへの理解を促進する			レポート	
	第4回 将来の働く職場を考える 将来を見据えたキャリアを考える			レポート	
	第5回 今後必要とされるキャリアを考える 5年後を見据えた、環境変化分析、働く職場分析、自分の生かし方を検討する			レポート	
	第6回 キャリアアジェンダ作成 これまでの内容を踏まえ、将来へのキャリア計画を作成する				
	成績評価方法	ライブケース作成用紙の提出、各回レポートの提出、職場分析用紙の提出、キャリアアジェンダ作成用紙の提出が必須(100%)。評価ポイントは、やりたいうこと、できること、すべきことのマッチングが出来ていること。			
教科書	著書 『キャリア論 個人のキャリア自律のために会社は何をすべきなのか』 著者 高橋俊介 出版社 東洋経済新報社 出版年度 2003年8月1日 ISBN 9784492531648				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ライフデザイン、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	キャリアデザイン論	担当教員	西尾 久美子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	CDA 受験資格

学習目標	自分の過去の経験を振り返り、キャリアデザイン論で学んだ考え方をを使って、自ら説明することができる。 自分らしい働き方を意識して、今後のキャリアについてキャリアデザインができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
	概 要	課 題
学習内容	第1回 キャリアデザインとは何か キャリアデザインを学ぶことの意味を考える。	ディスカッション
	第2回 キャリアデザインの必要性 キャリアデザインの必要性を考える。	レポート
	第3回 キャリアを考える視点 主観的基準と客観的基準のバランスを考える。	レポート
	第4回 仕事生活とキャリアデザイン キャリアの節目とその変化を理解して、キャリア年表を作成する。	レポート
	第5回 キャリアアンカー キャリアアンカー（キャリアのよりどころ）について理解する。	ディスカッション
	第6回 過去を振り返る 自分の経験から、キャリアの物語を作る。	レポート
	第7回 キャリアサバイバル キャリアサバイバルの概念を理解する。	レポート
	第8回 職務と役割の分析 職務と役割の戦略的プランニングをする。	レポート
	第9回 偶然を自分のものにする ハプンスタンスアプローチを理解する。	ディスカッション
	第10回 キャリアのサポーター キャリアを手助けしてくれる人を知る。	レポート
	第11回 ワークライフバランス ワークライフバランスとキャリアの選択の関係性を理解する。	レポート
	第12回 何のために働くのか 働くことを通じて、自分が大切にしようとしていることを知る。	ディスカッション
成績評価方法	各回の課題（60%）、単位修得試験（40%）	
教科書	著書 『キャリアデザイン』 著者 田路則子 月岡 亮、監修 ライトワークス 出版社 ファーストプレス 出版年度 2008年11月11日 ISBN 9784904336175	
参考書(任意購入)	『働くひとのためのキャリア・デザイン』、金井壽宏、PHP 研究所、819円（税込）、2001年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	行動科学	担当教員	山縣 康浩
レベルナンバー	200	単位数	2	資格名	CDA 受験資格 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー				

学習目標	「自分が動く」ことで「人を動かす」ということについてマイケースを通じて実践に生かすことができる。	
学習の進め方	この講義では、みなさんが実際に経験したことを、「マイケース」として作成し、その内容の課題解決を中心に、オンデマンド教材と教科書を使って学習を進めていきます。まず、しっかりとマイケースを作成してみてください。各回の学習の最後には、課題のレポートがありますので、自分なりの理解をさらに深めて欲しいと思います。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 マネジメント：行動科学アプローチ マネジメントについての理解、行動科学の考え方を学ぶ	レポート
	第2回 意欲と行動：人間行動の基本的な理解促進 欲求段階説（マズロー）を中心に、人間行動の基礎的な考え方を学ぶ	レポート
	第3回 意欲を育む状況条件：基礎理論の理解 ホーソン工場実験、X 仮説と Y 仮説、意欲要因—環境要因論の考え方を学ぶ	レポート
	第4回 リーダーシップ：基本的な概念の理解 リーダーシップ基礎理論、状況対応アプローチを学ぶ	レポート
	第5回 マイケースにおける課題解決 今までの理論やモデルの振り返り、マイケースにおける課題解決に向けて、具体的な行動を考える	
成績評価方法	マイケース作成用紙1・2の提出、各回レポートの提出、マイケース課題解決用紙の提出が必須（100%）。 評価のポイントは、各理論とマイケース状況を繋げて具体的な行動が、論理的に一貫性をもって記述出来ていること。	
教科書	著書 『入門から応用へ 行動科学の展開 [新版] 人的資源の活用』 著者 P・ハーシー K・H・ブランチャード D・E・ジョンソン 出版社 生産性出版 出版年度 2011年5月10日 ISBN 9784820116844	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	キャリアの心理学	担当教員	坂本 理郎 堀上 晶子 (東京)	
レベルナンバー	200	単位数	2			
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆			
単位修得試験	受験資格	全授業への出席			資格名	CDA 受験資格
	実施方法	現地試験				
	試験会場	本学 (さくら夙川キャンパス) 東京会場 (東京サテライト)				

学習目標 世界が大きく変化しつつあるいま、私たちが職業に就き、職業人として充実した人生を歩んでいくことは、以前よりもますます困難になってきている。このような時代の中で、キャリア形成に関連する理論を学ぶことは、今後の自身のキャリアを考えるうえで重要な指針を得ることになる。加えて、企業の管理職、教育者、あるいはキャリア・カウンセラーとして、他者のキャリア形成を支援するうえでも、たいへん役に立つものである。そこで本講義では、主に心理学の分野からキャリアに関する重要な理論をいくつか取り上げ、自分自身や他者への実用を意識しながら、学んでいくことを目的とする。

学習の進め方 この講義では、基本的には指定した教科書に掲載されている理論を中心に学ぶ。ただし、教科書にはない、重要な理論や技法についてもいくつか学ぶ。講義中心ではあるが、理論を自分自身に適用してみるためのワークやディスカッションも可能な限り取り入れる。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 スーパーの理論 キャリアの自己概念、ライフ・スパン、ライフ・スペース	
	第2回 ハンセンの理論 統合的人生計画	
	第3回 シュロスバーグの理論 キャリアの転機を活かす	
	第4回 ホランドの理論 パーソナリティ・タイプと職業選択	
	第5回 クルンボルツの理論 学習経験と職業選択、ブランドハブスタンス理論	
	第6回 SCCT 理論 自己認知がキャリア形成に与える影響	
	第7回 第6回までのまとめ 第6回までのまとめ (中間試験による復習)	
	第8回 シャインの理論① 組織と個人のニーズの調和、キャリアサイクル	
	第9回 シャインの理論② キャリア・アンカーとキャリア・サバイバル	
	第10回 ホールの理論 変幻自在のキャリア (プロテアンキャリア)	
	第11回 メンタリング キャリア形成を支援する人間関係	
	第12回 ナラティブ・アプローチ 物語としてのキャリア	
	第13回 ケース・スタディ 仮想のクライアントの事例を用いて、理論的な分析を試みる。	「順子さんのケース」
	第14回 キャリア・カウンセリングの技法 カウンセリングの基本的考え方、マイクロ・カウンセリング技法を中心とした基礎スキル、キャリア・カウンセラーに求められる資質と能力。	
	第15回 まとめ 単位修得試験の実施	
成績評価方法	中間試験 (30%)、単位修得試験 (70%)	
教科書	著書 『キャリアの心理学 新版』 編著者 渡辺三枝子編著 出版社 ナカニシヤ出版 出版年度 2011年3月20日 1版 ISBN 9784779501753	
参考書 (任意購入)	『キャリアカウンセリング入門一人と仕事の橋渡し』、渡辺三枝子、ナカニシヤ出版、2,310円 (税込)、2001年 『キャリアカウンセラー養成講座テキスト3 キャリアカウンセリングの理論』、日本マンパワー社	
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。
※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	人事・労務管理	担当教員	中嶋 哲夫
レベルナンバ	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	CDA 受験資格 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格

学習目標 自らが働く組織で実施されている人事・労務管理の特徴を具体的に理解することを目標とする。すなわち、人事・労務管理に関する公的な統計データを読みとり、勤務先で実施されている人事・労務管理施策の特徴を理解することによって、勤務先の人事管理施策について自分なりの意見を述べるができるようになることが目標である。

学習の進め方 ①教科書を熟読し基礎的な知識を習得する。習得度合いは小テストで確認する。もし、習得が不十分な場合、教科書に戻って知識習得をはかる。
②何章かの理解が終われば、レポート課題に取り組む。その内容は、統計データを自ら調査したり、あるいは、自らの勤務先の制度を調査したりして、レポートを作成することである。習得した知識を応用・活用することが目的である。
③最後に単位修得試験を受験し、学習目標に到達したかどうかを確認する。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 人的資源管理論とは 人的資源管理（人事・労務管理）にどのような課題があり、どのような方法で学べばよいのかのイメージを作る。これから学ぶ内容を大まかに理解することがポイント。	ディスカッション
	第2回 人的資源管理のさまざまな概念 企業で日常的に実施されている人事・労務管理の施策の目的や領域を大まかに理解するとともに、その目的や機能を理解する。人事・労務管理は実務の世界で発展する。その全体像をとらえることがポイントである。	小テスト
	第3回 人的資源管理と労働市場 外部労働市場と企業内労働市場、準企業内労働市場を概念的に区別し、そのおのおのにおいて賃金がどのように決まるのかを理解する。人的資本理論や定年制の経済分析など重要な理論をこの章で学習する。外部労働市場と企業内労働市場では賃金の決め方が全く異なることを理解することがポイントである。	小テスト
	第4回 人的資源管理の歴史的発達 アメリカと日本における人事・労務管理の発達を歴史的に振り返り、現在の日本企業の人事・労務管理の特徴を理解する。過去の歴史を知ることによって、現在行われている人事施策の意味合いを理解することができる。	小テスト
	第5回 人的資源管理の組織と制度 企業の人事労務管理の骨格をなす、人事部門と各部門との関係のあり方や従業員の等級制度について理解を深める。各部門の管理者が行う人事・労務機能と人事部門が行う人事機能がどのように分担されるのかによって、企業の人事部門のあり方が異なってくる。	小テスト、 レポート課題
	第6回 初期キャリア管理 採用から入社3年目くらいまでの人事・労務管理施策を理解する。すなわち、募集、選考、内定、初任配属などの施策であるこれらの施策を通じて、企業は従業員の適正な配置に近づけていくわけである。適性をどのように見いだすのかを理解してほしい。	小テスト
	第7回 異動・昇進管理 企業内のポストに欠員が生じたときの充足方法として異動・昇進がある。一方では、異動を通じて適性配置を実現し、他方では、昇進を通じて選抜が行われる。異動・昇進のあり方は、企業の人事施策の特徴を表す。	小テスト
	第8回 定年制と雇用調整 キャリアの後期に実施される人事・労務施策として、従業員の退職の管理がある。定年制、早期退職優遇制度、出向・転籍などの施策である。これらの意味を理解することがこの章のポイントである。	小テスト
	第9回 賃金・労働時間 従業員にとって2大労働条件となる、賃金と労働時間について考える。賃金にはどのような形態があり、おのおのがどんな考え方で決定されるのか、また、労働時間を管理する方法にどのようなものがあるのか、労働時間と生産性が相関しない場合に、労働時間をどのように取り扱うのかなどの考え方を理解することがポイントである。	小テスト
	第10回 人事考課 従業員の働きぶりを評価する人事考課について、何を評価するのか、どんな手続きで評価するのか、結果をどう活用するのかといった観点から学習する。評価者の評価を客観的な評価に近づけるためにどんな工夫が行われているのかを理解することがポイントである。	小テスト、 レポート課題
	第11回 人的資源管理の国際比較 人事施策のあり方を国別に比較する場合の注意点と、緻密な比較が行われたときの研究結果を学ぶ。研究結果と同時に、国別に比較するときの注意点を学ぶことがポイントである。	小テスト
	第12回 国際人的資源管理 経済活動のグローバル化が進むなかで、海外派遣要員となったり、外国の人々とともに働くことも増えてきている。このため、人事・労務管理についても国を超えた考え方が必要となってきた。海外派遣要員の人事管理、現地従業員の本社への登用、経営の現地化などの動きを理解することが重要である。	小テスト
	第13回 これからの人的資源管理 最近生じてきている人事労務管理に関する課題を学ぶ。人事・労務管理分野での新しい課題である。学習者の問題意識にふれあう内容も多いはずである。知識を学ぶだけでなく、今後どのような具体策を考えればよいかを考えてほしい。	小テスト、 レポート課題

成績評価方法 レポート課題（30%）、単位修得試験の結果（70%）により評価する。

教科書 著書 『人的資源管理論』
著者 八代充史
出版社 中央経済社
出版年度 2009年3月20日 1版
ISBN 9784502666209

参考書(任意購入) 『人事労務管理用語辞典』、中條毅編、ミネルヴァ書房、2,730円(税込)、2007年→教科書で用いられる用語がわかりにくい場合に参考になる。他にも「人事労務管理用語集」は、何種類もある。
『活用労働統計』、社会経済生産性本部生産性労働情報センター→重要な労働統計をコンパクトに編集し、毎年出版される。手もとに備えておくとう便利なデータ集。
『マテリアル人事労務管理 新版』、佐藤博樹、藤村博之、八代充史、有斐閣、2,730円(税込)、2006年→人事労務管理の実態を理解するための資料集。人事労務管理の実態を理解する手がかりになる資料が収められており、組織で働いた体験が乏しい学習者には便利な資料。

必須ソフト・ツール
備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学・ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	産業・組織心理学		担当教員	服部 泰宏
レベルナンバ	300	単位数	2		資格名	認定心理士 CDA 受験資格 2級キャリア・コンサルティング技能士 受験資格
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★			
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 —					

学習目標	組織の中で働くということについて「考える力」を養うことを目指す。各回の講義で、組織の中で働くということについて考えるための理論・視点を提供する。みなさんに目指してほしいのは、そうした理論・視点を丸暗記することではなく、それらを使って組織の中で起こっていることについて「考える力」を身につけることである。					
学習の進め方	この授業では、デジタル教材を主教材として学習を進める。各回の学習の最後に提示される課題をクリアし、次の回に進む。 1. デジタル教材での学習 2. 指示に従い、教科書を講読 3. 課題に取り組む					
学習内容	概 要					課 題
	第1回 イントロダクション	「産業・組織心理学」とはどのような学問か、どのような歴史的背景の中で研究が蓄積され、今日この学問を学ぶ意義はどこにあるのか、ということについて理解することを目指す。				レポート
	第2回 人のやる気について考える①：モチベーションの3系統	第2回から第4回までは、モチベーション理論を紹介し、人のやる気について考える。第2回では、モチベーション理論の体系について理解し、その全体像を把握することを目指す。				レポート
	第3回 人のやる気について考える②：緊張系のモチベーション	何かが欠乏していたり、まだ達成していない課題を自覚したりするとき、私たちはそうした緊張状態を解消しようとして心理的エネルギーを生じさせる。第3回は、このようなマイナスのエネルギーに基づくやる気について考察し、こうした側面のやる気が実は私たちにとって必要不可欠であることを理解することを目指す。				レポート
	第4回 人のやる気について考える③：希望系のモチベーション	人はマイナスのエネルギーによってだけでなく、積極的な夢、希望、目標、憧れ、自己実現、楽しみなどによっても心理的エネルギーを発生させる。第3回の講義内容と合わせて、私たちのやる気が単一の理論では必ずしも説明できないことを理解することを目指す。				レポート
	第5回 仕事人生について考える①：キャリアとは何か	私たちは「今日は頑張った」「最近やる気がない」といった短期的な視点だけでなく、長い仕事人生をどう過ごすか「10年後に私は何をしているだろうか」といった長期的な視点を持つ必要がある。第5回から第8回では、長期的な仕事人生について考える。第5回では、キャリアとモチベーションの違いを説明したうえで、キャリアに関する理論が大きく分けて3つの系統に分類できることを説明する。自分自身の仕事人生について考える際、キャリアという視点がいかなる意味で有効なのかということを理解することを目指す。				レポート
	第6回 仕事人生について考える②：ジグソーパズルとしてのキャリア	第6回はキャリアに関する3系統の理論のうち、ジグソーパズルとしてのキャリアと呼ばれるものについて説明する。個人の特性や能力と様々な仕事に必要な特性や能力をいかにマッチングさせるか、ということについて理解することを目指す。				レポート
	第7回 仕事人生について考える③：階段としてのキャリア	私たち人間の成長は、成人とともに終わるのではなく、生涯にわたって続く。年齢を重ねることに私たち乗り越えるべき課題が現われ、それを克服することによって少しずつ成長していくことができる。第7回は、仕事人生の発達的な側面について理解することを目指す。				レポート
	第8回 仕事人生について考える④：旅としてのキャリア	私たちの仕事人生は、あらかじめ決められたルートを進んでいくとは限らない。仕事人生は、時として山や谷を越えたり河を渡ったりする旅のように予測できないものだ。第8回では、仕事人生の偶発的で予測不可能な側面、それらに対処する方法について理解する。				レポート
	第9回 集団について考える①：集団の功罪	私たちは、個人の限界を克服するために、物事に集団で取り組む。ただし、集団で物事に取り組むことによって、それを個人で行っているときには起こらないような問題点も発生する。第9回から第11回までは、こうした集団の功罪について考えていく。第9回では、集団の功罪について概観する。				レポート
	第10回 集団について考える②：集団による課題達成	集団の物事に取り組むことが必ずしも優れた結果を生むとは限らないということを、欧米の実証研究を紹介しつつ説明する。どのような場面で、集団は非効率になるのか。それはなぜか。こうした点について理解することを目指す。				レポート
	第11回 集団について考える③：集団とリーダーシップ	集団は時として非効率になるが、それは効果的なリーダーシップによってある程度解消できる。第11回は、集団とリーダーシップのかかわりについて理解することを目指す。				レポート
	第12回 リーダーシップについて考える①：リーダーシップとは何か	リーダーシップとは何か。リーダーシップとは一体どこにあるのか。こうした素朴な問題について考えた上で、リーダーシップの定義を行う。さらに、リーダーシップ理論には大きく分けて2つの系統があることを説明する。私たちが普段何気なく使っているリーダーシップとは、一体どのような現象なのかということについて理解することを目指す。				レポート
	第13回 リーダーシップについて考える②：特性理論と行動理論	第13回では、リーダーシップ理論の古典的な2つの系統について説明する。リーダーシップとは人が生まれつき備わった資質・能力であると主張する特性理論と、リーダーシップとは誰もが経験や学習を通じて獲得する行動パターンだと考える行動理論とを紹介する。おなじリーダーシップという言葉をめぐる様々な視点が存在すること、それらはそれぞれに正しいが、どちらも完全ではないということを理解することを目指す。				レポート
	第14回 リーダーシップについて考える③：新しいリーダーシップ理論	今日のような変化の激しい時代においては、古典的なリーダーシップ理論のようなリーダー像とは異なった種類のリーダーが求められる。第14回では、今日の産業組織にとって必要な、新たなリーダーシップのあり方について考える。リーダーシップという現象には、唯一最善のものなどなく、その時代や状況によって優れたリーダーシップが異なるということを理解することを目指す。				レポート
第15回 人と人のつながりについて	第15回では、人と人のつながりについて科学的に考える。「人脈が大事だ」とよく言われるが、とにかく知人を多く作ればそれでよいのか。人から人への「口コミ」による情報は、なぜあれほど早くしかも広範囲に広がっていくのか。こうした人と人のつながりに関する素朴な問題を、科学的に理解することを目指す。				レポート	
成績評価方法	成績は、次の項目を総合的に評価します。 (1)第1回から第15回までの「課題」の実施状況 (30%) (2)単位修得試験 (70%)					
教科書	著書 『産業・組織心理学エッセンシャルズ』 著者 外島裕・田中堅一郎 (編) 出版社 ナカニシヤ出版 出版年度 2010年11月15日 ISBN 9784888488808					
参考書(任意購入)	講義内で適宜指定します。					
必須ソフト・ツール						
備考						

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：心理学、ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	カウンセリング心理学	担当教員	高橋 紀子 酒井 健(兼岡山) 具 英姫(東京)
レベルナンバー	300	単位数	2	資格名	認定心理士 CDA 受験資格
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 全授業への出席 実施方法 レポート 試験会場 本学(さくら夙川キャンパス) 東京会場(東京サテライト) 岡山会場				

学習目標	カウンセリング心理学の定義、起源、歩みについて講じるとともに、代表的なカウンセリングを概観する。また、カウンセラーに必要な基本的態度に触れ、面接のプロセス時における課題や留意点について概説する。	
学習の進め方	パワーポイントを用いて説明する。必要に応じプリント類、ビデオを使用する。 また、カウンセリングのためのワーク、エクササイズも適宜行う。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 カウンセリング心理学の定義	
	定義を学ぶ	
	第2回 カウンセリング心理学の起源と歩み	
	歴史について知る	
	第3回 カウンセラーに必要な基本的態度 その1	
	ラポールについて学ぶ	
	第4回 カウンセラーに必要な基本的態度 その2	
	質問することについて考える	
	第5回 カウンセリングルームについて	
	快適な相談室の環境について考える	
	第6回 面接の実際 受理面接における課題や留意点	
	実際にカウンセリングするときに必要なことを押さえる	
	第7回 面接の実際 沈黙について	
	クライアントの沈黙の意味を考える	
	第8回 面接の実際 自己開示について	
クライアントが話をすることに思いを馳せる		
第9回 人間主義的理論におけるカウンセリング その1		
ロジャーズの理論を学ぶ		
第10回 人間主義的理論におけるカウンセリング その2		
ロジャーズの理論を学ぶ		
第11回 「グロリアと3人のセラピスト」について		
ビデオ鑑賞の前に必要な解説をする		
第12回 「グロリアと3人のセラピスト」 I		
実際のカウンセリングを鑑賞する		
第13回 「グロリアと3人のセラピスト」 Iの解説		
ロジャーズのカウンセリングについて学ぶ		
第14回 「グロリアと3人のセラピスト」 II		
ゲシュタルト療法のカウンセリングを学ぶ		
第15回 「グロリアと3人のセラピスト」 III		
論理療法のカウンセリングを学ぶ		
成績評価方法	授業中の小レポート(60%)と出席状況(20%)、授業態度(20%)により評価する。	
教科書	著書 『実践に役立つ臨床心理学』 著者 塩崎尚美 出版社 北樹出版 出版年度 2012年10月 改訂版 ISBN 9784779303425	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	コミュニケーション概論	担当教員	森川 知史
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 確かな人間関係を築き、育てるためのコミュニケーションのあり方を考えたい。他者とコミュニケーションすることで、私たち自身に起こる様々な変化についても考えたい。私たちが日常的に行っているコミュニケーションについて、改めて見つめ直し、考え直すきっかけにしたい。

学習の進め方 オンデマンド教材を主に活用して学習する。各回は教科書通りの順序・内容で展開するので、教科書もよく読んで学習を進めてほしい。(第1回～15回)

	概 要	課 題
学習内容	第1回 はじめに 科目の目的と概要・小テスト 問題提起(「ことば」「記号」とは?)	小テスト
	第2回 ことばとはなにか コミュニケーションにも様々な種類があることを知り、人間のコミュニケーションとはどういうものかを考える	小テスト
	第3回 ことばと身体 「ことば」が人間を人間にしている、ということを考える	小テスト
	第4回 ことばと身体のコミュニケーション ことばを用いるコミュニケーションとことばを用いないコミュニケーションを理解する	小テスト
	第5回 交流としてのコミュニケーション コミュニケーションを「人間的な交流」という観点から考える	小テスト
	第6回 モノとイメージのコミュニケーション モノがイメージとしてコミュニケーションに関わっていることに気づく	小テスト
	第7回 コミュニケーションのダイナミズム 関係し影響し合って、相手も自分も成長するものとしてのコミュニケーションの働きに目を向ける	小テスト
	第8回 意味とコミュニケーション 私たちの日常を支えている「意味」というものについて考え、コミュニケーションの展開の中で立ち現れる「意味」にも言及する	小テスト
	第9回 コミュニケーションのいま 私たちのコミュニケーションの「いま」について考える	小テスト
	第10回 メディアとコミュニケーション 私たちのコミュニケーションに介在するさまざまなメディアを理解する	小テスト
	第11回 「わたし」とコミュニケーション 対人関係が多種・多様化する現代、「わたし」も多様化・分散化していることを理解する	小テスト
	第12回 よりよいコミュニケーション コミュニケーションは生きていく上で極めて重要なものだが、そのあるべき姿はどうかを考える	小テスト
	第13回 同質な群れからの脱出 確かな人間関係を育てるものとしてのコミュニケーションのあり方を考える	小テスト
	第14回 人間関係をどう育てるか 人間とはどのような存在か? 人間が人間として成長して「自我」を形成していく過程を「欲望」キーワードとして考える	小テスト
	第15回 まとめ コミュニケーションについて基本的な考え方・とらえ方を知ったので、自分なりの答をさがすために、常に問い続ける姿勢を忘れないように	レポート
成績評価方法	平常点(全14回の小テスト)(40%)と単位修得試験(60%)	
教科書	著書 『確かな人間関係のためのコミュニケーション論』 著者 森川知史 出版社 京都書房 出版年度 2011年3月1日 初版 ISBN9784763726049	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等にご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	組織間コミュニケーション	担当教員	後藤 亮子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	試験はレポート課題③とします。 レポート③を提出するには、全授業へ出席する必要があります。		資格名	
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	組織間交渉のコミュニケーションを進めるにあたり、対立や葛藤が起きている状況で建設的なコミュニケーションをとりながら合意形成を得ていくための考え方とプロセスを学習します。				
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにて行います。 個人演習やグループワークなど参画型で構成されています。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 コミュニケーションとは	組織間コミュニケーションを学ぶにあたりコミュニケーションとは何かについて考察します。			
	第2回 コミュニケーションの基本	対人コミュニケーションのプロセスを演習を通して体験します。			
	第3回 人を動かす「論理と感情」	仕事の場面でのコミュニケーションは論理で行われているようで、実は感情が重要な鍵を握っていることを考察します。			
	第4回 コミュニケーション・トレーニング	演習を通してコミュニケーション・スキルを磨きます。演習後は振り返りを実施し、個人のコミュニケーション課題を探索します。			
	第5回 学びの整理	1～4の学びを整理します。 授業時間内にレポート作成し、提出していただきます。(レポート課題①)			レポート課題①
	第6回 アサーションの理論	アサーティブなコミュニケーションを学び、日頃の自分を振り返ります。			
	第7回 アサーション・トレーニング	演習を通してアサーション・スキルを磨きます。演習後は振り返りを実施し、個人のアサーション課題を探索します。			
	第8回 合意形成の理論	葛藤を解決する戦略とその特徴を学習します。			
	第9回 協調的問題解決の理論	win-winを目指す協調的問題解決の理論を学びます。			
	第10回 学びの整理	6～9の学びを整理します。 授業時間内にレポート作成し、提出していただきます。(レポート課題②)			レポート課題②
	第11回 協調的問題解決の演習Ⅰ	win-winを目指す協調的問題解決の演習を体験します。			
	第12回 協調的問題解決の演習Ⅰ続き	演習を振り返り、学びを整理します。			
	第13回 協調的問題解決の演習Ⅱ	win-winを目指す協調的問題解決の演習を体験します。			
	第14回 協調的問題解決の演習Ⅱ続き	演習を振り返り、学びを整理します。			
第15回 全過程の学びの整理	全過程を振り返り、質疑応答、意見交換を行います。 授業時間内にレポート作成し、提出していただきます。(レポート課題③)			レポート課題③	
成績評価方法	・出席時間は、2/3以上必要です。 ・成績評価は、出席時間(50%)と平常点(50% レポート①、②、③の提出と受講態度)で行います。				
教科書	著書 『人と組織を強くする交渉力』 著者 鈴木有香 出版社 自由国民社 出版年度 2014年3月 第2版 ISBN 9784426113698				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	スクーリングに筆記具を持参すること。 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名 受講者数上限を超過した場合は、正科生の高学年を優先し、受講調整を行う。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	プレゼンテーション概論	担当教員	水原 道子
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名 プレゼンテーション実務士
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	自分の持つ情報や考え、能力を他の人に伝え、理解してもらい、好意的に行動してもらえるように、限られた時間や条件の中で、最適の手法と技能を用いてプレゼンテーションすることができるようになる。				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材、教科書を副教材として学習を進める。 各回の学習の最後には、課題があるので課題を終わらせ、次の回に進む。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回	プレゼンテーションとは何か プレゼンテーションが、社会における活動の効果をあげるために有利なノウハウであることを学ぶ			確認テスト
	第2回	話す目的を考える 相手にどのような行動を求めるとのによって伝え方が異なることを、具体例を入れて学ぶ			確認テスト
	第3回	聞き手分析が成功のカギ 相手の情報を、どのようにして収集するべきかを学ぶ			ディスカッション、 確認テスト
	第4回	組み立ては三段構成で プレゼンテーションの一つの要素である、原稿作りの基本を学ぶ			確認テスト
	第5回	会場設定とレイアウト 会場や環境などの物理的なものが、プレゼンテーションに与える影響を学ぶ			確認テスト
	第6回	表現技術を工夫しよう どのように表現すると、プレゼンテーションの効果があがるのかを、さまざまな手法を取り入れて学ぶ			確認テスト
	第7回	中間まとめ 1回～6回までのポイントを確認する			中間まとめ、 ディスカッション
	第8回	話し方のテクニック 聞き手から好意を持ってもらえる話し方を学ぶ			確認テスト
	第9回	非言語表現の力 視覚に訴える方法と内容を学ぶ			確認テスト
	第10回	ビジュアル資料の種類と機能 ビジュアルツールの種類と特性を知り、目的や場面による使い分けを学ぶ			確認テスト
	第11回	提示資料はインパクトが大切 効果的な資料の作成方法を学ぶ			確認テスト
	第12回	レジュメの良さで差をつける 配布資料としてのレジュメ作成のポイントを学び、代表的なレジュメ事例を研究する			確認テスト
	第13回	質疑応答を成功させるには 質疑応答が意見交換の場として重要であり、いかに活用するべきかを学ぶ			確認テスト
	第14回	自分自身をプレゼンテーションする これまでに学んだ基本知識と手法を元に、身近な題材でプレゼンテーションを実習する			確認テスト
	第15回	コミュニケーションについて考えてみよう プレゼンテーションがコミュニケーションの一つの形であり、一方方向性の強い話し方であることを、事例を交えて学ぶ			ディスカッション、 確認テスト
成績評価方法	平常点として期間内の学習完了とディスカッションでの積極的な発言を高く評価し、20%とする。その他、各回確認テスト(20%)、中間まとめ(20%)、単位修得試験(40%)の総合評価とする。				
教科書	著書 「プレゼンテーション概論」 著者 大島 武(編) 出版社 樹村房 出版年度 2011年9月15日 初版 ISBN 9784883671885				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	担当教員	福井 愛美
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 ー			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	プレゼンテーションとは何か、その効果的なプレゼンテーションの基礎知識と技術を習得すること。聞き手を納得させる話し方や文章の構成、またアイコンタクトやボディランゲージなどを効果的に活用し、表現力豊かに、聞き手に感動を与えるような話し方ができるようになること。身近なテーマでプレゼンテーションが行えるようになること。				
学習の進め方	本授業では、デジタル教材を活用して学習を進めます。学習を始める前にオリエンテーションをご覧ください。またその回の講義のポイントを閲覧してから学習を始めてください。各回の終わりには確認テストがありますので確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。教科書はデジタル教材で扱わない箇所もありますがぜひ参考になさってください。				
	概 要			課 題	
	第1回 プレゼンテーションとは プレゼンテーションの基本と定義を学び、コミュニケーションとの違いを理解する。			自己紹介 確認テスト	
	第2回 プレゼンテーションを行うために プレゼンテーションへの準備。全体の流れを理解し、構成の重要性を学ぶ。			確認テスト	
	第3回 プレゼンテーションのツール ツールの種類と特徴、活用上の注意点などを学ぶ。			レポート 確認テスト	
	第4回 話し方の基本 魅力的に話すための技術を学び、呼吸法や発声・発音などの練習をする。			確認テスト	
	第5回 バーバル・ノンバーバルコミュニケーション 言い回しのテクニックとボディランゲージ・表情・態度・服装など第一印象の重要性について学ぶ。			確認テスト	
	第6回 聴衆に好感を持たれる話し方 話し方の具体例として実際に行われたスピーチを見ながら検証する。			確認テスト	
	第7回 ホームルーム(ディスカッションをしよう) これまでのふりかえりと、今後の目標など“el-Campus上”の自由な意見交換を行う。			ディスカッション	
学習内容	第8回 身近なプレゼンテーション 地図による道案内や自己紹介など、日常のプレゼンテーションから、人にものを伝える際の伝え方のポイントを学ぶ。			確認テスト	
	第9回 紹介をしてみよう 自己分析をして構成を考え、より印象付ける自己紹介をしてみる。			確認テスト	
	第10回 インタビューをしてみよう 相手の立場を考え人間性を尊重して、その人の魅力を引き出す手法を学ぶ。			確認テスト	
	第11回 スピーチをしてみよう テーブルスピーチを例にスピーチの準備や注意点について学ぶ。また司会とその進行を考える。			確認テスト	
	第12回 学校生活について話してみよう 自分の学校を紹介するという観点から、情報収集、原稿作成、リハーサルなど準備全般から、視覚資料としてのポスター制作までを行う。			確認テスト	
	第13回 テーマに合わせてさまざまな手法 新入生へのクラブ紹介を題材に、手法が異なればプレゼンテーションも異なる事を学ぶ。			確認テスト	
	第14回 プレゼンテーションの実際Ⅰ ビジネスの失敗談からのケーススタディー、業務処理の仕方を学ぶ。			確認テスト	
	第15回 プレゼンテーションの実際Ⅱ 受講生3名によるプレゼンテーションと、学習の成果を自由に話し合う。			ディスカッション	
成績評価方法	各回の課題(40%)、単位修得試験(60%)により総合評価します。				
教科書	著書『プレゼンテーション演習』 著者 伊藤 宏 福井愛美他 出版社 樹村房 出版年度 2011年6月3日 初版 ISBN 9784883672134				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等にご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	プレゼンテーション演習Ⅱ(応用)	担当教員	福井 愛美
レベルナンバー	200	単位数	2	資格名	プレゼンテーション実務士
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —				

学習目標	さまざまな場面で効果的な自己表現ができ、説得力を持って聞き手に自分の考えを話せること。論理的に物事を考え、新たな内容を作り出すことができること。主体性を持って物事を処理できること。最終的にテーマを設定してプレゼンテーションが行えるようになること。				
学習の進め方	本授業では、デジタル教材を活用して学習を進めます。学習を始める前にオリエンテーションをご覧ください。またその回の講義のポイントを閲覧してから学習を始めてください。各回の終わりには確認テストがありますので確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。教科書はデジタル教材で扱わない箇所もありますがぜひ参考になさってください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 プレゼンテーション基礎知識	プレゼンテーション演習Ⅰの復習とプレゼンテーションの評価方法について学ぶ。			確認テスト
	第2回 就職試験に向けてのプレゼンテーション	面接試験の挑み方や企業訪問のマナーについて再確認をする。			確認テスト
	第3回 就職試験と自己PR	自己PRと志望動機の考え方を手順を追って学ぶ。			確認テスト
	第4回 社会人としての話し方(企業内でのプレゼンテーション)	社会人としての敬語の使い方ははじめ企業内スピーチなど基本的な話し方を身につける。			確認テスト
	第5回 プレゼンテーション・ブレイクタイム(掲示板の活用)	el-Campus上で他人の意見を聞いて自分の考え方との違いを実感する。			掲示板への参加
	第6回 企業内でのミーティングと会議	ディベート・ディスカッション・ミーティングとプレゼンテーションとの関係を学ぶ。			確認テスト
	第7回 ホームルーム(ディスカッションをしよう)	自分の感想や目標など自由に意見交換をする。			ディスカッション
	第8回 業務としての会議(QCサークル活動)	QCサークルの概要、進め方、データの分析手法について学ぶ。			確認テスト
	第9回 セールストーク①	成功するためのセールストークとはどのようなものかを実感する。			確認テスト
	第10回 セールストーク②	顧客の購買心理を知り、セールストークの語法を実例から学ぶ。			確認テスト
	第11回 ポスターセッションとクレームへの対応	パワーポイントを使ったポスター作りや、クレーム対応について学ぶ。			キャッチコピー作成 確認テスト
	第12回 企画立案をしてみよう	企画立案から企画書作成までの一連の手順について学ぶ。			確認テスト
	第13回 企画書を書いてみよう	本格的な企画書づくりを進める。また実際のビジネスの現場で使われた企画書を紹介、そのリアル感を体験する。			確認テスト
	第14回 事例研究	学生のプレゼンテーションを見ながら、良い点、改善点など客観的に学ぶ。			まとめレポート 確認テスト
成績評価方法	各回の課題(40%)、単位修得試験(60%)により総合評価します。				
教科書	著書『プレゼンテーション演習』 著者 伊藤 宏 福井愛美他 出版社 樹村房 出版年度 2011年6月3日 初版 ISBN 9784883672134				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生：ビジネス・キャリア 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	情報機器プレゼンテーション	担当教員	佐々木 英洋
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート 試験会場 ー			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	本講義では、情報機器を活用したプレゼンテーション技法とその能力の習得を目的とする。プレゼンテーションソフトの基本的操作に加え、文章をチャートで表現したりして、ビジュアルなスライドを作成する。自己の考えや企画を情報機器の特性を活かし、効果的に表現する演習を行う。また、他のプレゼンテーション関連の講義科目とも連携を図り、その知識を十分活用し、より効果的なプレゼンテーションを可能にする知識を身につける内容とする。				
学習の進め方	オンデマンド教材を通してプレゼンテーションの概要・PowerPointを使ったスライド作成の技法・より効果的なプレゼンテーション技法について学び、スライド作成の課題を通してスライド作成・プレゼンテーション技法の包括的な理解を行う。各回の確認テストはすべて受験すること。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 ガイダンス	プレゼンテーションの概要の基本について理解を深める。			確認テスト
	第2回 スライドの作成1	PowerPointのファイル構成・画面構成、スライドの作成、スライドのデザインについて学ぶ。			確認テスト スライド作成
	第3回 スライドの作成2	表組み・グラフの概要について学び、スライドに表組み・グラフを挿入する方法について学ぶ。			確認テスト スライド作成
	第4回 スライドの作成3	図形・オブジェクトの概要について学び、スライドに図形・オブジェクトを挿入する方法について学ぶ。			確認テスト
	第5回 効果的に伝えるコンテンツ作成の手法1	スライド作成のテクニック（図解化）、スマートアートの利用について学ぶ。			確認テスト
	第6回 効果的に伝えるコンテンツ作成の手法2	スライド作成のテクニック（箇条書き・表・グラフ）について学ぶ。			確認テスト スライド作成
	第7回 中間まとめ	第1回～第6回の内容に関する内容でまとめのテストを行う。			確認テスト
	第8回 文字や図形のアニメーションの活用、スライドショー	スライドにアニメーション効果の追加を行う方法を学ぶ。			確認テスト
	第9回 スライド画面の切り替え	画面切り替え効果の追加、スライドの印刷、スライドショーの実行について学ぶ。			確認テスト スライド作成
	第10回 効果的な情報プレゼンテーション作成のコツ	プレゼンテーションの評価の視点・ポイント、スライド作成のポイント・注意点について学ぶ。			確認テスト
	第11回 効果的なプレゼンテーション手法のコツ	プレゼンテーションの実践について学ぶ。			確認テスト スライド作成
	第12回 スライド作成実践編1	学校紹介のプレゼンテーションの際のポイント、実際のスライド作成、発表の実践について学ぶ。			確認テスト
	第13回 スライド作成実践編2	企画の立て方・まとめ方・プレゼンテーションの実践について学ぶ。			確認テスト スライド作成
	第14回 プレゼンテーションを実施するにあたっての法規・モラル	個人情報の保護・著作権の保護・プライバシーの保護について学ぶ。			確認テスト
成績評価方法	確認テスト [第7回以外：2%×13回] (26%) 確認テスト [第7回] (20%) 課題提出 [4%×6回] (24%) 単位修得試験 [提出必須] (30%)				
教科書	著書 『戦略的プレゼンテーション』 著者 岩下 貢 出版社 慶応義塾大学出版会 出版年度 2002年11月20日 初版 ISBN 9784766409383				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール	Microsoft Office PowerPoint				
備考	このコンテンツは Microsoft Office PowerPoint2007をベースに設計されています。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

興味にあわせて学ぶ科目

メジャー（専修）について

2014年度よりカリキュラム編成の変更にともない、メジャー（専修）名が新しくなります。
2013年度以前に入学した学生は、従前のメジャー（専修）名を記しました。
各自入学年度に該当するメジャー（専修）名を確認してください。

例) 授業科目名「カウンセリング心理学」

- ・2014年度入学生：心理学、ビジネスキャリア
- ・2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解

※メジャー（専修）欄が空白の場合は、メジャーに該当しません。

また、2014年度入学生は、一部メジャー（専修）が重複する科目があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本語教育	担当教員	高見澤 孟
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	少子高齢化の進む日本は、近い将来外国人の労働力が必要な時代に入ります。来日する外国人との「共生」のためには、外国人が日本語を学習して一定水準の日本語能力に達することが求められています。迎え入れる日本人の側も異文化の外国人と協働する社会を築く準備が必要です。このための日本語教育が現在どのような状況にあるのか、外国人はどのように日本語を学んでいるのかを知ることも外国人理解、異文化理解の上で重要な情報になります。このような情報に基づいて日本語教育への理解を深めてください。				
学習の進め方	オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。教科書『新・はじめての日本語教育1：日本語教育の基礎知識』と「配布資料」には、補足情報が記載されていますから、必ずそれらも参照してください。各回の授業内容と教科書の関連箇所は、「配布資料」に記載してあります。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回	日本語教育の現状			レポート
		日本語教育の現状と将来の展望及び日本社会が近く迎える「外国人との共生の時代」について学習する。			
	第2回	古代・中世における日本語学習者			レポート
		古代から隣接する諸国の人々が日本語をいかに学んだか、また室町末期に来日したポルトガルの宣教師たちがどのように日本語を理解し、習得する努力をしてきたかについて学ぶ。			
	第3回	キリシタンの日本語学習			レポート
		キリスト教布教のために来日した宣教師のなかで最も優れた功績を残したロドリゲスの研究を中心に西洋人から見た日本語の姿を学ぶ。			
	第4回	オランダ商館の日本語研究			レポート
		江戸時代に唯一来日が許可されていたオランダ商館の人々の日本語研究、さらに日本研究について学ぶ。			
	第5回	日本語と外国語			レポート
		日本語と外国語（＝英語）の対照研究を通して、日本語の特性を学ぶ。			
	第6回	日本語の特質			レポート
		日本語の特質として「文脈依存性」や「感情表現」、「願望表現」などの他言語との相違を学ぶ。			
	第7回	日本語の仕組み(1)			レポート
	日本文法の中でも外国人にとって学習困難な「助詞」の扱いや「自動詞他動詞」に係る問題、「～ている形」の用法などを学ぶ。				
第8回	日本語の仕組み(2)			レポート	
	各種「て形の用法」や「授受表現」、「受身形」など他言語と異なる日本語の用法を学ぶ。				
第9回	日本語の音声(1)			レポート	
	外国人にとって難しく感じられる「日本語の音声の特徴」や「特殊拍」などについて学ぶ。				
第10回	日本語の音声(2)			レポート	
	日本語の「アクセント」、「リズム」、「イントネーション」について学ぶ。				
第11回	日本語の文字			レポート	
	「日本語の文字に係る問題」、「かな文字の用法」、「各種符号の用法」などを学ぶ。				
第12回	異文化間コミュニケーション(1)			レポート	
	日本人と外国人の間で発生する「コミュニケーショントラブル」の原因を「配慮表現」や「婉曲表現」など日本文化に係る側面から検討する。				
第13回	異文化間コミュニケーション(2)			レポート	
	コミュニケーションにおける「文化差」や「言語接触」における諸問題について学ぶ。				
成績評価方法	単位修得試験（100%）				
教科書	著書 『新・はじめての日本語教育1：日本語教育の基礎知識』 監著者 高見澤 孟 出版社 アスク出版 出版年度 2010年9月29日 初版 ISBN 9784872170665				
参考書(任意購入)	『新・はじめての日本語教育2：日本語教授法入門』、高見澤孟著、アスク出版、1,995円（税込）、2004年				
必須ソフト・ツール					
備 考	日本語教育関係の用語がわからない場合には、『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』（監著者 高見澤 孟 アスク出版 2,500円 2004年）を参照してください。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本文化論	担当教員	岡 佳子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	江戸時代初期の陶工、野々村仁清と、彼が制作した色絵陶器の実像を文献史料や作品を通じて学びます。仁清の生きた時代、国宝に次々指定されていく近代、それぞれの時代に、人々がどのような評価を仁清に与えたか、それを学ぶことで、日本人の文化遺産に対する意識を考えます。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みます。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 近代化のなかの国宝仁清 近代の国宝制度のもと、色絵の仁清陶器がどのように指定されたか、また、幕末から明治30年代までの仁清の評価を学びます。	レポート
	第2章 つくられた仁清像 明治末から昭和10年代までの、社会の状況を反映して様々に変化する、時代のなかで形づくられた仁清のイメージを学びます。	レポート
	第3章 遅れてきた京焼、御室焼 御室焼を、偉大な陶工仁清のやきものとみるのではなく、京焼のひとつと捉えて、御室開窯の実態や、京都の有力寺院との関係などを学びます。	レポート
	第4章 金森宗和と仁清 仁清の御室焼、50年の歴史を、茶匠金森宗和との関係、隆盛期の窯の様相、没落の状況などと、実作品の展開ともに学びます。	レポート
	第5章 京極家の数寄道具と仁清茶壺 丸亀藩京極家と仁清や御室焼の関係を、道具帳という文献を読み解くことで学びます。	レポート
	第6章 色絵茶壺の実相 京極家蔵の色絵茶壺群を、美術史の方法論で分析し、どのように平面の絵画が、立体の茶壺に絵付されていたかの過程を学びます。	レポート
成績評価方法	各章のレポート (40%)、単位修得試験 (60%)	
教科書	著書 『国宝 仁清の謎』 著者 岡 佳子 出版社 角川書店 出版年度 2001年7月31日 初版 ISBN 9784047021181	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	和歌鑑賞入門	担当教員	千古 利恵子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席をもって単位修得試験受験資格とする。			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 『百人一首』の名前を知る人は多い。でも『百人一首』の歌が、『万葉集』『古今和歌集』などから撰び出されたことを知る人は少ないように思う。また、それらの歌には「当時の人たちと現代人の想いには共通点があること」「現代に受け継がれている行事や文化が登場すること」に着目する人も少ないように思える。そこで、この講座では、和歌集の鑑賞を通して、我が国の「伝統と文化」について考えることを、学習の目標とする。

学習の進め方 本学習は、講義と演習の2形式です。講義では、テキストを使用しながら、和歌文学の基礎知識を学び、鑑賞に必要な知識の確認と整理を行う。演習では、受講者が好きな和歌を選び、講義で得た知識を使いながら、鑑賞に取り組む。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション(和歌について)	
	[和歌]と[短歌]のちがいを考える	
	第2回 和歌集について(1)	
	・活字本をよむための基礎知識を学ぶ ・写本と活字本の関係を知る	
	第3回 和歌集について(2)	
	・公的な和歌集と私的な和歌集の違いを知る ・勅撰和歌集と『万葉集』のちがいを学ぶ	
	第4回 和歌集の世界を知る(1)	
	和歌集の構成を知る	
	第5回 和歌集の世界を知る(2)	
	撰者の工夫と苦勞をさぐる	
	第6回 和歌集の伝承(1)	
	作品の人気と評価を考える ―『百人一首』の歌は秀歌ばかり?―	
	第7回 和歌集の伝承(2)	
	作品の創作過程と流布について検証する ―写本と活字本との流布の違い―	
	第8回 和歌作品の未来	
・無名作品が有名になる理由 ・有名な作品が忘れられてしまう理由		
第9回 和歌鑑賞 ―演習のための準備(1)―		
西行の和歌に込められた想いにふれる		
第10回 和歌鑑賞 ―演習のための準備(2)―		
文化を伝える和歌をよむ		
第11回 演習「四季歌の鑑賞」		
・春、夏歌に込められた想いにふれる ・現代に伝わる行事について		
第12回 演習「四季歌の鑑賞」		
・秋、冬歌に込められた想いにふれる ・現代に伝わる行事について		
第13回 演習「雑歌の鑑賞」		
・人生をみつめた和歌の鑑賞 ・現代人の「人生観」を考える		
第14回 演習「私の好きな和歌の鑑賞」		
・好きな和歌を選ぶ ・鑑賞のために必要な資料を集める		
第15回 まとめ		
	「私の好きな和歌」の考察	
成績評価方法	単位修得試験の結果(100%)により評価する。	
教科書	著書 『和歌文学へのいざない 和歌文学研究の入門と鑑賞』 著者 千古 利恵子 出版社 創文社 出版年度 2009年11月1日 1版 ISBN 9784904610015	
参考書(任意購入)	授業時に紹介する。	
必須ソフト・ツール		
備 考	受講者上限人数 講義100名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本の文化と歴史	担当教員	上垣外 憲一
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			
学習目標	富士山は、日本の歴史のあらゆる時代を通じて、その時期その時期ごとの文化状況を反映して、記録や芸術作品に残されてきた。残された富士山の記録、芸術作品を読み解くことから、ある文化現象が歴史の中でどのように姿を変えて今日に至るかを把握する。				
学習の進め方	中公新書『富士山』を教科書として、古代から近代にいたるまで時代順に、それぞれの時代の社会状況、文化状況の中で、富士山がどのように人々と関わっていたかを、時代別に理解する。富士山の文化史全体を、もう一度最後に通観することで、ある自然物が、どのようにある国の文化の中で現象するのかを理解する。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 古代芸術に見る富士山	万葉集や平安時代の和歌から古代人の富士に寄せる感情を理解する。			レポート
	第2章 中世、宗教の山としての富士山	密教と山岳宗教の関連を把握する。			レポート
	第3章 絵画に描かれた富士山	江戸時代から明治期にかけての富士山の絵画を読み解く。			レポート
	第4章 外国人から見た富士山	朝鮮通信使や近代の西洋旅行者の富士山の見方を分析、理解する。			レポート
	第5章 大衆登山の山としての富士山	何故、富士山が修験者の山から庶民の登山の山に変貌したかを把握する。			レポート
	成績評価方法	各章に提出するレポート (50%)、単位修得試験 (50%)			
教科書	著書 『富士山』 著者 上垣外憲一 出版社 中央公論新社 出版年度 2009年1月25日 ISBN 9784121019820				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	考古学の世界	担当教員	川口 宏海
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	考古学の発達史を理解できる。 考古学の研究方法が理解できる。 考古学の研究成果が理解できる。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。				
	概 要	課 題			
	第1回 考古学の定義と誕生 考古学とはどんな学問なのかをつかむ。 考古学とはどのように歩んできたのかを理解する。	確認テスト			
	第2回 日本考古学の成立と発展・発見 考古学とはどのように歩んできたのかを理解する。 日本考古学の成立と発展について理解する。 日本考古学の歩みを画期的な発見の歴史とともに説明する。	確認テスト、 ディスカッション			
	第3回 遺物・遺構・遺跡 日本の考古学は何を研究するのか、という観点から、まずは基本的な遺物・遺構・遺跡の概念を理解する。	確認テスト			
	第4回 生産・祭祀などの遺物・遺構・遺跡 生産や祭祀に関わる遺物・遺構・遺跡について理解する。	確認テスト			
	第5回 発掘調査の準備と探査方法 考古学の基礎知識にはどのようなものが必要かを理解する。 まず発掘調査の準備について、次いで遺跡・遺構の探査方法について理解する。	確認テスト			
	第6回 発掘調査の実施と記録 発掘調査を実施するに当たっての準備と、発掘調査を記録する方法について理解する。	確認テスト、 プレゼンテーション			
	第7回 発掘資料 発掘資料の整理・結果発表・保存処理はどのように行うかを理解する。	確認テスト			
学習内容	第8回 石器と土器の実測図 出土した遺物の実測図を描くには、どのような知識・技術が必要かを理解する。 まずは石器、次いで土器について理解する。	確認テスト			
	第9回 型式学的研究・層位学的研究 考古学の基本的研究方法である型式学的研究と層位学的研究とはどのようなものであるかを理解する。	確認テスト			
	第10回 考古学と理化学的研究方法 考古学の年代測定法と遺物の産地同定などに理化学的研究方法が用いられていることを理解する。	確認テスト、 レポート			
	第11回 旧石器時代の文化 考古学の研究成果として、まず人類の出現以降の歴史と日本の旧石器時代の始まり、特徴などについて理解する。	確認テスト、 ディスカッション			
	第12回 縄文時代の文化 縄文時代の始まりや時期区分、生業・集落のあり方などについて理解する。	確認テスト			
	第13回 弥生時代の文化 弥生時代の始まりと時期区分、水稲耕作の伝来、卑弥呼の時代などについて理解する。	確認テスト			
	第14回 古墳時代の文化 古墳時代の始まりや古墳時代の特徴・大陸との交流などについて理解する。	確認テスト			
	第15回 歴史時代の文化 飛鳥・奈良時代以降、江戸時代に至る歴史時代の考古学的成果について理解する。	確認テスト			
成績評価方法	各回の確認テスト (30%)、レポート《第10回》・プレゼンテーション《第6回》(20%)、授業参加 [ディスカッション《第2回、第11回》など] (10%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『考古学キーワード』 著者 安藤雅雄 出版社 有斐閣 出版年度 2008年2月15日 改訂版 ISBN 9784641058774				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	神秘の地インド探訪	担当教員	村瀬 智
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			
学習目標	近年のインドの急速な経済成長には目を見張るものがある。本授業では、インド亜大陸を舞台に展開した文明の内発的発展の足跡をたどる。そして、インドという「動き出したアジアの巨象」の歴史的背景を理解する。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進める上で重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用して下さい。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回	インドって、どんなところ		レポート	
		多様性と統一性：インド理解のキーワード			
	第2回	インド 一その多様性と現代的意義		小テスト	
		インドは世界全体の縮図			
	第3回	インダス文明と原ヒンドウ教		小テスト	
		ヒンドウ文化の祖型としてのインダス文明			
	第4回	アーリア人の進出とヴェーダの宗教		小テスト	
		カースト制と哲学讃歌			
	第5回	後期ヴェーダ時代の社会変化とウパニシャッドの成立		小テスト	
		自由思想家たちの登場			
	第6回	正統バラモン哲学の成立と展開		小テスト	
		ヒンドウ古典文化の成立			
	第7回	ヒンドウ思想の展開		小テスト	
		シャンカラの思想と不二一元論派の確立			
	第8回	バクティの登場		小テスト	
	バクティの波及と地方文化				
第9回	スーフイズムとバクティ		小テスト		
	ラーマーナンダ、カビール、ナーナク				
第10回	近代ヨーロッパと「インド」(1)		小テスト		
	サンスクリット語の発見				
第11回	近代ヨーロッパと「インド」(2)		小テスト		
	ヨーロッパのロマン派運動とインド				
第12回	インドの近代化とヒンドウ教改革運動(1)		小テスト		
	19世紀のインドとベンガル・ルネサンス				
第13回	インドの近代化とヒンドウ教改革運動(2)		小テスト		
	ブランモ協会とアーリア協会				
第14回	インドの近代化とヒンドウ教改革運動(3)		小テスト		
	ラーマクリシュナ、オーロピンド、ラマナ・マルハシ				
第15回	まとめ				
	インド的なるもの、「知」の体系と「生活文化」としてのヒンドウ教、救済理論の構築				
成績評価方法	各回の課題 (50%)、単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 『ヒンドウ教とインド社会』 著者 山下博司 出版社 山川出版社 出版年度 2010年9月25日 1版 ISBN 9784634340503				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	アメリカの文化と歴史	担当教員	田中 紀子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席(ただし最終日は必ず出席すること)			資格名
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	アメリカの歴史をたどりながら、代表的な文化事象を通じて、その国民性を考える。				
学習の進め方	関連ある映画やドキュメンタリー映像などを活用し、理解を進めてゆく。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 最近のアメリカ	最近のアメリカ関連のニュース、アメリカの基本事項			
	第2回 アメリカを象徴する事物、根本精神	国旗、国歌、国章、などに見るアメリカ人の国民性			
	第3回 アメリカ「発見」前後	アメリカ先住民とその文化、ヨーロッパ人によるアメリカの「発見」とその影響			
	第4回 独立への道のり	独立戦争、『コモン・センス』、独立宣言			
	第5回 様々な移民	世界各地からの移民、WASPとマイノリティ			
	第6回 これまでのまとめ	前半のまとめ			
	第7回 領土の拡大	西部開拓、フロンティア・スピリット			
	第8回 南部社会	アフリカ系アメリカ人と奴隷制、南北戦争			
	第9回 国家の発展	交通網の拡大、「金メッキ時代」			
	第10回 20世紀のアメリカ(1)	20世紀のアメリカに関するテーマについて、資料検索と討論			
	第11回 20世紀のアメリカ(2)	20世紀のアメリカに関するテーマについて、資料検索と討論			
	第12回 20世紀のアメリカ(3)	20世紀のアメリカに関するテーマについて、資料検索と討論			
	第13回 プレゼンテーション(1)	調べた内容のプレゼンテーション、質疑応答			
	第14回 プレゼンテーション(2)	調べた内容のプレゼンテーション、質疑応答			
	第15回 プレゼンテーション(3)と、まとめ	調べた内容のプレゼンテーション、質疑応答、後半のまとめ			
成績評価方法	平常点(50%)、試験・レポート(50%)				
教科書	独自に作成したプリントを配布する。				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備 考	受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	イギリスの文化と歴史	担当教員	太田 素子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	イギリスの文化と歴史について学ぶ。まず出来るだけ簡潔にイギリスの歴史を概観する。その上で、イギリスの食と文化、イギリスの物語を取り上げて、最近の新しい研究領域の視点から、イギリス文化を理解できるようにする。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。特に第1回～第4回の歴史の授業では前もって教科書をよんでおいてください。各回の学習の最後には、課題があります。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 インTRODクシヨN・古代から中世へ イギリスの正式名称と国旗、立憲君主国イギリス、先史時代～中世のイギリス	確認テスト
	第2回 絶対王政の時代：ヘンリー8世とエリザベス1世 絶対王政、ヘンリー8世と6人の王妃、イングランド国教会、エリザベス1世	確認テスト
	第3回 イギリス革命 イギリス革命、市民革命と議会制民主主義、ピューリタン	確認テスト
	第4回 大英帝国の繁栄・20世紀イギリス 産業革命、大英帝国の繁栄、ヴィクトリア女王、万国博覧会とクリスタルパレス、20世紀のイギリス	確認テスト
	第5回 イギリスの食と文化 飽食の現代、嗜好品の時代、イギリス人は紅茶好き・紅茶と砂糖の文化史、イギリス料理はまずい？	確認テスト
	第6回 イギリスの物語 物語とは、シェイクスピア、シャーロック・ホームズ、不思議の国のアリス、ロード・オブ・ザ・リング、ハリー・ポッター	確認テスト
成績評価方法	毎回の確認テスト (50%) 単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『コンプトン英国史・英文学史』 著者 加藤憲市・加藤治訳 出版社 大修館書店 出版年度 2008年4月20日 ISBN 9784469243765	
参考書(任意購入)	『図説 イギリスの歴史』、指昭博、河出書房新社、1,800円(税込)、2002年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	ヨーロッパの文化と歴史	担当教員	大島 浩英
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	この授業では、「ヘンゼルとグレーテル」、「白雪姫」、「シンデレラ」や「赤ずきん」など、ドイツに生まれ広く世界的に読まれるようになった『グリム童話集』をテーマに学習を進めます。メルヒェンという言葉は昔話、童話、民話などを意味しますが、その中にはヨーロッパの長い歴史を通じて受け継がれてきた人びとの生活文化や心情が反映されています。こういったメルヒェンをグリム兄弟がどのようにして集め、現在では多くの子どもたちに親しまれるようになった『童話集』へと作り上げていったのか、その成立過程を探ります。				
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進める上で重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。各章の学習の最後には確認テストがありますので、このテストを済ませてから次の章の学習へ進んでください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 メルヒェンとは？	メルヒェンの意味、起源、タイプと、メルヒェンに対するグリム兄弟の考え方などを学ぶ。			確認テスト
	第2章 グリム兄弟の生涯とメルヒェン収集	グリム兄弟の生い立ちを概観しながら、彼らが生きた時代やメルヒェンとの関わりについて学ぶ。			確認テスト
	第3章 グリム兄弟のメルヒェン観	グリム兄弟のメルヒェンに寄せる思いや昔話の構造、またグリム童話と子どもとの関係などを考える。			確認テスト
	第4章 昔話の文体	メルヒェン（昔話）が語られる文体とその表現の仕方、そしてそれらによって得られる効果について考察する。			確認テスト
	第5章 メルヒェンの語り手	グリム兄弟にメルヒェンを語ったのはどのような人々だったのか、そしてその語り方について考察する。			確認テスト
	第6章 文献からの再話	グリム兄弟が生まれる以前からあった昔話を童話集に再話した例として「天国の仕立屋」を題材に考察する。			確認テスト
	成績評価方法	各章の確認テスト（40%）、単位修得試験（60%）			
教科書	著書 『グリム童話の誕生』 著者 小澤俊夫 出版社 朝日新聞社 出版年度 2008年9月20日 ISBN 9784022595553				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本文学	担当教員	丹羽 博之
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	①日本古典文学の粹『百人一首』の講読を通して、上代から鎌倉時代初期にかけての和歌の流れ、それぞれの時代の特徴を知る。 ②日本文学の特徴である、四季と恋について、古来からどのように歌われ、今に続いているかを知る。 ③現代の日本文化の基礎ともなっている、季節観、恋愛方法などのルーツを知る。				
学習の進め方	この授業は教科書主体に学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。教科書の中からそれぞれのテーマに沿っていくつかの和歌を取り上げ、時代の特徴、修辞法の解説、歌人の逸話等を説明します。古人の心情にふれ、日本人の心のふるさとを再発見しましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第一講 百人一首の世界				
	○百人一首と藤原定家を学ぶ。 ○百人一首と歌留多			小クイズ	
	第二講 『万葉集』時代の歌人				
	○『万葉集』時代の理解 ○それぞれの歌人の特徴			小クイズ	
	第三講 『古今集』時代の歌人				
	○『古今集』の時代の理解 ○『古今集』の歌の特徴			小クイズ	
	第四講 平安三才女				
	○平安三才女とは ○平安女流文学の理解			小クイズ	
	第五講 和歌と漢詩				
○日本人と漢詩 ○和歌の表現の中の漢詩的表現			小クイズ		
第六講 歌合と歌会					
○歌合の理解 ○歌会の理解			小クイズ		
第七講 和歌の修辞					
○和歌の修辞法の理解 ○掛詞・縁語・序詞の理解			小クイズ		
第八講 歌枕					
○歌枕の理解			小クイズ		
第九講 『新古今集』時代の歌人					
○『新古今集』時代の理解 ○『新古今集』の歌の特徴			小クイズ		
成績評価方法	各講の小クイズ (50%) と単位修得試験の結果 (50%) により評価する。				
教科書	著書 『百人一首』 著者 鈴木日出男他 出版社 文英堂 出版年度 2011年 CD なし ISBN 9784578100829				
参考書(任意購入)	『百人一首大事典』、吉海直人監修、あかね書房、5,250円(税込)、2006年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	アメリカ文学	担当教員	稲積 包昭
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標 イギリスの植民地時代から、独立革命期、第二次対英戦争、南北戦争、西漸運動、フロンティアの消滅、金びか時代、革新時代、第一次世界大戦、ジャズ・エイジ、大恐慌時代、第二次世界大戦、東西冷戦時代、ヴェトナム戦争、ソ連邦の解体、と世界とアメリカの歴史を背景に、その時代時代にアメリカ人によって英語で書かれた代表的な文学作品を取り上げます。

学習の進め方 この授業では、英語で書かれた散文作品を学習の対象にしほります。「詩」と「演劇」も文学を学ぶ際に無視できないものですが、まずはアメリカ文学の主流をなし、かつまた、今日まで世界中で多くの人々に愛読されている「散文作品」がアメリカ文学を理解する点で最も効果的であると思うからです。全体を6講に分け、各講は教科書の教材材料に応じて無理なく学習できるように配分しています。各講で、まず教科書の解説を読み、作品が書かれた時代背景を理解し、次に引用されている原作の一部を日本語訳を参考によんでください。引用された英文は短いですが、作品の特徴をよくとらえた部分が選ばれています。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 植民地時代の文学 教科書 序章・第1章 アメリカ文学とは何か。時代背景とこの時代を代表する作品として「説教」が主体となる散文が選ばれた理由を理解しましょう。「アメリカにおけるキリストのたいなる御業」と「怒れる神の手のなかにある罪人たち」。次に、独立戦争でも重要な働きをした、アメリカン・ドリームの前祖、ベン・フランクリンの『自叙伝』を読み、彼の自信に満ちた成功談から、この時代の雰囲気を感じ取ってください。	
	第2回 アメリカ文学の独立期 教科書 第2章 ヨーロッパの芸術や文学の模倣時代を経て、アメリカ独自の文学が芽生え根をおろし始めた時代です。アメリカン・ゴシックの前祖、ブロックデン・ブラウンの『ウィーランド』、ヨーロッパで高く評価されたワシントン・アーヴィングの「リップ・ヴァン・ウィウクル」、アメリカン・ヒーロー像を描いたフェニモア・クーパーの皮脚絆物語の一つ、『大草原』の原文に触れ、時代の息吹を感じてください。	
	第3回 アメリカ文学の開花時代 教科書 第3章 第2回で学んだアメリカ文学独立期の代表的作家によって切り開かれた文学的土壌は、社会の変化発展とともに、ニューヨーク地方を中心に質的にも多様性においても独自の発達を遂げました。「アメリカン・ルネサンス」と呼ばれる文学開花期です。その思想的な指導者が、超絶思想で有名なエマソンです。彼のもとに集まった人々の中には、『森の生活』を書いたヘンリー・ソロー、小説の構成ばかりでなく、人間性の原点を明らかにしようと試み、今日でも古さを感じさせない傑作『緋文字』の作者、ナサニエル・ホーソン、巨大鯨への復讐に命を賭けた船長の姿に人間の暗黒部を明らかにしようとした大作『白鯨』のハーマン・メルヴィルなどがいます。また、南部出身ですが、フランスでその文学性・芸術性を高く評価された『アッシュ家の崩壊』の著者、エドガー・アラン・ポーも挙げねばなりません。	確認テスト
	第4回 リアリズムから自然主義 教科書 第4章 ホーソンやメルヴィルはロマン主義の作家として位置付けられています。農業国から工業国へと急速に変貌を遂げたアメリカ社会は、多くの矛盾を抱え、その状況下で作家は冷静な目で社会を見つめます。「アメリカ小説の父」と言われ、後の作家たちにも影響を与えた、リアリズム作家マーク・トウェイン、アメリカ自然主義の代表的な作家、フランク・ノリス、ステューヴン・クレイン、そして、セオドア・ドライサーの作品を読んでください。	
	第5回 アメリカ文学の成熟期 教科書 第5章 第一次世界大戦から大恐慌を経て、第二次世界大戦前までのアメリカ社会の中から生まれしてきた作家とその作品を取り上げます。国土が戦争の被害を受けなかったアメリカは、それまでの負債国から債権国へ、そして、世界の大国へと変貌します。しかし、戦争の後遺症は伝統的な道徳観、旧来の権威を否定する若者を生み出し、経済的繁栄と退廃的な風潮が独特の時代を作り出しました。シャーウッド・アンダーソン、スコット・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイ、ウィリアム・フォークナー、ジョン・スタインベックの代表的な作品を鑑賞してください。	
	第6回 第二次世界大戦後の文学 教科書 第6章 1920年代の特色をなす「ジャズと酒とダンス」の繁栄の時代は、1929年の大恐慌によって終わりをむかえました。ナチズム、ファシズム、軍国主義が台頭し、世界は戦争の時代へと突入しました。共通の敵を前に共に戦ったアメリカとソ連はこの第二次世界大戦後、自由主義世界、社会主義世界の代表として激しく対立し、「冷戦」と呼ばれる時代をもたらした。植民地の独立、革命、ベトナム戦争、中東戦争は世界中に暗い影を落としたが、アメリカ国内でも公民権運動、草の根民主主義、性革命、麻薬、ヒッピーと社会は大きな変化をこうむった。このような時代は文学の中にも色濃く繁栄されている。ノーマン・メイラー、ソール・ベロー、バーナード・マラマッドらの名前をあげることができる。時代に逆らい、清くありたいと大人の欺瞞に抵抗する若者を描いた『ライ麦畑でつかまえて』のサルインジャーも忘れてはならない。	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)	
教科書	著書 『はじめて学ぶアメリカ文学史』 著者 板橋好枝/高田賢一 編著 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2009年12月20日 初版 ISBN 9784623021055	
参考書(任意購入)	『アメリカの文学』、八木敏雄・志村正雄著、南雲堂、1,835円(税込)、1983年 『アメリカ文学史入門』、大橋吉之輔著、研究社、2,415円(税込)、1987年 『アメリカ文学 名作と主人公』、北山克彦編、自由国民社、1,785円(税込)、2009年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	イギリス文学	担当教員	森 道子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	イギリスの文学作品を読み、味わう。文学は芸術の1分野で、自然や人生をテーマに、想像力を働かせて、美を創造する。独自の特色は「ことば」を素材とすることで、ことばの美しさ、面白さを堪能させてくれる。文学作品を理解し鑑賞することは想像力の開発、未知の体験に繋がる。それが外国文学の場合、異文化交流の基礎を築く。				
学習の進め方	全体を6回に分ける。各講に教科書の1章～2章を配する。教科書はイギリス文学史だが、学習目的は文学の歴史ではなく、イギリス文学を代表する作品の味読・理解である。したがって、取り上げる作品を各回で明記するので、可能な限り全文を読了してほしい。また、各章の「時代思潮」「詩概説」「劇概説」「小説・散文概説」は必ず読むこと。 イギリス文学は当然ながら、英語で書かれている。イギリス文学を真に味わうためには原典に触れることが必至である。ぜひ教科書の原典引用文を日本語訳と対訳しつつ読んでほしい。また、掲載された引用は作品のごく一部にすぎない。入手しやすい翻訳を挙げておくので、興味を持った作品の完読を勧めたい。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1講 アーサー王伝説とシェイクスピア		ディスカッション		
	教科書の第1章・第2章 中英語による長詩『カンタベリ物語』と散文『アーサー王の死』について。イギリス・ルネッサンスの宮廷文学『妖精女王』とソネット(定型詩)、およびマロウとシェイクスピアの悲劇、喜劇、詩劇。				
	第2講 ミルトンと17世紀の詩人・作家		ディスカッション		
	第3章、キリスト教信仰に基づいていながら対照的な文体の叙事詩『失楽園』と散文『天路歷程』について、また、その対極ともいえる異教的恋愛詩について。				
	第3講 ジャーナリズムと小説の誕生		確認テスト		
	第4章・第5章、理性と散文に重点を置く都会(ロンドン)中心に繁栄する文化と市民階級の社会。現在の新聞と雑誌の中間のような新聞の発行。『ロビンソン・クルーソー』『ガリヴァー』など冒険旅行記から始まり、本格的な小説の誕生とその隆盛について。				
	第4講 ロマン主義の詩人と小説家		ディスカッション		
	第6章、理性と散文への反動。都会より自然に、社会より個人に焦点を当てるロマン派運動。想像力を重要視する。各自各様に自由と美を求める5人の主要詩人たちについて。小説は歴史小説と教養小説の代表作家であるサー・ウォルター・スコットとジェイン・オースティン。				
	第5講 ヴィクトリア朝の詩人と小説家		ディスカッション		
第7章、自由奔放なロマン派とは対照的な質実で廉潔の詩人テニソンは科学と宗教の間で苦悩するものの、国家詩人(桂冠詩人)に選出。D・G・ロセッティは美術と文学の両芸術で理想を追求する。小説の全盛期で、ディケンズはヴィクトリア朝市民階級の代表者であり、ブロンテ姉妹など女流作家の活躍も目覚ましい。					
第6講 世紀末から20世紀の小説 おわりに		確認テスト			
第8章・第9章、「世紀末」と言われた時代を経て、20世紀へ。ハーディの運命悲劇的小説やワイルドの怪奇小説と軽妙洒落な喜劇。エリオットの詩「荒地」とジョイスの小説『ユリシーズ』はそれぞれのジャンルでのランドマーク。演劇は世の不条理を扱う不条理劇流行。最後に、教科書に引用のない、興味深い小説、「ゴシック小説」「推理小説」「ファンタジー小説」について触れる。					
成績評価方法	各講の課題状況(40%)と単位修得試験の結果(60%)により評価する。				
教科書	著書 『はじめて学ぶイギリス文学史』 著者 神山妙子 編著 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2011年1月30日 初版 ISBN 9784623018734				
参考書(任意購入)	『たのしく読めるイギリス文学』、中村邦夫ほか、ミネルヴァ書房、2,940円(税込)、1994年 『要説 イギリス文学史』、佐瀬順夫、英宝社、2,205円(税込)、1987年 『イギリス小説入門』、川口喬一、研究社、1,950円(税込)、1989年 『英詩鑑賞入門』、新井明、研究社				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	茶道の心得	担当教員	千 宗守
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格				資格名
	実施方法				
	試験会場	—			

学習目標		
学習の進め方		
学習内容	概 要	課 題
	現在内容は未定です。詳細が決まり次第、el-Campusにて、お知らせいたします。	
成績評価方法		
教科書		
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	マンガ文化論		担当教員	佐藤 晴美 谷村 要 倉田 芳美 石原 基久 平井 りゅうじ 山田 典昭 山森 宙史	
レベルナンバー	100	単位数	2				
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		資格名		
単位修得試験	受験資格	全授業へ出席					
	実施方法	レポート及び実習成果物					
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)					

学習目標	日本では身近な存在である「マンガ」についてその歴史、現在の状況、制作について発想から表現技法、出版編集などマンガ、アニメーションを幅広く学ぶ。					
学習の進め方	講義と実演による実習					
学習内容	概 要					課 題
	第1回 マンガ概論1	マンガとは、基本事項。マンガとはどういうものであるか、その定義。				
	第2回 マンガ概論2	マンガとは、進化と発展。過去から現在・未来へ。				レポート
	第3回 マンガ表現1	マンガの制作現場より。マンガができるまでその制作工程。				
	第4回 マンガ表現2	マンガの多様な表現方法。マンガ表現、作画体験。				
	第5回 マンガ概論3	日本のサブカルチャーその文化的意味。				
	第6回 マンガ概論4	マンガとアニメーション。マンガ・原作とアニメーション脚本I				
	第7回 マンガ概論5	マンガとアニメーション。マンガ・原作とアニメーション脚本II				レポート
	第8回 マンガ表現3	マンガにおけるデフォルメの考え方とその表現意味。作画体験。				
	第9回 マンガ概論6	「文化」と「サブカルチャー」I				
	第10回 マンガ概論7	「文化」と「サブカルチャー」II マンガ分析。				レポート1
	第11回 マンガ概論8	メディア・コミュニケーションI 出版メディア。				
	第12回 マンガ概論9	メディア・コミュニケーションII コミックスのメディア史。				レポート
	第13回 マンガ表現4	マンガにおけるストーリー展開と構成。				
	第14回 マンガ表現5	マンガ制作現場より、マンガ制作体験。				
	第15回 まとめ	マンガ制作現場より、マンガ制作体験。まとめ、マンガの現状と可能性についてレポート。				レポート2
成績評価方法	レポート(60%)、実習成果物(40%)					
教科書	著書： 著者： 出版社： 出版年度： 年 版 ISBN：					
参考書(任意購入)	必要があれば授業内にて紹介					
必須ソフト・ツール	—					
備 考	受講者上限人数 グループワークを含む講義 40名					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	ジャパノロジー入門	担当教員	ウィリアム・リード
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標	世界で日本語を学ぶ人の数が年々増加の一途をたどり、2006年には300万人を超えました。日本人にとって、日本の文化や伝統は、空気のように当たり前 に存在していて、その素晴らしさを忘れがちです。その道を極めている人の話を聞くことで、日本の文化や伝統の素晴らしさを再認識し、自分の生活に 取り入れるきっかけにすることを目標とします。
学習の 進め方	当たり前と思っていることや、すでに知っていると思っていることも、その道を極めている人の視点や発想で見直すと新鮮な発見や気づきが生まれます。 それを自分の生活や生き方にどう活かしていくのかという視点で聞いていくと、実学としてのジャパノロジーを学ぶことができます。

	概 要	課 題
学習内容	オリエンテーション 外国人からみた日本文化の魅力について	
	第1回 Le Japon 「写真を通じてもう一つの日本の魅力に出会う」 我々が毎日みているはずの日常の風景が、日本を愛するフランス人のカメラマン、デビッド・ミショーの手にかかると、 思いがけない表情を見せます。彼が切り取ったひとコマひとコマを通じて、もう一つの「日本」に出会いましょう。	確認テスト
	第2回 キャレモジ「インテリアアートとしての書の魅力」 書は、書く人の心をうつし出す鏡であると同時に、見る人の心の余白を膨らませるものでもあります。インテリアア ートとして書に新たな舞台を与えたキャレ文字の書家として活躍している清水恵氏に、その魅力を伺います。	確認テスト
	第3回 ナンバ「心も身体も気持ちいい！疲れを知らないナンバ式元気生活」 「ナンバは感性だ。ナンバは対話だ。ナンバは自由だ。」こう語るのは、ナンバの第一人者である矢野龍彦氏です。着物を 着て、草履や下駄をはきながら、日常生活をしていた日本人が生み出した日本独特な動きであるナンバを、ストレス一杯 の現代の生活に無理なく活かす方法を伺います。	確認テスト
	第4回 マンガ「現代におけるマンガが果たす新たな役割」 フランスで昨年行われたジャパン・エキスポの入場者数は、16万人を超えました。来場者の多くの関心を集めたのは、日 本のアニメやマンガで、日本に興味を持ったきっかけになっている外国人も多い今日この頃です。日本文化を語る時に、 伝統文化と共に欠かせない存在となっていると同時に、ビジネスや教育の理解を深める上でも新しい役割りをになっています。 現代におけるマンガが果たす役割りについて、アドマンガの岡崎充氏に伺います。	確認テスト
	第5回 江戸しぐさ「江戸しぐさに学ぶ、異文化と共生する知恵」 江戸時代は、世界の歴史においても、希に見るほど内乱のない平和な時代が長く続きました。その平和で安心な世の中を つくり、支えるのに貢献したのが、「江戸しぐさ」に見られるような異文化と共生する思いやりの知恵だと考えると、スト レスや争いごとの多い現代こそ学ぶべき点が多いのではないでしょうか。「江戸しぐさ語り部の会」を主催している越川 禮子氏に伺います。	確認テスト
	第6回 道「道を極める」 茶道、華道、書道、そして武道。日本の伝統文化を考える時、終わることなく磨き続ける「道」になるまで昇華させる日 本人の特質は、他に類を見ないものです。合気道の創始者、故植芝盛平翁の直弟子でもあり、半世紀以上もの間合気道を 極め続けている丸山維敏氏にその魅力と真髄について伺います。	確認テスト
	第7回 日本語「日本語の面白さに気づく」 言葉と文化は密接な関係があります。日本語を英語に翻訳するとき、伝えきれないニュアンスやエッセンスは、日本独 自の文化に由来するものが多いです。そこを深掘すると、日本人の繊細な世界観や生き方、感じ方が、日本語を通じて見 えてきます。日本を愛し、日本語と40年近く関わって来たウィリアム・リード氏が日本語の奥深さと面白さについて語り ます。	確認テスト
成績評価 方 法	単位修得試験の結果（100％）から評価する。	
教科書	著書 「『縮み』志向の日本人」 著者 李御寧 出版社 講談社文庫 出版年度 2010年12月6日 ISBN 9784061598164	
参考書 (任意購入)	授業内で案内する。	
必須ソフト・ ツール		
備 考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	物理学概論	担当教員	庭瀬 敬右
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	物理学は物に関する考え方を教えてくれる学問です。飛行機や携帯電話などの人が創り出したものは、物理学の発展に依るところが大きいものです。現代社会は物理を基礎とした科学技術の上に成り立っていますが、多くの人は物理の学習を無味乾燥に感じてしまうようです。これは、物理現象に対してのイメージを持って学習を行っているところに原因があるようです。この授業では、図解を特徴とした教科書を用いて、物理学の発展の歴史から、ニュートン力学や熱力学、波動、電磁気学、そして相対性理論に関しての教養レベルでの基礎知識を獲得することを目標としています。				
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントは小テストを行うことによって確認できるようになっています。補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 物理学のはじまり			小テスト	
	物理学は、様々な星の動きを説明することで発展しました。古代ギリシャで地球を中心に天体が動くと考えた天動説は、以後千数百年にわたり信じられました。中世に太陽のまわりを地球が運動するという地動説に大転換しました。精密な天体観測の解析結果をもとに、ニュートンは万有引力の法則を見いだしました。ここでは、物理学誕生の歴史とその探求の過程について学習します。				
	第2章 ニュートン力学			小テスト	
	物体の運動に関する基本的な法則であるニュートン力学を学習します。ニュートン力学の確立によって、人類は月に行って、帰ってくるまでになりました。物体を動かす力に関する考察やガリレオの自由落下の考察、そして物体の運動の基本法則である、ニュートンの運動の3法則を学習します。また、衝突現象に関係する運動量保存則やエネルギー保存則を学習します。				
	第3章 熱力学			小テスト	
	水が凍ったり、沸騰したり、冷房や暖房など、身のまわりには熱的現象がたくさんあります。熱力学は、熱と温度の違いを理解することで発展してきました。物質への熱の流入によって、物質は、固体、液体、気体の状態へと変化します。熱の伝わり方も物質によって違いがあります。気体は温度や圧力の変化に対して大きな変化が現れます。ここでは、熱力学の基本法則から熱エネルギーの利用までを学習します。				
第4章 波動			小テスト		
海辺の波と同様に音や光も波の性質をもっています。波は、重なり合って強めあったり弱めあったりする独特の性質があります。救急車が近づくとときと遠ざかるときで音の高さが変化することも波の性質に起因しています。空の青さや虹の七色も波の性質です。地震も波として地中を伝わります。ここでは、これらの現象を記述する波の基本法則について学習します。					
第5章 電磁気学			小テスト		
私たちの身のまわりには、電気製品や通信機器など電気や磁気に関係したもので溢れています。モーターや発電機は、電気や磁気の性質を明らかにすることによって作られました。電気や磁気では空間を通して力が伝わり、その連携によって電磁波として伝わります。電磁波は、テレビやラジオの電波として使われています。このような電磁気学の基本法則を学習します。					
第6章 相対性理論			小テスト		
時間は過去から未来に誰にも等しく進んでいくような絶対的空間が存在していると私たちは考えがちです。しかしながら、マイケルソンとモーリーの実験によって絶対空間は確認できませんでした。アインシュタインは、この実験事実を説明するために相対性理論を構築しました。この理論では、物体の動きが光の速度に近づくと時間と空間が結び付いた時空での考えが必要となることが示されました。ここでは、相対性理論の基礎的な内容を学習します。					
成績評価方法	単位修得試験の結果（100％）により評価する。				
教科書	著書 『図解雑学 物理のしくみ』 著者 井田屋文夫 出版社 ナツメ社				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	宇宙科学	担当教員	山田 義弘
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	教科書とデジタル教材から「宇宙科学」全般を学ぶことにより、宇宙の過去・現在・未来を理解する。				
学習の進め方	教科書とデジタル教材を活用します。「太陽系」、「恒星」、「銀河」、「宇宙論」、「宇宙開発」を学習しますが、天体の概説、宇宙論の基礎、宇宙開発の諸分野で、理解の難しい現象や概念は、デジタル教材で数式を使わないで説明しますから、容易に理解できると思われます。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 オリエンテーション	「宇宙科学」の概要説明 各自が掲示板に感想を掲載する			ディスカッション
	第2回 太陽系	★約46億年前、太陽を中心とする太陽系ができた。太陽系には8個の惑星（水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星）が太陽の周りを回り、160個以上の衛星が惑星の周りを回っていることを理解する。 ★小惑星は火星軌道と木星軌道の間の小惑星帯に集中している。 軌道が確定した小惑星の数は、約50万個（2011年12月現在）ある。 また“ほうき星”とも呼ばれる彗星も小惑星と同様に太陽系の一員であることを理解する。			確認テスト
	第3回 恒星	★1年間の星の動きを追うと見える星の位置は変わる。地球が太陽の周りを公転しているからだ。太陽が天球上を通る道を黄道と呼ぶ。星占いでも使われる“黄道12星座”とか全天に88星座があることなどを理解する。 ★人に誕生と死があるように、夜空に輝く恒星にも誕生と死がある。太陽の誕生も別の恒星の死がきっかけだった。星々の生と死は連綿とつながっている。恒星の一生とは、いったいどのようなものかを理解する。			確認テスト
	第4回 銀河	★私たちがいる銀河を「銀河系」と呼ぶ。銀河系は直径10万光年（1光年は光が1年間に進む距離）、数本の腕をもつ渦巻状の銀河だと考えられている。その中で私たちの太陽系はどのような位置にあるのかを理解する。 ★現在、最も遠くの銀河をとらえたのは、日本の“すばる望遠鏡”（国立天文台ハワイ観測所の口径8.2m 反射望遠鏡）だ。2003年3月、約128億年前の銀河をとらえることに成功した。遠い銀河について理解する。			レポート
	第5回 宇宙論	★宇宙が膨張していることを発見したのは、エドウィン・ハッブル。それまで宇宙は大きさの変化しない定常宇宙という考え方が主流だった。ハッブルによって、宇宙は膨張し進化することが明らかになったことを理解する。 ★宇宙の終わりはいったいどうなるのだろうか。50億年後には、太陽の膨張によって地球は太陽に飲み込まれる。宇宙はお構いなく膨張を続ける。現在の宇宙は加速膨張しているとさえいわれていることを理解する。			レポート
	第6回 宇宙開発	★宇宙に思いを馳せ、その謎を一步一步解き明かしてきた無数の科学者がいるのと同じように、宇宙へ行きたいという夢が人を突き動かし、その夢と技術がリレーされて宇宙開発が進められてきたことを理解する。 ★日本の宇宙開発は、全長23cmの「ペンシルロケット」から始まった。いま日本の宇宙開発は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が担い、世界でもトップクラスの宇宙開発と宇宙探査を目指していることを把握する。			レポート
成績評価方法	確認テスト（50%）、単位修得試験（50%）より総合評価する。				
教科書	著書 『宇宙のしくみ』 著者 渡部潤一（監修）、坂元志歩（執筆・編集） 出版社 新星出版社 出版年度 2010年6月15日 ISBN 9784405106512				
参考書（任意購入）	『宇宙のふしぎ』、渡部潤一著、ソフトバンク クリエイティブ、1,000円（税込）、2009年 『宇宙の物語』、藤井 旭著、PHP 研究所、2,625円（税込）、2009年 『宇宙論の飽くなき野望』、佐藤勝彦著、技術評論社、1,659円（税込）、2008年				
必須ソフト・ツール					
備考	天文台の大型望遠鏡で月面、惑星、星雲・星団を見たい人が多ければ、兵庫県内の天文施設で1泊2日の観測体験ツアー（実費）を実施したい。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	生物学概論	担当教員	樋口 文嗣
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標 さまざまな生命現象について基礎的な知識を学習し、我々の生活との関連について理解を深める。高等学校で「生物」を学習する機会が無かった方々を主なターゲットとして、興味を持ち、理解できる様に講義を展開したい。この講義によって、我々の生活の様々な断面において出会う、生物（ヒトを含めて）に対して楽しみをもって、様々な問題を解決する能力を養うことを目指す。

学習の進め方 教科書として武村政春著『一般生物学』と数研出版の『生物図録』を使用するが、授業構成は教科書通りではないので、参考書として利用下さい。不明な用語などは『生物図録』の索引から探し出して、必要な用語及びその周辺の学習をされることをお勧め致します。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 細胞と進化 細胞の構造と働き、細胞の進化、生物の進化	確認テスト
	第2回 代謝 光合成、呼吸、酵素	確認テスト
	第3回 恒常性の維持 自律神経とホルモン、体液と循環、肝臓・腎臓の働き	確認テスト、前半のまとめ
	第4回 生殖と発生 細胞分裂、生殖の方法、動物の初期発生	確認テスト
	第5回 遺伝と変異 遺伝のしくみ、様々な遺伝現象、分子遺伝、突然変異	確認テスト
	第6回 免疫 老化、ウイルス、免疫	確認テスト

成績評価方法 単位修得試験のみを評価対象とします。(100%) 単位認定は60%以上の得点とします。

教科書
 著書 『人間のための「一般生物学」』
 著者 武村政春
 出版社 裳華房
 出版年度 2010年3月10日 3版
 ISBN 9784785352141
 著書 『フォトサイエンス「生物図録」』
 著者 鈴木孝仁監修
 出版社 数研出版
 出版年度 2011年4月10日
 ISBN 9784410281433

参考書 (任意購入)

必須ソフト・ツール

備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スターリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	化学概論	担当教員	岡本 摩耶
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	この科目で習得した化学の知識によって、日常生活における化学の役割を理解できるようになる。 身のまわりに存在する化学物質について正しい知識を得ることで、健康や環境を害する危険性の少ない生活を送る「賢い消費者」になることができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 食の化学 フグはなぜ自分の毒で死なないのか？握り寿司は化学の宝庫だった!? 食生活における化学の役割について学習する。	確認テスト
	第2回 環境の化学 環境にやさしい農薬とは？空から「鬼」が降ってくる!? 私たちの身近な環境における化学の役割について学習する。	確認テスト
	第3回 化学の不思議 焦げ付きにくいフライパンとは？悪臭を消す魔法とは？ 私たちの身の回りに存在する便利な製品に使われている化学物質や技術について学習する。	確認テスト
	第4回 魔法の化学 微生物が食べるプラスチックとは？味覚を変える魔法の物質!? 私たちの生活の中に存在する不思議な物質や現象に隠された化学の秘密を探る。	確認テスト
	第5回 健康と薬の科学 DHA を食べると頭がよくなる!?上手なお酒の飲み方とは？ 私たちの健康に関与する化学物質やメカニズムについて学習する。	確認テスト
	第6回 生物の不思議なしくみ 植物の色や香りの仕組みとは？ゲノムってなんだろう？ 生命誕生と進化、子孫を残すための工夫など生物の不思議について学習する。	確認テスト
成績評価方法	各回の課題（30%）と単位修得試験（70%）による総合評価	
教科書	著書 「マスコミに見る化学」 著者 津波古充朝、小山淳子、上地真一 出版社 廣川書店 出版年度 2003年9月20日 ISBN 9784567203005	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	数学	担当教員	花島 健吾
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	現代社会のビジネスにおける「数学」の活用を知る。また、実務や実生活で「数学」を使いこなせるようになることを目標にする。				
学習の進め方	教科書に沿ったデジタル教材を主として学習を進めます。教科書の該当箇所を読んでからデジタル教材を閲覧して下さい。なお、数学に自信がない人、長い間遠ざかっている人、数学アレルギーの方も無理なく楽しく学習できるカリキュラムになっています。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 微分積分				
	1-1 関数とは？ 関数とは何か？グラフの読み方は？など、数学を学習する上での基本事項をおさらいする。				
	1-2 微分 「微分」の意味を理解し、株価変動の分析などの実生活での実用例を考察する。			確認テスト	
	1-3 積分 「積分」の意味を理解し、v-t グラフなど実生活での実用例を考察する。				
	第2章 確率				
2-1 確率とは？ 確率の基本的な考え方を学ぶ。					
2-2 条件付き確率 誤解しやすい条件付き確率を、トランプゲームを用いて考察する。			確認テスト		
2-3 期待値 期待値の基本的な考え方を理解し、実生活での活用を目指す。主に丁半・ルーレット・競馬などのギャンブルを例にとり研究する。					
第3章 PERT/CPM					
3-1 PERT 代表的なスケジュール管理法である PERT の基本をマスターする。			確認テスト		
3-2 CPM PERT をさらに発展させた、積極的な納期・コスト管理のフレームワークを習得します。					
第4章 ゲーム理論					
4-0 ゲーム理論とは？ 近年、ビジネス界で脚光を浴びているゲーム理論とは何か？を考察する。					
4-1 同時ゲーム 出店競争の事例を用いて、同時ゲームの解き方をマスターする。			確認テスト		
4-2 事例研究 「囚人のジレンマ」「コミットメント」などをテーマに発展的な同時ゲームの事例研究をします。					
4-3 交互ゲーム 出店競争のビジネス事例を用いて、交互ゲームの解き方をマスターする。					
第5章 線形代数					
5-0 線形代数の基礎 線形代数の基本的な考え方をマスターする。			確認テスト		
5-1 行列式 行列式の仕組みについて学習する。					
5-2 行列式 行列式の計算方法を習得する。					
成績評価方法	単位修得試験 (100%) により総合評価する。				
教科書	著書 『ラストリゾート数学』 著者 花島健吾 出版社 ジャあそれで堂 出版年度 2011年6月10日 1版				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	社会を考える	担当教員	坂本 真司
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 グローバリゼーションという言葉が使われるようになって久しいが、それがどのようなものであり、私たちの日常生活において、どのような形で見出し、理解することができるか。また、それにどのように対応すべきか。これらの問いに対して、若者文化と労働の世界をとおして具体的に検討しながら、グローバリゼーションの意味するところを適切に理解することが、ここでの目的となる。

学習の進め方 授業は、下記教科書の本文の解説をする形で進行する。解説は、登場するキーワードの解説、本文文章の各所に対する解釈の提示が主となる。基本的には、なるべく文献本文の構成に沿う形で解説をおこなうが、必要とあれば、順番を変え「あっち行き、こっち行き」することもある。適宜参考資料をファイルほかでアップする。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 現代文化におけるグローバリゼーション/ローカリゼーションのねじれ 本講義の狙い、内容、進め方に関する概要を述べた後、講義全体のあらましをつかむ。	クイズ
	第2回 重層モラルコンフリクト テキスト全体を理解するためのキーワードのひとつ、「重層モラルコンフリクト」の概念を検討する。	クイズ
	第3回 オルトエリート 重層モラルコンフリクトの主体である「オルトエリート」の概念を検討する。	クイズ
	第4回 現代東アジア社会における重層モラルコンフリクトとオルトエリート 日本、中国、韓国の3カ国の場合を検討しながら、「重層モラルコンフリクト」と「オルトエリート」がどの程度現実を説明できているのかを吟味する。	クイズ
	第5回 ファッションとグローバリゼーション ジーンズの世界的普及の歴史を素材にして、ファッションの世界における文化のグローバリゼーションの実像、すなわちファッション界での重層モラルコンフリクトの存在を検討する。	クイズ
	第6回 趣味とグローバリゼーション 趣味の世界における文化のグローバリゼーションのありようを検討する。	クイズ
	第7回 趣味とオルトエリート 趣味をめぐるオルトエリートの存在や、それが現代社会に与えた影響に関して考える。	クイズ
	第8回 前半のまとめ 講義前半部分の要点整理をして、後半の学習の準備をする。	クイズ、 前半のまとめ
	第9回 パンクロックにみる重層モラルコンフリクトの実態 韓国でのパンクロックバンドの活動の変遷を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第10回 日本のラップ文化にみる文化のローカル化 日本におけるラップ音楽の普及過程を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第11回 経済のグローバリゼーションと地域小売業 日本における昨今の小売業の構造転換を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第12回 バイク便にみる労働世界の文化のローカライゼーション 日本におけるバイク便文化を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第13回 フィフティーズ・ファッションのローカライズ化とローカル化 日本におけるフィフティーズ・ファッションの受容の歴史を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第14回 全体のまとめ 講義後半部分の要点整理をして、重層モラルコンフリクトやオルトエリートといったキーワードが、文化のグローバリゼーションの実態をどの程度論理的に説明できているのかを確認する。	クイズ

成績評価方法 各授業でのクイズの結果 (14%)、前半のまとめの結果 (36%)、単位修得試験の結果 (50%) により総合評価する。

教科書 著書 『グローバリゼーションと文化変容—音楽、ファッション、労働からみる世界—』
著者 遠藤薫編
出版社 世界思想社
出版年度 2010年4月30日
ISBN 9784790712374

参考書(任意購入) 適宜紹介する。

必須ソフト・ツール

備考 身近な具体例を多く盛り込んでおり、読みやすい本といえる。自身の日常生活に照らして中身を吟味し、そのいわんとすることを適切に理解することを期待する。

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	社会を知る	担当教員	坂本 真司
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 現代社会の社会問題をめぐって考察をする。対象となる社会問題とは、主に環境問題と貧困問題である。これらの2つの問題の具体的な内実、その背景と、それらの克服の道筋について考察する。ここでとりわけしっかり取り組んでみたいのは、問題の克服の道筋である。どうやって問題を乗り越えられるかを考えていきたい。

学習の進め方 授業は、下記教科書の本文の解説をする形で進行する。解説は、登場するキーワードの解説、本文文章の各所に対する解釈の提示が主となる。基本的には、なるべく文献本文の構成に沿う形で解説をおこなうが、必要とあれば、順番を変え「あっち行き、こっち行き」することもある。適宜参考資料をファイルほかでアップする。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 ゆたかな社会 本講義の狙い、内容、進め方に関する概要を述べた後、講義全体のあらましをつかむ。	クイズ
	第2回 情報化と消費社会 消費社会は「シンボル」消費の社会である。この点を「情報化」なるキーワードを用いて考察する。	クイズ
	第3回 消費社会と資本主義 消費社会は、資本主義という契機をもって進行している。現代社会と資本主義の関係について考察する。	クイズ
	第4回 『沈黙の春』と水俣病 R・カーソンの『沈黙の春』を検討して、現代社会における環境問題の具体的なありようを把握する。	クイズ
	第5回 成長の限界 ローマクラブの『成長の限界』を参考にしながら、現代社会の資源問題の内実を把握する。	クイズ
	第6回 南の貧困 開発途上国における貧困問題を取り上げる。先進国との関係をもとに、貧困問題の本質を考察する手がかりを得よう努める。	クイズ
	第7回 飢饉と飢餓輸出 開発途上国の大規模な飢饉、すなわち貧困問題が起こる背景について、先進国との関係をもとに検討する。そうして、貧困問題の本質がどこにあるのかを考察する。	クイズ
	第8回 北の貧困 先進国内部にみられる貧困問題の実態について、いわゆる「格差社会」の観点も交えて考察する。	クイズ、 前半のまとめ
	第9回 消費と消尽 消費社会と呼ばれる現代社会において、消費という概念はどのような内実をもっているか。今一度振り返って、消費概念がもつ論理的な構造を検討する。	クイズ
	第10回 生の充溢と消費 G・パタイユの議論を検討して、彼が示す消費の概念について考察する。	クイズ
	第11回 消費の概念と社会問題 消費社会と社会問題の関連性について、J・ボードリヤールの消費の概念と、G・パタイユが示すそれを用いて検討をする。	クイズ
	第12回 『方法としての消費社会』の可能性 問題克服の構想とされる「方法としての消費社会」の可能性を探る。	クイズ
	第13回 方法としての情報化 情報ならびに情報化の概念の再検討を経て、「方法としての消費社会」の方向性をつかむための知識を獲得する。	クイズ
	第14回 情報化/消費化社会の転回 最終的な検討作業を加えて、「方法としての消費社会」の方向性を把握する。	クイズ
	第15回 各回の要点整理 講義全体を振りかえり、要点整理をおこなう。	クイズ
成績評価方法	各授業でのクイズの結果 (14%)、前半のまとめの結果 (36%)、単位修得試験の結果 (50%) により総合評価する。	
教科書	著書 『現代社会の理論—情報化・消費化社会の現在と未来—』 著者 見田宗介 出版社 岩波書店 (岩波新書) 出版年度 2011年4月5日 ISBN 9784004304654	
参考書 (任意購入)	適宜紹介する。	
必須ソフト・ツール		
備考	難しい本であるが、面白い本である。最後まで意欲的に読み進める姿勢を期待する。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代の社会	担当教員	坂本 真司
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	「消費」というありふれた営みから社会の流れを看取り、当の流れがどのようなものであるかを適切に説明しようとする意欲を養う。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進める。 各回の学習の最後には課題がある。課題を終わらせてから、次の回に進むこと。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 20世紀の消費社会論	本講義の狙い、内容、授業の進め方に関して概要を説明する。併せて、前半授業の内容のあらましを述べる。			レポート
	第2回 記号的消費と消費の多様化/個性化	消費社会論のアプローチの中から、「記号的消費」論と「多様化/個性化」論について、詳しく検討する。			レポート
	第3回 プロシューマーとゆとり消費	消費社会論のアプローチの中から、「プロシューマー」論と「ゆとり消費」論について、詳しく検討する。			レポート
	第4回 社会的消費と文化の消費	消費社会論のアプローチの中から、「高度社会的消費」論と「文化消費」論について、詳しく検討する。			レポート
	第5回 情報消費	消費社会論のアプローチの中から、「情報消費」論について、詳しく検討する。			レポート
	第6回 駄菓子屋消費文化と下流社会	消費社会論のアプローチの中から、「駄菓子屋消費文化」論について、詳しく検討する。			レポート
	第7回 前半のまとめ	教科書前半部分（第Ⅰ部全般）の内容を簡単に振り返り、要点整理をする。			レポート
	第8回 脱物質主義	後半部分での議論のキーワードである「脱物質主義」の中身を把握する。			レポート
	第9回 衣食住における脱物質主義	衣食住における脱物質主義の具体的様相を探る。			レポート
	第10回 レジャーにおける脱物質主義	レジャーにおける脱物質主義の具体的様相を探る。			レポート
	第11回 消費における自然志向	消費と環境の関係という観点から、脱物質主義の現状と可能性を探る。			レポート
	第12回 現代社会における消費と身体の関係	身体という観点を用いて、消費における脱物質主義の現状と可能性を探る。			レポート
	第13回 「こころの時代」における消費	精神という観点を用いて、消費における脱物質主義の現状と可能性を探る。			レポート
	第14回 講義のまとめ	主に教科書後半部分（第Ⅱ部全般）の要点整理をすることで、本講義のまとめの作業をする。			レポート
成績評価方法	授業各回での課題（各回3点×全14回＝42点）と単位修得試験（58点満点）の結果により総合的に評価する。				
教科書	著書 『消費社会のゆくえ 記号消費と脱物質主義』 著者 間々田孝夫 出版社 友斐閣 出版年度 2005年12月20日 1版 ISBN 9784641173156				
参考書(任意購入)	特に指定しない。授業にて関連する文献を紹介するが、学習は任意とする。				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代社会と文化	担当教員	谷村 要
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 実施方法 試験会場	全ての教材が「済」になること レポート —		資格名	

学習目標	現代社会の特徴とは何か？端的に説明できる。 戦後日本社会の変遷を踏まえて現在の日本社会で見られる「文化」を捉えることができる。 現代社会の様々な問題について、把握することができるようになる。さらにその処方箋について提示できるようになる。					
学習の進め方	「現代社会と文化」を捉える上で特に重要な用語について、まず学んでいきます。 さらに、戦後日本社会の様々な文化の局面をおさえた上で、近年の日本社会に起こっている諸問題について捉えていくことになります。 各回の最後には確認テストがありますので、それを終えてから次の回へと進むようにしてください。					
	概 要				課 題	
学習内容	第1回 「現代社会」の特徴とは	現代社会の特徴である「流動性」と「非対面接触」について説明する。 具体的にその意味をとらえていくことが学習目標となる。				確認テスト
	第2回 流動化する社会	「後期近代」「リキッド・モダニティ」「脱埋め込み化」といった現代社会を読み解く上で重要な用語について説明する。 その上で、「後期近代社会」における流動性がもたらすものをとらえることが学習目標となる。				確認テスト
	第3回 「非対面接触」の社会的影響	さまざまな「メディア」の定義とその機能について説明する。 現代社会におけるメディアの大きさの役割を具体的に捉えることが学習目標となる。				確認テスト
	第4回 「文化」と「サブカルチャー」	「文化」の定義を把握したうえで、「サブカルチャー」の位置づけについて簡単に説明する。また、日本社会において「サブカルチャー」がどのように捉えられているかも解説する。 今後取り扱うサブカルチャーに関する議論を抑える基礎知識を身につけることが学習目標となる。				確認テスト
	第5回 戦後日本社会の変遷	戦後日本社会がどのように進展して現在に至るのか、概観を解説する。 現代の社会において一つの価値判断の基準としても機能している「新自由主義」について、説明できるようになることが学習目標となる。				確認テスト
	第6回 戦後家族の変遷	戦後の「家庭」の特徴について、家の中のメディアとの関係なども踏まえて解説する。 上記の内容を踏まえて、近年の家族意識の特徴について、説明できるようになることが学習目標となる。				確認テスト
	第7回 戦後における若者の自己実現の変遷	連合赤軍事件によって「政治の季節」が終焉した後、若者たちのアイデンティティの源となるものが「消費」へ、さらに「つながり」へと変容していったことについて解説する。 現代社会の「自己実現」の対象とは何かを、歴史的経緯を踏まえて説明できることが学習目標となる。				確認テスト
	第8回 戦後サブカルチャーの変遷	日本のサブカルチャー（「～族」、「～系」）について概観していく。 戦後サブカルチャーの変遷から、日本のサブカルチャーの特徴を説明できるようになることが学習目標となる。				確認テスト
	第9回 監視社会化	監視カメラが街のさまざまな場所に設置され、我々はむしろそれを望んで受け入れている。このような監視はなぜ行われるのか？（あるいは、必要とされるのか？）について、現代社会の特徴を踏まえながら解説する。 「監視」の定義や、近年の意味変容、さらには監視社会に対してどのような批判が可能かを説明できることが学習目標となる。				確認テスト
	第10回 ファスト風土化	「ファスト風土」という用語の意味と、それが郊外にもたらしている影響、さらには、独特の「地域イメージ」構築を狙う地域の具体的事例についても解説する。この授業の内容を踏まえて、現代社会の地域の問題、さらにはそれを克服しようとする地域の取り組みの狙いや課題について説明できるようになることが学習目標となる。				確認テスト
	第11回 クリエイティブ至上主義化	「ソフトパワー」や「クリエイティブ産業」といった近年の文化政策に影響を与えている用語について解説し、クリエイティビティの重要性の増大と、それによる社会への影響を論じる。 クリエイティビティの重要性の増大は何をもたらしているか、説明できるようになることが学習目標となる。				確認テスト
	第12回 若者の保守化	近年の「若者の保守化」について、統計データから解説していき、その「保守化」を生んでいる日本の労働状況や労働から「疎外」された人々がとる考え方を捉えていく。 若者たちの今の生き方について把握することが学習目標となる。				確認テスト
	第13回 現代社会で生きるために	流動化する現代社会を生きる上で「コミュニティ」（ただし、その意味は従来のものと異なる）＝「ジモト」が望まれていることについて、理論や事例（「ゼロ年代の想像力」など）を用いて解説する。 現代社会を生きる力について考えるべき要点を指摘できることが学習目標となる。				確認テスト
成績評価方法	確認テスト（40%）と単位修得試験（60%）をあわせて評価する。					
教科書	著書 『カーニヴァル化する社会』 著者 鈴木謙介 出版社 講談社 出版年度 2011年2月4日 ISBN 9784061497887					
参考書(任意購入)	講義内で適宜指示するが、下記の文献は特に参考になる。 『サブカル・ニッポンの新自由主義—既得権益批判が若者を追い込む』、鈴木謙介、筑摩書房、777円（税込）、2008年 『ポスト戦後社会—シリーズ日本近現代史〈9〉』、吉見俊哉、岩波書店、819円（税込）、2009年 『族の系譜学 ユース・サブカルチャーズの戦後史』、難波功士、青弓社、2,730円（税込）、2007年					
必須ソフト・ツール						
備考						

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	経済を知る	担当教員	川端 勇樹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	「経済を知る」では、ミクロ経済およびマクロ経済を履修する前の段階にある皆さんに、経済学という学問への入門と、日本をはじめとする現実の経済を見る目を養うことを目的とします。この講義を通して、受講生の皆さんが、経済現象の意味を解釈し、問題の本質を理解するための枠組みについて学んでいきます。				
学習の進め方	本授業は、教科書を中心に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。各章の確認テストはel-Campusで実施します。成績評価は単位修得試験と第1章から第10章までの確認テストの結果による総合評価とするので、確認テストは必ず確認して受験してください。				
学習内容	概 要				課 題
	第1章 経済学とは何か？	世界・日本の経済、経済問題とは、経済学の対象			確認テスト
	第2章 GDP（国内総生産）を理解する	マクロの経済指標、三面等価、GDPの決まり方、名目・実質GDP、GDPが大きいことはよいことか			確認テスト
	第3章 景気の動きをつかむ	景気とは、日本の景気、景気変動、景気対策			確認テスト
	第4章 個人・家計の選択	消費の決定要因、効用最大化仮説、所得と価格の変化、消費と貯蓄の選択、貯蓄残高と資産運用			確認テスト
	第5章 企業の営み	企業・会社とは、企業の業績、設備投資・研究開発投資、雇用調整、生産・出荷・在庫・資金繰り、利潤最大化と株価最大化			確認テスト
	第6章 市場メカニズムの動き	市場均衡、消費者余剰・生産者余剰、資源配分の効率性、完全競争と独占・寡占、市場メカニズムの限界、市場メカニズムの貫徹と資本主義の多様性			確認テスト
	第7章 金融を理解する	貨幣の役割、金融の仕組み、資金循環と信用創造、日本銀行の3つの顔、金融政策と金融システムの安定、金融ビックバンと金融再生			確認テスト
	第8章 財政・社会保障を理解する	財政の3つの機能、予算の仕組み、歳出入の状況、財政投融资と地方財政、社会保障改革、財政構造改革			確認テスト
	第9章 経済の開放・グローバル化	貿易の利益、WTOとFTA、国際収支、ISバランス論と経済収支、為替レートの決まり方、国際金融システム			確認テスト
	第10章 残った話題	価格形成、経済学で説明できること・できないこと、日本経済のゆくえ			確認テスト
成績評価方法	各章の確認テストの結果（30%）、単位修得試験の結果（70%）により総合評価する。				
教科書	著書 『グラフィック経済学』 著者 浅子和美・石黒順子 出版社 新世社 出版年度 2011年2月10日 1版 ISBN 9784883841066				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代の経済	担当教員	大沼 穰
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 この授業は通信教育で学べる経済学の科目のうち、まとめや応用編の役割をめぐり、理論と現実の橋渡しをする「経済政策論」という内容です。経済理論はそれぞれの政策分野の現実に合わせてないと適用ができません。具体的な事実を覚えるよりも、経済学的な発想そのものを学ぶのが最大の目標です。

学習の進め方 本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用して下さい。

	概 要	課 題
学習内容	第1章 経済政策の時代 対立する利害の中で納得性ある経済政策を実行するのは難しいものです。経済学は様々な具体的な経済政策を正当化する役割を持っています。第1章は経済政策を思想的に裏付けるキーワードを学んでゆきます。	レポート
	第2章 政府はなぜ必要か 政府があるのは当たり前のような気がしますが、経済学上は売り手買い手を越えて財政・金融政策を展開する不可欠な存在です。その政策の決定にまつわる問題を学びます。	レポート
	第3章 産業と企業を考える 現実には経済学に登場する「完全競争」はありえません。競争の勝者による独占・寡占が生じます。それを独占禁止法でどう規制するのか、なぜ規制してよいのか深く学びます。	レポート
	第4章 「市場の失敗」と公共政策を考える 電力・ガス・水道・郵便など公益事業はなぜ公共料金を取るのでしょうか。そしてその料金はどのように決められるのでしょうか。公益事業を中心に深く学びます。	レポート
	第5章 雇用問題を考える 「日本的雇用」は教科書刊行時点から大きく変化を遂げ、近年は非正社員の雇用不安定が問題化しています。当初の状態はどうだったかを中心に学びます。	レポート
	第6章 福祉政策を考える 年金と健康保険の仕組みと問題点を、政府・家族・市場の役割分担という視点から、そもそもの時代に戻って学んでゆきます。	レポート
	第7章 日米経済摩擦を考える 1990年代は日本の対米輸出による巨額の貿易黒字がアメリカ側から批判されていました。貿易黒字・赤字はなぜ問題になるのか、円高円安(ドル安ドル高)とはどう関連するのかを学びます。	レポート
	第8章 国際相互依存と貿易・通貨・金融 貿易交渉・通貨統合など各国は政策協調を進めてきました。2010年の国際経済の原型を少しさかのぼって探ってゆきます。	レポート
	第9章 「豊かさ」と経済政策 物質的な「豊かさ」はそれを支える社会資本のコストを高めがちです。我々は物質面のみで生きているわけではありませんが、真の豊かさのために経済政策ができることを学んでゆきます。	レポート

成績評価方法 9章分のレポート課題(72%)、単位修得試験(28%)により総合評価する。

教科書 著書 『経済政策の考え方』
著者 河合正弘、武蔵武彦、八代尚宏
出版社 有斐閣
出版年度 2003年1月20日 初版
ISBN 9784641120020

参考書(任意購入)

必須ソフト・ツール

備考 単位修得試験は、推薦図書15冊(全て新書サイズ)から3冊を選択してレポートを作成することとする。

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	政治を知る	担当教員	前田 春樹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	教科書に選んだ「政治学の基礎」は、政治学を初めて学ぶ人のための基礎的なテキストであるが、政治学について重要な論点を網羅しており、体系的な政治学の知識を得るのに非常に役立つ文献である。	
学習の進め方	各章ごとに設定されたテーマをもとに、関連書籍や論文集をも熟読し、理解を深めるとともに課題により、政治学的な思想を身につけること。	
学習内容	概 要	課 題
	第1講 政治権力 [教科書] 第1章 政治権力 第2章 支配の正統性と政治的リーダーシップ ポイント：支配の正統性はどのようにして得られるかを理解する	ディスカッション
	第2講 イデオロギーと政治意識 [教科書] 第3章 イデオロギー 第4章 政治意識 ポイント：政治意識の今日的状況はどのようなものであるかを検討する	ディスカッション
	第3講 議会政治 [教科書] 第7章 議会政治 第8章 政治制度 第9章 政党 第10章 政党制 第11章 選挙制度 第12章 投票行動および政治資金 ポイント：議会政治の形骸化はなぜ生じるかを考察する	ディスカッション
	第4講 行政国家 [教科書] 第15章 現代の行政国家 第16章 官僚制 ポイント：現代日本における官僚制はどのようなものかを考察する	ディスカッション
成績評価方法	第1講から第4講までのディスカッションの参加状況（30%）と単位修得試験（70%）	
教科書	著書 「新版 政治学の基礎」 著者 加藤秀治郎 4名 出版社 一藝社 出版年度 2011年4月5日 1版 ISBN 9784901253246	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	NPO 概論	担当教員	前田 佐保
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	レスター・サラモンが「世界的非営利革命」と呼び、成長を続ける NPO。深化する地域および地球的規模の課題や、多様化する人々の価値観やニーズに効果的かつ効率的に対応できる、新たな「公共の担い手」として注目され、わが国でも1990年代以降、急速に台頭してきた。1995年の阪神・淡路大震災を契機としたボランティアや NPO への関心の高まりは、1998年の特定非営利活動促進法制定へと結実、着実に発展を遂げている。一方、新公益法人制度が2008年12月に施行され、NPO セクターは新たな段階へ突入した。 本授業では、最新の動向にも触れながら、NPO とは何か、ダイナミックに動いている NPO の世界を多角的に理解することをめざす。	
学習の進め方	本授業では、教科書を主教材として学習を進めます。学習を始める時にはオンデマンド教材で各回の学習概要を確認してから進めてください。また、参考資料・文献なども参照してください。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。前半と後半に2回ディスカッションを設けていますので、積極的に参加して議論を深めましょう。	
	概 要	
	課 題	
学習内容	第1回 NPO とは何か NPO の定義や概念、特徴、NPO 法人や公益法人などさまざまな非営利組織の法人制度を理解する。「NPO」という考え方に触れ、実は身近な存在である NPO を“発見”し、NPO の輪郭を掴むことをめざす。	小テスト ディスカッション
	第2回 NPO セクターの歴史、背景 NPO のルーツ、市民活動の変遷・発展の歴史を辿り、NPO セクターがなぜ台頭してきたのかを理解する。	小テスト
	第3回 NPO セクターの現状 国際比較も踏まえ、世界および日本の社会における NPO セクターの位置づけを学び、NPO 独自の存在意義・役割、課題や可能性について理解を深める。	小テスト
	第4回 NPO の活動 福祉、青少年、環境、まちづくり、国際交流・協力など多岐にわたる NPO の活動を知る。セクターの発展に重要な役割を果たす中間支援組織についても取り上げる。社会変革の触媒としての NPO の特徴を理解する。	小テスト
	第5回 NPO の組織、マネジメント 人・物・金などの経営資源を有効に活かしてミッションを達成するためには組織のマネジメントが重要である。固有の組織形態や意思決定構造などを踏まえた上で、NPO のマネジメントについて考える。NPO でのキャリア、ボランティア、資金調達、NPO 支援制度・施策についても触れる。	小テスト ディスカッション
	第6回 協働・連携 社会課題の解決に多セクターの連携は不可欠であり、従来その橋渡しを担ってきたのが NPO であるが、近年は CSR や協働の機運の高まりで企業や行政も NPO との連携を模索してきている。その現状や課題について考察する。	小テスト
	第7回 社会的企業／社会起業家の台頭 社会イノベーションの担い手として世界的に注目が集まる社会的企業／社会起業家の最新動向（ソーシャルファイナンス含む）について触れる。特にその台頭の背景と NPO の関係について概観する。	小テスト
	第8回 基盤整備の新しい動きと NPO の未来 発展に向けて NPO セクター内外でさまざまな基盤整備が進められている。世紀の改革といわれる新公益法人制度の概要や寄付税制、会計基準策定や評価など信頼性向上・アカウンタビリティへの NPO 側の自主的な動きにも触れながら、NPO セクターの今後を展望する。	小テスト
成績評価方法	小テスト (30%)、ディスカッション (30%)、単位修得試験 (40%) により総合評価する。	
教科書	著書 『テキストブック NPO～非営利組織の制度・活動・マネジメント』 著者 雨森孝悦 出版社 東洋経済新報社 出版年度 2010年2月18日 ISBN 9784492100196	
参考書 (任意購入)	『NPO マネジメントハンドブック』、柏木宏著、明石書店、2,310円(税込)、2004年 『NPO ジャーナル』 vol.1～24、関西国際交流団体協議会編、明石書店、700円(税込)、2003～2009年 『ソーシャル・エンタープライズ』、谷本寛治編著、中央経済社、2,940円(税込)、2006年 『台頭する非営利セクター』、レスター・M・サラモン／H・K・アンハイアー著、ダイヤモンド社、2,446円(税込)、1996年 『NPO データブック』、山内直人編、有斐閣、3,150円(税込)、1999年 『NPO 入門<第2版>』、山内直人著、日本経済新聞出版社、872円(税込)、2004年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	NPO/NGO 事例研究	担当教員	前田 佐保
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	出席状況 2/3以上の出席 ディスカッションへの参加、事例報告とファシリテーションの実施			資格名
	実施方法	レポート(与えられたテーマに基づいて作成したレポートを提出すること)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 地域および地球的規模の課題解決に取り組むNPO/NGOの多様な活動について、先進的な事例の研究(ケーススタディ)を通じて考察を深める。どのようなビジョンや理念を掲げ、いかにマネジメント上の課題を克服しながら、組織と人の成長戦略を描き、社会的インパクトのある事業を生み出してきたのか、その成功と失敗・挫折から学ぶ。近年注目を集める社会的企業/社会起業家の事例にも焦点を当てる。本授業を通して、NPO/NGOや社会的企業の組織運営において重要な問題解決力、提案力、分析力などを培うことをめざす。

学習の進め方 NPO/NGOに関する基礎知識の習得のために、教科書で自宅学習しておくこと。授業では、個別の先進事例を取り上げ(適宜、AV教材も活用)、ディスカッション形式で理解を深めることを中心とする。また、受講生各自が関心をもった事例を報告し、ディスカッションをリード(ファシリテーション)する回も設けている。事例のリサーチにあたっては、シラバスに掲げた教科書や参考書、授業で紹介する情報などを参照して進めること。受講生には、多様な意見に耳を傾けながら、建設的に意見を述べ、積極的に議論に参加・貢献する姿勢が求められます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション 授業の概要やねらい、自己紹介、スケジュールなど	
	第2回 組織体としてのNPO/NGO 背景、社会的意義や役割、組織としての特徴、マネジメント上の課題、企業や行政との協働・連携、支援制度や政策など、最新動向も交えて概観する。	
	第3回 台頭する社会的企業/社会起業家 近年注目されてきた背景、定義(“現在進行形”の定義づけ)、従来のNPO/NGOとの違い、可能性と限界の検討(営利と非営利の間でのジレンマ)などを理解する。	
	第4回 事例研究① 環境問題に取り組むNPO/NGO	
	第5回 事例研究② 国際協力に取り組むNPO/NGO	
	第6回 受講生による事例報告① 受講生が選んだ事例の報告とディスカッションの進行	
	第7回 事例研究③ まちづくり・地域活性化に取り組むNPO/NGO	
	第8回 事例研究④ 福祉・医療に取り組むNPO/NGO	
	第9回 受講生による事例報告② 受講生が選んだ事例の報告とディスカッションの進行	
	第10回 事例研究⑤ 中間支援組織(人材、資金、情報、起業などにおける支援)	
	第11回 事例研究⑥ 企業や行政とのパートナーシップで取り組む	
	第12回 受講生による事例報告③ 受講生が選んだ事例の報告とディスカッションの進行	
	第13回 事例研究⑦ 組織開発、世代交代・事業継承問題に取り組む	
	第14回 事例研究⑧ NPOと企業の「組織ポートフォリオ」で取り組む	
	第15回 まとめ これまでの講義のふりかえり	

成績評価方法 出席状況(10%)、ディスカッション(30%)、事例報告とファシリテーション(30%)、単位修得試験(30%)により総合評価。

教科書 著書『テキストブック NPO 非営利組織の制度・活動・マネジメント』
著者 雨森孝悦
出版社 東洋経済新報社
出版年度 2012年6月14日 2版
ISBN 9784492100264

参考書(任意購入) 『NPOジャーナル』創刊号～24号、関西国際交流団体協議会、明石書店、700円(税込)、2003年～2009年
『好きなまちで仕事を創る：Address the Smile』ETIC編、TOブックス、1,260円(税込)、2007年
『ソーシャルビジネス・ケースブック：地域に「つながり」と「広がり」を生み出すヒント』経済産業省、2011年
※公開URL http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/sbcb/casebook.html
『連続講義 国際協力NGO：市民社会に支えられるNGOへの構想』今田克司・原田勝広編著、日本評論社、2,625円(税込)、2004年
『NPO実践講座：いかに組織を立ち上げるか』山岡義典編著、ぎょうせい、2,000円(税込)、2002年
『NPOの新段階：市民が変える社会のかたち』末村祐子編著、法律文化社、1,890円(税込)、2007年

必須ソフトウェア

備考 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	NPO 法人の設立・運営事例研究	担当教員	岩山 仁
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	平常点(レポートなど)及び課題発表と提出			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	NPOとは何か。社会におけるNPOの役割とは何か。NPOとボランティアについての概念、社会における役割を考察し、社会における課題とNPOの具体的な活動を知ることによって、NPOについての理解を深め、その上で、社会において求められていること、自分にできることを考え、自らの具体的な活動をデザインし、実際の活動へ繋げて行くことを目標とします。				
学習の進め方	NPOの組織運営、活動に必要な基本的な事柄を学び、具体的な活動・運営事例を概観し、事業計画作成、NPOの設立に必要な知識を習得した上で、単なる知識で終わらせないよう、社会の課題に対して取り組む具体的な活動をデザインし、実際に事業計画を作成していきます。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 NPOとボランティア	そもそもNPOとは何か？ボランティア活動とはどう違うのか？			
	第2回 NPOを必要とする社会	今なぜNPOが注目され、たくさんのNPOが設立されているのか？			
	第3回 NPOの社会的役割	現代社会において、NPOはどのような役割を期待されているのか？			
	第4回 社会における課題1	現在の社会においてどのような課題があり、解決を必要としているのか？ 具体的課題についての考察			
	第5回 社会における課題2	現在の社会においてどのような課題があり、解決を必要としているのか？ 具体的課題についての考察			自分で取り組んでみたい活動分野についてのリサーチ
	第6回 NPO活動の構造分析	社会的使命をもってスタートしたはずの多くのNPOが、活動を続けていくことさえ困難な現状について			
	第7回 NPOをとりまく社会環境と社会起業家	人を幸せにしない社会環境を変革することを仕事とする「社会起業家」という生き方について			
	第8回 ソーシャル・マーケティングと事業計画	ソーシャル・マーケティングの基礎知識と事業計画の方法について			
	第9回 NPOの組織運営・具体例1	NPOの組織運営のポイントと具体的事例の研究			
	第10回 事業計画試案の作成と相互評価	具体的事例を参考に、受講生各自で事業計画の試案を作成し、相互評価を行う			事業計画試案に対する評価を参考にして事業計画の立案を行う
	第11回 NPOの組織運営・具体例2	さまざまな領域のNPOの組織運営の具体的事例の研究			
	第12回 NPOの組織運営・具体例3	さまざまな領域のNPOの組織運営の具体的事例の研究			
	第13回 事業計画作成演習	さまざまな領域のNPOの組織運営の具体的事例を参考に、事業計画を作成する			
	第14回 事業計画の発表	各受講生による事業計画の発表			
	第15回 NPO設立に関する知識	NPO設立に必要な知識の整理とまとめ			
成績評価方法	授業への積極的参加(15%)、課題提出(30%)、発表及び期末レポート(55%)により、総合的に評価。				
教科書	著書『NPOビジネスで起業する！』 著者 田中高輝 出版社 学陽書房 出版年度 2011年4月1日 ISBN 9784313550025				
参考書(任意購入)	『地宝論』、田中優、2011年、1575円 『非営利組織のマネジメント』、島田恒、東洋経済新報社、2009年、2520円 『田舎力』、金丸弘美、NHK出版生活人新書、2009年、735円 『日本を元気にするNPOのつくり方』、市村浩一郎、PHP研究所、2009年、1,470円				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	自然環境論	担当教員	笠原 恵
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席(ただし、最終日は単位修得試験のため必ず出席すること。)			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	生物は常に自然環境の影響を受ける一方で、逆に自然環境へも影響を及ぼしています。この自然環境を形成している生態系に関する基礎的な内容を理解するとともに、自然環境に関する種々の問題等に興味を持ち、人間と自然環境のかかわりについて、自ら考えていく力を身に付けることを期待しています。				
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにて講義形式で行います。理解を深めるために映像資料等を利用して授業を進めます。スクーリング日程表を確認して、受講の申込みを行ってください。また、スクーリングへの参加前に教科書などで事前学習を進めておいてください。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 自然環境論とは	自然環境の概念と定義について学習します。			
	第2回 自然環境における生物の進化と多様性	生物の定義や生物界について、また、生物が多様性を持たなければならない必要性について学習します。			
	第3回 自然環境における生態系の構造と機能	自然環境を形成している生態系とは何か、その構造や機能について学習します。			
	第4回 自然環境における生態系の実例	陸域、水域、または、人工の生態系の実例を知ることにより、様々な生態系の存在について学習します。			
	第5回 自然環境における生態系内での生物のつながり	各生態系内での生物間の相互関係や食物連鎖などについて学習します。			
	第6回 自然環境におけるエネルギーの流れ	生態系において、生物により、どのようにエネルギーが固定され、利用されているのか、エネルギーの全体の流れについて学習します。			
	第7回 自然環境における物質の流れ	生態系における物質循環について学習します。			
	第8回 自然環境を左右する制限要因	生態系の状態に影響を及ぼす非生物学的要因について学習します。			
	第9回 自然環境における生態系の遷移と極相	時間とともに生態系はどのように変化するのかについて学習します。			
	第10回 地球上の自然環境	現在の地球上の自然環境について映像で学習します。			
	第11回 自然環境に与える人間活動の影響	人間による自然環境の変化について学習します。			
	第12回 環境要因の変動による生態系への影響	自然環境の変化による生態系の変化について学習します。			
	第13回 自然環境における生態系の保全	生態系の保全の意義、対象や目標について学習します。			
	第14回 自然環境と人間のかかわり	地球上の生物の多様性の保護について学習します。また、自然と人間のつながりについての新しい価値観を各自が確立することを望みます。			
	第15回 まとめ				
成績評価方法	単位修得試験の結果(100%)により評価する。				
教科書	著書 『環境生態学入門』 著者 青山 芳之 出版社 オーム社 出版年度 2010年2月20日 1版 ISBN 9784274205316				
参考書(任意購入)	『生態学入門』、日本生態学会編、東京化学同人、2,940円(税込)、2004年 『生態系のふしぎ』、児玉浩憲著、ソフトバンククリエイティブ社、1,050円(税込)、2009年 『地球からつくるあしたの地球環境』、本谷勲・滝川洋二・町井弘明・三輪主彦・山岡寛人編著、実教出版、880円(税込)、2008年				
必須ソフト・ツール					
備考	ニュースや新聞記事などを通して、「身のまわりでどのような自然環境問題が起きているか」ということについて目を向けておいて欲しい。 受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	生命と環境	担当教員	潮田 嘉子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	3/4以上の出席			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 地球において生命が誕生し、ヒトの出現に至るまでさまざまな環境に翻弄されてきたが、ヒトによる文明の発達、人間活動の拡大をグローバル化し、自然破壊による災害を生み出し恐るべき脅威を投げかけている。地球上に存在する生命体全ての危機である。これら危機の原因、現状を理解していただき、今人間は何をなすべきか考察する。

学習の進め方 本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスで行います。スクーリング日程表を確認された上、受講登録をして下さい。教科書にそって進めていく予定です。必要に応じてビデオを使用します。また、適宜、参考資料を配布します。1回分の学習内容は多いため教科書を事前によく学習していただきます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 生命の起原 地球上において、生命はいかにして生まれたか	
	第2回 人口過疎過密 人口の変動について過去、そして未来の予想	
	第3回 巨大化する災害 災害の定義、環境悪化と自然災害の実情	
	第4回 漁業資源の危機 海洋汚染、魚類の乱獲、養殖の問題点	
	第5回 食糧問題 人口増加に伴う飢餓、耕地面積の減少、バイオ燃料	
	第6回 生きるための水は十分にあるだろうか 地球上における水の量、日本における水資源	
	第7回 違法伐採 世界で何故伐採量が増加していくか	
	第8回 砂漠化問題 砂漠化の原因、そして、その影響	
	第9回 微生物による病気 ヒトの生命を脅かす細菌、ウイルスと病気	
	第10回 エマージングウイルス 20世紀後半に出現した恐るべきウイルス	
	第11回 環境問題が引き起こす動物への影響 動物の大量絶滅時代を迎えるのではなかろうか 外来生物による生態系の変異	
	第12回 生命を脅かす化学物質 歴史に見る化学物質汚染	
	第13回 12回の化学物質についての続き・放射線による影響 現在に見る化学物質汚染、地球への影響 放射線による影響	
	第14回 バイオテクノロジーは生命を救うだろうか 食糧問題、環境問題、医学問題に関わるバイオテックの技術	
	第15回 まとめ 14回の授業内容からレポートとしてのまとめ	

成績評価方法 授業中におけるレポート評価(40%)、第15回におけるレポート(60%まとめ)により評価する。

教科書 著書 『地球環境「危機」報告』
著者 石 弘行
出版社 有斐閣
出版年度 2008年3月20日 1版
ISBN 9784641173422

参考書 (任意購入)

必須ソフト・ツール

備考 教科書において予習をすること
受講者上限人数 講義100名

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	地球環境論	担当教員	貝柄 徹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	高等学校などで地理や地学を履修していない学生であっても、地球科学の観点から地球環境の変遷を理解することを目標とする。詳細な専門用語の暗記よりはその事象を総合的に理解し、考察できるような力を養成したい。	
学習の進め方	記載してある専門用語よりも図や写真をよく観察し、テーマの話の流れを概観していくことが肝要である。どうしても理解できない用語等がある場合、あるいは興味をもったテーマの場合、各自インターネット等でより詳細に調べていけば学習度が深くなる。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 プレートとブルームのテクトニクス 大陸移動説からプレートテクトニクスへの変化	小テスト
	第2章 地球の歴史 地球の誕生と環境の変化	小テスト
	第3章 マグマと火山 火山の種類と地形	小テスト
	第4章 断層と地震 地震の特徴と災害	小テスト
	第5章 岩石と地球の調べ方 岩石から時代を知る	小テスト
	第6章 地球表面から宇宙まで 地球のシステム	小テスト
	第7章 地球の楽しみ方 景観地、博物館、ジオパーク	小テスト
成績評価方法	小テスト (50%)、単位修得試験 (50%) により総合評価する。	
教科書	著書 『地球のしくみ—地球の誕生から46億年の歴史と内部構造まで』 著者 平賀章三・宮嶋 敏・芝川明義・高木淳子・大木勇人 出版社 新星出版社 出版年度 2011年3月15日 ISBN 9784405106543	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等にはご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	エネルギー環境論	担当教員	蒲生 孝治
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標	私たちの生活や社会で普段使用しているエネルギー資源としてどのようなものがあるかを学び、それらの需要と供給の歴史的推移や現状、ならびに今後の課題を理解し、これからのエネルギー問題や省エネルギーに適切に対応できる知識と行動力を身につける。				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。 各回の最後には、確認テストがありますので、それをクリアしてから次の回に進みましょう。 なお、この授業の教科書は、オンデマンド教材をプリントアウトしたものです。確認テストや単位修得試験の際には、それを手元に置いておくことを勧めます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 はじめに	現代社会を支えるエネルギーとエネルギーの定義			確認テスト
	第2回 エネルギーの種類と分類およびエネルギーの単位	各種分類法および Joule, kcal, kW など			確認テスト
	第3回 エネルギー需要と人口の推移、生活に必要なエネルギー	一人当たりエネルギー消費量と人口の指数関数的増加ならびに民生用エネルギーの増加			確認テスト
	第4回 ハードエネルギー資源の現状と利用方法①	石油と石炭の需要と供給の現状および可採年数			確認テスト
	第5回 ハードエネルギー資源の現状と利用方法②	LPG と LNG の需要と供給の現状および火力発電の原理			確認テスト
	第6回 ハードエネルギー資源の現状と利用方法③	核エネルギー利用の原理と軽水炉の構造および課題			確認テスト
	第7回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法①	水力発電の原理および地熱発電の現状と課題			確認テスト
	第8回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法②	太陽熱温水器と太陽光発電装置の構造と利用の現状			確認テスト
	第9回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法③	海洋エネルギーの種類と利用方法、および風車の種類と発電方法			確認テスト
	第10回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法④	欧米ならびに日本での風力発電の現状			確認テスト
	第11回 エネルギー資源の長所と短所	環境への影響、エネルギー密度等			確認テスト
	第12回 新エネルギーへの取り組み①	廃棄物発電、バイオマスエネルギー等			確認テスト
	第13回 新エネルギーへの取り組み②	コジェネレーション、クリーンカー等			確認テスト
	第14回 社会におけるエネルギー問題への取り組み①	省エネ法、省エネラベリング、新エネルギー導入補助金制度等			確認テスト
	第15回 社会におけるエネルギー問題への取り組み②	ライフサイクルエネルギー、省エネ行動と効果等			確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)				
教科書	オンデマンド教材をプリントアウトして綴じて配布します。				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	本授業のコンテンツは2009年4月から製作を開始しました。でき得る限り図表化されている最新のデータを採用することを試みましたが、エネルギーに関連する事柄は日々変化しますため、古いと感じられる資料も含まれます点をご理解下さい。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word, Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	リサイクル問題	担当教員	渡辺 勉
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			
学習目標	世界人口が60億人を超え、限られた資源をいかに持続的に使っていくかは人類が生き残っているかどうかの問題といえる。それを可能にするのがリサイクルという環境の負荷を低減する方法だ。しかし、リサイクルには多くの問題がある。この講義ではリサイクルの現状を知り問題点を明らかにして、リサイクルについての理解を深めるとともに、将来的な望ましいリサイクル(循環型)社会のあり方を探る。				
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。教科書には掲載されていない事項、学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明、新しいデータをオンデマンド教材に掲載しますので活用してください。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回	リサイクルとは？	レポート		
		リサイクルの概要を知る			
	第2回	リサイクルの歴史と背景	確認テスト		
		日本におけるリサイクルの歴史を知る			
	第3回	日本におけるリサイクルの現状	確認テスト		
		リサイクルの関連法とデータでリサイクルの現状を知る			
	第4回	捨てればごみ、分ければ資源	レポート		
		資源ごみの分別工場の現場。分別の重要性を知る			
	第5回	紙のリサイクルの現場	確認テスト		
		古紙回収とリサイクルの現状と問題点を知る			
	第6回	アルミや鉄のリサイクルの現場	確認テスト		
		アルミ、鉄のリサイクルの現状と問題点を知る			
	第7回	ガラスのリサイクルの現場	確認テスト		
		ガラスのリサイクルの現状と問題点を知る			
	第8回	プラスチックのリサイクルの現場	レポート		
	ペットボトルやDVDなどのリサイクルの現状と問題点				
第9回	食品廃棄物のリサイクルの現場	レポート			
	食品廃棄物リサイクルの現状と問題点を知る				
第10回	自動車のリサイクルの現場	確認テスト			
	自動車リサイクルの現状と問題点を知る				
第11回	家電製品のリサイクルの現場	確認テスト			
	家電リサイクルの現状と問題点を知る				
第12回	レアメタルのリサイクルの現場	確認テスト			
	レアメタルがなぜ注目されるのかを知る				
第13回	ゼロエミッションとは？	レポート			
	ゼロエミッションの模範ビール工場から現状を知る				
第14回	リサイクル批判を考える	レポート			
	武田邦彦さんのリサイクル批判を中心に問題点を探る				
第15回	循環型社会は可能か？	レポート			
	リサイクルを中心とした循環型社会の現状と将来を考える				
成績評価方法	課題と平常の学習態度(40%)、単位修得試験の結果(60%)により総合評価する。				
教科書	著書 『シリーズ地球と人間の環境を考える06 リサイクル 回るカラクリ止まる理由』 著者 安井 至 出版社 日本評論社 出版年度 2007年5月20日 1版 ISBN 9784535048263				
参考書(任意購入)	学習内容に沿って適宜提示				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	地球環境問題と対策	担当教員	内山 雄介
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 様々な地球環境問題の原因と影響について理解し、説明ができる 様々な地球環境問題の今後の進行を遅らせる方策について理解し、行動できる 	
学習の進め方	<p>この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。各回の最後には、確認テストがありますので、それをクリアしてから次の回に進みましょう。なお、この授業の教科書は、オンデマンド教材をプリントアウトしたものです。確認テストや単位修得試験の際には、それを手元に置いておくことを勧めます。</p>	
	概 要	課 題
学習内容	第1回 序論	確認テスト
	第2回 環境問題の原因と取り組みの経緯	確認テスト
	第3回 地球温暖化と気候変動①	確認テスト
	第4回 地球温暖化と気候変動②	確認テスト
	第5回 予測される気候変動の影響①	確認テスト
	第6回 予測される気候変動の影響②	確認テスト
	第7回 健康への影響及びIPCCの長期予測と対策	確認テスト
	第8回 温室効果ガス排出の現状と対策	確認テスト
	第9回 低炭素社会実現への具体的方策①	確認テスト
	第10回 低炭素社会実現への具体的方策②	確認テスト
	第11回 地球温暖化以外の地球環境問題①	確認テスト
	第12回 地球温暖化以外の地球環境問題②	確認テスト
	第13回 地球温暖化以外の地球環境問題③	確認テスト
	第14回 地球温暖化以外の地球環境問題④	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)	
教科書	オンデマンド教材をプリントアウトして綴じて配布します。	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備 考	環境に関連する事柄は日々変化します。この授業の内容は、2010年10月から12月にかけて製作しました。手に入る限り新しい内容を盛り込む努力をしましたが、古くなっている内容もありますので、新聞やテレビの報道などにも注意して学習を進めていって下さい。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	メディア・コミュニケーション	担当教員	吉川 登
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	この授業ではまず、各マス・メディアの現状と特質を理解することを目的にしたい。成熟した高度情報化社会に生きる私たちにとって、マス・メディアによって形成される情報環境から受ける影響は大きい。マス・メディアをよく理解することは、よく生きることに直結しているのである。そして、マス・メディアによって作り出される社会現象を「マス・コミュニケーション」と言う。今日では特に、メディアのもつ社会的特質とその変貌に着目した、「メディア・コミュニケーション研究」と呼ばれるアプローチが提唱されるに至っている。この講義では、新しいアプローチのもたらした成果をふまえつつ、より深くマス・メディアの特質を追求したい。				
学習の進め方	テキスト各章の要点をつかみとり、紹介されている事例やデータを参考にして、自分自身でよく考えるようにしてほしい。丸暗記するためのテキストではない。章末にあげられている参考文献にできるだけ眼を通すことを望む。 単位修得試験は、教科書のすべてを範囲にしているため、熟読してから受験に臨むこと。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 文字メディアの発展と未来 (教科書 0章・3章)			レポート	
	・ことば、文字、視覚的動物 ・活版印刷の発明、近代化とメディア、第四の権力				
	第2回 電話コミュニケーションと人間関係 (教科書 1章・8章)			レポート	
	・音声、空間の克服、日常化 ・情報縁、逆説的人間関係、友達ネットワーク				
	第3回 放送メディアの特質 (教科書 2章・4章)			レポート	
	・娯楽のメディア、視聴率から視聴質へ ・声の効果、若者世代、深夜放送、地域とラジオ				
	第4回 映像と人間形成 (教科書 6章・7章)			レポート	
・子どもと情報化、人間発達の段階、言語と情緒 ・攻撃行動、暴力的表現、実写とアニメ					
第5回 インターネットの特質 (教科書 5章・9章)			レポート		
・新しいメディア、情報発信、コンテンツの多様化 ・ブログの普及、匿名性、集団の規範					
第6回 メディアと社会・政治参加 (教科書 10章・11章)			レポート		
・ゲマインシャフトとゲゼルシャフト、参加型の光と影 ・擬似環境、メディアが作る世論、オピニオン・リーダー					
成績評価方法	各回のレポート (60%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『メディア・コミュニケーション学』 著者 橋元良明 (編著) 出版社 大修館書店 出版年度 2010年9月1日 初版 ISBN 9784469213201				
参考書 (任意購入)	教科書の各章末にあげられている参考文献				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スターリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	異文化コミュニケーション	担当教員	安藤 幸一
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	外国文化だけでなく、日本文化内のサブカルチャーも含めて、異なった「文化」間のコミュニケーションの考え方や技術を学びます。この講義終了後に、コミュニケーション能力の上達を実感できるような「学びの場」にしたいと思います。	
学習の進め方	本授業は、教科書（兼ワークブック）を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 「新しい常識発見」「ステレオタイプ」「異文化への態度」 自文化の発見、偏見を生み出すシステム	レポート
	第2回 「文化とコミュニケーション」 異文化コミュニケーションが対象とする文化	レポート
	第3回 「コミュニケーションスタイル」 コンテキスト、自己開示	レポート
	第4回 「言語コミュニケーション」 言葉の可能性と限界	レポート
	第5回 「非言語コミュニケーション」 コミュニケーションの広がり	レポート
	第6回 「価値観」 常識、価値観、文化	レポート
	第7回 「自分を知る」 意見の対立と解決	レポート
	第8回 「異文化コミュニケーションスキル」 コミュニケーションの実践的技術	ディスカッション
	成績評価方法	各回の課題（40%）、単位修得試験の結果（60%）により総合評価する。
教科書	著書 『異文化コミュニケーションワークブック』 著者 八代京子、荒木晶子、樋口容視子、山本志都、コミサロフ喜美 出版社 三修社 出版年度 2011年3月20日 ISBN 9784384018516	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	音楽とコミュニケーション	担当教員	萬 圭介
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	音楽の科学的な要素を理解し説明することができる。 音楽の効果、その仕組み等を理解し、その魅力を人に伝えることができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 音楽はどうやって私たちの耳に届くのか 音の性質を理解し、その伝わり方、その要素について学習します。	確認テスト・レポート
	第2回 音楽を作るもの 音楽の3要素についてとその役割、また様々な音階などを学習します。	確認テスト・レポート
	第3回 音楽を奏でる 発音方法により分類されたそれぞれの楽器の特徴を学習します。	確認テスト・レポート
	第4回 音楽の楽しみ方と技術革新(1) オーディオの仕組み、メディアの進化や歴史を学習します。	確認テスト・レポート
	第5回 音楽の楽しみ方と技術革新(2) 音響技術やその原理、レコーディングやエフェクターについて学習します。 また映像に対する音楽の影響についても学習します。	確認テスト・レポート
成績評価方法	各回の課題 (50%)、単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『CDでわかる 音楽の科学』 著者 岩宮眞一郎 出版社 ナツメ社 出版年度 2011年3月30日 4版 ISBN 9784816347771	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報人類学	担当教員	谷村 要
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 高度情報社会と言われる現在の社会においては、人々の身近に存在するメディア環境は常に変化を続け、私たちに新しい「経験」をもたらしている。それに伴い、人々の行動様式やコミュニケーションのあり方も変化し多様化しつつある。それら多様な日常を読み解くための一つの技法として、文化人類学的アプローチがある。本講義では、文化人類学の様々な理論と方法を修得することと、現代社会における様々な文化——とりわけ、メディア文化の解読をできるようにすることが学習目標となる。

学習の進め方 講義を通じて、情報社会を考える上での基礎的な知識を学習する。そのうえで人類学的な発想やアプローチを学び、情報社会をとらえるための視点を身につける。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 「情報社会」を見る視座として 現代社会の特徴である「流動性」と「非対面接触」について学ぶとともに、今後の講義の展開を理解する。	確認テスト
	第2回 「情報人類学」とは何か？ 「文化人類学」の一分野としての「情報人類学」はどのような研究対象を持ちうるのか。	確認テスト
	第3回 「情報社会」を捉えるために 「情報人類学」の対象となる「情報社会」とはいかなる社会なのか？先行研究等からその変遷を追う。	確認テスト
	第4回 「メディア」とは われわれの身近にある「メディア」とはどのような意味を持っているのか。「メディア」の語義、「メディア」と私たちの関係について考える。	確認テスト
	第5回 「情報縁」とは 電子コミュニティが紡ぎだす人間関係「情報縁」とは、これまでの社会における人間関係とどのように異なるのか。先行研究などから学ぶ。	確認テスト
	第6回 「メディア・イベント」化する社会 先行研究を概観しながら、メディアが社会に与える影響について学ぶ。	確認テスト
	第7回 情報人類学の発想方法として —— 「中心」と「周縁」 社会や文化をとらえる上での有効な発想の一つ「中心と周縁」理論について学ぶ。	確認テスト
	第8回 社会調査 —— 「量的調査」と「質的調査」 「社会調査」について基礎的な知識を学ぶとともに、「量的調査」と「質的調査」の有効性と限界について学ぶ。	確認テスト
	第9回 「フィールドワーク」をやってみよう！ 情報人類学において用いられる社会調査法「フィールドワーク」について、その方法論や発想の仕方の概略を学ぶ。	確認テスト
	第10回 趣都を歩こう(1) 東京・秋葉原の変容はどのような過程でなされたか。そして、その社会的意味とは何か。「趣都」というキーワードから考える。	確認テスト
	第11回 趣都を歩こう(2) 「趣都」は秋葉原にとどまらず、日本の様々な都市文化でも見られるようになっていく。大阪・日本橋を事例として「趣都」の拡散を考える。	確認テスト
	第12回 趣都を歩こう(3) 埼玉県北葛飾郡鷺宮町(収録当時。現在は埼玉県久喜市鷺宮地域)における「聖地巡礼」現象について、「趣都」化現象と関連付けて理解する。	確認テスト
	第13回 「祭り」から「つながり」へ インターネットの「祭り」行動を概観しながら、その内実の変容を考える。	確認テスト
	第14回 「家族」の意味変容と、情報縁の可能性 メディア状況の変遷からみる家族の変容を見ながら、情報社会の人間関係「情報縁」の持つ可能性を考える。	確認テスト
	第15回 講義のまとめとして これまでの講義を振り返りながら、情報社会をどのようにとらえ、そして、そこでいかに生きていくべきなのかを考える。	確認テスト
成績評価方法	確認テストを総合した評価(40%)と単位修得試験(60%)をあわせて評価する。	
教科書	書名 『情報人類学の射程 フィールドから情報社会を読み解く』 著者 奥野卓司 出版社 岩波書店 出版年度 2009年8月25日 ISBN 9784000234696	
参考書(任意購入)	講義内で適宜指示する。	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報活用 I (基礎)	担当教員	本田 直也 野波 侑里 奥田 雅信
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 第1回から第14回まですべて受講していることを単位修得試験受験資格とする。 実施方法 現地試験(課題) 試験会場 本学(さくら夙川キャンパス)			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	大学生生活のあらゆる場面にに対して身につけておくべきコンピュータの基礎的な活用能力を養う。本学での授業参加に不可欠なコンピュータの適切な利用方法を学ぶ。ワープロソフトでのレポート作成、表計算ソフトを用いた数値の集計やグラフ等の図解表現、スライド作成ソフトでのプレゼンテーション資料の作成などの基礎能力を習得する。				
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにてパソコンを用いて実践形式で学習を行います。スクーリング日程表を確認して、受講の申込みを行ってください。また、スクーリングへの参加前に事前学習として基礎的なタイピング能力を身につけておいてください(備考欄を参照)。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 文字入力、基本操作	学内ネットワークの利用方法、テキストエディタでの文字入力、印刷、ファイルの保存、ネットワークドライブの利用等の演習を行い、大学生活において最低限必要なコンピュータ操作を習得する。			
	第2回 Word その1	文書作成に有用な Word について学習する。基礎的なスキルとして、画面構成の把握、文字の入力・装飾、罫線の挿入などを習得に向けた演習を行う。			
	第3回 Word その2	Word にて論理的で伝わりやすい文書作成を行う際に必要となる、「表」の作成・編集の基礎、および「クリップアート」や「図」などの挿入・編集の基礎を学習する。			
	第4回 Word その3	タブやインデント等のレイアウトに関するテクニックを学習する。			
	第5回 Word その4	これまでの学習のまとめとして、指示に基づいた資料作成の演習を行う。			Word によるパンフレット作成
	第6回 Excel その1	データの整理・計算に有用な Excel について学習する。Excel の基礎的なスキルとして、画面構成の把握、値の入力・訂正、数式の入力による計算を学習する。			
	第7回 Excel その2	絶対参照と相対参照について学習する。			
	第8回 Excel その3	基本的な組み込み関数などを習得するための演習を行い、Excel を用いたあらゆるデータの効果的・論理的な整理や計算についての演習を行う。			
	第9回 Excel その4	および視覚的な表現を行うために必要となる、表の作成・編集(書式、移動と複写など)とグラフの作成・編集についての演習を行う。			
	第10回 Excel その5	Excel を使用した総合的な演習を行う。			Excel についての課題
	第11回 PowerPoint その1	プレゼンテーションに有用なツールである PowerPoint について学習する。PowerPoint の基礎的なスキルとして、画面構成の把握、文字入力・装飾、スライド構成の編集、デザイン変更、オブジェクトの挿入などを習得するための演習を行う。			
	第12回 PowerPoint その2	Word、Excel と連動させた PowerPoint の操作について学習する。			
	第13回 複合課題 その1	これまでに習得した内容を総合的に活用するような複合課題に取り組む。			
	第14回 複合課題 その2	第13回と同じく複合課題に取り組む。			
	第15回 まとめ				単位修得試験実施
成績評価方法	授業態度(20%)、提出課題(30%)、課題単位修得試験の結果(50%)により総合評価する。				
教科書	著書 「繰り返し慣れて！ スピードマスター Office2007&情報モラル」 著者 noa 出版 出版社 noa 出版				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール	Microsoft Office Word、Microsoft Office Excel、Microsoft Office PowerPoint				
備 考	受講者上限人数 演習40名 本授業は全員で足並みを揃えながら課題を解き学習を進めていきます。パソコンの操作や入力に手間取って遅れないように、最低限の文字入力スキルを身につけておいてください。特別な事情を抱えており修得が困難な場合は個別に連絡ください。 【文字入力】 日本語文章300文字を10~15分程度で入力できることが望ましいです。参考までに300文字の日本語文章入力サンプルを紹介します。 全国商業高等学校協会主催の「ワープロ実務検定試験」では、入力速度を測定する試験問題の過去問題を公開しています。下記のサイトより3級検定問題の速度問題を聞き、お試しくください。全部で11回分あります(2012年2月3日アクセス)。 http://www.zensho.or.jp/puf/examination/pastexams/wp.html 入力練習は、市販のタイピングソフト、タイピング練習 Web サイト等、何を利用いたいただいても構いません。おすすめの練習サイトは「基礎タイピング」(http://homepage3.nifty.com/asdf/)です。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報活用Ⅱ（応用）	担当教員	本田 直也 近藤 伸彦
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 第1回から第14回まですべて受講していることを単位修得試験受験資格とする。 実施方法 現地試験（課題） 試験会場 本学（さくら夙川キャンパス）			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	実社会においてICT（情報通信技術）を実践的に活用するために必要な力として、情報の収集力、情報を効率的に扱うための整理力、情報を分析するための論理的思考力、その結果を他者に伝えるように表現するためのプレゼンテーション、等について習得する。
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにてパソコンを用いて実践形式で学習を行います。スクーリング日程表を確認して、受講の申込みを行ってください。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 情報検索 発展し続ける情報化社会を生きる上で特に重要なインターネットにおける情報の性質とそれを利用した情報収集の方法について、演習を通し実践的に習得する。	
	第2回 情報運用 情報を正しく安全に運用するために必要な知識とスキルの習得を目標とし、インターネットを活用する上で身につけておかねばならないモラルやマナー、またセキュリティについて学習する。	
	第3回 数値分析 その1 多種多様なデータを論理的に扱うために必要な数値化の方法を学び、それを基にした計算・分析の手法として、情報活用Ⅰ（基礎）で習得したExcelによる計算方法（関数など）と分析手法とを演習を通して習得する。	
	第4回 数値分析 その2 第3回に引き続き数値分析について学習する。	
	第5回 数値分析 その3 第3回、第4回に引き続き数値分析について学習する。	学習内容に基づく課題を出題
	第6回 データベース データの整理や蓄積、抽出を効果的に行うためのデータベースの利用について学習する。データベースの基礎となるリスト構造の理解と、Excelにおけるその表現方法、および並べ替え・抽出・データの挿入・削除などの基礎的スキルを習得する。	
	第7回 ファイル・データ管理 ファイルの取り扱い方について学習する。ファイルについての知識、効率的な作業を行うためのファイルの整理方法（ファイルの命名法、フォルダによる構造化など）、ファイルの共有方法などについて演習を通して習得する。	
	第8回 インターネットコミュニケーション その1 インターネットを通じたコミュニケーションツールとして代表的なメールや掲示板の利用に関するルールとマナーを実践的に習得する。	
	第9回 インターネットコミュニケーション その2 Webサイトの仕組みとhtmlの簡単な作成方法等について学ぶ。	
	第10回 文書表現 他者に誤解なく伝わるような、論理的な文章を作成するためのスキルを習得する。良い文章表現の特徴（語彙の選択、語順、レイアウト等）を学び、実際に文書の修正・作成を行うことでスキルを体得する。	学習内容に基づく課題を出題
	第11回 ビジュアル表現 文書表現と対をなす表現方法として、視覚に訴えるビジュアル表現について学習する。論文等に不可欠な図解表現、よいプレゼンテーションに必要な配色・図形の特徴などについて演習する。	
	第12回 プレゼンテーション その1 これまでに学習した「情報の収集、分析、整理、表現」の力をもとに、あるテーマについて「他者に効果的に伝える」ためのプレゼンテーションの基礎を学ぶ。その後、第13回の発表に向けてプレゼンテーションの資料作成（PowerPoint）を行う。	
	第13回 プレゼンテーション その2 第12回に引き続きプレゼンテーションの資料作成を行う。	
	第14回 プレゼンテーション その3 第11回・第12回で準備したPowerPointの資料をもとに発表を行う。	
	第15回 まとめ	単位修得試験実施

成績評価方法	授業態度（20%）、提出課題（30%）、課題単位修得試験の結果（50%）により総合評価する。
--------	--

教科書	著書『考える 伝える 分かちあう 情報活用力（noa出版）』 著者 noa出版 出版社 noa出版 出版年度 2008年9月 改訂版 ISBN 9784990242046
-----	---

参考書 (任意購入)	
---------------	--

必須ソフト・ツール	Microsoft Office Word、Microsoft Office Excel、Microsoft Office PowerPoint
-----------	--

備考	受講者上限人数 演習40名 情報活用Ⅰ（基礎）で学習する内容の修得を前提条件とします。受講済みの方はよく復習しておくこと。未受講の方は独自で修得すること。 本授業を受講した成果測定のひとつとして、情報活用力を診断するテスト「Rasti」の受験（費用は学生負担）を推奨する。「Rasti」の詳細は授業中に紹介予定。
----	--

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	Web サイト制作 I (基礎)	担当教員	畑 耕治郎
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	本授業では、Web ページ制作に必要とされるコーディング技術の基礎を学習します。はじめて Web 制作に取り組む方が HTML に加え、現在、主流とされるスタイルシートを用いた簡単な Web ページが制作できるレベルの知識とスキルの習得を目的としています。				
学習の進め方	本授業は、教科書を活用し、実際にパソコンを使って演習を進めます。演習を進めるうえで重要なポイントや補足説明は適宜、質問に答える形で資料に掲載しますので活用してください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 WEBの特徴を知ろう	Web サイト制作を行う前準備として、インターネットや WWW サービス、ブラウザについて学習するとともに、編集ソフトウェアの特徴や情報発信のマナーについても学習します。			レポート
	第2回 HTML 文章の基礎	HTML の基本となるタグについて学習します。ここでは、HTML 文章の基本となる html 要素、head 要素、body 要素について取り上げます。			レポート
	第3回 HTML 文章の構造化	HTML 文章の構造化について学習します。ここではブロックレベル要素とインライン要素について取り上げます。			レポート
	第4回 テーブル	テーブルについて学習します。ここではテーブルの基本構造について取り上げます。			レポート
	第5回 画像	画像について学習します。ここでは写真やイラストなどのイメージ画像の挿入について取り上げます。			レポート
	第6回 スタイルシート	スタイルシートの基本的な記述方法について学習します。ここでは「埋め込み型」、「インライン型」、「外部リンク型」の3つの記述方法について取り上げます。			レポート
	第7回 文字のデザイン	文字の装飾について学習します。ここでは文字の色やサイズ、スタイルなどの指定に加え、文字の配置位置の指定などについて取り上げます。			レポート
	第8回 ボックスモデルのデザイン	ボックスモデルについて学習します。ここではボーダー、マージン、パディングについて取り上げます。			レポート
	第9回 背景のデザイン	背景について学習します。ここではページや要素の背景色の指定やイメージ画像の挿入について取り上げます。			レポート
	第10回 テーブルのデザイン	テーブルの装飾について学習します。ここではテーブルの罫線の種類や背景の色などテーブルの装飾について取り上げます。			レポート
	第11回 ハイパーリンク	ハイパーリンクについて学習します。ここではリンク機能を用いた Web ページ間の移動と Web ページ内の移動について取り上げます。			レポート
	第12回 絶対パスと相対パス	ファイルの参照方法である「絶対パス」と「相対パス」について学習します。ここでは「相対パス」を用いたイメージ画像の指定やリンクの指定について取り上げます。			レポート
成績評価方法	課題 (50%)、単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 「Web サイト制作 (基礎)」 著者 畑 耕治郎 出版社 ジャあそで堂 出版年度 2010年3月25日 1版				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	学習の際には、ファイルのコピーや移動、フォルダ作成、ファイルの解凍などの操作を必要とします。 また、フリーウェアのソフトウェアをインターネットからダウンロードし、インストールする作業が伴います。 教材は、Windows パソコンを想定して解説しています。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	Web サイト制作Ⅱ (応用)	担当教員	畑 耕治郎
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	本授業では、Web ページ制作に必要とされるコーディング技術について、基礎に続く応用的なレベルを学習します。特にスタイルシートの応用テクニックを学習し、現在、インターネットでよくみられるレイアウトのWEB ページが制作できるレベルの知識とスキルの習得を目的とします。				
学習の進め方	本授業は、教科書を活用し、実際にパソコンを使って演習を進めます。演習を進めるうえで重要なポイントや補足説明は適宜、質問に答える形で資料に掲載しますので活用してください。 各回の課題では、課題指示に従い、制作したWEB ページを提出していただきます。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 スタイルシート	スタイルシートの応用的な活用方法について学習します。			レポート
	第2回 要素の管理	特定の要素に名前を付けてデザインを指定する方法について学習します。			レポート
	第3回 領域の管理	複数の要素をまとめる領域に対してデザインを指定する方法について学習します。			レポート
	第4回 配置と回り込み	画像とテキストを組み合わせたレイアウトの仕方について学習します。			レポート
	第5回 ナビゲーションバー	ナビゲーションバーの作り方を学習します。			レポート
	第6回 WEB サイト充実テクニック	YouTube や Google マップを WEB ページに挿入する方法について学習します。			レポート
	第7回 レイアウトのデザイン	2 カラム、3 カラムの WEB ページの作り方について学習します。			レポート
	第8回 デザイン事例紹介	特徴的な WEB ページの事例をもとに、スタイルシートの応用テクニックについて学習します。			ディスカッション
	第9回 画像の編集	写真の加工など簡単な画像編集について学習します。			レポート
	第10回 WEB サイトの公開	実際に WEB サイトを公開する方法について学習します。			レポート
成績評価方法	課題 (50%)、単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 『Web サイト制作 (応用)』 著者 畑 耕治郎 出版社 ジャあそで堂 出版年度 2011年4月18日 1 版				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	Web サイト制作Ⅰ (基礎) が履修済みであることが望ましいです。 フリーウェアのソフトウェアをインターネットからダウンロードし、インストールする作業が伴う場合があります。 教材は、Windows パソコンを想定して解説しています。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	文書作成応用演習	担当教員	村上 啓介
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	Wordの基本的な操作の確認を行う。 実践的な文書作成のための機能を学習する。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 文書の体裁を整える Wordの基本操作の復習	確認テスト・レポート
	第2章 Wordを活用したプレゼン資料の作成 図の挿入方法	確認テスト・レポート
	第3章 表が入った文書の作成 表の利用方法	確認テスト・レポート
	第4章 文書デザインの工夫 一歩進んだ文書作成テクニック	確認テスト・レポート
	第5章 その他の便利な機能 知っておけば役に立つ便利な機能	確認テスト・レポート
成績評価方法	各回の確認テスト・演習課題 (60%)、単位修得試験 (40%)	
教科書	著書 『できる Word2007Windows 7/Vista/XP 対応』 著者 田中 亘 出版社 インプレスジャパン 出版年度 2010年2月11日 ISBN 9784844327783	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール	Microsoft Office Word	
備 考	このコンテンツは Microsoft Office Word2007をベースに設計されています。 各教材にあるトライアルは、Windowsでは Internet Explorer、Macでは Safariのみで動作します。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	表計算応用演習	担当教員	村上 啓介
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	Excelの基本的な操作と関数などの便利な機能、またマクロの基本を学び、実践的に表を作成することができる。		
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。		
学習内容	概 要	課 題	
	第1章 表の体裁を整える セルおよびワークシートの操作方法	確認テスト・レポート	
	第2章 グラフ作成 グラフ作成と体裁の調整方法	確認テスト・レポート	
	第3章 データベースの管理 エクセルでできるデータ処理	確認テスト・レポート	
	第4章 関数の基礎知識 便利な Excel 関数の利用例	確認テスト・レポート	
	第5章 その他の便利な機能 その他の便利な機能	確認テスト・レポート	
	第6章 補足編（マクロ編）～マクロの作成 Excel マクロとは何か	確認テスト・レポート	
	第7章 補足編（マクロ編）～マクロ記録機能の活用 Excel マクロの応用 1	確認テスト・レポート	
	第8章 補足編（VBA 編）～Excel VBA の基本的な記述方法 Excel マクロの応用 2	確認テスト・レポート	
	成績評価方法	各回の確認テスト・演習課題（60%）、単位修得試験（40%）	
	教科書	著書 『できる Excel2007Windows 7 /Vista/XP 対応』 著者 小館由典 出版社 インプレスジャパン 出版年度 2011年2月1日 1版 ISBN 9784844327776	
参考書 (任意購入)			
必須ソフト・ツール	Microsoft Office Excel		
備考	このコンテンツは Microsoft Office Excel2007をベースに設計されています。 学習内容に含まれているマクロ機能は、コンテンツ設計上「Windows」のみ動作します。Mac ではマクロ機能は動作しませんのでご注意ください。 各教材にあるトライアルは、Windows では Internet Explorer, Mac では Safari のみで動作します。		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	プログラミング演習Ⅰ（基礎）	担当教員	長行 康男
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験（課題）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	家電製品、情報システム、コンピュータソフトなど、我々の身の回りには多くのものがプログラムにより動作しています。本授業では、このプログラムを、プログラミング言語の中でも最もメジャーな「C言語」を用いて作成することにより、プログラミングの基本をマスターすることを目指します。
学習の進め方	本授業は、説明と実習（プログラム作成）を交互に繰り返しながら進行していきます。実習時間を多くとり、基本的なプログラムを数多く作成してもらうことにより、プログラミングの基本を体得してもらいます。第15回には、プログラミング演習Ⅰの集大成として課題プログラムを複数個作成してもらいます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 インTRODクシヨN プログラムとはどのようなものなのかについて理解する。	
	第2回 プログラミNG環J境と開発手順（テキストの Lesson 1） C言語のプログラミング環境と、C言語によるプログラムの開発手順について理解する。	
	第3回 C言語の基本Ⅰ（テキストの Lesson 2） main 関数、コメント、画面出力、インクルードといったC言語の基本について理解する。	
	第4回 C言語の基本Ⅱ（テキストの Lesson 2） テキストの Lesson 2 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第5回 変数Ⅰ（テキストの Lesson 3） プログラミングにおいてデータを記憶するときに必要な変数について理解する。	
	第6回 変数Ⅱ（テキストの Lesson 3） テキストの Lesson 3 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第7回 演算Ⅰ（テキストの Lesson 4） プログラムの中で演算を行うときに必要となる式、演算子について理解する。	
	第8回 演算Ⅱ（テキストの Lesson 4） 演算の優先順位や型変換などプログラム特有の演算の特徴について理解する。また、テキストの Lesson 4 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第9回 制御構造Ⅰ（テキストの Lesson 5） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、if 文制御について理解する。	
	第10回 制御構造Ⅱ（テキストの Lesson 5） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、switch 文制御について理解する。また、テキストの Lesson 5 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第11回 前回までの復習（簡易プログラム作成） 第10回までに学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第12回 制御構造Ⅲ（テキストの Lesson 6） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、for 文制御、while 文制御について理解する。	
	第13回 制御構造Ⅳ（テキストの Lesson 6） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、do~while 文制御について理解する。また、制御構造のネストについてと、break 文、continue 文の使い方について理解する。	
	第14回 制御構造Ⅴ（テキストの Lesson 6） テキストの Lesson 6 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第15回 課題プログラム作成 提示する課題のプログラムを作成する。	
成績評価方法	第15回の課題プログラム作成の結果（50%）と第1回～第14回までの授業受講状況（50%）により総合的に評価します。	
教科書	著書 『やさしいC 第3版』 著者 高橋麻奈 出版社 ソフトバンククリエイティブ 出版年度 2011年2月21日 3版 ISBN 9784797343663	
参考書（任意購入）	『解きながら学ぶC言語』、柴田望洋監修・著、ソフトバンククリエイティブ、1,890円（税込）、2004年	
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限人数 演習40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	プログラミング演習Ⅱ（応用）	担当教員	長行 康男
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験（課題）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標 プログラミング演習Ⅰで作成したプログラムより、本格的なプログラムを作成できるようになることを目標とします。具体的には、配列、関数、ポインタ、ファイルの入出力などを利用したプログラムが作成できるようになることを目標とします。また、計算量の概念について学習することにより、コンピュータで実現できること（プログラミングできること）の限界について理解することも目指します。

学習の進め方 本授業は、説明と実習を交互に繰り返しながら進行していきます。実習時間を多くとり、プログラムを数多く作成してもらうことにより、本格的なプログラミングを体得してもらいます。第15回には、プログラミング演習Ⅱの集大成として課題プログラムを複数個作成してもらいます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション 本授業の到達目標、進め方について理解する。	
	第2回 復習 テキストの Lesson 1～Lesson 6 までを復習する。	
	第3回 配列Ⅰ（テキストの Lesson 7） 同じ種類の値を複数個記憶するための配列について理解する。	
	第4回 配列Ⅱ（テキストの Lesson 7） 配列を応用したプログラムについて理解する。	
	第5回 配列Ⅲ（テキストの Lesson 7） テキストの Lesson 7 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第6回 関数Ⅰ（テキストの Lesson 8） 本格的なプログラムを作成するために必要不可欠である関数について理解する。	
	第7回 関数Ⅱ（テキストの Lesson 8） 関数を利用した場合の変数の特徴と、関数ごとにファイル分割する手法を理解する。	
	第8回 関数Ⅲ（テキストの Lesson 8） テキストの Lesson 8 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第9回 ポインタⅠ（テキストの Lesson 9） C 言語における肝であるポインタについて理解する。	
	第10回 ポインタⅡ（テキストの Lesson 9） テキストの Lesson 9 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第11回 前回までの復習（応用プログラム作成） 第10回までに学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第12回 ファイルの入出力Ⅰ（テキストの Lesson 12） キーボード入力、ディスプレイ出力、ファイル入出力について理解する。	
	第13回 ファイルの入出力Ⅱ（テキストの Lesson 12） 条件付コンパイルを利用したデバッグについて理解する。 また、テキストの Lesson 12 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第14回 プログラミング総まとめ プログラミングについての総まとめを行う。 また、計算量の概念について理解する。そして、思いっくままにプログラミングした場合、処理結果が出るのに無限に近い時間がかかってしまうような問題が身近に沢山存在することを理解する。	
	第15回 課題プログラム作成 提示する課題のプログラムを作成する。	
成績評価方法	第15回の課題プログラム作成の結果（50%）と第1回～第14回までの授業受講状況（50%）により総合的に評価します。	
教科書	著書 『やさしいC 第3版』 著者 高橋麻奈 出版社 ソフトバンククリエイティブ 出版年度 2011年2月21日 3版 ISBN 9784797343663	
参考書 (任意購入)	『解きながら学ぶC言語』、柴田望洋監修・著、ソフトバンククリエイティブ、1,890円（税込）、2004年	
必須ソフト・ツール		
備 考	受講者上限人数 演習40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	コンピュータサイエンス	担当教員	佐々木 英洋	
レベルナンバー	100	単位数	2			
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆			
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名	プレゼンテーション実務士
	実施方法	Web 試験				
	試験会場	—				

学習目標 コンピュータサイエンスは、コンピュータのハードウェア、オペレーティングシステムなどの基本ソフトウェア、応用ソフトウェア、さらに、コンピュータの効果的な利用法まで、コンピュータに関連する広い領域をカバーする学問領域である。また、並列コンピュータ、ネットワークコンピュータなどに対する新たな計算パラダイムが提案されるたびに、コンピュータサイエンスがカバーする領域は拡張しつづけている。本講義では、これらの広い領域を横断的に、さらに、基礎から応用までを縦断的に深く探究し、平易に解説し、現代社会の様々な分野で必要とされる知識を学ぶことを目標とする。

学習の進め方 本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。また、各回の確認テストはすべて受験して下さい。

	概 要	課 題
学習内容	第1章 コンピュータの基礎知識 コンピュータの基礎知識、情報とデータについての基本的事項を学ぶ	確認テスト
	第2章 ハードウェア パソコンの構造と、それらを取りまく機器についての基礎知識を学ぶ	確認テスト
	第3章 ソフトウェア ソフトウェアの種類と役割について学ぶ	確認テスト
	第4章 データ形式とマルチメディア 文字・画像・音声・動画のデータ量・圧縮形式について学ぶ	確認テスト
	第5章 コンピュータと情報システム 情報システムについての知識・役割を学ぶ。	確認テスト
	第6章 通信ネットワーク コンピュータネットワークの様々な知識を学び、それらがどのように社会で生かされているかを学ぶ	確認テスト
	第7章 インターネットとセキュリティ インターネットに関する基礎知識と、ネットワークセキュリティについて学ぶ	確認テスト
	第8章 データベースシステム データベースの概要と様々な演算について学ぶ	確認テスト
	第9章 システムの設計と開発 システム設計の概要、より効率的なシステム設計について学ぶ	確認テスト
	第10章 システムの運用と管理 システムの運用と管理に関する様々な知識について学習する。	確認テスト
成績評価方法	確認テスト [5% × 10回] (50%) 単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『コンピュータと情報システム』 著者 草薙信照 出版社 サイエンス社 出版年度 2011年2月25日 1版 ISBN 9784781911618	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	コンピュータと通信	担当教員	中崎 修一
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	情報通信ネットワークの長所、短所を説明できる 自分のコンピュータのネットワーク設定ができるようになる 情報通信技術を活用したシステムの検討ができる				
学習の進め方	本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。教科書はデジタル教材の中でページを参照する指示がありますが、デジタル教材では取り扱わない情報も掲載されていますので是非、ご覧ください。回ごとに確認テストがありますので確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 情報社会とネットワーク概説	情報社会とネットワーク			確認テスト、意識調査
	第2回 情報通信ネットワーク	情報、情報通信、情報通信ネットワーク、通信階層モデル、クライアント/サーバシステム			ディスカッション、確認テスト
	第3回 通信の基礎	2進数・16進数、情報通信、通信のしくみ			確認テスト
	第4回 伝送媒体	伝送媒体、プロトコル			確認テスト
	第5回 通信制御	データリンク、パケット、MAC フレーム、イーサネット、データリンク層			確認テスト
	第6回 IP (Internet Protocol)	ARP、IP、ネットワーク層			確認テスト
	第7回 TCP、UDP	TCP、UDP、トランスポート層			確認テスト、レポート
	第8回 通信用アプリケーション(1)	Web ページ、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol)、アプリケーション層			確認テスト
	第9回 通信用アプリケーション(2)	電子メール、SMTP、POP、IMAP			確認テスト
	第10回 インターネット	TCP/IP、インターネット			確認テスト
	第11回 ブロードバンド	ADSL、FTTH、無線通信			確認テスト
	第12回 LAN 構築	LAN、Windows、Macintosh、Linux			確認テスト
	第13回 セキュリティ	セキュリティ、Firewall、NAT、通信ポート、アドレス変換			確認テスト
	第14回 様々な問題点	問題、ネットワーク運用管理			ディスカッション、確認テスト
	第15回 応用技術とまとめ	身近なネットワーク応用技術の紹介			確認テスト、アンケート
成績評価方法	授業期間内完了 (30%)、レポート課題 (2回) (30%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『世界でいちばん簡単なネットワークのe本』 著者 金城俊哉 出版社 秀和システム 出版年度 2011年4月15日 3版 ISBN 9784798006635				
参考書(任意購入)	『情報がひらく新しい世界④ 情報ネットワークとLAN』、長坂康史、共立出版、2,835円(税込)、2001年 資料用ウェブページ作成予定				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	インターネット活用	担当教員	中崎 修一
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	インターネットの歴史やしぐみを理解する。 インターネットにおけるサービス提供に関するシステム構成を理解する。 インターネットに関する最新技術を知る。				
学習の進め方	教科書と資料を中心に学習し、毎回確認テストを行い、80%以上の正解を目指す。 単位修得試験はレポート課題の提出とする。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 インターネット概説	インターネット概説			確認テスト
	第2回 インターネットの歴史と今後	インターネットの歴史・管理運営・今後			確認テスト
	第3回 インターネットを支える技術	プロトコル（通信規約）、IP アドレス、ドメイン名、DNS			確認テスト
	第4回 World Wide Web	Web の概要・基礎技術・しぐみ			確認テスト
	第5回 SSL/TLS	セキュリティ技術概要、暗号化、SSL/TLS			確認テスト
	第6回 HTML, CSS	HTML, CSS			確認テスト
	第7回 Web プログラミング	サーバサイドプログラミング、JavaScript			確認テスト
	第8回 データベース	データモデル、データベース、SQL、XML データベース			確認テスト
	第9回 Web アプリケーション	スクリプト言語、Web アプリケーション			確認テスト
	第10回 Web システム構成	Web サーバ構成、HTTP 応答、大規模 Web システム			確認テスト
	第11回 ネットワークのセキュリティと心得	ネットワーク利用における心得、セキュリティ			確認テスト
	第12回 インターネットとオープンソースソフトウェア	オープンソースソフトウェア			確認テスト
	第13回 ウェブの時代からクラウドの時代へ	利用形態の変化、Web2.0			確認テスト
	第14回 まとめ	インターネットの現状と今後			確認テスト
成績評価方法	各回の確認テスト（50%）、単位修得試験（50%）				
教科書	著書 『インターネットと Web 技術』 著者 松尾啓志 出版社 オーム社 出版年度 2009年3月15日 1版 ISBN 9784274206771				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	マルチメディア活用	担当教員	畑 耕治郎
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	普段の生活の中に溶け込んださまざまな IT 技術やマルチメディアによるサービスや製品の仕組みを学び、その魅力を周りの人に説明できるようになることを学習の目的とします。				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。教科書は、オンデマンド教材の中で適宜、参照するように指示していますが、一度はすべてのページに目を通すように努めてください。 課題はレポート課題が中心ですが、1部の回では、ディスカッションやメディア編集作業が伴う課題があります。 単位修得試験は論述式のレポート試験です。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 日常に広がるマルチメディア	我が国における情報化社会への取組みに触れながらユビキタスネットワーク社会への歩みを学習します。			ディスカッション
	第2回 話題のマルチメディア	現在、注目されているマルチメディア商品や IT 技術をトピック的に取り上げます。			レポート
	第3回 マルチメディア	そもそもマルチメディアとはどのようなものなのかを考察し、マルチメディアの特徴やその魅力について学習します。			レポート
	第4回 デジタル情報	アナログとデジタルの違いやアナログからデジタルに変換する工程などデジタル情報について学習します。			レポート
	第5回 0と1の世界	2進数などにも触れながらデジタルを表す0と1の世界について学習します。			レポート
	第6回 メディアにみる0と1の世界	ハードディスクやDVD-ROM、メモリなどのメディア媒体の仕組みについて学習します。			レポート
	第7回 音声メディア	デジタルにおける音声メディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第8回 画像メディア	デジタルにおける画像メディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第9回 動画メディア	デジタルにおける動画メディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第10回 テキストメディア	デジタルにおけるテキストメディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第11回 メディア編集	実際にソフトウェアを用いて簡単な画像編集について学習します。			レポート(演習)
成績評価方法	課題(75%)、単位修得試験(25%)				
教科書	著書 『第二版 入門マルチメディアーITで変わるライフスタイルー』 著者 西原 清一 出版社 CG-ARTS 協会 出版年度 2010年9月21日 2版 ISBN 9784844370949				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	フリーウェアのソフトウェアをインターネットからダウンロードし、インストールする作業が伴います。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	データベース論	担当教員	森本 雅博
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	データベースの意義や基本的な考え方を理解し、データベースを作成および操作できる。				
学習の進め方	デジタル教材を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には課題を用意してあるので、課題を終えて次の回に進むようにしましょう。第9回目以降はソフトウェアを使用して実習も交えて進めていきます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 データベースとは何か	データベースの意義を理解し、「データベースとは何か」を学習する			確認テスト、 ディスカッション
	第2回 データベースとデータモデル	データの効率的な管理の形について理解する			確認テスト
	第3回 データベースの設計	データベースの設計について理解する			確認テスト
	第4回 最近のデータベースの流れ	最近のデータベースの流れについて理解する			確認テスト
	第5回 データベースの主なソフト	データベースの主なソフトについて理解する			確認テスト、 ディスカッション
	第6回 表と集合演算	表と集合演算について理解する			確認テスト
	第7回 E-R 図	E-R 図とは何かを理解する			確認テスト
	第8回 テーブルの正規化	テーブルの正規化の意義と方法について理解する			確認テスト
	第9回 SQL の基本的な使い方	SQL の基本的な使い方について理解する			確認テスト
	第10回 複数条件の組み合わせ	複数条件の組み合わせや並べ替え、重複行の除外について理解する			確認テスト
	第11回 テーブル内での計算や集計	テーブル内での計算や集計の方法について理解する			確認テスト
	第12回 テーブルの作成と行の挿入等の操作	テーブルの作成と行の挿入等の操作について理解する			確認テスト
	第13回 テーブルの結合	テーブルの結合について理解する			確認テスト
	第14回 より高度なデータベース処理	より高度なデータベース処理について理解する			確認テスト
	第15回 まとめ	データベースの基礎理論やSQL について理解する			
成績評価方法	単位修得試験 (70%)、課題 (20%)、授業参加態度 (10%)				
教科書	著書 『データベースの常識』 書写 藤本 彦 出版社 技術評論社 出版年度 2009年8月1日 1版 ISBN 9784774139050				
参考書 (任意購入)	『データベースの知識と実務』、金宏和實、翔泳社、2,310円(税込)、2007年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報管理論	担当教員	森本 雅博
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート試験 試験会場 ー			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	情報化社会において情報管理を行うことの意義とその手法について理解し、データベースを用いた情報管理の仕組みについて説明できるようになること。				
学習の進め方	本授業は、デジタル教材を活用して授業を進めていきます。各回の学習では、前回の要点、今回の学習目標、最後に今回のまとめを提示し、ポイントが明確になるように工夫しています。教科書はデジタル教材にない内容もありますので、必ず学習前に読んでください。毎回、学習の理解をチェックするための確認テストを用意しています。テストをクリアして次の回へ進むようにしてください。				
	概 要			課 題	
学習内容	第1回 情報とは何か	情報の意味と特性を理解し、種類にもとづく情報の分類をする			確認テスト
	第2回 情報管理とは	情報管理の意義と必要性を理解する			ディスカッション
	第3回 データベースと情報管理のサイクル	情報管理の対象とサイクル、データベースの定義と歴史および種類と分類について理解する			確認テスト
	第4回 情報の収集	情報源の選定し、さまざまな分野による情報収集の目的の違いを知る			確認テスト
	第5回 インターネットと情報検索	インターネット上の検索エンジンと検索方法や検索機能の基本的理論を理解する			確認テスト
	第6回 分析、利用する情報の種類	情報の種類に応じた分析と利用の方法を具体的事例で理解する			レポート
	第7回 情報の加工と管理	情報を加工し、整理する意味を理解し、その方法や手順を学習する。			確認テスト 前半のまとめ
	第8回 データベースの概念	データベースの特徴とデータベース管理システムの概要と基本機能を理解する			確認テスト
	第9回 データモデルの概念	データモデルの種類と特徴を知り、データの独立性及びデータベースの管理と運用について理解する			確認テスト
	第10回 データベース管理システムの諸機能	リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) を構成する主要な機能を理解する			確認テスト
	第11回 データベースの操作/SQL	データベースを定義したり操作するための言語 (SQL) の種類と使用方法を理解する			確認テスト
	第12回 商用データベースの利用	商用データベースの意義と種類を知り、高度な利用方法を具体的に探る			確認テスト
	第13回 情報の提供とプレゼンテーション	情報の提供方法やプレゼンテーションを実施するための留意点を理解する			確認テスト
	第14回 これからの情報管理	データウェアハウスとデータベースの新たな展開について理解する			確認テスト
	第15回 情報管理のまとめ	情報管理についての理解をポイントを押さえながら確認し、知識の定着を図る			確認テスト
成績評価方法	確認テスト及びレポート (20%)、前半のまとめ (40%)、単位修得試験 (40%) による総合評価とする。				
教科書	著書 『情報管理概論』 著者 田中一雄 出版社 白桃書房 出版年度 2005年6月6日 ISBN 9784561253037				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	社会と情報	担当教員	石橋 裕基
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	今日、情報技術（IT）は経済や社会生活のあらゆる分野に深く浸透しており、電子情報を活用することによって得られる恩恵を誰もが享受できる時代を迎えつつある。一方、そういったデジタル技術や情報をいつでも・どこでも、安全・安心に活用するためには、情報セキュリティや法体系など社会的な基盤整備が必要であるのに加え、利用者側の情報リテラシー（情報を使いこなす力）が必要となる。本講義では特定の技術について深く掘り下げるのではなく、我が国におけるIT利活用のさまざまな動向について、最新のトピックスを交え社会生活や産業面等から広く俯瞰し、理解を深めることを目的とする。				
学習の進め方	本授業はテキスト『情報化白書2009』を主に活用し学習を進めます。テキストはトピックス形式で記載されており、本授業での学習はテキストの章立てとは異なる順序で進めます。注意してください。デジタル教材で各章のポイントを説明し、補足資料等を掲載します。また各章でそれぞれのポイントを整理するためのクイズを出題しますので適宜確認してください。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1章 社会・生活の情報化(1) ～交通、教養・娯楽、消費生活分野～			確認テスト	
	人々の社会生活に密着した「交通」「教養・娯楽」「消費生活」分野での情報化の現状について、事例やトピックスを交え考察する。				
	第2章 社会・生活の情報化(2) ～安全・安心、行政分野～			確認テスト	
	医療や災害対策等の現場におけるIT利活用の状況について考察する。また地方自治体をはじめとする行政分野における情報化の取り組みを考察する。				
	第3章 トピックス ～情報化の新しい潮流～			確認テスト	
	グリーンIT、時空間情報システム、クラウド・コンピューティング等、情報化に関する最新のトピックスについて紹介する。				
	第1章から第3章までのまとめ			第1章から第3章までのまとめ	
第1章から第3章までのまとめ					
第4章 情報化基盤整備(1) ～情報セキュリティ基盤の向上～			確認テスト		
安全・安心かつ効果的な情報化社会を支えるために必須となる「情報セキュリティ」を取り巻く環境について、被害や脅威などの現状と各種対策・制度等について考察する。					
第5章 情報化基盤整備(2) ～IT社会を支える政策・法制度～			確認テスト		
情報利活用時代に向けて今後展開される国家戦略について考察するとともに、個人情報保護や知的財産権、違法・有害情報に関する法制度等の状況について考察する。					
成績評価方法	第1章から第3章までのまとめ（30%）、単位修得試験の結果（70%）により総合評価する。				
教科書	著書 『情報化白書2009』 著者 財団法人 日本情報処理開発協会（編） 出版社 増進堂 出版年度 2009年9月30日 ISBN 9784424538028				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スターリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報倫理	担当教員	河俣 英美
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	学習の目的は、高度情報化社会におけるインターネットの利便性と危険性を生活者の立場から理解するとともに、インターネットを利用する際のルールやマナーといった「情報倫理」を身につける。そして情報に関連する法制や幅広い知識を得る。これらを基に高度情報社会を発展させ、情報弱者をなくし、情報環境を充実、進展させるためには、どのように考え、行動すべきかを自分自身の視点で考察することができるようになることを目標とする。				
学習の進め方	各章ごとにテキストを読んで理解し、重要な点に関しては要約を作成する。またテキストを読んで問題点を考察する。そしてその内容に関連する報道に関してTV、雑誌、新聞、ネット等の記事を読むなど、実際に社会で起こった問題に関心を持ち、幅広い知識を得るように努力する。また健全なネットワーク社会をつくるためにはどうすればよいかを自分の意見として考察できるように、自分自身で考える習慣を身につけるように心掛けてください。				
学習内容	概 要			課 題	
	序章 インターネットと情報社会			確認テスト	
	情報とは何かを理解し、情報活用能力を身につける				
	第1章 インターネットと個人情報			確認テスト	
	個人情報保護法、セキュリティポリシーを理解する				
	第2章 インターネットと知的財産権			確認テスト	
	違法コピー、特許法、著作権法の知識を修得する				
	第3章 インターネットと生活			確認テスト	
	インターネットの利便性を理解する				
	第4章 インターネットとビジネス			確認テスト	
	ネットショッピング、売買トラブルに関する知識を身につける				
	第5章 インターネットと教育			確認テスト	
	e-ラーニングや有害情報に関する知識を習得する				
第6章 インターネットとコミュニケーション			確認テスト		
電子メールのルールやマナーに関する知識を修得する					
第7章 インターネットと犯罪			確認テスト		
サイバー犯罪、不正アクセスに関する知識を修得する					
第8章 インターネットとセキュリティ			確認テスト		
セキュリティに関する知識を修得する					
終章 健全な情報社会をめざして			確認テスト		
健全な情報社会を構築するための自分の意見や展望をまとめる					
成績評価方法	各章の課題の結果（40%）、単位修得試験の結果（60%）により総合評価する。				
教科書	著書 『インターネットの光と影 Ver.4』 著者 情報教育学研究会（IEC）・情報倫理教育研究グループ編 出版社 北大路書房 出版年度 2011年3月10日 4版 ISBN 9784762822940				
参考書 (任意購入)	『IT社会の法と倫理』、サラバズ著、日本情報倫理協会翻訳、ピアソンエデュケーション、2,940円（税込）、2002年 『インターネットと法【第4版】』、松井茂記・高橋和之、有斐閣、2,940円（税込）、2010年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	IT ビジネス論	担当教員	竹本 拓治
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	IT (ICT) 技術はビジネスの世界において幅広く応用されている。当授業ではその理論と具体例を知ることにより、受講者がIT (ICT) 社会で生きていくための現代の教養を身につけることが目標であり、さらに当授業で学んだ知識を土台として新たなビジネスへの萌芽の可能性を期待するものである。				
学習の進め方	(第1回～第14回) 本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。教科書にはデジタル教材では取り扱わない応用内容や参考情報も掲載されていますので是非、ご覧ください。 回ごとに小テストがありますので小テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 企業政策におけるITとビジネスモデル	企業の経営戦略としてのITの役割を中心にその理論を解説する。(教科書第1章)			小テスト
	第2回 企業における経営と組織の変遷とIT	高度情報社会、複雑系社会における企業、および組織のあり方を説明する。(教科書第2章)			小テスト
	第3回 IT革命と企業統治	ITと企業統治モデルの変化、および具体的に日本企業のIT化への対応の動向を解説する。(教科書第3章)			小テスト
	第4回 製造戦略を高度化するIT技術	製造戦略確定の必要性の説明とIT活用の具体的事例について紹介する。(教科書第4章)			小テスト
	第5回 多人数同時参加型オンラインシステムによるゲームと教育	多人数が同時にアクセスでき同じ世界が共有可能な仮想空間の可能性について説明する。(教科書非対応)			小テスト
	第6回 ITの進展と中小企業金融	1990年代後半に金融業界で起こったITによる金融ビジネスモデル革命を説明する。(教科書第6章)			小テスト
	第7回 医療関連業務におけるITの利用	ITが医療関連業務に果たす役割と可能性について説明する。(教科書第7章)			小テスト
	第8回 IT化の進展と旅行ビジネスの変化	ITの進展が旅行業界にどのような変化をもたらしたかを説明する。(教科書第8章)			小テスト
	第9回 情報システム導入による非製造業効率化の基礎条件	非製造業における製造業をモデルとした情報システム導入による効率化の基礎条件を説明する。(教科書第9章)			小テスト
	第10回 メディアミックスによるリテラシー変容	知的財産や文化遺産の電子化が進んだ現代社会の状況について説明する。(教科書第10章)			小テスト
	第11回 企業情報システムの統合化モデルの考察	統合化モデルの方向性と、その要件としてのサービス指向の情報化について説明する。(教科書第11章)			小テスト
	第12回 IT化によるISO9001品質マネジメントシステムへの展開	文書、記録・データ管理におけるIT化によるマネジメントの特性を説明する。(教科書第12章)			小テスト
	第13回 中小企業におけるIT投資の効果分析	IT活用を業務の効率化に留まらず、事業拡大へどうつなげるかを説明する。(教科書第13章)			小テスト
	第14回 ベンチャービジネスにおけるIT活用と社会貢献	IT活用の企業経営を分類・説明し、ITを活用したベンチャービジネスの事例を紹介する。(教科書第14章)			小テスト
成績評価方法	小テスト (50%)、単位修得試験 (50%) により総合評価する。				
教科書	著書 『ITと企業政策』 著者 太田進一(編著) 出版社 晃洋書房 出版年度 2005年5月15日 1版 ISBN 9784771015425				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報セキュリティ事例研究	担当教員	鳥巢 泰生
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	情報漏えいなどの事例を研究することにより、情報資産に対するいろいろな脅威を分析することが出来るようになり、それらの脅威に対して適切なセキュリティ対策を施すことにより、安全かつ快適に情報資産を利用運用することが出来るようになる。				
学習の進め方	本授業では、オンデマンド教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。オンデマンド教材の中で教科書のページを参照する指示がある場合はもちろん、指示がない場合も教科書にはいろいろな情報が掲載されていますので、必ずご覧ください。 各回の学習の最後には、確認テストがありますので、確認テストを終わらせ、次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 情報セキュリティとは何か？	様々なリスクの存在を知り、それらの対策を踏まえた情報セキュリティの必要性を学習する。			確認テスト
	第2回 ネットワークのしくみ	ネットワークの構造を知り、通信プロトコルについて学習する。			確認テスト
	第3回 侵入者から身を守ろう	通信プロトコルを利用した不正アクセスの事例を知り、その対策方法を学習する。			確認テスト
	第4回 盗聴を防ごう	盗聴の事例を知り、その対策方法を学習する。			確認テスト
	第5回 単純なパスワードはすぐに見破られる	パスワードの必要性、単純なパスワードの脆弱性を知り、パスワード運用のポイントを学習する。			確認テスト
	第6回 Web サイトを守ろう	Web サイトを攻撃する手口を知り、その対策を学習する。			確認テスト
	第7回 Web サイトを安全に利用しよう	Web サイトで個人情報が盗まれる危険性を理解し、安全にやり取りする方法を学習する。			確認テスト
	第8回 メールは不正なデータを送りつけるのに最適	メールを使った嫌がらせの手口を知り、対策のポイントを学習する。			確認テスト
	第9回 その URL は本当に安全？	Web サイトやメールを使った個人情報の盗み方を知り、情報の取捨選択を学習する。			確認テスト
	第10回 ウイルスは怖いもの	ウイルスの危険性を知り、予防の方法を学習する。			確認テスト
	第11回 コンピュータの外も意識しよう	コンピュータの外で個人情報が漏れる可能性を把握し、それらの対策を学習する。			確認テスト
	第12回 セキュリティポリシーを持とう	情報セキュリティのポリシーを理解し、PDCA サイクルの重要性を学習する。			確認テスト
	第13回 セキュリティの標準規格とルールについて知ろう	情報セキュリティの規格と仕組みを理解し、システム監査の重要性を学習する。			確認テスト
	第14回 次世代のセキュリティ技術	情報セキュリティでは、新たな技術が出てくる事を知り、常に情報を集める姿勢が重要である理由を学習する。			確認テスト
	第15回 まとめ	14回の総復習とまとめを行う。			
成績評価方法	平常点（各回の確認テスト）（40%）、単位修得試験（60%）により総合評価する。				
教科書	著書 『情報セキュリティ教本—組織の情報セキュリティ対策実践の手引き』 著者 土居範久監修、独立行政法人情報処理推進機構著 出版社 実教出版 出版年度 2010年10月15日 改訂版 ISBN 9784407316964				
参考書 (任意購入)	『情報セキュリティ読本 四訂版—IT時代の危機管理入門』、情報処理推進機構（IPA）編著、実教出版、525円（税込）、2013年1月				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報システム開発演習	担当教員	玉本 拓郎
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全授業への出席			資格名
	実施方法	現地試験（レポート）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	現代社会にあふれる情報を効率よく管理できるようになる				
学習の進め方	講義とパソコンを使った実習で授業をおこないます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 現代社会における情報	情報とはなにか。システムとは何か。			確認テスト
	第2回 インターネット	インターネットの歴史や技術			確認テスト
	第3回 HTML	基本構造と基本的な要素			作品課題
	第4回 HTML	さまざまなHTMLの要素			作品課題
	第5回 CSS	HTMLを装飾する			作品課題
	第6回 PHP	PHPとはどのようなものか			確認テスト
	第7回 PHPの開発環境	XAMPP、Apache、MySQL			作品課題
	第8回 問い合わせフォーム	問い合わせの処理			作品課題
	第9回 画像アップローダー	画像の投稿			作品課題
	第10回 アンケート	アンケートの実装			作品課題
	第11回 会員制掲示板	ユーザー認証			作品課題
	第12回 既存サービスと活用	情報を発信、保存するサービスと情報機器			確認テスト
	第13回 レポート作成に役立つ様々な情報資源	データアーカイブ、Google、Scholar、cinii など			確認テスト
	第14回 文献管理と引用の仕方	Zotero、Mendeley、ReadCube、Endnote			確認テスト
	第15回 情報システムとレポート作成	自分に最適なシステムの構築			確認テスト
成績評価方法	単位修得試験（100%）				
教科書	著書 『つくって覚える PHP 入門』 著者 オフィス加減 出版社 アスキー・メディアワークス 出版年度 2011年2月25日 1版 ISBN 9784048701136				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 演習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	オンライン教育概論	担当教員	合田 美子
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	オンライン教育・eラーニングを活用し教育効果を考慮した授業設計と運用方法について説明することができる。オンライン教育・eラーニングに関わるICT技術の基礎を理解しラーニングシステムの教育への応用方法を提案できる。オンライン教育・eラーニングを実施する際に配慮すべき法的課題について指摘できる。				
学習の進め方	eラーニングシステム上のオリエンテーションに従って学習を進めること。まず、各章にある学習目標とポイントの解説教材を視聴し、教科書を読んでいくこと。読み終わったら、理解度の確認のために小テストを受験すること。単位修得試験の範囲は全授業回で扱う内容とする。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 eラーニングの基礎知識(1) (教科書：第1章)	eラーニングとは、eラーニングの学習形態			小テスト
	第2回 eラーニングの基礎知識(2) (教科書：第2章)	eラーニングプロフェッショナルの種類			小テスト
	第3回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(1) (教科書：第4章)	インストラクショナルデザイン (ID) とは、ADDIE モデル			小テスト
	第4回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(2) (教科書：第6章)	分析・設計・開発フェーズ、IDを支える学習理論			小テスト
	第5回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(3) (教科書：第8章)	実施フェーズ、学習支援の大切さ			小テスト
	第6回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(4) (教科書：第9章)	評価フェーズ、eラーニングにおけるPDCA			小テスト
	第7回 ICTとラーニングシステムとコンテンツ (教科書：第12章)	ラーニングシステムとは			小テスト
	第8回 eラーニングのための法知識の基礎 (教科書：第10章)	eラーニングに必要な法的知識			小テスト
	第9回 ICT活用による企業内教育と新たな人材開発 (教科書：第2章)	eラーニングを活用した企業内教育の現状と可能性			小テスト
	第10回 まとめ	オンライン教育・eラーニングの現状と今後の課題			
成績評価方法	学習活動（ディスカッションなど）への参加状況と小テスト（40%）と単位修得試験（60%） ・小テストは、各章の内容から5問出題。合格基準は80%である。合格するまで何度でも受験可。 ・単位修得試験は、授業範囲内から選択式問題と記述式問題を出题する。				
教科書	著書 『これ1冊でわかるeラーニング専門家の基礎 — ICT・ID・著作権から資格取得準備まで—』 著者 玉木欽也監修 出版社 東京電機大学出版局 出版年度 2010年3月30日 1版 ISBN 9784501547608				
参考書(任意購入)	1. インストラクショナルデザインを使って教材を作成するコツを紹介している 『教材設計マニュアル』、鈴木克明、北大路書房、2,310円（税込）、2002年 2. eラーニング専門家の職責をインストラクショナルデザインのプロセスに沿って解説している 『eラーニング専門家のためのインストラクショナルデザイン』、玉木欽也監修、東京電機大学出版局、2,520円（税込）、2006年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	地域情報化論	担当教員	藤田 昌弘
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席（ただし最終日は単位修得試験のために必ず出席すること）			資格名
	実施方法	現地試験（レポート）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	地域活性や生活の利便性向上と地域における情報化の関連を理解する。				
学習の進め方	事前に教科書を読み、地域の情報化に関するターム（用語）を調べておくこと。 授業で、それらのタームの解説を行い、地域情報化の効果や問題点を一緒に考える。 実例の見学により、地域情報化の現状を理解する。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 地域概念	行政圏と生活圏の視点から、地域概念の整理を行う。			
	第2回 情報と情報化	情報の重要性と情報化の効果を検討する。			
	第3回 広域圏における情報化プロジェクトの見学(1)	兵庫県の地域情報化施策の実態を把握する。兵庫県庁 情報政策課を見学する。			
	第4回 広域圏における情報化プロジェクトの見学(2)	3回と同様。			
	第5回 広域圏における情報化の意義、まとめ1	広域圏の地域情報化の効果と課題を考える。			
	第6回 地域活性と地域情報化	地域活性化と地域情報化の関連を考える。			
	第7回 生活の利便性向上と地域活性化	生活の利便性と地域情報化の関連を考える。			
	第8回 生活圏における情報化プロジェクトの見学(1)	市町村における地域情報化施策の実態を把握する。豊中市 消防局・情報政策室を見学する。			
	第9回 生活圏における情報化プロジェクトの見学(2)	8回と同じ。			
	第10回 生活圏における情報化の意義、まとめ2	生活圏の地域情報化の効果と課題を考える。			
	第11回 ICT利活用プロジェクトの紹介(1)	最近のICT利活用プロジェクトの紹介。			
	第12回 ICT利活用プロジェクトの紹介(2)	11回と同様。			
	第13回 地域情報化と行政情報化	行政施策としての地域情報化の意義。			
	第14回 あらためて情報化の意義を考える	情報化の効果、課題について考える。			
	第15回 全体のまとめ、テスト	レポート課題の提示とレポートの提出			
成績評価方法	単位修得試験（100％）により評価する。				
教科書	著書 『元気村』はこう創る ―実践・地域情報化戦略― 著者 國領二郎、飯盛義徳 編著 出版社 日本経済新聞出版社 出版年度 2007年12月14日 1版 ISBN 9784532352912				
参考書(任意購入)	『情報通信白書 平成22年版(書籍版)』、総務省、ぎょうせい、2,900円(税込)、2010年				
必須ソフト・ツール					
備考	3回目～5回目ならびに8回目～10回目の授業は夙川キャンパスでの講義ではなく、近郊の地方自治体を訪問します(兵庫県庁と豊中市を予定しています)。現地への移動は午後になりますが見学先での解散となります。なお、夙川から自治体への交通費は片道250円程度になると思いますが、交通費は受講生の負担をお願いします。 受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	知能情報学	担当教員	長行 康男
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	人間や動物の脳(知能)の仕組み・機能などをコンピュータ上に実現することは人類の長年の夢であり、人工知能の分野をはじめとして、人工生命、強化学習、ニューラルネットワークなどの分野で広く研究されています。本授業は、これらの分野の概観を理解することを目的とします。				
学習の進め方	講義が中心になりますが、ほとんどの回で実習や演習を行います。第8回には、人工知能の推論プログラムを実際に作成してもらいます。第15回には、本授業の理解度を確かめるための筆記試験を行います(筆記試験の試験内容は第1回の授業中に提示します)。				
	概 要		課 題		
学習内容	第1回 オリエンテーション(テキストの第1章)				
	知能情報学とはどのようなものなのかについて学びます。				
	第2回 問題の表現(テキストの第2章)				
	探索問題(迷路、8パズル、宣教師と先住民問題、ハノイの塔など)をコンピュータに解釈してもらうため問題の表現方法について学びます。				
	第3回 探索Ⅰ(テキストの第3章)				
	探索問題をコンピュータに解かせるための方法(深さ優先探索、幅優先探索、山登り法など)について学びます。				
	第4回 探索Ⅱ(テキストの第3章、第4章)				
	探索問題をコンピュータに解かせるための方法(最良優先探索、ミニマックス法、アルファベータ法など)について学びます。				
	第5回 推論Ⅰ(テキストの第5章)				
	人間が脳で行っている推論をコンピュータに行わせるために必要となる推論問題の表現方法について学びます。また、推論方法の一つである命題論理について学びます。				
	第6回 推論Ⅱ(テキストの第5章)				
	推論方法の一つである述語論理について学びます。				
	第7回 推論Ⅲ(テキストの第5章)				
	命題論理と述語論理について整理します。また、人工知能(推論)用プログラミング言語である Prolog について学びます。				
	第8回 推論Ⅳ				
Prolog を利用して簡単な推論問題をプログラミングし、コンピュータに推論問題を解いてもらう実習を行います。					
第9回 ファジィ(テキストの第10章)					
1990年代に一世を風靡したファジィ家電などの「ファジィ」について、それがどういうものなのかについて学びます。					
第10回 強化学習(テキストの第11章)					
動物の脳の大脳基底核で行われている強化学習について学びます。また、強化学習をコンピュータ上に実現することにより何ができるのかについて学びます。					
第11回 前回までの復習					
第10回までに学んだことの復習を行います。					
第12回 ニューラルネットワーク(テキストの第12章)					
脳の神経細胞網(ニューラルネットワーク)をコンピュータ上にどのように実現するのかについて学びます。また、そのコンピュータ上に実現されたニューラルネットワークに何ができるのかについて学びます。					
第13回 遺伝的アルゴリズム(テキストの第13章)					
生物の遺伝の仕組みをコンピュータ上にどのように実現するのかについて学びます。また、そのコンピュータ上に実現された遺伝の仕組み(遺伝的アルゴリズム)に何ができるのかについて学びます。					
第14回 最新トピックス					
知能情報学において現在どのような研究が行われているのか最新のトピックスについて学びます。					
第15回 筆記試験					
第1回から第14回までの学習内容の理解度を確かめるために筆記試験を行います。					
成績評価方法	単位修得試験の結果(50%)と第1回~14回までの授業受講状況(50%)により総合的に評価します。				
教科書	著書 『人工知能の基礎』 著者 小林一郎 出版社 サイエンス社 出版年度 2010年4月10日 1版 ISBN 9784781912172				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 演習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語表現 I (基礎)	担当教員	堂村 由香里
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標 あらゆる分野の人にとって必要とされる英語の基礎力を身につけることを目標とします。(1)現在、過去、未来、そして進行中の出来事の表現 (2)疑問文の作り方 (3)受動態、不定詞、動名詞の用法 (4)比較級 (5)分詞、接続詞の働き などについて学びます。

学習の進め方 この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。教科書に掲載している問題はオンデマンド教材で答え合わせを行います。各 Unit の学習の最後には確認テストがありますので、確認テストを終わらせ、次の Unit に進みましょう (なお、教科書付属の CD-ROM はこの科目では使いません。練習問題が入っていますので、発展学習を希望する方はご参照ください)。

	概 要	課 題
学習内容	Unit 1 I Love Music! 現在形、現在進行形：友人とのあいさつ→自己紹介をする	確認テスト
	Unit 2 Cherry Blossoms are Special. 過去形、過去進行形：お花見に行く→文化を紹介する	確認テスト
	Unit 3 Life in Japan 未来表現：学校生活について→予定を語る	確認テスト
	Unit 4 Shopping for Beautiful Eyes 助動詞(1)：薬局での買い物→商品をたずねる	確認テスト
	Unit 5 I Love Sports! 疑問文(1) what, who：スポーツのたのしみ→意見を言う	確認テスト
	Unit 6 A Part-time Job 疑問文(2) when, where, why, how：アルバイト探し→条件をたずねる	確認テスト
	Unit 7 Love and Peace 受動態：音楽のメッセージ→夢を語る	確認テスト
	Unit 8 "Cosplay" is Cool! 不定詞：コスプレコンテスト→推量する	確認テスト
	Unit 9 Africa or Italy? 動名詞：海外旅行の行き先→興味を語る	確認テスト
	Unit 10 No Smoking, Please. 分詞：タバコのマナー→忠告する	確認テスト
	Unit 11 Let's Go to a Movie! 助動詞(2)：映画のストーリー→病状を説明する	確認テスト
	Unit 12 Which Class is Better? 原級・比較級比較：クラス登録のアドバイス→比較する	確認テスト
	Unit 13 The Best Concert 最上級比較：デートの誘い→友人を誘う	確認テスト
	Unit 14 To Chicago, Please. 接続詞：ネットでチケット手配→手順を説明する	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)	
教科書	著書 『English Quest Intro』 著者 酒井志延・清田洋一・大崎さつき・田辺 章・箕輪美里・Michael Farquharson 出版社 ビアソン桐原 出版年度 2011年8月20日 初版 ISBN 9784342547409	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語表現Ⅱ（応用）	担当教員	西村 道信
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語表現上の違いが理解できる。 ・日常的な会話表現から文章表現まで学習し、比較することにより、その違いを説明できる。 ・ネイティブの話し方や速度に慣れ、正確に聞き取ることができ、コミュニケーションができる。 				
学習の進め方	<p>この授業では、配布された教科書を読み、各自で学習していただきます。学習の進め方は、教科書の指示通りに学習して下さい。先ず予備学習から始めます。</p> <p>次に付属のDVDを観てNEWS STORYを聞き取り、空白を埋めます。</p> <p>その後で、内容理解の問題を解いて下さい。</p> <p>ただし、NEWS STORYの空白部分は聞き取りが難しいものもありますので、答えをオンデマンド教材で確認できるようにしてあります。どうぞ学習に活用して下さい。</p> <p>教科書はUnit 1からUnit 15までであり、各Unitが終わる毎に確認テストがあります。そして確認テストがすべて終了した後、単位修得試験を受けることになります。</p>				
学習内容	概 要		課 題		
	Unit 1 A Crusader's Life: Granny D	89歳の時、アメリカを徒歩横断したグラニー D の政治運動			確認テスト
	Unit 2 American Heart: An Amazing Idea	環境に優しい校舎とはどんな校舎なのか			確認テスト
	Unit 3 American Roads: Safer than Ever	ハイウェイで事故が減少しているのは何が要因となっているのか			確認テスト
	Unit 4 Culture Crash: Veil Bans	自由の国フランスで服装に規制がかかった理由とは何か			確認テスト
	Unit 5 Making the Grade: Girls' Advantage	男女の生徒間にはどのような学力差があるのか			確認テスト
	Unit 6 Missing Link: Major Discovery	考古学者の9歳の息子が考古学上の大発見をする			確認テスト
	Unit 7 American Heart: Helping the Community	地元に貢献しながら不景気を乗り切る会社の経営方針とは何か			確認テスト
	Unit 8 Homeless Heroes: Struggling Women Veterans	退役軍人女性の現状を捉え、社会問題を考える			確認テスト
	Unit 9 Lunchroom Rebellion: Crusade Against Junk Food	生徒がジャンクフードの昼食に抗議をするために立ち上がる			確認テスト
	Unit 10 Portrait of America: Identity Issues and the Census	国勢調査に見る他民族国家アメリカの素顔			確認テスト
	Unit 11 Music and the Brain	バイオリン奏者に行った驚異的な脳外科手術の奇跡的な方法とは何か			確認テスト
	Unit 12 Saving America's Middle Class	中流階級の現状とアメリカ財力の原動力を探る			確認テスト
	Unit 13 Law of the Land: Obama Signs Healthcare Bill	すべてのアメリカ国民に健康保険を適用するにはどのような問題があったのか			確認テスト
	Unit 14 Persons of the Week: Bird Songs	鳥の鳴き声は人間に何を教えてくれるのか			確認テスト
	Unit 15 Nuclear Deal	核のない世界を目指して米露間で結ばれた画期的な協定			確認テスト
成績評価方法	確認テスト (50%)、単位修得試験 (50%) の総合評価とする。				
教科書	著書 『ABC World News 13』 著者 山根茂他編 出版社 金星堂 出版年度 2011年3月31日 1版 ISBN 9784764738089				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語教育	担当教員	石谷 春奈
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	2008年に学習指導要領が改訂され小学校教育に「外国語活動」として英語が取り入れられることとなり、日本における英語教育は大きく変化をしようとしている。また、英語教育においてコミュニケーション能力を養成することがますます重視され、英語教師に求められる資質と能力も時代とともに変わろうとしている。本講座では、英語科授業を構成するために必要な基本的な知識を学び、これからの英語教師にもとめられる力とは何か、を様々な視点から考える。	
学習の進め方	この授業は、主に教科書を学習して進めます。解説を丁寧に読んで理解しましょう。各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みましょう。	
	概 要	課 題
学習内容	第1章 英語科授業構成の基礎知識 わが国の学習指導要領の変遷をみながら、今後の英語教育のありかたを考える。また、カリキュラム、シラバス、年間計画の立案といった授業構成の基礎について学ぶ。	確認テスト、 小レポート
	第2章 教材を見る視点 (教材研究) 中学校・高等学校において教材研究をする視点として、語彙と文構造の視点、談話と文体と文章構成の視点、文化理解の視点を取りあげ、指導の留意点を学ぶ。	確認テスト、 小レポート
	第3章 教材を使う視点 教材を使う視点として、一つ目に学習者のタイプの分析と教材の選択、二つ目にリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの英語4技能と教材の選択、三つ目に教材改作の方法として付加、削除、簡略化、提示順序変更を理解する。	確認テスト、 小レポート
	第4章 英語科授業構成の考え方 英語科授業の計画をする際に、まず重要な中・長期的な目標設定について理解する。さらに、3つの授業構成のアプローチ——伝統的な英語科授業構成、コミュニケーションタスク型の授業構成、総合型の英語科授業構成を学ぶ。	確認テスト、 小レポート
	第5章 英語科授業の展開 授業を進める際の基本事項として具体例をみながら、指導案の作成方法、アクティビティの準備、基本的指導技術について学ぶ。	確認テスト、 小レポート
	第6章 英語科評価の新動向 多様な英語科の評価方法について、まず、教育測定の考え方を習得し、さらにそのほかの評価方法に関して違いや狙いを理解する。また、現在の日本の教育現場における評価の実際と新しい評価の流れについても学ぶ。	確認テスト、 小レポート
	第7章 開発する視点とその方法 教材、カリキュラム、テストを教師みずから開発することの必要性、手順と方法、評価について理解する。	確認テスト、 小レポート
	第8章 これからの英語教育と英語教師に求められる力 海外における英語教育の動向と国内での動きを踏まえて、英語教師に求められる能力と資質について学習する。	確認テスト、 小レポート
成績評価方法	各章ごとの確認テスト (40%)、各章ごと的小レポート (20%)、単位修得試験 (40%)	
教科書	著書 『新しい学びを拓く 英語科授業の理論と実践』 著者 三浦省吾、深澤清治 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2011年3月30日 初版 ISBN 9784623053025	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語 A (実用文法)	担当教員	石谷 春奈
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	実社会で英文を作成するために、多様な場面で的確な英語を運用する力を身につけることを目標とする。「依頼・勧誘の方」など発想別に組み立てられた教科書を使用して、それぞれの目的に相応しい英文法を使い分ける学習をする。				
学習の進め方	この授業は、主に教科書を学習して進めます。各章の解説をよく読んで理解してから、例文を一つずつ丁寧に見てください。わからない単語や語句は必ず辞書で調べ、すべての例文を和訳してみましょう。解説は、運用方法を中心に書かれていますので、基本的な文法については別に文法書を一冊手元に置いておくことをおすすめします。一通り理解できたら教科書の「EXERCISES」をし、オンデマンド教材で答えを確認して下さい。各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 現在の表し方	現在のことを表す文法形式として、単純現在時制、現在進行形、現在完了形、現在完了進行形を学習する。			小テスト
	第2章 過去の表し方	過去のことを表す文法形式として、単純過去時制、過去進行形、過去完了形、過去完了進行形を学習する。			小テスト
	第3章 未来の表し方	主語の意思や話し手の意図と関係のない未来の出来事や状態を表す文法形式を学習する。			小テスト
	第4章 仮定の表し方	仮定・条件を表すには、話し手の取る態度によって開放条件と却下条件の二つがあり、文法形式として仮定法過去と仮定法過去完了を学習する。			小テスト
	第5章 使役の表し方	使役とは、誰かに何かをさせることである。使役を表すさまざまな動詞を学習する。			小テスト
	第6章 命令の表し方	命令とは、誰かに何かを言いつけることである。直接命令のほか、間接命令、助動詞を使った命令を学習する。			小テスト
	第7章 許可の表し方	相手の願っていることを許す場合、相手に許しを請う場合の2つの許可の表現を学習する。			小テスト
	第8章 依頼・勧誘の表し方	依頼・勧誘とは話し手が利益を受けるために、人に何かを頼んだり誘ったりすることである。助動詞、法、テンス、相などを利用して、相手の意思や能力を尋ねる表現を学習する。			小テスト
	第9章 提案の表し方	提案とは、こうしたらどうかと自分の意見や考えを提起することである。話し手（自分）を含む表現、含めない表現を学習する。			小テスト
	第10章 意図・決意の表し方	助動詞や動詞を使って、意図や決意を表す学習をする。			小テスト
	第11章 推量・可能性の表し方	推量・可能性は、話し手が自分の述べる事柄に関してどの程度事実であるか、あるいは可能であるか、という話し手の判断・態度を表明することである。助動詞、副詞による表現を学習する。			小テスト
	第12章 原因・理由の表し方	原因・理由を表す文法として、接続詞、前置詞、to 不定詞や that 節、副詞などを学習する。			小テスト
	第13章 目的・結果の表し方	目的を表す文法として、to 不定詞や that 節など、結果を表す文法として接続詞、副詞や so/such...that 構文などを学習する。			小テスト
	第14章 譲歩・様態の表し方	譲歩・様態を表す文法として、副詞節や群前置詞などを学習する。			小テスト
	第15章 比較の表し方	2つの事柄を比較し特性の度合いが等しいことを示す場合は as...as、程度に差があることを示す場合は「比較級 + than」、3つ以上の事柄の中で度合いの特性が最も高いことを示す場合は最上級で表すことを学習する。			小テスト
	第16章 強調の表し方	強調語、再帰代名詞、It is...that 構文などさまざまな文法的手段によって強調する方法を学習する。			小テスト
成績評価方法	各章ごとの小テスト (60%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『コミュニケーションのための英文法・英作文』 著者 岸野英治 出版社 英宝社 出版年度 2011年 3月 1日 ISBN 9784269320185				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語B (翻訳)	担当教員	目下 元及
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<p>・「直訳」と「翻訳」の違いを理解し、自然な日本語に翻訳するために必要な能力を身につける。</p> <p>・イギリスの文化・政治・社会についての知識を深め、また、学習者みずからそれらの情報を入手できるようになることで、英文学作品をより深く味わえるようになる。</p>				
学習の進め方	<p>この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。学習の手順は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書を予習する 2. 指示に従い、オンデマンド教材で学習する 3. 課題(教科書の指定された箇所を翻訳)に取り組む <p>課題をするときに、手元に英和辞書だけでなく、国語辞書も忘れずに。</p>				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回	イントロダクション：翻訳とは	・「自然な日本語訳」とは何かを学ぶ。 ・教科書である小説とその著者について理解を深める。	レポート	
	第2回	物語冒頭前編：晩餐会にて	・場面を思い描く練習をする。 ・小説を理解するうえで必要な色々な資料に当たる。 教科書 pp.3-4	レポート	
	第3回	物語冒頭後編：バッキンガム宮殿にて	・長文の上手な区切り方、訳し方を学ぶ。 ・it や she などの代名詞の訳し方を学ぶ。 教科書 pp.4-5	レポート	
	第4回	女王による「読書のすゝめ」	・小説の文化/社会背景に関する知識を養う。 ・訳しにくい単語の訳し方を学ぶ。 教科書 pp.22-23	レポート	
	第5回	女王の議会開会	・イギリスの政治的行事に関する知識を養う。 ・長文を正しく理解する練習をする、その1。 教科書 pp.32-33	レポート	
	第6回	女王、首相との定期会見	・「英語らしい表現」の訳し方を学ぶ。 ・長文を正しく理解する練習をする、その2。 教科書 pp.54-55	レポート	
	第7回	女王のクリスマス放送	・イギリスの文化に関する知識を養う。 教科書 pp.58-59	レポート	
	第8回	女王の80歳の誕生日会	・イギリスの現代政治事情を学ぶ。 ・小説の背景知識を持つことが翻訳に役立つことを理解する。 教科書 p.111 & p.116	レポート	
	成績評価方法	各回のレポート(40%)、出席点(課題を全て提出すれば自動的に差し上げます)(20%)、単位修得試験(40%)			
教科書	著書 『The Uncommon Reader』 著者 Alan Bennett 出版社 Faber and Faber ISBN 9781846681332				
参考書(任意購入)	<p>『やんごとなき読者』、アラン・ベネット(市川恵里訳)、白水社、1,995円(税込)、2009年</p> <p>『The Uncommon Reader (オーディオCD)』、Alan Bennett、BBC Audiobooks、1,693円(税込)、2008年</p> <p>『The Queen (DVD:104分)』、Helen Mirren、エイベックス・エンタテインメント、1,995円(税込)、2007年</p> <p>『Translation Studies: Theories and Applications (2nd edition)』、Jeremy Munday、Routledge、2,828円(税込)、2008年(翻訳版)</p> <p>『翻訳学入門』、ジェレミー・マンデイ、鳥飼玖美子、みすず書房、4,515円(税込)、2009年</p> <p>『Aspects of Language and Translation (3rd edition)』、George Steiner、Oxford University Press、1,750円(税込)、1998年</p>				
必須ソフト・ツール					
備考	<p>・英語の小説を読むのに慣れていない方は、教科書の英語を難しめに感じるかもしれません。そのような時は参考文献にある、翻訳『やんごとなき読者』を参考にしてください。ただし参考にするにしても、翻訳本に載っている訳の丸写しや、少しだけ書き換えたものを提出するというのは厳禁です。まず自分の力で訳を作り、どうしても参考にしたい部分だけを見えるようにすること。もちろん、インターネットの翻訳ソフト使用は論外です。レポートの採点は訳の正確さよりも、目標の達成度や努力の結果に重点を置きます。</p> <p>・課題提出には Microsoft の Word が必須です。</p>				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語C (文書作成)	担当教員	石谷 春奈
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な段落構成や件名をつけて、自分の目的に相応しい英文メールを作成することができる。 相手との関係を考慮した英文で自分の気持ちを相手に伝えることができる。 	
学習の進め方	<p>この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。第3、6、9回のレポートは提出後に添削をします。単位修得試験時には添削内容をふまえ、これらレポートを書き直し、提出する必要があります。添削には時間を要するため、第3、6、9回のレポートの提出期限は単位修得試験レポート提出期間の【前日23:59】までとします。</p> <p>例) 単位修得試験レポート提出期間が【10(月)~16(日)】の場合、第3、6、9回レポートの提出期限は【9(日)23:59】となります。</p> <p>※期限を過ぎて提出された場合は、レポート試験提出期間中の添削は保証しかねます。</p>	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 Unit 1 SELF-INTRODUCTION 自己紹介のE-mailが書ける。	確認テスト
	第2回 Unit 2 EXPRESSING THANKS 感謝を伝えるためのE-mailが書ける。	確認テスト
	第3回 Unit 4 CONGRATULATIONS! お祝いの気持ちを伝えるためのE-mailが書ける。	確認テスト、 レポート
	第4回 Unit 7 APOLOGIZING おわびの気持ちを伝えるためのE-mailが書ける。	確認テスト
	第5回 Unit 9 ASKING FOR ADVICE アドバイスを求めるためのE-mailが書ける。	確認テスト
	第6回 Unit 11 MAKING A SUGGESTION 提案するためのE-mailが書ける。	確認テスト、 レポート
	第7回 Unit 12 ASKING A FAVOR 依頼のE-mailが書ける。	確認テスト
	第8回 Unit 14 SENDING A GIFT お礼のE-mailが書ける。	確認テスト
	第9回 Unit 16 A POLITE REQUEST ていねいに依頼するE-mailが書ける。	確認テスト、 レポート
	第10回 Unit 19 MAKING A COMPLAINT 苦情のE-mailが書ける。	確認テスト
成績評価方法	各回の課題(60%)、単位修得試験(40%)	
教科書	著書 『はじめてのEメール英作文』 著者 松居司、フィリップ・ヒンダー 出版社 南雲堂 出版年度 2011年4月11日 ISBN 9784523175049	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語D (英会話)	担当教員	アンドウ・シャーリー・M
レベルナンバ	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	Attend the 3 days of schooling 全授業への出席		資格名	
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学 (さくら夙川キャンパス)			

学習目標	<p>This course is designed for learners who have a basic knowledge of English grammatical structures and expressions but did not have the chance to use them in a meaningful and communicative way. It will provide a cursory review of the four skills of listening, speaking, reading and writing through active participation in pair work, small discussion groups and short presentations. At the end of the course, learners will be able to achieve some level of confidence in using English practically.</p> <p>このクラスは、基礎的な英文法や英語表現の知識はもっているものの、英語をコミュニケーションの道具として、生き生きとした意味を表す内容をもって使うことのできなかった学習者のためにデザインされました。授業では、ペア練習、小ディスカッショングループ、簡単なプレゼンテーション等、積極的なクラス参加によって、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4要素を「復習」していきます。スクーリング終了後は、学習者が、一定のレベルの自信をもって、実践的に英語を使うことができるようになっていることを目標とします。</p>
------	---

学習の進め方	<p>Students will work in pairs and small groups to practice and reinforce the lessons. There will be many activities that will require students to participate fully and actively, so be ready at all times.</p> <p>ペアまたは小グループで練習を行い英語力を強化していきます。積極的な参加が求められる演習がたくさんありますので、心づもりをしてください。</p>
--------	---

	概 要	課 題
学習内容	1. Introduction of the course Going Back to Basics: The 4 Skills of Listening, Speaking, Reading and Writing: Going through the syllabus and expectations of this class. 基礎にかえる：聞く、話す、読む、書くの4つのスキル：シラバスとこの授業で期待されていることを確認する。	Write down YOUR expectations of the course
	2. Getting to know each other: how do we introduce ourselves. お互いを知る：自己紹介の仕方	One-minute self introductions
	3. Overcoming fear of English: What you need to know to overcome the fear. 英語への恐怖心を克服する：英語に対する恐怖心を克服するには何が必要か。	Examining your fear of speaking English
	4. The Basics of listening, speaking, reading and writing: let's listen, speak some, read and write. 聞く、話す、読む、書くの基礎：聞いて、話して、読んで、書いてみよう。	
	5. More listening, speaking, reading and writing practice. Quiz. もっと聞いて、話して、読んで、書いて練習する。クイズ。	
	6. Using and practicing your English with My Friends from All over the World Prepare for the coming of the native English friends. Who are they? 世界各国の私の友達と英語を使って練習する：ネイティブスピーカーを迎えて。誰がやってくるのでしょうか。	
	7. How to ask questions and how to answer questions. 質問の仕方と答え方。	Formulating questions
	8. Panel of native English speakers with questions and answers session ネイティブスピーカーを囲んでQ&Aセッションを実際に行う。	
	9. Appropriate gestures and manners for successful communication 上手なコミュニケーションのためのジェスチャーとマナー	
	10. Breaking down barriers of communication: Quiz コミュニケーションの壁を打ち破る。クイズ	
	11. Review of what we have learned through simulations ロールプレイなどを使い、それまでに学習した内容を復習する。	
	12. Let's travel! 旅に出よう！	
	13. Shopping in your favorite mall. お気に入りの店で買い物をする。	
	14. Going out to dine, and making reservations on the phone. 電話でレストランの予約をする。	
	15. Feedback from students and final test. 授業の感想と最終テスト	
成績評価方法	<p>A test will be given just before the end of each day to assess if students are learning the materials. Participation is more than 50 percent of the grade. Students must participate in this class.</p> <p>各日の最後にその日学習したことの確認テストを行います。授業への参加が評価の50%以上を占めますので、積極的に参加することが求められます。Quizzes/クイズ20%、tests/テスト30%、and participation and attendance/授業参加態度と出席50%</p>	
教科書	<p>著書 World English: Real People, Real Places, Real Language Level 1 Student Book with Student CD-ROM 著者 Kristin L. Johannsen, Martin Milner, and Rebecca Tarver Chase 出版社 CENGAGE Learning ISBN 9781424051021</p>	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限数 演習40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	韓国語Ⅰ（基礎）	担当教員	村上 純
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	韓国語の入門講座として、文字（ハングル）の読み方とその発音練習、簡単な単語や文法および会話の表現などを学習し、韓国語に対する基礎知識を身につけることを目標としている。	
学習の進め方	各回の授業ごとに文字・単語・文法・会話のコーナーがあり、それぞれ講義画面やスキット映像を視聴しながら学習を進める。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 まずは基本の母音から学びましょう／アンニョンハセヨ	小テスト
	文字 基本母音 単語 家族を表すことば 文法 語順について 会話 「アンニョンハセヨ（こんにちは）」	
	第2回 基本子音を学びましょう／カムサハムニダ	小テスト
	文字 基本子音 単語 自分や相手を表すことば 文法 文体について 会話 「カムサハムニダ（ありがとうございます）」	
	第3回 平音・激音・濃音を学びましょう／アンニョンヒ ケセヨ	小テスト
	文字 平音・激音・濃音 単語 国を表すことば 文法 「名詞＋ です／ですか」 会話 「アンニョンヒ ケセヨ（さようなら）」	
第4回 複合母音を学びましょう／マシッソヨ	小テスト	
文字 複合母音 単語 食べ物を表すことば 文法 「はい／いいえ」 会話 「マシッソヨ（おいしいです）」		
第5回 パッチムを学びましょう／ケンチャナヨ	小テスト	
文字 パッチム 単語 数を表すことば 文法 「～は」「～が」「～も」「～と」 会話 「ケンチャナヨ（だいじょうぶです）」		
成績評価方法	小テスト（50%）、単位修得試験（50%）	
教科書	著書 『はじめての韓国語レッスン』 著者 張起権、村上純 出版社 Hi-Media 出版年度 2010年3月1日	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	韓国語Ⅱ（応用）	担当教員	村上 純
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	韓国語の基礎の段階から、応用の段階へステップアップをはかる。 韓国語を用いて様々な学習活動を行う。 受講生同士のコミュニケーションを図りながら、韓国語学習に楽しく取り組む。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材、オンデマンド教材を副教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 コンピューターでハングルを書いてみよう パソコン上でハングルの文字を表す方法を学ぶ	レポート
	第2回 名前や地名をハングルで表してみよう 自分の名前や地名など、日本語の固有名詞をハングルで表す方法を学ぶ	レポート
	第3回 韓国語でプロフィールを作成してみよう 自分を紹介するプロフィールを韓国語で作成する	プレゼンテーション
	第4回 数の表現を学んでみよう 韓国語の数字体系について学び、それを用いた様々な表現を学ぶ	確認テスト
	第5回 いろいろな文章表現を学んでみよう 文章の作り方のパターンを学び、それを用いた応用練習を行う	確認テスト
	第6回 韓国語の歌を聞いてみよう 歌を通して韓国語を学ぶ	ディスカッション
	第7回 韓国レストランに行ってみよう 食事に関する韓国語や料理の注文の仕方などを学ぶ	ディスカッション
	第8回 韓国語でビデオレポートを作成してみよう 授業で学んだ内容を生かし、韓国語でビデオレポートを作成する	ビデオレポート、 ディスカッション
	成績評価方法	課題（50%）、単位修得試験（50%）
教科書	著書 『Let's enjoy ハングル』 著者 村上純 出版社 有限会社 国宗 出版年度 2011年4月20日	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール	Web カメラ、マイク	
備 考	第8回にてビデオレポートを作成するため、パソコン上で録画・録音の可能な Web カメラ、マイクが必要になります。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	中国語Ⅰ（基礎）	担当教員	高村 麻実
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	初心者を対象として、中国語を基礎から訓練します。発音と基本構造を学び、中国語に慣れるとともに、実践的な運用力を身につけてゆきます。中盤（第10回まで）修了で中国語検定試験（日本中国語検定協会）準4級レベル、すべての授業を修了した段階で同検定試験4級レベルの内容となります。				
学習の進め方	序盤（第1回～第5回）は、学習を進めていく上で最低限必要な事項として、まず発音の訓練から始め、発音表記（ピンイン）を正しく行うことを要求します。中盤（第6回～第10回）では、平易な会話文を用いて、簡体字を正しく書くとともに、基本的な語法（文法）のルールを理解することに重点を置きます。終盤（第11回～第15回）では、平易な中国語を聞き、話すことができるよう訓練し、中国語の基礎を完成させます。通常の講義科目とは異なり、授業を1～2回聞いただけでは身につけません。無理に1クールで終了させようとせず、繰り返し受講し、各回の内容をほぼ完全に理解してから次の回に進んでください。（何となく理解したつもりで次へ進んでしまうと、試験で得点できず、単位修得が困難となります。）				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 「こんにちは。」你好！	この授業で取り扱う中国語について概説します。単語の発音やあいさつ語の練習を通して、中国語の声調と子音の一部について学びましょう（P.9～P.12）。ほぼ完全に理解できたら、第2回へ進んでください。			ドリル
	第2回 「わたしたちはサッカーをします。」我们踢足球。	単語の発音やあいさつ語の練習を通して、中国語の母音、子音（無気音・有気音）、人称代詞、疑問文について学びましょう（P.13～P.16）。ほぼ完全に理解できたら、第3回へ進んでください。			ドリル
	第3回 「わたしは学生です。」我是学生。	単語の発音やあいさつ語の練習を通して、中国語の子音（そり舌音）、母音（はねる音）、判断・否定・推量・勧誘・命令の表現について学びましょう（P.17～P.20）。ほぼ完全に理解できたら、第4回へ進んでください。			ドリル
	第4回 「それは何ですか。」那是什么？	単語の発音やあいさつ語の練習を通して、指示代詞、疑問詞疑問文、構造助詞・副詞の用法について学びましょう（P.21～P.24）。ほぼ完全に理解できたら、第5回へ進んでください。			ドリル
	第5回 「よろしくをお願いします。」请多关照！	自己紹介の練習を通して、形容詞述語文、「ある；いる」の表現などについて学びましょう（P.25～P.28）。この回までにはほぼ完全に理解できたら、第1回チェックテストを受験してください。なお、第6回へ進むためには、このテストで80%以上得点することが条件となります。（テキスト等を見ながら受験してもよく、何回でも受験できます。）			ドリル、 第1回チェックテスト
	第6回 「中国語は難しいですか。」汉语难不难？	数の数え方、モノの数え方、反復疑問文について学びます。（P.29～P.31）「ちょっと…する」という表現、数のたずね方について学びましょう（P.30～P.32）。ほぼ完全に理解できたら、第7回へ進んでください。			ドリル
	第7回 「いま何時ですか。」现在几点钟？	日付や時刻の表現、前置詞「跟」と「在」、動詞が2つある文、モノを指す表現について学びましょう（P.33～P.36）。ほぼ完全に理解できたら、第8回へ進んでください。			ドリル
	第8回 「なにが食べたいですか。」你要吃什么？	状況の変化・到達、完了・経験の表現、前置詞「要」と「想」について学びましょう（P.37～P.40）。ほぼ完全に理解できたら、第8回へ進んでください。			ドリル
	第9回 「わたしは車の運転ができません。」我不会开汽车。	「できる」という表現、程度の表現、方法・理由のたずね方について学びましょう（P.41～P.44）。ほぼ完全に理解できたら、第10回へ進んでください。			ドリル
	第10回 「私達は日本語で語り合うことができます。」我们用日语交谈。	いろいろな前置詞、動作の結果、動作が並行するときの表現、時間の長さの表現について学びましょう（P.46～P.48）。この回までにはほぼ完全に理解できたら、第2回チェックテストを受験してください。なお、第11回へ進むためには、このテストで80%以上得点することが条件となります。（テキスト等を見ながら受験してもよく、何回でも受験できます。）			ドリル、 第2回チェックテスト
	第11回 「どれぐらいの時間がかかりますか。」要多长时间？	程度や数量のたずね方、比較の表現、2つの「少し」、禁止の表現、いろいろな形容詞について学びましょう（P.49～P.52）。ほぼ完全に理解できたら、第12回へ進んでください。			ドリル
	第12回 「日本の歌を聞いています。」在听日本歌曲呢。	進行、差し迫ったときの表現、存在・出現・消失の表現について学びましょう（P.53～P.56）。ほぼ完全に理解できたら、第13回へ進んでください。			ドリル
	第13回 「まだ買えますか。」还买得到吗？	動作の方向、状況を強調する文、可能・不可能、値段の表現について学びましょう（P.57～P.60）。ほぼ完全に理解できたら、第14回へ進んでください。			ドリル
	第14回 「あなたは1冊買うべきです。」你应该买一本。	前置詞「把」の用法と注意点、不定の疑問詞、「…ねばならない」の表現について学びましょう（P.61～P.64）。ほぼ完全に理解できたら、第15回へ進んでください。			ドリル
	第15回 「ほんとうに驚きました。」真叫人惊叹。	使役、受身の表現、兼語文について学びましょう（P.65～P.68）。この回まで全体を十分に学習し、単位修得試験を受けてください。単位修得試験は、筆記試験です。特に漢字（簡体字）およびピンインの表記については、十分に復習をしておいてください。			ドリル
成績評価方法	単位修得試験（100%）により評価する。				
教科書	著書 『フレッシュ中国語（改訂版）』 著者 渡辺晴夫、楊幸雄、高村麻実 出版社 白水社 出版年度 2010年3月30日 ISBN 9784560017449				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	中国語Ⅱ（応用）	担当教員	相場 美紀子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	正しい発音を身につける。 基本の文法事項を豊富な用例を通して身につける。 中国語であいさつや自己紹介ができるようになる。 短いフレーズや会話を声に出して言えるようになる、聞きとることができるようになる。				
学習の進め方	中国語Ⅰで学んだ文法事項をもとに、発音する力と聞きとる力を身につけることを目標としています。教科書とは別に、用例や練習問題、会話などを随所に盛り込んで、より理解を深められるような構成になっています。 このため、各回の終わりで確認クイズを実施して聞き取る力をチェックします。 また、教科書付属CDを用いて毎回音読課題を提出して頂きます。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 復習課	中国語Ⅰで学んだ事項を中心に文法事項のおさらいをします。			アンケート、ディスカッション
	第2回 第1課 強調構文“是～的”	強調構文“是～的”、“～は…なのである”という表現、反復疑問文、～から、～したばかりの使い方などを学びます。			ビデオレポート
	第3回 第2課 離 時間量	時刻の表現、“～すべき”という意味の助動詞などを学びます。			ビデオレポート
	第4回 第3課 几点？ 该	時刻の表現、“～すべき”という意味の助動詞などを学びます。			ビデオレポート
	第5回 第4課 可以、連動文	助動詞“～していい”、連動文の作り方、勧誘の助詞などを学びます。			ビデオレポート
	第6回 第5課 一下 会/能/可以	動量詞“ちょっと”、助動詞“できる”の使い分け、“～に…する”という表現などを学びます。			ビデオレポート
	第7回 第6課 結果補語、一点都不	結果補語、“少しも～ではない”という表現などを学びます。			ビデオレポート
	第8回 第7課 代動詞、比較、可能補語	積極的動作を表す代動詞、比較表現、可能補語について学びます。			ビデオレポート
	第9回 第8課 应该 不要/别/不用 怎么样	助動詞“～すべき”、禁止表現と不必要の表現の違い、“どうですか”具合をたずねる疑問表現などを学びます。			ビデオレポート
	第10回 第9課 没 把 方向補語	没の2つの用法、処置式構文“把”、方向補語の使い方、駅や道路、方向に関する単語や表現などを学びます。			ビデオレポート
	第11回 第10課 让、兼語文、A和B一样	使役構文、兼語文、AとBは同じ、現在進行形、漢字の種類などを学びます。			ビデオレポート
	第12回 第11課 様態補語、越来越 被	様態補語、受け身構文、ますます～になるという表現などを学びます。			ビデオレポート
	第13回 第12課 正在 一边A一边B	現在進行形（その2）、～しながら～するという表現などを学びます。			ビデオレポート
成績評価方法	毎回指定する課題（50%）と単位修得試験（50%）より総合的に評価します。				
教科書	著書 『聴ける話せる中国語 応用編』 著者 古川典代 出版社 朝日出版社 出版年度 2011年1月9日 初版 ISBN 9784764706842				
参考書 (任意購入)	辞書の一例 『中国語辞典』、白水社				
必須ソフト・ツール	マイク				
備考	NHK テレビ講座『テレビで中国語』、NHK ラジオ講座『まいにち中国語』の聴講を推奨します。 ピンイン入力による課題提出ができない場合、別途ご相談ください。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

卒 業 研 究

教員名	芦原 直哉
研究テーマ	「企業経営研究」
授業概要	<p>本卒業研究は特定の企業、あるいは業種についてその経営を分析研究し、論文に著す。 【授業の進め方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4月～7月は研究テーマに関する課題を与えます。 課題に関する資料を集めパワーポイントの資料にまとめてWEB提出してください。 課題例：特定企業の強みと弱みを分析しなさい。 2. 8月～9月 <ol style="list-style-type: none"> ①面接授業を実施し、研究テーマを絞り込む。 ②テーマに従って論文のスケルトンを作成する。 ③論文要旨を書き上げる。(4000字程度) 3. 9月～12月 <ol style="list-style-type: none"> ①スケルトンを埋める形で論文を書いていく。 ②書いた論文をメール等で指導する。 ③必要に応じて面接授業を行う。 4. 12月 最終の面接授業を行い、書き上げた論文の最終指導を行う。
卒論テーマ	<ol style="list-style-type: none"> ① 「○○企業の今後の戦略展望」 ② 「△●企業再生シナリオ」 ③ 「●△企業躍進に果たした経営理念の役割」 ④ 「●○企業の不祥事事件の背景と再生」 ⑤ 「■○企業の組織と戦略」 ⑥ 「○○産業の展望と成長戦略」
先修条件	「経営戦略事例研究」 を修得していること
授業の運営方法	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。 回 数：「面接指導」1回以上を含み、2～3回程度必要に応じて行う。 時 期：「面接指導」は8月または9月、「通信指導」は随時実施する。 その他：特になし。</p>
履修生に伝えたいこと	論文の書き方を伝授します。意外に簡単だと驚きます。

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。
平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。
最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

教員名	浦畑 育生
研究テーマ	「現代社会と自然科学」 「現代社会と科学技術」 「現代社会と大学教育」 「現代社会と海洋レジャー」
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマに関連する内容を学生自身に調べさせ、考えさせ、まとめさせ、発表させる。 2. 面談やネット会議システムを使ってマンツーマンの個別指導を行う。(10回程度)。 3. メール等による個別指導は随時行う(月2回程度) 4. 関連書籍や論文、資料等を20～30程度読んで理解してもらう。 5. 既定の分量の卒論をまとめ、7分程度のプレゼン発表してもらう。
卒論テーマ	<ol style="list-style-type: none"> ① 「これからのテレビ」 ② 「これからの自動車」 ③ 「これからの家」 ④ 「これからの大学」 ⑤ 「釣りを科学する」
先修条件	特になし
授業の運営方法	<p>方 法：面談、ネット会議システム、メール 回 数：面談&ネット会議システム(10回程度)、メール(30回程度) 時 期：随時 その他：特になし</p>
履修生に伝えたいこと	<p>新聞、雑誌、サイト、関連テレビ番組等は日々チェックしておくように心がけること。毎日毎日の積み重ねが大切である。 卒業研究を受講する前に最低1年間は続けること。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus(エルキャンパス)のお知らせでご確認ください。

教員名	川口 宏海
研究テーマ	<p>「日本考古学に関する研究」 「生活文化（衣・食・住）の歴史に関する研究」 「都市の歴史に関する研究」 「人間環境の歴史に関する研究」 など</p>
授業概要	<p>日本の歴史や、考古学に関する研究、特に都市の歴史や生活文化（衣・食・住）の歴史、あるいは人間環境の歴史、産業の歴史などを専門としているので、それに近いテーマであればかまわない。江戸時代や明治時代でもかまわない。</p> <p>文献史料や考古資料を使って、歴史を解明し、新たな発見をしていけるように指導を行う。過去を振り返ることによって、今後の日本が歩むべき道、あるいは私たちが歩むべき道を見つけていきたい。</p>
卒論テーマ	<p>① 「前方後円墳の変遷に関する研究」 ② 「奈良時代の衣・食・住に関する研究」 ③ 「中世都市鎌倉の都市構造に関する研究」 ④ 「巨大都市江戸のごみ問題に関する研究」 ⑤ 「近世酒造業の発展に関する研究」 など</p>
先修条件	<p>「考古学の世界」 を修得していること</p>
授業の運営方法	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。 回 数：「面接指導」は進捗状況に応じて、1回以上適宜行う。 時 期：「面接指導」は8月または9月と進み具合によって適宜行う。「通信指導」は随時実施する。 その他：テーマに応じた現地見学や資料調査を指示することがある。 方法や行き先などは相談の上進める。</p>
履修生に伝えたいこと	<p>楽しんで論文を書き、思い出に残るような経験にしてほしい。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせをご確認ください。

<p>教員名</p>	<p>二階堂 達郎</p>
<p>研究テーマ</p>	<p>「わが国の家計をめぐる諸問題の現状の分析と考察」</p>
<p>授業概要</p>	<p>家計、社会福祉、社会保障、消費者問題など、現代社会における家庭の経営にかかわる諸問題の中から、テーマを自分で選択し、必要な資料を調査・収集し、分析し、自らの考察を行って、論文の形にまとめる。</p> <p>現代の社会に生きる社会人として身につけておくことが求められる諸問題について、主に経済的な側面から追究することによって、それらについての理解を深めることをめざす。そして、こうした作業を通じて、問題解決能力や物事についての洞察力を養うとともに、経済的な考え方についても身につけてもらうことを狙いとする。</p>
<p>卒論テーマ</p>	<p>① 「勤労者世帯の家計収支とその構成の変化についての研究」 ② 「家事労働の世帯類型ごとに見られる動向と特徴についての研究」 ③ 「高齢者世帯の家計収支の現状と動向についての研究」 ④ 「ライフステージごとの家計収支の特徴と変化についての研究」 ⑤ 「近年の消費者被害と消費者行政の対応についての研究」</p>
<p>先修条件</p>	<p>「家庭の経営」 を修得していること</p> <p>「消費者のための法律知識」 「暮らしの安全と消費者問題」 「暮らしから見る福祉」 のうち、1科目以上を修得していること</p>
<p>授業の運営方法</p>	<p>方 法：「通信指導」を主として、「面接指導」を必要に応じて実施する。 回 数：「通信指導」は必要に応じて実施し、「面接指導」は3回以上実施する。 時 期：「面接指導」は相互に調整して実施し、「通信指導」は随時実施する。 その他：特になし。</p>
<p>履修生に伝えたいこと</p>	

* 記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容については el-Campus (エルキャンパス) のお知らせでご確認ください。

教員名	西村 道信
研究テーマ	「英文の文体研究」
授業概要	<p>英文の文体的特徴をコンピュータを使用して解明する。対象とする英文は、文学でも、メディアの英語でも、歌の歌詞でもよい。それぞれの英文には、作者自身の特徴が現れることもあれば、ジャンル毎の特徴が見られることも多い。</p> <p>研究内容としては、ある作者についての英文の特徴を探り出したり、別の作者との対比をしたり、英字新聞や英文雑誌、あるいはウェブ上の英文の比較研究を行う。また、英文コーパスの利用と作成の仕方も解説する。そしてその際に使用するソフトウェアはフリーのものを紹介し、使用方法も詳しく指導する。</p>
卒論テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 「作家の文体解析」 ② 「新聞の文体」 ③ 「メディアの英文の特徴」 ④ 「コンピュータによる文体解析」 ⑤ 「コーパス研究」
先修条件	なし
授業の運営方法	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。</p> <p>回 数：「面接指導」1回以上を含み、3回以上行う。</p> <p>時 期：「面接指導」は8月または9月、「通信指導」は随時実施する。</p> <p>その他：特になし</p>
履修生に伝えたいこと	<p>英語とコンピュータの両方に特に興味のある学生を対象とする。コンピュータで英文の処理をするので、ある程度のコンピュータリテラシーが必要。コンピュータ環境はWINDOWSが好ましいが、MACも対応可。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

<p>教員名</p>	<p>野波 侑里</p>
<p>研究テーマ</p>	<p>「医療における治療と癒し」 「西洋医学と代替補完医療」 「健康とボディ・マインド・スピリットの関係」</p>
<p>授業概要</p>	<p>人間の健康・病気について社会・文化的な背景をもとに研究を行う。研究は、基本的には医療人類学の観点から考察を行う。西洋医学の台頭と科学の進歩により人間は様々な病いを克服することができるようになった。一方で医療に関する問題として慢性病の治療や薬害、さらには脳死・臓器移植など人間としての尊厳や価値観に関わる問題も浮き彫りになってきている。</p> <p>そのような中で、ここ数十年にわたって代替補完医療が見直されるようになってきた。代替補完医療の範囲は、中国医学やアーユルベダなどの伝統医学からアロマセラピー・音楽セラピー・ナラティブセラピーなどの新しい医療まで多岐にわたる。さらには、治療や癒しの分野では、従来のボディ・マインドだけでなく、スピリチュアリティを含んだ統合的な試みも進んでいる。</p> <p>では患者は、どのように医療と向き合うのが良いのか。本卒業研究では、医療従事者・患者・患者の家族の立場などから治療とは何か、癒しは治療とどのように関係するのか、健康とは何かなどに関して学生の興味・関心に応じて考察を行う。</p> <p>目標は、健康・病気・医療を切り口として、社会・文化的背景に基づいた様々な考え、価値観から多面的に事象を考察することができるようになることである。</p>
<p>卒論テーマ</p>	<p>① 「慢性病におけるアロマセラピーの治療効果」 ② 「医療現場における医療従事者と患者のナラティブの効果検証」 ③ 「東日本大震災における被災者のグリーフケア」 ④ 「癒しブーム・スピリチュアルブームの医療への影響」 ⑤ 「ホメオパシー医学の日本とイギリスの比較研究」</p>
<p>先修条件</p>	<p>「医学一般」「カウンセリング論」のうち、1科目以上を修得していることが望ましい。 医療人類学についての知識は特に必要なし。</p>
<p>授業の運営方法</p>	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。 回 数：「面接指導」は3回以上行う。 (遠方に在住などで希望があればスカイプによる指導も可) 時 期：「面接指導」は、個人あるいは集団でのディスカッションなど学生と相談の上、決定する。 「通信指導」は随時。 その他：指導方法など、追って連絡することがある。</p>
<p>履修生に伝えたいこと</p>	<p>研究方法として調査を選択する場合、フィールドの確保は学生自身が行う。医療従事者・患者・患者の家族の立場で病気と向き合った身近な経験などから、現代の医療に関わる疑問点を解明したり、新しい可能性に興味のある学生を歓迎します。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

教員名	藤田 昌弘
研究テーマ	「地域社会における情報通信技術（ICT）の利活用に関する調査研究」
授業概要	<p>同じ目的や、趣味や考えを持つ集団や地域住民の間では、ある共通した活動やの交流が発生し、一つの組織体が形成される。この組織体の活動に情報通信技術（ICT）を利用することで、組織の効率化や個人個人の利便性あるいは組織全体の活性化をもたらすことができる。しかし地域社会におけるこの種の組織を対象にした ICT の適用は様々な課題も存在する。例えば、商店街の情報化は地域活動への ICT 導入の典型的な例であるが、その運営主体、参加商店の参加の可否、どのような ICT を導入するかなどの課題が発生する。</p> <p>この社会システムの情報化の具体例やを調査しその評価、情報化の可能性について調査研究を行う。</p>
卒論テーマ	<p>① 「市町村レベルにおける地域情報通信基盤の整備課題」 ② 「商店街の情報化の事例とその評価」 ③ 「地域 SNS の事例とその評価」 ④ 「コミュニティバスにおける ICT の適用可能性」 ⑤ 「町内会活動での情報通信技術の導入研究」 など、受講者と相談して研究テーマを設定する。</p>
先修条件	<p>「社会と情報」 「地域情報化論」 「経営と情報」 「IT ビジネス論」 のうち、1科目以上を修得していることが望ましい。</p>
授業の運営方法	<p>方 法：「通信指導」の手段で研究方法は相談するが、時期を指定して「面接指導」で研究指導する。 回 数：「面接指導」の回数は限定しないが、5回程度は必要と考えている。 時 期：時期は各自相談する。 その他：「面接指導」は他受講者も参考になると考えるので、全員参加のゼミ形式としたい。</p>
履修生に伝えたいこと	卒業研究を希望する場合は、卒業研究の内容・方法などについて事前に面談して、受講を決定する。

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容については el-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

<p>教員名</p>	<p>藤田 道代</p>
<p>研究テーマ</p>	<p>「家族、ジェンダーおよびそれらに関連する事象の考察」</p>
<p>授業概要</p>	<p>家族やジェンダー、および、それらに関連する事象について社会学的視点から、かたい言葉を使えば「考察」する。しかし、広く社会学的な好奇心を持って取り組む意欲があれば、テーマはそれほど厳しく限定しない。可能であれば、履修生個々の関心テーマを中心に展開したい。</p> <p>そこで、履修生個々の卒業論文のテーマを掘り下げるために前半は、文献・資料収集と、その中の主要なものの整理とまとめを行う。平行して、自分自身で行動して調べるフィールドワークに取り組み、卒業論文作成への足掛かりとする。後半は個々の論文作成指導。</p>
<p>卒論テーマ</p>	<p>① 「宮崎駿作品に描かれる家族」 ② 「現代家族の食卓」 ③ 「高齢者介護とジェンダー」 ④ 「少年漫画の変遷と現代社会 一週刊少年ジャンプを代表する3作品の比較検討一」 ⑤ 「男も女もクソ喰らえ 一ヒジュラを通してみるジェンダーの存在意義に関する一考察一」</p>
<p>先修条件</p>	<p>「現代社会と家族」 「少子高齢社会の家族」 「ジェンダーと社会」 のうち、2科目以上を修得していること</p>
<p>授業の運営方法</p>	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。 回 数：「面接指導」2回以上を含み、3回以上行う。 時 期：「面接指導」は4月、8月または9月、12月、「通信指導」は随時実施する。 その他：面接指導の回数は履修生が可能であれば、上記回数には拘らない。</p>
<p>履修生に伝えたいこと</p>	<p>事前の面接選考時に大まかな関心を聞き、関連科目を個別に指導するので、先修条件に挙げた科目はできれば履修して欲しい。 履修希望者には、良い意味で社会学的な好奇心を持って卒業研究のテーマに主体的に取り組む意欲が欲しい。指示待ちのタイプの方は履修しても苦しいかもしれない。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

<p>教員名</p>	<p>堀川 諭</p>
<p>研究テーマ</p>	<p>「精神保健医療の現状と課題」</p>
<p>授業概要</p>	<p>現在、わが国の精神医療はさまざまな問題に直面しています。たとえば、患者数は急増し、疾患は多様化しているのに、精神保健医療体制は十分整備されていない、長期入院患者の比率が高い、社会復帰施設が圧倒的に不足している、一般科に比べて職員数が不足している(低い職員配置基準)、薬物依存病棟や小児・思春期病棟の不足、精神科患者の人権擁護や精神障害に対する偏見・差別の問題、精神科救急医療体制の不備、といった問題です。 この授業では、こうした精神保健医療をめぐる問題について調査・研究したいと思います。</p>
<p>卒論テーマ</p>	<p>①精神病院における長期入院について ②精神障害者の社会復帰について ③薬物依存の治療と社会復帰について ④精神科医療と福祉のかかわりについて ⑤思春期の心を巡る問題について、 などなど。</p> <p>※卒論テーマは、お互いに相談しながら決めたいと思っています。 例としては上記のテーマをあげました。参考にして下さい。</p>
<p>先修条件</p>	<p>「精神保健学」および「医学一般」の2科目を修得していること。</p>
<p>授業の運営方法</p>	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。 回 数：「面接指導」は1回以上行う。 時 期：「面接指導」は9月を予定、「通信指導」は随時行います。</p>
<p>履修生に伝えたいこと</p>	<p>卒論と聞くと何となく難しそうなイメージが湧きますが、コツコツと自分のペースで楽しんでやっていただけたらと思っています。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

<p>教員名</p>	<p>酒井 健</p>
<p>研究テーマ</p>	<p>「臨床心理学とその周辺領域に関する、心理学的研究」</p>
<p>授業概要</p>	<p>臨床心理学およびその周辺領域に関するテーマについて、卒業研究制作を通して深く学ぶ。心理学は実証科学であるということ、また臨床心理学分野における証拠に基づく研究の重視を踏まえて、卒業研究では各自の研究テーマについて調査や実験などを行い、データ分析の結果に基づいて論文作成を行う。 テーマは各自の興味や関心から選んでいくことになるが、そのテーマを研究可能な内容にしておくためにも、積極的な自主学習を期待している。</p>
<p>卒論テーマ</p>	<p>①リラクゼーションの心理効果とパーソナリティの関係 ②親子関係が、その後の対人関係に与える影響について ③学校臨床における、教員への有効なサポートの研究 ④統制の所在と自己コントロール感の関連について ⑤コミュニケーションにおける表情の影響について など</p>
<p>先修条件</p>	<p>「心理学研究法」 「心理学統計法」の2科目を修得していること。 それ以外の心理学関連科目はなるべく多く履修していることが望ましい。 統計ソフトを含め、パソコンの操作にはなるべく習熟するよう準備しておくこと。</p>
<p>授業の運営方法</p>	<p>方 法：「通信指導」及び「面接指導」で行う。 回 数：「面接指導」2回以上を含み、随時行う。 時 期：「面接指導」および「通信指導」は必要に応じて随時実施する。 その他：指導は進み具合などにより適宜変更する場合がある。</p>
<p>履修生に伝えたいこと</p>	<p>卒論テーマで挙げたことはあくまで例ですので、研究雑誌などをみて各自でテーマを温めて臨んで欲しいと思います。卒業研究の作成は、主体的かつ自発的に取り組むほど得られる成果と達成感は大きいと思います。指導はそのお手伝いと思っております。ぜひがんばって取り組んでいただければと思います。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

教員名	仲谷 伸子
研究テーマ	「ライフ・サイクルにおける諸事象の発達心理学的考察」
授業概要	<p>人生の中でのさまざまな事象を発達心理学的に考察し、次の発達段階に何が大切かを考える。また、次の世代にとって何が大切か、について考える。</p> <p>授業内容には、問題とそれともなう適切な研究法について考え、テーマを確定していくことを含む。「卒論テーマ」の欄に例を挙げるが、主体的に、自分が何をしたいのか、それはなぜか、を考えて決定して欲しい。</p>
卒論テーマ	<ol style="list-style-type: none"> ① 「乳児期の模倣の発達の变化」 ② 「幼児期の『イヤ』の持つ意味について」 ③ 「児童期の対人支援行動」 ④ 「青年期の職業観とアイデンティティ」 ⑤ 「中高年期の自己認知における課題」
先修条件	<p>「心理学概論」 「心理学研究法」 「生涯発達心理学」 「心理学統計法」 の4科目すべてを修得していること。</p> <p>下記の「履修生に伝えたいこと」の内容を合わせて確認すること。</p>
授業の運営方法	<p>方 法：通信指導、および面接指導で行う。</p> <p>回 数：「面接指導」数回、「通信指導」は随時。</p> <p>時 期：「面接指導」は、集団での面接・討論を中心に8月を含み随時（追って通知する）。 「通信指導」は随時。</p> <p>その他：指導方法等、追って連絡することがある。</p>
履修生に伝えたいこと	<p>研究方法として調査・実験を行なう場合、そのフィールドの確保も学生自身がおこなう。このとき、研究の倫理をしっかりとわきまえて計画・実施・報告することが必要となる（該当の学生には改めて確認をおこなう）。</p>

*記載内容は、平成26年度「卒業研究」の概要です。

平成27年度については、「教員名」「研究テーマ」「授業概要」「先修条件」等変更する場合があります。

最新の内容についてはel-Campus（エルキャンパス）のお知らせでご確認ください。

《 索 引 》

《 索 引 》

備考欄の（ス）：スクーリング科目

	授業科目名	教 員 名	ページ	備考	
英	IT ビジネス論	竹本 拓治	159		
	NPO/NGO 事例研究	前田 佐保	131	(ス)	
	NPO 概論	前田 佐保	130		
	NPO 法人の設立・運営事例研究	岩山 仁	132	(ス)	
	Web サイト制作Ⅰ（基礎）	畑 耕治郎	145		
	Web サイト制作Ⅱ（応用）	畑 耕治郎	146		
ア	アメリカの文化と歴史	田中 紀子	109	(ス)	
	アメリカ文学	稲積 包昭	113		
	医学一般	堀川 諭	64		
	イギリスの文化と歴史	太田 素子	110		
	イギリス文学	森 道子	114		
	異文化コミュニケーション	安藤 幸一	140		
	インターネット活用	中崎 修一	153		
	宇宙科学	山田 義弘	119		
	英語A（実用文法）	石谷 春奈	168		
	英語B（翻訳）	日下 元及	169		
	英語C（文書作成）	石谷 春奈	170		
	英語D（英会話）	アンドウ・シャーリー・M	171	(ス)	
	英語教育	石谷 春奈	167		
	英語ネゴシエーション	田中 義次	77	(ス)	
	英語表現Ⅰ（基礎）	堂村 由香里	165		
	英語表現Ⅱ（応用）	西村 道信	166		
	英語プレゼンテーション	野坂 純子	76	(ス)	
	エネルギー環境論	蒲生 孝治	136		
	音楽とコミュニケーション	萬 圭介	141		
	オンライン教育概論	合田 美子	162		
	カ	カウンセリング心理学	高橋 紀子/酒井 健/具 英姫	19,94	(ス)
		カウンセリング論	酒井 健/辻野 達也	26	(ス)
		化学概論	岡本 摩耶	121	
学習心理学概論		枚田 香	5		
家庭の経営		二階堂 達郎	41		
環境デザイン		川窪 広明/井之上 節朗/神農 悠聖/松富 謙一/山野 松雄	43		
韓国語Ⅰ（基礎）		村上 純	172		
韓国語Ⅱ（応用）		村上 純	173		
企業経営を考える		小江 茂徳	84		
起業論		岩山 仁	81	(ス)	
キャリアデザイン論		西尾 久美子	45,89		
キャリアの心理学		坂本 理郎/堀上 晶子	91	(ス)	
キャリアマネジメント		山縣 康浩	88		
キャリア概論		坂本 理郎/岩波 薫/堀上 晶子	86	(ス)	
キャリア形成と社会		山縣 康浩	87		
教育心理学		枚田 香	13		
暮らしから見る福祉		二階堂 達郎	54		
暮らしの安全と消費者問題		二階堂 達郎	40		
経営学総論		藤本 秀俊	69		
経営管理論		今井 希	71		
経営戦略事例研究		芦原 直哉	74	(ス)	
経営組織論		小江 茂徳	70		
経営と情報		藤田 昌弘	80	(ス)	
経済を知る		川端 勇樹	127		
健康心理学		北島 順子	17		
現代家族法の諸問題		芦田 秀昭	38		
現代社会と家族		藤田 道代	47		
現代社会と文化		谷村 要	126		
現代の経済		大沼 穰	128		
現代の社会		坂本 真司	125		
現代の法律		芦田 秀昭	37		
考古学の世界		川口 宏海	107		
行動科学		山縣 康浩	90		
行動の科学		櫻本 和也	4		
広報論		藤江 俊彦	79		
子育て支援活動事例研究		東口 たまき	50	(ス)	

	子どもと社会	東口 たまき	48	(ス)
	コミュニケーション概論	森川 知史	95	
	コンピュータサイエンス	佐々木 英洋	151	
	コンピュータと通信	中崎 修一	152	
サ	財務分析	上野 精一	82	
	茶道の心得	千 宗守	115	(ス)
	産業・組織心理学	服部 泰宏	24,93	
	ジェンダーと社会	藤田 道代	46	(ス)
	事業計画	前田 佐保	83	(ス)
	自然環境論	笠原 恵	133	(ス)
	社会心理学	森下 朝日	21	
	社会と情報	石橋 裕基	157	
	社会福祉演習	山口 宰	61	
	社会福祉援助技術	小泉 邦昭	58	
	社会福祉概論	室崎 千重	59	(ス)
	社会福祉実習	小泉 邦昭	62	(ス)
	社会を考える	坂本 真司	123	
	社会を知る	坂本 真司	124	
	ジャパノロジー入門	ウィリアム・リード	117	
	宗教学	長谷川 琢哉	31	
	障害児教育事例研究	今野 芳子	51	(ス)
	障害者福祉	堀川 諭	63	(ス)
	生涯発達心理学	松並 知子	12,52	
	少子高齢社会の家族	藤田 道代	56	(ス)
	消費者のための法律知識	千代原 亮一	39	
	情報活用Ⅰ (基礎)	本田 直也/野波 侑里/奥田 雅信	143	(ス)
	情報活用Ⅱ (応用)	本田 直也/近藤 伸彦	144	(ス)
	情報管理論	森本 雅博	156	
	情報機器プレゼンテーション	佐々木 英洋	100	
	情報システム開発演習	玉本 拓郎	161	(ス)
	情報人類学	谷村 要	142	
	情報セキュリティー事例研究	鳥巢 泰生	160	
	情報倫理	河俣 英美	158	
	人格心理学	五十嵐 英樹	18	
	人事・労務管理	中嶋 哲夫	92	
	身体科学	渡辺 勉	34	
	神秘的な地インド探訪	村瀬 智	108	
	心理学概論	松並 知子	3	
	心理学研究法	西本 実苗	6	
	心理学実験・実習	布井 雅人/菊野 雄一郎/李 琦/櫻本 和也	8	(ス)
心理学総合演習	枚田 香/具 英姫	25	(ス)	
心理学統計法	西本 実苗	7		
数学	花島 健吾	122		
生活環境論	大野 治代	42		
政治を知る	前田 春樹	129		
精神保健学	堀川 諭	20		
青年心理学	芳田 茂樹	14		
生物学概論	樋口 文嗣	120		
生命科学	渡辺 勉	32		
生命と環境	潮田 嘉子	134	(ス)	
組織間コミュニケーション	後藤 亮子	96	(ス)	
タ	地域情報化論	藤田 昌弘	163	(ス)
	地球環境問題と対策	内山 雄介	138	
	地球環境論	貝柄 徹	135	
	知能情報学	長行 康男	164	(ス)
	中国語Ⅰ (基礎)	高村 麻実	174	
	中国語Ⅱ (応用)	相場 美紀子	175	
	データベース論	森本 雅博	155	
	哲学	石毛 弓	29	
統計学	花島 健吾	68		
ナ	日本語教育	高見澤 孟	103	
	日本語表現	北野 朋子	67	
	日本の文化と歴史	上垣外 憲一	106	
	日本文学	丹羽 博之	112	
	日本文化論	岡 佳子	104	
	乳幼児と親支援のための事例研究	東口 たまき	49	(ス)
	人間関係論	森下 朝日	22,53	
	脳の科学	西村 治彦	33	

ハ	俳句と川柳	川本 皓嗣	35	
	働くことを考える	後藤 亮子／堀上 晶子	44,85	(ス)
	犯罪心理学	枚田 香	16	
	ビジネスネゴシエーション事例研究	芦原 直哉	75	(ス)
	表計算応用演習	村上 啓介	148	
	福祉住環境論	藤本 幹也	55	
	物理学概論	庭瀬 敬右	118	
	プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	福井 愛美	98	
	プレゼンテーション演習Ⅱ(応用)	福井 愛美	99	
	プレゼンテーション概論	水原 道子	97	
	プログラミング演習Ⅰ(基礎)	長行 康男	149	(ス)
	プログラミング演習Ⅱ(応用)	長行 康男	150	(ス)
	文化心理学	亀井 美弥子	23	
	文書作成応用演習	村上 啓介	147	
	法律を知る	前田 春樹	36	
簿記論・財務会計	小野 慎一郎	78		
マ	マーケティングリサーチ	杉林 弘仁	73	
	マーケティング論	杉林 弘仁	72	(ス)
	マルチメディア活用	畑 耕治郎	154	
	マンガ文化論	佐藤 晴美／谷村 要／倉田 芳美／石原 基久／平井 りゅうじ／山田 典昭／山森 宙史	116	(ス)
	メディア・コミュニケーション	吉川 登	139	
ヤ	ヨーロッパの文化と歴史	大島 浩英	111	
ラ	リサイクル問題	渡辺 勉	137	
	臨床心理学	酒井 健	15	
	臨床心理学実習	酒井 健／辻野 達也／堀江 桂吾／中村 千珠	10	(ス)
	倫理と道徳	石毛 弓	30	
ワ	和歌鑑賞入門	千古 利恵子	105	(ス)